

地方改良事業講演集 上

臺灣神社雄
寄贈本



開會式に
於ける 平田内務大臣訓示演説

閣下並に諸君、今回本省に於きまして、第一回の地方改良事業講習會を催うすこととなり本日、を以て開會の式を擧ぐることになりましたに就て、貴衆兩院の方々を始め各位の御來臨を辱ふ致しましたのは、本會に取つて最も光榮と致す所でございます。改めて申すまでもなく、世界の大勢は駭々として日に開明の域に進みつつあるのであります。が、此秋に於て等しく此惠澤に浴せむとしますには、固より一日の猶豫を許さぬ次第であります。お互に共に國運の發展に力めねばならぬ時代たることは茲にお話するまでもないことと考へます。去りながら國家の發展を冀はんとするには申すまでもなく、其根本たる地方自治の發展に據らなければ

到底其目的は達せぬと思ふのであります。各地に於ても是までも固より其進歩發達に向ては銳意力を盡され又各種の事業等に就ても夫々勵精努力せらるゝ所であるとは申しながら今日の大局から見ますると尙僅かに一步を進めたと申す外はないことであらうと思ひます。さて既に國家の基本は地方にある即ち町村にあるといふことになれば完全なる町村は即ち國家の健全なる發達を爲す根元であると申さねばならぬのであります。茲に於て歐洲諸國の如きも近來益々地方の行政に向て力を致し、嘗に其國に於ける或區域の進歩のみに満足せず進て全國の大勢の上に向て進歩を望まねば國運の發展は得て望むことは出来ないものであるといふ今日は趨向になつて居る。是は諸君と共に等しく認むる所であるが、我國に於ても亦全くこれと同一の事であらうと思

ふのであります。故に其風教に於ても又は各種事業の活氣ある發達に於ても地方村邑の有様は直に其國の品位を認むる所の標準となつて居るといふことは、殆んど今日に於ては争ふ可らざる文明諸國の趨向であると申してよからうかと思ふのであります。我國の如き自治制を施行致しましてから殆んど二十年を経過して居る、此間に於て各種の事業の起つたものも固より尠くはない。或は産業組合の如き共濟組合の如き青年會婦人會の如き或は近年勃興しつゝある斯民會の如き種々なる組合種々なる團體を組織して地方自治の基礎を固めやうといふことに向いつゝあるのではありません、これらは誠に喜ぶべきことでありますが併しながら是を泰西諸國の狀況より見ますと誠に初步に過ぎないのである。隨て尙これより幾倍の努力と幾倍の勵精とを以て町村の發展を

促かすに非らざれば完全なる國家の基礎を建設することも出來ず國家の發展も得て期することは出來ないであらうと思ふ固より我國に於ても多數の町村中には良町村が無いのではない随分敬服に堪へざる自治の發展を爲しつゝある村は認められるのである。去りなから一萬二千を算する多數の町村中よりして眞に良好なる町村と稱すべきものを數へ來つて見ますると遺憾ながら僅かに指を屈する程しかないのである。隨て地方自治の發達を促かして此一萬二千の町村中彼所にも良町村此所にも良町村といふが如き將來を見ねばならぬといふ我々の職責は前途實に容易ならぬ業と思ふのであります。そこで先づ第一に町村の改善を促かさうといふには果して孰れより着手するが今日の急であらうかと顧みると、私は先づ第一に事業を整理するといふことが必要

であらうかと思ふ。地方の實況を見まするに敢て各種の事業が起つて居らないのではない既に今日でも夫れ／＼經營されてあるのではあるか、其事業たるや甚だ全たからざる點のみ多いといふことは一體に免かれぬ様である。それ故に地方改良の實を擧げんとするには私は先づ第一に整理より始めたいと思ふのである。その一二を申せば第一に財政の整理を始め舊來起つて居る事業を益々改善するといふやうな事で概括して申せば即ち斯やうなことにならうかと思ふ。整理は取りも直さず事業であると思ふ。かく申せばとて新たなる事業を起すのが不必要なりと申すのてはない。固より新たなる事業も起して行かねばならぬが今日の急とする所は先づ其整理に着手することが必要である。整理即ち事業であると私は思ふのである。町村の基礎を鞏固にして健全なる發達

を遂げしめんとするには財政の整理は別けて最も急務であらう。又これに伴ふ所の事業を改善するといふ事も極めて必要であらうと思はれる。併しながら今日の町村に於ける状況を見ますと財政といひ事業といひ未だ改善の緒に就かざるものゝみが多いと申さざるを得ぬのである。それ故に先づ是等の整理改善を圖りてこそ初めて都市も農村も其基礎が出来るとあらうと思ふのである。果して然らば此整理なり改善をするといふには如何すればよいかといふに固より町村に於て其人を得るといふことは第一であるが又一通りこれを監督指導して行くことが最も必要なことであらうと思ふ。これらの大要に就きましては曩に地方官會議の時に申述べて置きましたから定めて諸君に於てはお聞きになつて居ることであらうと思ふのであるが、右の點に就ては尙長官を

補佐せられて整理改善に向つて今後益々力を致されむことを偏へに望むのであります。今回講習會を開いて諸君に講習を望むところのものも、要するに今茲に述べるところの意に外ならぬのである。さて前に申述べました今日良町村と申される所は果して如何なることに因つて斯様な名譽を荷ふに至つたかと仔細に觀察して見ますと多くは皆非常なる弊害に遭遇したか或は其他の事故によつて一時は甚だ困難を極め難治の地として世間に指斥されたものである。然るにそういふ地方が今日どうして良町村となつたのであるか、それは如何なる故であるかと顧みると必ず其村にはこれを指導誘掖して行つたところの誠に敬服すべき人があつて、其地方の衰頹を慨嘆するの餘り身を投じてこれに従事し又或はこれを訓育し又は監督し而して人々を助けて以て經營に竭

された結果が即ち今日稱するところの良町村たるの有様を見るに至つたのである。さすれば果して市町村の行政上に其人を得又監督指導其宜しきを得るといふことでさへあるならば他の町村とても亦良町村たることの出来ない道理はないのであつて、唯た勉むると勉めざるとにあるのではあるまいか、斯く考慮し來ると今日の必要は町村の整理改善であるが、其整理改善を促すところの監督指導の任に當る人を作り出すといふことが又第一の急務となるのである。これが即ち今回茲に講習會を開くに至つた所の精神であります。幸に兩院の御承認を得まして今日茲に此講習會を開くに至りましたのは此際に於きまして謹んで兩院の各位に謝するところでございます。斯やうな次第であるので監督指導の任に當る人を作るといふことが第一である。故に今回即ち諸君の

御來會を求めた次第であります。又今後に於て更に時を卜して此監督指導の下に立つて直接自治の衝に當るべき町村長等の講習をなし兩々相俟つて其目的を達したい考へであります。

地方改良の事業と申すと、誠に茫漠な問題である。先刻井上參事官より申述べた如く、其範圍は頗る廣いことになりましたが、其一二を舉げて見れば自治事務のこと並に財政の整理は申すまでもなく、其外經濟殖産上のことも訓育風化のことも或は勤儉貯蓄の奨励のことも皆網羅するに非ずんば改良の目的を達することは出来ないのであるから、其範圍も自から廣汎なることは免かれぬのであります。故に一體ならば成るべく會期を長くしてこれらの目的を全く達せむことを求めるのでありますけれども、諸君は何れも夫々要務に與つて居られる方で、長い間の御滞在といふことも

むづかしいのであるから止むを得ず僅かに三週間の短期に限つたのであります。又講習の事項に就ても其中で最も重要と見るべき事項にのみ止めざるを得なかつた次第であります。これらの事柄に就ても講師の諸君に御依頼も致して成るべく實際に就て實務に應用の出來得るやうに御講義を願ふことに致してあります。又先刻も諸君に御報告致した如く歐洲諸國の實例もこれより地方の事業等に就ては最も必要であらうと思ふのでこれ又講師諸君に御依頼を致して諸君の御参考として彼の地方に於ける事業の大體を講習せらるゝ筈になりて居ります。今回玆に參集せられたるところの諸君は孰れも地方にありて親しく實際の事務に従事せらるゝ方であつて或は郡長として或は郡書記として又は府縣の課長として常に直接に地方改良の事業に従事して居られる

所の方々である。従つて監督指導の上に於ても最も厚き責任を持たれる所の諸君である。この諸君が各地方より各選拔せられて公職をも差繰りて玆に來會せられたことであるので普通の講習とは全く其趣きを異にし其事態を異にして居ることは申すまでもないことであるに依つて、どうか諸君は深く此點に御留意になり、講習によつて得られた所の種子を各地方に齎し歸られてこれを益々繁殖培養されて他日美しき結果を地方に結ばれむことを此開會の際に於て偏へに祈る次第であります。聊か玆に一言して開會の辭と致します。

開會式に於ける挨拶

内務省参事官法學博士 井 上 友 一 君

今日は一本内務次官から開會の御挨拶がある筈でございましたが、岐阜の方に矢張り本會のやうな會がありますので大臣の代理として行かれました。床次地方局長も地方改良に屬する事業の視察の爲に歐米各國へ派遣を命ぜられまして只今留守でありますから、私より簡單に御報告を致します。何れ後に内務大臣より本會の目的並に希望等に就て來會の諸君に御話又は御指示の次第もあらうと思ひます。

此度は主として市町村の監督指導の任に當つて居られる方々に對して講習を致します次第であります。が、何れ此秋を待つて町村長其他篤志家又は有志家諸君の御集りを願つて講習會を開くことにならうと思ひます。今回講習に出られた方はどういふ種類の方であり又講習に就ての注意等に就きましては大臣の御訓示のありました後で何れ地方局の書記官より御話があると考へますので私は簡單に講習の課目並に講師の方々を御紹介致して置きたいと思ひます。事柄は甚だ複雑多端になるのであります。が、地方長官會議の結果成るべく事柄を少くした方がよからうといふことで努めて其數を少く致した

次第であります。併ながら各省とも皆非常に御熱心なる御同情でかう云ふことも話したい、斯う云ふことも見せたい、折角地方から参られた方でもあり且つ容易に上京も出来ぬ方であるから、斯ういふことも願ひたいといふ御希望も段々ありましたけれども、つまり此度は極く簡単に致して置いた方がよからうと云ふので、主として市町村の監督指導といふことに重きを置き是に加ふるに事務財政の整理又は自治事業の經營といふやうな三項目に止めまして、此三項目をいろ／＼の方面からそれ／＼の當局者、それ／＼の實験家等に御話を願ふことになりました次第であります。又普通の講習と違ひまして既に多年地方に於て御實験のある方でありまして、又講師の御方にも斯う云ふ會には既に十數年實験を積まれた方々でありますから何も彼是と註文は一向申上げませぬ。十分に皆さんの爲になるやうに實益のあるやうに如何様とも御便宜に御工夫を下されまして御話を願ふことに簡単に願つてあります。又來會のお方よりも或は質問をして戴くなり又互に實験談を願ふなり充分講師のお方と親炙し接近していろ／＼有益に此會を利用して戴くが爲に二時間ものを四時間といふ風に致してあります。是は講師のお方の御工夫に御任せし又來會諸君の十分に此會を活用して戴くことに御一任致します。居る次第であります。それで講師としては文部省の方面よりは眞野實業學務局長に實業教育に就て御話を願ひ、松村普通學務局長には普通教育に就てお話を願ひ、又乙竹高等師範學校教授は特殊教育に

就て熊々文部省より派遣されて數年の間歐米各國で御研究になり現に低能兒教育貧民教育子守教育其他普通教育實業教育以外の特殊教育の専門家であります。此方に特殊教育に就て御話を願ふ都合になつて居ります。手島高等工業學校長は御紹介をするまでもなく其方の専門大家であります。又高等工業學校にはいろ／＼生徒の作業もありますし夜間は徒弟學校もありまして是は諸君を御待ちするから其時に御案内をするといふことであります。同校長は實業教育を地方で創めます時分に努めて經濟的に又實際的にやる工夫に就てお話しされるといふことであります。それから前文部次官の澤柳さんには教育の大體又は御實験のことに就て臨時講演を願ふことになつて居ります。又農商務省の方面では農工業に屬することでは山山林局長に公有林の整理等に就て御話を願ふことに致してあります。尙ほ農科大學の川瀬林學博士は林學の講座も持つて居られますし諸君の中には既に御近付もあらうと思ひます。公有林の専門家でもあります。川瀬博士の話を聴いて其結果出來たといふ公有林も私は一二地方を廻つて見て居ります。それから農事改良のことでもあります。又三松農商務省參事官には我邦で最も大切な地主と小作人の關係に就て御話を願ふことになつて居ります。又農科大學の横井博士は此方の専門家で諸君の能く御承知の所であります。同博士には臨時の御講話を願ふことになつ

て居ります。それから法制局の柳田參事官は兼て農業經濟に就ては最も趣味を有つて厚く研究して居られる方で内務省からも能く地方へ出張を願ふこともありまゝ。此度法制局方面からも出て御觀察のお話を承るがよからうといふので御願ひ致した次第であります。又自治の經濟に就ては申すまでもなく産業組合のことは最も大切でありまして殆んど此事業を終身自分の生命と心得て居られる有働農務技師に御願ひ致して其方面のお話を承ることになつて居ります。尚ほ諸君は農事試験場であるとか農會に御關係の厚い方でありまゝので此方の實際の経験家であり而かも一つの農事試験場に多年従事して居られる小野孫三郎君に御願ひ致して臨時講話を承ることになつて居ります。又來會者の中には漁業水産に關係ある沿岸地方の方も少なくないのでありますから水産試験所長の松原さんに御願ひ致して實際的の御話を承ることになつて居ります。又水産試験所も見に来て貰ひたいといふことであります。それから水産局の松崎書記官は漁村の維持漁業組合漁民の救済のことが専門であつて其爲めに盡々英吉利瑞典等を觀察して來られた方でありまゝ。昨年感化救済事業の時には此お話を願ひましたが此度も亦特に其方の専門のお話を承ることになつて居ります。それから商工業に屬することは大體の方針は申すまでもなく地方長官の御考へにあることでありますので寧ろ副業の獎勵に就て實際のお話を承る方がよからうと思ひます。又諸君は農商務省所屬の商品陳列館へも御出になる等になつて居

ります。幸ひ鶴見君は農商務書記官であつて陳列館長をして居られるので此陳列館を如何にするかに付ても話をしたいと云ふことであります。逓信省の關係に於きましては最も諸君に御關係のあるのは貯金の事でありますが貯金管理所の所長をして居られる下村逓信書記官は度々此等の事情に就て萬國會議にも御出席になつて居ります。此方にそのお話を願ふことになつて居ります。何れ諸君は貯金管理所へも御出になる等でありまゝからいろいろ參考書を藏くことにならうと思ひます。それから内務省では窪田衛生局長が地方で段々必要を感じて參りました保健衛生に屬する施設殊に衛生局長は併せて上水下水公園等に關する事項までも管理して居られます、此衛生事業から家屋の問題其他の慈善事業にも關係があります。衛生局長は此方にも非常に趣味を持つて居られるので概括して廣い意味に於ける衛生事業の御話を願ふことになつて居ります。尚ほ野田技師は現に防疫課長として居られ諸君の最も關係の多い方であります。上水下水に關する調書を作つて戴きました、是は諸君に御分けることになつて居ります、尚ほ傳染病研究所の下水上水道の雛形もあるといふことで是も諸君に御覽に入れたいといふことであります。それから内地のこと計りでは足りないであります。段々進歩したる今日泰西諸國の施設と比較して大に奮發しなければならぬやうな點が多々あります。就きましては内務省參事官の水野博士は二度まで萬國會議に出席されて居りますし、最近に於ていろいろ泰西諸國の經

譽を見て歸へられたのであります。此間赤十字の郡長の會議の時にもお話がりましたが、何れも皆有益の話であります。それらは印刷して諸君に御配付することになつて居りますが、尙ほ實際此會にも御出席を願つて我國と泰西諸國を比較してお話を願つたらよからう。幸ひ内務省の行政整理の委員長もして居られるので外國人の事務の執り方の敏捷なること及び仕事に注意深いこと等に就て町村長を指導される諸君に又御話の材料として好いお話が澤山あらうと思ひます。普通の講演として又臨時講演として御願ひすることになつて居ります。湯淺事務官は新たに監督及視察の事務官に榮轉して來られました多年地方の内務部長もやつて居られましたので最も諸君に大切な市町村の監督指導に就て御話になりますから。諸君も質問になり又實際御経験の事も話の交換をして湯淺君に批評をして戴く爲に時間を長くしてあります。是は單に講釋のみならず諸君の實際談をも十分に承るといふことであります。少ない時間では足りないのですが、十分に願ひたいと思ひます。尙ほ部落有財産の統一と云ふとは近頃最も急務となつて居ります。其基本財産の増殖といふ事も財政の上から大切なことになつて居ります。此事も同君に御話を願ふことになつて居ります。小橋君は内務省の參事官をして居られました多年地方の事業に就て實際もありまゐるし、近く西洋各國の事業を御覽になつて歸られましたので都市の改良に屬する實際の事項を我邦の實情に比較して御話を願ふことになつて居ります。又新

たに内務省へ這入られました湖事務官には近頃段々各地とも起つて參ります青年會のことをお願いしてあります。自治と青年會とは最も關係があり又將來真面目なる自治に最も適當する人を作らなければならぬので青年會のことをお話することになつて居ります。尙ほ有吉千葉縣知事も近く西洋の觀察も遂げて居られるので臨時の講演を願ふことにし。加納子爵は鹿兒島縣知事として既に諸君も御承知の次第、現に産業組合のことに熱心されるのみならず、自ら其局に當つて居られるのでありますから此方にも御話を願ふことにしてあります。愛知縣農林學校長の山崎君は諸君もよく見に行かれましたらうか農事改良に就て熱心にやつて居られます。其實際のお話を承ることになつて居ります。それから秋田縣知事の徳滿鐵會社の理事をして居られる清野君にも大連等に於ていろいろ事業をやつて居られる御話をして貰ふことにお願ひしてあります。尙ほ此講習會に於きましては當局者のみならず實際局に當つて居る民間の人に實際談を聞くのが町村長篤志家等を指導される上に便利だらうと思ひまして其方面で二人願つてあります。其一人は新潟縣の來迎寺信用組合長をして居られ現に來迎寺村長である高橋九郎君でありますが高橋君は産業組合に就ては最も熱心の方でありますから。此方の實際談を願ふことになつて居ります。それから今一人は静岡縣農工銀行の頭取高林維兵衛君で農工銀行として農村に低利の資金を供給するに付ては營利といふことを考へずに何か農村の爲になるやうにと

開會式に於ける挨拶

いろ／＼工夫して居られます。又豫て自分の郷里の村で青年會のことは申すに及ばず、産業組合のこ

とや各種の事業に就て苦心されましたのでそれ等の實驗談を承ることになつて居ります。

大體斯の如くでありまして、車柄はつまり市町村の監督指導市町村の事務の整理及事業の經營でありますが、それを二三人で分擔致すよりも各種の方面の方に願つた方がよからうといふので斯う云ふ風になりました。或は事柄が又時間が多いと云ふやうな嫌もないではありませんが、諸君は折角運板されて御出になつたのであるから斯う云ふことも願つたらよからう、斯う云ふ事も聽いて戴いたらよからうと云ふ當局の考へで自然時間が多くなつた次第でありますから暑い時分ではありますが御勉勵を願ひたいと思ひます。

終りに今日大臣から御招待致しました來賓は何分廣く各方面に亘つて御臨席を願ふことは出来ませぬので貴衆兩院議員の方の中で内務省の豫算等に付ては特別に御同情をして下されましたお方、大學の教授農科大學の教授にして地方行政に最も密接の關係ある講座を持つて居られる方、又講師の方は申すまでもなく其外前大臣前次官現在の大臣次官等に御臨席を御願ひ致した次第であります。簡単に御紹介旁御報告を致して置きます。



特種教育

矯風獎善の事業

自治と青年會

農業の特性

農業經濟

農業保護制度

農事改良要項

地主と小作人

農村改良と篤志家

町村の經營

下 卷

東京高等師範學校教授 乙竹岩造君 三九

內務書記官 中川望君 四二

內務事務官 潮惠之輔君 四六

東京帝國大學農科大學教授農學博士 橫井時敬君 五九

法制局參事官 柳田國男君 五三

千葉縣知事 有吉忠一君 五九

農商務省農務局長 下岡忠治君 五七

農商務書記官 三松武夫君 六九

內務省囑託 留岡幸助君 六四

于 爵 加納久宜君 一

地方財政の要項

自治と産業組合

衛生事務の要項

公有林に就て

公有林の經營及管理

歐洲に於ける木工に就て

副業の獎勵

貯金獎勵の要項

漁村改良の事業

水産改良の要項

地方改良事業に關する教育上の雜感

泰西に於ける地方經營

二

內務書記官 中川望君 三

農商務技師 有働良夫君 七九

內務省衛生局長 窪田靜太郎君 一五

農商務省山林局長 上山滿之進君 一五

東京帝國大學農科大學教授農學博士 川瀬善太郎君 一七

農商務省山林技師 佐藤銀五郎君 三七

農商務書記官 鶴見左吉雄君 三五

逓信省郵便局長 下村宏君 二七

農商務書記官 松崎壽三君 三五

水産講習所長 松原新之助君 五九

東京高等工業學校長工學博士 手島精一君 四九

內務省參事官 水野鍊太郎君 四七

三

歐米視察所感

歐米に於ける地方改良事業

地方改良談

兵庫縣に於ける農政一斑

積志村經營の一斑

信用組合と副業獎勵

實驗談

四

内務省 博士	水野 鍊太郎君	四九
内務省 囑託	生 江 孝之君	四七
愛知縣 農林學校長	山 崎 延吉君	五五
兵庫縣 農事試驗場 長	小野 孫三郎君	五四
靜岡縣 農工銀行 頭取	高林 維兵衛君	五七
新潟縣 三島郡 迎村 長	高 橋 九郎君	六二
		六九

地方改良事業講演集目次 終

地方改良事業講演集 上卷

自治の本義

内務次官法學博士 一木喜徳郎君講演

開闢の
課日の
合統一
録

炎暑の初十數日間の御勉勵によりまして、講習も略は終りに近づきました。今日は最終の日であるので、何か一言諸君に申述べたいと思ふのであります。僅か十數日の事ではありますけれども、各講師の非常なる勉勵、又諸君の御精勵によつて、日々種々の題目に就き、諸君の得られた所の知識も、少くないことであらうと思ふ。私は其上別に附加へて言ふことは、殆んどないのであります。唯諸君が日々各題目に就ての講義を聴いておいでになりますからして、これを綜合するが爲には、時に其本へ廻つて考へて見るといふことが必要であらうと思ふ。一の問題と他の問題と如何なる關係を有して居るかといふことを、自ら考へられるのが、最も必要であらうと思ふ。科目の數は極めて多く、問題は頗る夥しいことではありますけれども、互に相關聯して居るので、之を綜合統一すれば、必ず歸する所がなければならぬのである。で私は諸君が斯の如く、各種の科目を綜合統一するのに、いかにか御便宜にならうといふやうなことを、今日少しお話致したいと思ふので。茲に「自治の本義」とい

ふ題を掲げて、一席のお話を致さうと思ふのであります。

此自治といふ言葉であります。之が法律上の定義に就きましては、種々の議論もあります。けれども其れ等の問題に就きましては、茲に詳しく論するの必要がない。是等の事は法學者の研究に譲つて、差支がないのであります。よし之を詳しく述べた所が、諸君の爲に餘り實益を與へまいと思ひますから、是等を寧ろ略して置かうと思ふのであります。けれども自治といふ事に就きましては、ハッキリした觀念を、或は持つて居らぬ人が、多くはないかとも思ふのであります。言葉の意味がハッキリして居らぬが爲に從つて自治制を運用するに就ての思想も、亦或はハッキリして居らぬのではないかといふ憂もある。それであるから、一通り自治とは何であるかといふことをいふのも、亦全く無益ではなからうかと思ふ。實は自治といふ事に就ては、國により又時代によつて、思想が多少異つて居るのであります。

或は自治といふ事が、國に對して獨立して、各自や若くは各團體の仕事を行ふといふ意味であつて、國に對する獨立といふことが、即ち自治の本義であるかの如くに思つて居つた時代もあります。又現にさう思つて居る人もあります。これは自治制度の沿革から申すと、或は無理のない話かも知れませぬ、或る時代の憲法などは、恰も臣民の權利を保障すると同じ意味で、自治體の權利を、憲法の上に保障したやうな時代もあつたのであります。又現に斯の如き規定を、憲法の上に設けて居る國も

國に對する
獨立の
意味を
意する

自治に對
する觀念
の不明

歐洲に於
ける憲法の
沿革

廣義なる
自治の意
味

あります。これ等の時代、これ等の國に於て、自治を如何に見て居るかといふと、前申す通り、自治といふ事をば、國に對して獨立の地位を有つて居るといふ意味に解して居ります。これは自治制の沿革からいふと、無理からぬことであると、前にも申しましたが、單り自治制のみならず、全體昔からの歴史からいふと、諸外國の中でも、或は君主が專横を極めて、人民の利益を犠牲にし、さうして私を尊むといふやうな事があると、之が反動と致して、時の政府に強請を致し、其甚しきに至つては、革命を経て憲法を無理やりに獲得したといふやうな歴史のある國もあります。これ等の國では憲法といふものが、國家の權力が專横になるといふやうな場合に對する一の保障であるといふやうに見られて居ります。自治制も亦略は同様に見られたのであります。佛蘭西の革命があつた後に歐羅巴では人權に關した宣言を發布致しました。それであるから其時代の思想からいふと、自治制も矢張り地方團體の國家に對する所の獨立を保障した、一の制度であるといふ風に考へられたのであります。併しながらこれは歴史上に於ける、特別の沿革によつて起つた思想であります。今日から見ると、決して正しい考へとは思はれませぬ。又斯様に自治といふものを見て居る結果として、更に一層自治の意味を廣めるやうにもなりました。つまり自治といふ言葉をば、文字の如くに解釋しまして、他人が他人の爲めに世話になるといふことの代りに、自分が自分の事を世話するといふ意味にも解しますれば、其邊

用が極めて廣くなる。例へばこれまで後見人を有つて居つた所の幼者が、丁年に達して後見人の保護を要しないやうになれば、矢張りそれを自治を得たのであるといふのであります。さういふやうにまでも、廣く自治なる言葉解するに至つたのであります。

併し今日言ふ所の自治なるものは、斯様な意味のものではない。自治行政といつても、畢竟國家の事務を行ふのに外ならぬ、國家の行政に外ならぬのはあるが、其行政を行つてゆく所の手段方法が違ふといふに過ぎない。其手段方法が如何に違ふかといふことによつて、此自治といふことに就ての考へが、又違つて來るのである。これを大略申すと、或は自治といふものをば地方團體が地方團體自身の事務を行ふに就いて、己れの機關でそれを行つて行く、國家の世話にはならぬといふ意味に、それを解するのが其一つである。此思想が餘程廣く行はれて居る所の思想であります。さうして現に諸國で自治制度の採用されたのも、此考へから來たのであります。それで此考へによると、自治行政といふものは、矢張り國の行政には相違ないけれども、併ながら同時に又自治體の行政であります。其關係を説明するに就ても、又種々の説を異にして居るのであります。が、それらの事を茲に論ずるの必要はないと考へます。要するに團體が自ら自己の事を處理して行くのが、自治であるといふ考へであります。さうしてそれが又廣く行はれて居る考へであります。

今日の自治の所
實は國家の事務
を行ふに過ぎない
自治の本義

國家に世
味を與へる
意を以て

國家の事務
を行ふに過ぎ
ない自治の本
義

これと全く異つた考へは、自治といふものは、決して團體が自ら己れの事務を行ふといふ意味ではない、名譽職が國家の政務を行ふのが、即ち自治の本義である。此自治の行政といふものは、己れの行政でなくして、國家の行政である。各自に屬する事を、各自が自ら處理するといふ事ではなくして、國家に對して稍や獨立なる地位を有つて居る所の人が、國家の行政を行ふといふ事が、即ち自治の本義であるといふのであります。これが又自治に就ての一つの考であつて、此思想が又隨分廣く行はれて居り、又現に現行の法制にも廣く用ゐられて居る所の考へであります。

斯様に自治といふ事に就ての考へが、イロ／＼に成つて居ります。就中、自治に就ての考へで、今日廣く行はれて居るのは、後に述べた二つであります。即ち地方團體が自ら其事務を行ふ。單り地方團體のみならず、或は其範圍を廣くして、一般の團體が、自己の事務を處理するといふことを、汎く自治とするのが、一つの思想であります。それから名譽職が國家の行政を行ふのが、自治であるといふのも、これが又一つの思想であります。此二つの思想が、今日世に行はれて居るのではありません。併し其根本に遡つて考へて見ると、此二つの思想が、決して全く關係のない思想ではない。或は見方によつては、其歸する所を一にするといつても差支があるまいと思ふ。それで寧ろ其根本に遡つて、自治制といふものが、全體如何なる必要によつて生じたものであるか、又自治制といふものが、國家存立

國家の事務
を行ふに過ぎ
ない自治の本
義

我邦自治の
源流

我國の自治
思想の成立

自治制の
準備と
思想の
成立

の必要上、どうしても無くてならぬものであるかといふことをば、其源に遡つて考へて見る方が、却つて適切であらうと思ふのであります。我邦で自治制を採用するやうになつた淵源は、明治十年前後にあると記憶して居りますが、自治制が稍々完全な形を備ふるやうになつたのは、御承知の通り、市町村制の發布によつたのであります。此市町村制に於きましては、自治といふ事を、如何に見て居るかといふと、即ち前に述べた所の二つの思想が、共に採用されて居ります。此二つの考を結び付けて、自治制度を立てるといふことに、立法者が考へを決めたものと思はれるのであります。又自治制を採用するといふことになつたのに就ても、イロ／＼立法上の理由があつたらうとも思ふのであります。それからイロ／＼な目的もあつたらうと思はれるのであります。殊に當時は、既に立憲制度を行はれんとしたやうな時期でもあつたし、旁々憲法政治を行ふ準備として、先づ自治制を行はねばならぬといふやうな事が、識者の議論であり、又當時有力なる當局者の意見であつたらうと思ふ。何故憲法政治を行ふ以前に、自治制を行はねばならぬか。當時の考へによると、此自治制といふものが、憲法政治の基礎である。如何なる意味に於て、自治制が憲法政治の基礎であるかといふと、人民は先づ以て其利害の近い所の自治團體で以て、行政に當り、さうして行政の利害得失といふやうな事に習熟したり、それから行政の難易を能く知つたりして、然る後に國家一般の行政にも、始めて參與することが出来やう

といふので、斯る順序を取つたものであります。現に佛蘭西では、先づ以て憲法政治を布きました。

さうして自治制度をも行はうとしたが、行はれなかつた。それは其基礎が薄弱であつたからであります。獨逸では之に反しまして、先づ自治制を布いて、然る後に憲法政治を行つたので、其基礎が固い。英吉利の如きは、憲法政治と自治制とが共に發達して行つて、さうして共に今日では各國の模範に採る所となるやうな好結果を得て居るのであります。即ち憲法政治を行ふには、どうしても先づ自治制を行はねばならぬといふ考へに基いて、憲法の實施をやるのに先立つて、先づ自治制を行ふといふ事になつたのであります。そんな考へは、市町村制發布の當時に始まつたのではない。市町村會法、郡會法が制定された時、既に其考へであつたらうと思ふ。併しながら自治制は、決して憲法政治を施行するの方便ではない。けれども遡つて考へて見れば、憲法政治も自治制度も、本は同じ考へから出て居るものであらうと思ふ。さうすると此憲法政治並に自治制の根本、それから自治制といふ中にも、唯今申す通り二つの意味がある、其二つの意味に共通して居る根本がどこにあるか。これを先づ第一に考へねばならぬと思ふ。

我國憲法
の共通模
本と國模

憲法政治
の本模
本と如何

私は簡單にこれを言へば、即ち舉國一致の必要といふ事に出て居るものと信するのであります。

す。少くも我邦の自治制度は、憲法政治と共に、舉國一致の必要から出て居るものと確信するのであ

萬機公論に決するの大方針

ります。外國に於きましては、或はこれと事情を異にして居るものもあらうと思ふ。例へば議會の政府に對する地位の如きに就ても、外國に於ては、或は見方が少し違つて居る所もある。議會といふものを、政府に對して人民の權利を保護する所の機關であるかの如くに見做して居る所もある。それから又さういふ説を有つて居る人もある。これは矢張り歴史の然らしむる所であらうと思ふ。政府の專横に對して之を制するが爲めに、憲法政治を行ふに至つた國では、憲法政治なるものが、矢張り國會に對して、人民の利益を保護するものであるといふやうな、思想を生ずるのであります。それは敢て怪しむに足らぬ所でありませう。自治制も亦斯の如くであつて、國家の行政が專横に走るのを防ぐがため、自治制を布くといふやうに立至つたのであると信ずるのも、亦故がないのではないのであります。我邦の歴史は、全くこれと異つて居ります。明治の初年以來、萬機を公論に決するといふ大方針を定められて、憲法政治を布き、それから自治制をも布くといふことになつたのであります。これは明治天皇の大御心から出たので、戊辰の初に於て、既に決せられた所の御規定であります。當時から誰れ一人の異論もない。唯だ一時異論のあつたのは、つまり時機如何の問題であつた。早く憲法を布いて貰ひたい、早く自治制を行つて貰ひたいといふ議論はあつたらうけれども、自治制を行ふ行はぬといふ、憲法を行ふ行はぬといふやうなことは、決して問題ではなかつたのであります。政府に於ても、憲法政治は

憲法自治の協力

民族を基
礎とする
國家の要

必要なりと信じ、自治制も亦必要なりと信じ、着々として之が準備を遂げ、着々として其順序を踏んづけたのであります。唯之を布くのに、遅速の問題が起つたので、其時には多少の議論もあつたのであるが、既に其時機に達した以上は、國家も民間も、共に憲法政治の必要を感じて、直ちに憲法政治を行ひ、自治制の必要を感じては、直ちに自治制を行ふといふやうになつたのであります。それであるから、決して外國の如く、政府の意に反して、無理に憲法政治を強めたり、政府の欲せざるのを強めて、自治制を行つたりしたといふやうな譯ではないのであります。即ち憲法發布の勅語にもあるが如く、俱に共に臣民の協力に依つて、國家の進運を保持する、といふ大御心に出てたものであるといふことは明白にして一點の疑を容れないことかと信ずるのであります。

然らば舉國一致の爲め、何故に此憲法政治が必要であるか、自治制度が必要であるか。これに就きましては事々しく茲に述べるの必要も、殆んどないであらうと思ふ。殊に最近に於ける日露戰役の成績などは、此必要を證明して餘りあるものであります。併しながら制定の當時に於て、舉國一致の必要から憲法政治を行ひ、自治制を布くに至つたといふことに就ては、固より外國の歴史をも、深く參酌せられたものであらうと考へる。全體國家として基礎の最も鞏固なるものは、何であるかといふと、此民族を基礎とした所の國家が、最も鞏固であるといふことを、歴史が明白に證明して居ります。殊

に前世紀に於ける歐洲各國の歴史は、最も能く此事實を證明して居ります。此民族といふ自覺を興へた動機は、勿論ナポレオン戦争であつたらうと思ふ。これが最も強い動機になつたのであります。此戦争の事は、固より諸君も御承知の事であるから、別に申述べるまでもない。ナポレオンが歐洲を席卷しまして、英吉利を除くの外は悉く其足下に跪かないものはいふやうな、状態になつたのであります。其の當時歐洲の大陸は總てナポレオンが勢力の下に在つたといつても差支ないのであります。此等戦争の際に於きまして、ナポレオンが一つの誤りをしたのであります。即ちナポレオンが各國の政府を相手にして居りながら、各國の關係といふものを、眼中に置かなかつたといふことであります。此誤りが偶然にも暴露したのは、西班牙の王位問題であります。自分の親族を、強いて西班牙の國王としたのが、抑々ナポレオンの誤りであります。斯の如き誤りを致したのは、何から起つたかといふと、即ち一國の民族といふものを、眼中に置かなかつた結果であります。政府は固よりナポレオンの勢力に抵抗することは出来ぬので、忽ちに服従はしましたが、併しながら人民が之に服従しないので、遂に西班牙の叛亂が起つた。幸に其叛亂は、忽ちにして鎮壓することが出来たけれども、併しながら西班牙人の反抗心といふものが、意外の結果を生じた。西班牙人がそれで以て自分の民族を自覺したのであります。さうして此自覺が他の諸國に及ぼした影響といふものが、實に著しいものであつ

ナポレオン戦争と
西班牙の
民族的自覺

民族均
民衆の
に及ぼ
る影響

普魯士國
の民族
の自覺
の影

民族均
民衆の
に及ぼ
る影響

た。就中普魯西は千八百六年に於けるエナの大敗によつて、領土が殆んど半になつた爲め、僅かに社稷を保つことを得たといふやうな状態であつた。所が幸に西班牙の民族的自覺が、直ちに影響を普魯西に及ぼしたので、所謂自由戦争の本になつたのであります。此民族的自覺を惹き起すに就ては、普魯西の愛國者が、種々様々な手段を執つたのであります。けれども就中當時の執政者であつたスタインの執つた手段が好かつたのであります。其一つが奴隸の解放であります。奴隸といふと、言葉が少し當らぬかも知れませぬ。日本の昔にもあつた、奴婢といふやうなものであります。土地に附着して、離るべからざる關係を有つて居る所の人民であります。それを自由にしたといふことであります。今一つは自治制度を執行したといふことであります。即ち市制を布いたといふことであります。國が危急存亡に類して居る場合に、これは甚だ迂遠な方法であるやうに見えた。併ながら此民族的の自覺を興へるといふ上には、著しい効果があつたものであります。つまり民をして知らしめなさいといふ事は、一時の平和を保つが爲に、甚だ便利であるかも知れませぬ。けれども列國競争の間に立ち、さうして國運を發展せしめて行くといふには、さういふことでは到底行かない。國民をして國民的の自覺を有たしめなければならぬのであります。堯舜の民のやうに、鼓腹擊壤して帝力何ぞ我にあらんやといふやうな状態は、内治の上からいへば、誠に結構なやうであるが、併しながらこれは國が單獨であつて、

外國との競争もないといふ時代の事であります。苟くも外國との競争があり、列國の間に立つて生存競争をせねばならぬといふ時代に、斯の如き政治のやり方では、到底いかぬのであります。なるだけ國民をして國民的の自覺を得せしめなければならぬ。なるだけ民をして知らしめなければならぬのであります。斯やうな必要がナポレオン戦争のために促されて、遂に普魯西が第一に此自治制を布くやうになつたのであります。

所が我邦では維新の當初から萬機を公論に決して、憲法政治を布き、自治制度を布かなければならぬといふことを、國是として一定して居つたのであります。即ち自治制度の根本は、憲法政治と共に、舉國一致といふ事の必要から出て、居るものであります。さすれば前に述べたやうに、自治に就ての思想が違つて居るといふやうなことは、抑々末であります。どちらの思想を取つてもよろしいし又二つの思想を共に用ゐてもよろしいのであります。共に用ゐてもよろしいではない。寧ろ共に用ゐる方がよろしいのであります。學者にも或は此自治といふものに、二つの意味があるといつて居るものもあります。法律上の意味と政治上の意味とがある。法律上の意味では、自治といふものは、團體が自ら其事を治めるといふのである。それから政治上の意味では、名譽職をして、行政に與からしむるのである。かういふやうに折衷した議論を立て、居るものもありますが、強めて政治上の意味と

自治及政治
の意義を
論ずる者
の一致

維新の
政治
の意義
を論ず
る者
の一致

名譽職と
の必要

本職以外
の職務
の必要

か、或は又法律上の意味とかいふ事を區別する必要もない。此二の思想を、共に種々の事に採用して差支がないのであります。此二つの思想が、共に前に申した根本の必要に應ずるが爲めには、適當な考であります。何故名譽職をして國家の行政に與からしむるのが、根本の必要に應ずる所以であるか。何故に専務の人では、いけないのであるか。此等の事に就ては、少しく説明を要するのであります。

名譽職をして行政を擔任せしむるといふ趣旨は、二つあるであらう。一つは俸給に衣食する人でないから、稍々獨立な地位を有つて居るといふことである。又モツ一つは、行政を以て己れの本職として居ない、己れは他に本業を有つて居つて、傍ら行政事務を擔任してやつて行くといふのであります。これが即ち名譽職の名譽職たる所以であつて、又自治制度に必要な所以であります。何故に行政を本務として居るものでは、自治の目的を達し得られぬのであるかといふと、これには必ずしも絶對の理由がない。絶對の理由はないけれども併しながら人情、人を支配することを以て職務とするものは、自ら一種階級の思想を生じて、國民の利害休戚と、其思想が違かるといふやうな傾きがあります。現に昔の世の中で申すと、武門武士といふものがあつた。武門武士といふものは、何の爲にあつたのであるかといつて、其の制度の根本を考へて見れば、矢張り國家防衛の爲めか、又は人民防衛の爲め

當時武士階級の一有
武士階級の一有
武士階級の一有
武士階級の一有

帝國憲法
臣民の責任
臣民の責任
臣民の責任

人民の権利
人民の権利
人民の権利
人民の権利

あつた、併し武門武士といふものが、一つの階級に専有せられるものとなつて來たので、弊が出て參つた。それは何であるかといふと、其階級の利益と、國家の利益とを混同して、或は階級の利益を先にし、さうして國家の利益を後にするといふやうな弊を生じた。其弊を除くといふことは、ナカナカ困難な事業であつて、明治維新の時に政府が大英斷をやつたので、漸く其弊を除くことが、出來たのであります。殊に世襲であつたので、尙更其弊が多かつたのであります。併しながら兎に角人を支配するといふことを以て、本業と致して居るものには、其階級の利益と、國民一般の利益とが、相離絶するといふやうな事になるといふ虞れが多い。其虞れが多いのは、殊に世襲の場合に多い。それで我憲法は、臣民の權利義務に關する第二章の初めに、日本臣民は、法律命令の定むる所の資格に應じて、均しく文武官に任せられるの權利があるといふことを規定したのであります。けれどもたとひ世襲でないまでも、官職を以て自己の生活を立て、行く所の人は、或は動もすれば、人民一般の利害と遠ざかるといふやうな虞れがあります。それであるから人民をしてこれに參與せしめ、さうして行政事務の一部分を負担せしむるといふことは、行政事務をして人民の利害と密接せしむるが爲にも、必要であるといふのが、一つの考へであります。故に此考へからいふと、自治制といふものは、強ち市町村とか、地方團體とかの自治のみには限らない。議會の議員が、國政に干與致すのも、或は國によ

りては、司法制度に人民が參與するやうなことのあつたのも、自治制の一つであります。例へば陪審官とし、若くは證人として出て行くことでも、矢張り國民が司法事務に參與するのであつて、即ち自治制の一つであります。それから共和政治の國では、一國の元首すらも、選舉によつて出るのであります。これが又自治制の一つであるといふやうに見られて居るのであります。それであるから、名譽職をして國の事務に與からしむるといふ意味から申すと、自治制といふものが、單に地方のみに限らるべきものではないのであります。併しながら其應用が、最も地方に多いのであります。けれども自治制といふ事は、中々、大きな問題になるのであるから、俸給を受けるとか、受けぬとかいふやうな點に重きを置くべきか、或は他に本業を有つて居るといふことに重きを置くべきかといふやうなことは、別に委しく研究すべき事であらう。それ等に就ては、イロ／＼と説もあるが、そんな細目に涉つた事は、茲に論ずるの必要もないのであります。要するに國民をして國務に與からしむるといふ趣意に外ならぬのであります。前に申した武門武士が、國防の事を専有して居つたのを一變致しまして、徴兵の制度を布いたのと同じ道理であります。昔は國を人に防いで貰つて居つたのであります。けれども今では人民自らが、國を防ぐのであります。これが徴兵令に於ける根本の思想であらうと思ふ。丁度それと同じ思想が、矢張り自治制の基礎になつて居るのであります。

文明の
勢力の
動的機
能的動
作的機

ここにチヨット附加へて申述べますが、元來此文化が進歩する所の大勢を考へて見るのに、つまり單獨な個々の働きが、段々と組織的の働きになつて來るといふことが、最も著しい現象であらうと思ふ。固より諸般の事物に就て、其現象を認めることが出来る。先づ産業の上に就て見ても、手工業が段々變じて、製造工業になつて來る。一人々々の手の働きによつて居つたものが、多數人の共同、協力、並に分業によつて、物を生産するやうになつて來る。これも文明に伴ふ一つの大勢であらうと思ふ。又昔は其人に俟つことが多かつた。制度といふものがなくて、總ての事が人によつて行はれて居つた。人を得れば、何事も立派に行はれ人を得なければ、何事もいけないといふことになつて居つた。これは固より免かれない事で、今日でも、人を得なければ、何事も出来ぬのであるが、併し一人の人の力に重きを置かずして、多數の人の協力によつて、一人の人の力の足らざる所を補ふやうになつて居るから、隨つて非常な英雄豪傑が出て來なくとも、事が舉つて來るやうになりました。これも亦文明に伴ふ一つの大勢であらうと思ふ。前に申した軍隊の組織などでも、其通りである。昔は非常な勇者が現はれて、歴史に其名を残して居るものも澤山ある。數百年の後たる今日に於て、英雄豪傑を求めたならば、昔の時代の方が、却て今日よりも多いかもしれない。今日の戦争では、決して昔の武藏坊辨慶とか、熊谷直實とかいふやうなものが、現はれて來ない。唯だ愛國心が非常に旺盛であると

多數の
協力
の時代

多數の
公衆
の力と
自治
の力と
の相
對
的
機
能
的
機
能

か、何とかいふやうな事で、立派な模範となるものはあるかも知れぬが、非常な勇者といふやうなもの、先づ割合に少ないであらう。即ち一人々々の力に重きを置かずして、多數協同の力に重きを置くといふ結果であります。政治の上に於ても、亦斯の如くであります。明君賢相が常に世にあれば、國民の協賛養を俟たずとも、立派に政治が行はれるかも知れぬ。併ながらたとひ如何なる立派な人があつた所で、一人の力は限りあるものである。今日堯舜が生れて來たり、或は周公が今日に生れて來た所が、今日のやうな世の中で、果して堯舜の治を致すことが出来たかといふと、随分疑問であらうと思ふ。これも亦文明に伴ふ一つの大勢であります。即ち一個人の働きに依頼せずして、多數公衆の力によるといふことが、今日の文明社會に於て、著しい現象をなして居ることであると思ふ。自治制の如きも、亦其現象の一に外ならぬのであります。憲法政治も、亦其現象の一に外ならぬのであります。斯の如くに多數公衆の力によりて行くと、其國が強い。此生存競争の劇しい世の中に、國家の進運を遂げて行かうとするには、どうしても其手段に出るより外はないのであります。これが又自治制の必要を見るに至つた所の、一つの大なる原因であらうと思ひます。それから全體に行政の方針が變遷し來つたのを見るのに、矢張り同じ結果に歸着する。昔の世の中では、人民の知識が至つて劣つて居りました。教育といふやうなことも、廣く行はれて居らないから、多數の者が無智であつたとい

國君が民
の父母と
見たり
し時代と
國家全能

國家の放
任主義時
代
國家全能
法治國時

ふのも、已むを得ないのであります。そこで少數なる識者が、總て此多數者の世話をしてやるといふことは、其時代に於て全く必要であつたのであります。殊に歐羅巴の歴史で申すと、宗教戦争で國が皆荒れ果て、しまつた。それを舊との有様に回復するといふことが、ナカ／＼容易な事でない。そこで一國の君主なり宰相なりが、人民の父母であり後見人であるやうな地位に立つて、其利益を進めることを圖らなければならないといふ状態にあつたのであります。故に此時代は所謂國家全能で、國家が人民の精神上並に經濟上、總べての事に干渉をして、何事でも己れ一人の任として居つた。さうして人民は唯國家の御世話になつて居るのみであつた。それが爲め、己れ自ら助けるといふ精神が、段々と萎靡して振はなくなつてしまつたのであります。其結果或る時期に於ては、治績の見るべきものもあつたのであるが、併しながら終局に於ては、大なる害を残したのであります。即ち國民になくてはならぬ、獨立自營の精神を沮喪せしめたのであります。これではならぬといふんで、又方針が極端に行つた。それはどうであつたかといふのに、『國家といふものは全體人民の世話をすべきものではない。人民が精神上、經濟上の發達を遂げて行くには、銘々自分でしなければならぬ。國家がそんな事に、世話を焼くのが、餘計な話である。國家は唯他人が害を加へるのに對して、それを防いでやればそれでよい。權利を保護してやれば、國家の目的はそれで足りるのである』といふのであります。こ

列國の放
任主義時
代
國家全能
法治國時

人民の獨
立自營力
と國家最
後の補助

の時代を稱して、法治國の時代といつて居ります。今日いふ所の法治國とは、意味が違ふのであります。それから此主義の事は、或は又放任主義といひます。此放任主義も、或る時代に於てはよかつたのであります。それから國により、又國民の氣風によつては、放任主義の方が適して居る所もあつた。即ち英吉利の如きは、放任主義の下で、大に發達をしたのであります。併しながら世界を通じて、經濟上の状態が大に變りまして、學術の發達に伴つた、種々の器械や、其他の發明が出来て參つたので、昔のやうに簡單な組織では、動かなくなつて參ると、此放任主義も亦到底國家の行政の方針として、永く行く譯には行かなくなつて來た。殊に各國間に於ける競争の勢といふものが盛んになつた爲め、放任主義に固着して居るやうな國までが、どうしても其放任主義を捨てなければならぬやうな場合に立到つたのであります。即ち英吉利の如きも、既に教育其他の點に於て、放任主義を捨てざるを得ないやうに至つたのであります。然らば昔の後見人時代に立戻つて、それで宜しいかといふに、決してさうではない。人民は先づ獨立自營して行かなければならぬ。さうして人民のやつて行く、獨立自營の力が及ばぬ場合に於て、始めて國家がそれを助けて行くのであります。併ながら此大きい國家が、人民に手を付けて行くといふやうなことは、なるだけそれを避けたいのであります。一個人の力に及ばぬことならば、先づ以て國保の團結や、郷黨相互の力で、それを助けるといふ主義によつて行きたいもの

利害責任
の直接責任
の立憲自治
の維持

地方小團
體活動の
必要

であります。郷黨が相互に助けて行つても、尙ほ其力に及ばぬ時には、更に一層大きな團體で、それを助けて行くやうにしたいものであります。さうして其力に及ばぬ時になつて、始めて國家が助けるといふやうな工合に致して行きたいのであります。さうして利害の關係と、其責任とを、なるだけ近接するやうに致すのが、即ち人民自身に、獨立自營の精神を維持して行く上に於ても必要であります。此必要から致しても、地方自治體といふものが、どうしてもなくてはならないものであり、又其關係者其者が、益々廣くならざるを得ないのであります。殊に社會の事物が益々複雑になりて、各個人の力に及ばない事が益々多くなります。そこで一人々々の力よりは、共同の力にてやつて行かなければならぬ事が、段々と殖えて來ます。さうして一面に於ては、人民の間に、獨立自營の精神を益々旺盛にして行くに就ても、地方に於ける此小さな團體が、益々多く活動して行かなければならぬといふことは、自然の結果であります。此點に於ては、常に地方團體が活動すべきのみならず、其利害關係によつてイロ／＼な團體が、其々に活動して行かなければならぬのであります。例へば産業の事に就て申せば、産業組合が活動しなければならぬまいし、水利の關係に於ては、水利組合とか其他種々のものが、活動しなければならぬまいと思ふ。總て人民の精神上、並に經濟上の發達を、人民自らが遂げて行つて、さうして其力の足らない場合に、それを補つて行くといふ、行政の方針が、矢張自治制の必要を促が

國民の自
覺と國の
扶翼

普魯西に於
ける自治の
理想の實現

ドイツの
名譽職
の行政職務

して來て居るのであります。要するに、自治制の生じた根本は、前にも述べた通り、憲法政事と共に、國民の自覺を喚び起さしめた舉國一致が即ちそれでありました。さうして俱に共に國家の進運を扶翼して行かうといふ考へが、其源であります。さうして此方針が、即ち文明の大勢に一致して居るものであります。それから行政の變遷にも、亦一致して居るものであるといふことを確信して疑はないのであります。

さういふ風に見て來ると、自治制の事をば、或は團體が自ら其事務を處理するものであるといふてもよろしい。名譽職が行政事務を擔任するものであるといつてもよろしい。何れにしても根本の趣意には、變りがない。唯これは方法手段に屬する事である。方法手段に屬する事であるが故に、出來得るならば、これを兩つながら用ゐたなら、よろしいであらうと思ふ。普魯西に於て、自治制度を採用した時分にも、矢張此二つの思想を、共に用ゐたのであります。全體あの國は素と團體が自ら其事務を經營するといふやうな思想で、此自治といふ事を見て居つたのであります。所が偶々此自治制の上に非常な功績のあるグナイプといふ人が、自治の本體は名譽職として行政を執らしむるのであるといふ説を取りましたので、此説が普魯西の新らしい制度の上に、著しい影響を與へたのであります。併ながら此人の説でも、團體が自ら事業を經營するといふ思想を、全然除くことが出來ないのであります。

我邦自治
の理想
を實現
するに
必要と
する

自治の
理想を
實現し
るに
必要と
する

國民共
同の利
害を
維持し
るに
必要と
する

忠誠の
精神を
養成し
るに
必要と
する

自助の
精神を
養成し
るに
必要と
する

す。それで此二つを折衷しまして、一面には團體をして自覺せしむると同時に、一面には名譽職をして行政を行はしむるといふ制度を取り、さうして此二つの思想を合せて、自治制度を立てたのであります。我邦の自治制も、御承知の通り、市町村に一個人と同じく權利義務を有して居る。さうして公共事務では、官の監督を受けて、自らそれ處理して居る。此團體が自營するといふ主義と、名譽職をして行政を行はしむるといふ主義とを、共に用ゐて居るといふことは、市町村制を通讀すれば、直ぐ明瞭に分かるのであります。故にこれはどちらも行つてゆきたい。此精神はどちらも活して、兩つながら働かして行たいものであると考へます。これを活して働かしむるには、如何にしたら良いであらうか。が、これは人の考へによるのでありますから、其考へを養つて行くより外はない。其考へを養ふに就ては、種々の手段方法があると思ふ。青年團體であるとか、或は各種の組合のやうなもの、矢張り此思想を養ふ所の一の有力な手段であります。如何なる考へを養つたら、よからうか。此自治制を發達させる爲めには、如何なる思想が必要であるか。これ等に就きましても、前に申した自治制の根本義に遡つて、それを考へて見ると明かであります。即ち第一に、自治制といふものは、國民が共に國家を維持して行くといふ根本の必要に基いて居る。我邦に於いては、陛下を翼賛し奉つて、皆んなが共に國家の進運を扶翼して行かなければならぬといふ、根本の必要に出で、居るので

あるから、即ち此皇室に對する忠誠の精神といふことは勿論の話であるが、又國事に對して親切に考へるといふ精神が、どうしても無くてはならない。さうして又此文明の大勢上、多數が共同して國家の進運を扶翼して行かなければならぬといふ必要に出て居るのであるから、多數が共同一致して、同一目的の爲めに働くといふことが必要であります。それから行政の方針が變遷して參つた大勢に基いて考へると、國家が直接に人民の精神上、經濟上の發達に助力するといふことは、最後の場合であるから、先づ其利害の最も近い所の組合なり團體なりに於て、共同相扶けるといふ精神で以て、其事を負擔して行かなければならぬ。それからして考へて見ると、第一に自助の精神が必要である。即ち己れの利害が最も近いもので、其費用をも負擔し、其責任をも負擔して行かなければならぬといふ精神が、必要である。それから同じ精神に基いて居るものではあるけれども、此方法手段を分けて、團體が自營するといふ方の見方にすれば、尙更ら今申す通りに、己れの事を、己れがやつて行かなければならぬ。といふ精神、即ち獨立自助の精神が、最も必要である。又名譽職が行政の一部を負擔するといふことが、自治の精神であるといふ方から考へて見ると、恰かも兵役の義務を負擔するのが、國民の義民であつて、これを果さないのが、國民の耻辱であると感ぜられると、同一の理由で、名譽職を擔任するのが、國民の國に對する義務であるから、此義務を完全に果すことの出来ないのが、國民の耻辱

であるといふ事になつて、其思想が擴まらなければならぬ事と思ふ。固よりこれ等の精神が必要であるといふことは、言はずとも分つた事であるが、一たび自治の根本の趣旨に遡つて考へて見ると、轉た其必要を感ぜざるを得ない。國民たるものが、皆此根本の考に遡つて、自治制の大切な所以、又自治體の機關として、職務の大切な事を自覺し、さうして一層これが爲めに必要な精神を鼓舞發揮せなければならぬ譯であらうと思ふ。これ等の精神を養成するに就ての種々な手段方法に就ては、既に諸君が十數日間の講義に於て、十分御聽きになつて居ることであらう。又諸君が自ら事に當つて、經驗されて居る事であらうと思ふ。これを詳しく申述べる必要は、最早無いのであります。

唯茲に一言特に申して置かなければならぬ事は、先刻も述べたやうに、自治といふ事に就て、古くから行はれて居つた所の思想が茲に一つあるといふ事です。それはどういふ事であるかといふと、自治が國家に對するの獨立を意味するといふ事でありませう。所で此思想が往々人を誤めるのであるから、これに就て特に一言して置くの必要があると思ふ。此思想の結果がどうなるかといふと、自治といふものが權利であつて、義務でないといふことになる。例へば自治體の名譽職となるものが、公民の權利であつて、義務ではないといふのであります。此思想は單り自治制のみならず、憲法政治に就ても、隨分行はれて居るのであります。これが如何なる結果を生ずるかといふのに、議員といふものが、國

家に對して國民を代表するものであるといふ思想になるのであります。さうなると國家全體の利益を見て、其利益と信する所によると共に、一般の公益と信する所によつて、活動をして行くといふ精神とは、初めから齟齬して居る。勿論、國民の利益を遠大に考へて見れば、國家の利益と一致しなければならぬ譯である。國民の外に、國家はないのである。併しながら所謂國家に對して、國民を代表するといふのは、さういふ意味ではない。若しさういふ意味ならば、國家に對して國民を代表するといふ思想は、無意味になる。そこで其弊として生ずるのは、何であるかといふと、選舉人若くは選舉區を代表するといふ事である。選舉區なり、選舉人なりに於ける特別の利益は、たとひ國家一般の利益と抵觸しても、必ずそれを議會に於て主張しなければならぬといふ考である。一體議會制度の變遷から申すと、初めには選舉人が委任を與へたものであるから、斯んな思想も残つて居るのであります。併しながらさういふ事が段々と止んで來て、議員は全國を代表するものであつて、選舉區を代表するものでないといふことだけが、今日一般に認められて居ります。けれども選舉區や選舉民の利益を代表するものであるといふ考が、まだ多少残つて居りはせぬかと疑はれるのであります。自治制に於きましても、或はそんなやうな事がありませんか。若し此利益代表といふ考で、自治制を行つたならば、其弊は随分恐るべきものであらう。殊に市町村とか、其他の地方團體などのやうな、目的の廣いもの

にありては、單純な特別の事業をやるやうな組合などは違ふのであります。例へば水利組合とかに
なれば、其目的が單純であるから、其事に對しては皆同一の利害關係を有すべきものである。併しな
がら目的の廣い團體になると、農業の爲にするものもなければならぬ。商業の爲にするものもなけ
ればならぬ。工業の爲にするものもなければならぬ。随つて利益の衝突が、時には免かれない。此時
に於て、市町村其他の團體に於て、名譽職等が己れの利益を代表するが爲めに、此職に就て居ると思
つたならば、其結果が如何であらうか。即ち農業者から選れた者は、農業の利益を代表する。商業者
から選れた者は、商業の利益を代表する。工業者から選れた者は、工業の利益を代表するといふ
ことになる。さうすると互に其利益を闘はして、多數の者が何時でも少數の者を壓するといふことにな
るのは、止を得ない結果である。斯様な事は、先刻來申したやうな自治制の趣旨と、全く反して居
るものであります。畢竟利益代表などいふ思想の結果が、斯様な所にまで至るのであるから、是非
に此の如き思想を、自治制の外へ、全く驅逐しなければならぬと思ふ。其外尚ほ例へば農會であるとか、
或は商業會議所であるとか、其他特種の業務に従事して居るものゝ團體を認めて、或は公の事
に參與せしめて居るやうな場合もないではない。時としては其意見を聴くとか、之に諮問するとか、
或は其建議を受けるとかいふやうな事がある。かういふ類のものも、言はゞ自治體のまだ十分に發達

自治に對する利益代表の思想と表

利益代表の思想と表の基礎

しない一つの發芽であるといふやうに、見做されて居る。所がかういふものになると、尙更ら利益代表の爲めに認められて居るかの如き感じが、起り易い。例へば商業會議所に諮問するのは、商業家の利益を代表した意見を尋ねる趣旨であるかの如くに解せられ易い。農會に諮問するのは、農業家の利益を代表した意見を聴く趣旨であるかの如くに、動もすれば解せらるゝやうな傾きがあると思ふ。併しこれはさういふ意味ではない。けれどもそれ等の利害に、密接な關係があるものゝ意見を聴けば、さういふ事柄に就て、最も適當な趣旨が何であるか、適當なる法制がどうしたらよいかといふことを知るのに、最も便宜な方法であります。それは一つの手段であつて、其物の利益を代表せしむるといふ趣旨ではない。随つて其意見を出すに就ても、己れ等に専門の知識があるならば、其知識に基いて、國家の利益となるやうな意見を出すべきものである。斯様な利害關係を以て組織した團體に於てすら、斯の如き原則に由らしめるのが當然である。さすれば一般の廣い目的を有つて居る所の市町村や其他に於ては、殊に此點の注意を要するのであります。若しもそれを利益代表の機關と見て、互に己れ等の利益の爲に、其機關を占めやうといふので、選舉の度に競争をしたり、又選舉の済んだ後でも、議會に於て其利益を闘はせるといふことになつたならば、どうであらうか。自治制の基礎が、全く之が爲めに破壊されるといふことは、遺憾ながら止を得ない次第であります。それであるから前に申す

やうな自治制に對する正當の思想を養成すると共に、此自治制に就ての誤つた思想、即ち利益代表といふ思想を無くするやうに、十分努力せねばならぬ事と思ふ。

尙ほ一つ附加へて申して置きたいのは、自治體の監督に關した事であります。若しも自治といふものが、國家に對しての獨立を意味するものであるとか、國家の仕事でなくて、己れの仕事を自分がやるのであるといふやうな意味から見たならば、それは國家が自治體を監督するといふことは、餘程目的を異にして來なければならぬと思ふ。若しさういふやうな意味にするならば各種の營業會社に對して、國家が監督を行ふと同様であると言はなければならぬ。其會社の仕事が、公益を害するとか、或は法規に背くとかいふやうな場合には、固より國家は進んで之に干渉することも出来やう。けれども其會社が業務を適當に行ふや否や、其目的を十分に達して居るや否やといふことは、國家が敢てそれを問ふの必要もないのである。それは株主などが關係する所であつて、國家の關する所ではない。けれども自治といふ事は、前にも申す通り、國家の事務に非ざるものを、國家から獨立して行ふといふ意味でない。國家の政務を行ふ所の、二つの手段方法である。それであるから其趣意を團體自營といふ意味に解しても、或は又名譽職が行政を擔任するといふ意味に解してもよろしい。何れの意味にしても、國家の行政を行ふ方法であるといふに外ならぬ。随つて其監督も、前に申したやうな會社に對す

自治體の監督に關する

國家の監督に關する

國家の監督に關する

るの監督などは、全く其目的を異にして居るのであります。既に國家のやるべき政務の一部を擔任して居る團體である。さうすると、若しも其團體がよく其目的を達し得なかつたならば、其結果直ちに國政が擧らぬといふことになるのであるから、國家は常に其國政の擧るやうに注意をしなければならぬ。若し不幸にして擧らぬ場合には、これが矯正を圖らねばならない。それであるから國家が團體に對する所の監督は、積極のものである。これが一般に警察權などの働きと、大に趣きを異にして居る點である。積極であると同時に、又自治といふものは前にも申す如き趣旨のものであるから、民をしてそれを知らしめて、さうして事の擧るやうにし、仕事の誤りがないやうに勉めて行くことが必要である。單に命令や或は訓令とかいふやうな權力を以て、これに臨むといふだけが、監督權の趣旨ではあるまいと思ふのであります。

モウ一つ注意をしなければ、ならぬと思ふことは、前に述べた通り、人を支配することを以て、己れの職務として居るものには、時とするとそれを自己の權利であるやうに思ふといふ弊を免かれぬといふ事であります。これは世襲などの場合に、最も多いのでありますが、世襲でなくても、時には其弊を免かれぬといふことを、我々が自覺をしなければならぬ。自覺して其弊のなるだけ少くなるやうに勉めなければならぬ。然らばそんな弊は何から生ずるかといふと、人を支配することのみに、

自己を被
治者の地
位に置き
て考へる
べき心持

始終頭が支配されて居るので、被治者の利害といふことに、段々と遠ざかるといふやうな嫌がある。これは獨り監督權の働きに就てのみ申すのでない。一般の官吏が其職務を執つて行くに就いても、考へなければならぬ事と思ふ。此弊を救ふには、如何にしたらよろしいか。私が考へるのに、官吏は事を處するに先だつて、先づ己を被治者の地位に置き、さうして判斷を下すのがよからうといふのである。己れが處分を受ける地位に立つたならば、如何に感ずるであらうか。此處分が正當であるか。己れであらうか、或は不當であるとして、恨むであらうか。或は訴へるであらうかと考へて見るのである。これは獨り處分をする場合ばかりの事ではない。人民に應對する場合に於ても、其通りであります。それから斷案をするに就ても其通りであります。斯の如き言葉を自分に向つて吐かれたのであれば、自分是如何に感ずるか。愉快に感ずるであらうか、不愉快に感ずるであらうか。かういふふうには、自分は如何に感ずるか。愉快に感ずるであらうか、不愉快に感ずるであらうか。かういふふうには、常に己を被治者の地位に置き、さうして何事でも考へて居つたならば、私は乾度機宜を誤るまいと思ふ。併し必しも自治制のみが、人民の利害と行政の働とを近接せしむる唯一の方法ではないと思ふのでありますから、私は行政官の職に在る人には、常に此事をいふのであります。又己れ自らも何とかして、さう勉めたいと考へて居るのであります。併し不徳であるからして、自分の考へ通り、十分に、實行することも出来悪いかも知れませぬ。しかしながら少くともさう勉めるとい

ふ考へてあります。これは所謂官僚政治といふもの、弊を救ふに就て、最も肝要な事であらうと考へます。實際さういふ弊がなくとも、銘々に自ら願ひて、常に注意をしなければならぬ點であらうと思ふ。唯今監督權のお話をしましたので、序でに此事をも添へて申述べて置く次第であります。

自治訓練の方法

内務省参事官 井上友一君講演

第一 自治訓練の必要

今日
は
其
の
時
代
なり

私が特に諸君に御願ひし又御協議を致したいのは、自治の訓育——詳しく言へば、自治の訓練方法をどうしたら宜いかといふことであります。先達も大臣が話された通り、今日は各國共に機械の競争をするといふ時代が稍や過ぎて、人の競争即ち人物の競争をするといふ時代であります。佛蘭西の方でナポレオン一世を出したといへば、英吉利の方ではナポレオンを打ち負かした所のネルソンを出したといふやうな具合に、互に有爲の偉人を有つて居ることを自慢して居る。ところが最近に至つては、自分の國に斯ういふ良い村がある、斯ういふ良い町があるといふので、町や村の競進會をやるといふ形勢になつて居る。そこで此際日本でもそれに後れを取つてはならぬといふので、今度の日英博覽會には、各府縣の中から良い村を選んで、其長所を畫に採つたものを出して見やうといふ考へであります。高橋廣湖といふ、夫の昨年の秋、文部省の展覧會で評判になつた重盛の畫を書いた人、此人を態

態聘して、あちこちと農村を廻はつて貰ひ、各村の長所を探り集めて、其の畫を書いたものを、日英博覽會に出すといふことになつて居ります。之を名けて假りに村の曼荼羅といつて居るのであります。

さういふ時勢になつたのですから、是から先きも益々諸君に御盡力を願つて、町村を良くしなければならぬ、市町村を良くすることに就ては、之を整理することが一番大事である。今度の講習では科目が澤山ありますけれども、矢張り第一の急務としては、先づ整理を以て始め、其整理が出来上つた所で、始めて經營に着手するといふことより外にはないのであります。昨日私が歸りますといふと、丁度開會式に列して居られた或貴族院議員で、内務省に長く關係のあつた方から、手紙が來て居つた。其中に言ふてあるには、『自分が開會式に列するため、會場に行つて講習の日課表を見ると、色々な科目を列べてある、中には大分洋行歸りの先生も居る。さういふ人が唯空に話をしたならば、中には唯西洋の話を聞いたといふ丈で、一種の洋行歸りのやうな形になつて終るものが出来はせぬか。それが地方に行つても、單に洋行歸りの講釋を取次ぐといふに過ぎぬようになりはせぬかと心配して居つた。所が大臣からの御話して、先づ整理から着手して段々と改めて行きたいといふ積りであるといふことを聞いたので、始めて安心をした』といふ意味の手紙を寄越されました。諸君の守るべきは、長官の御方針であります。其れを遵奉して完全に仕事をすることがために、講習會が出来たのであります。併し今申

市町村整
理の第一
歩

市町村整
理の第一
歩

した貴族院議員である方の様に心配をして居る人もあるのですから、別けて諸君に御願ひして置きたいのは、何か實行しようとする、それに就けても、先づ順序として整理から着手するといふこととあります。全國に一萬三千ある町村の中、各縣に平均五箇町村位は、多少整理と經營との見るべきものを有して居るとした所が、日本全國に三百町村しか無い譯であるから、矢張り一萬二千以上のものが、比較して云へば不整理であると謂はざるを得ぬと思ふ。又心配する方から言へば、其の良いと云はる、町村でも、中々安心する譯にはいかぬ。それであるから動とすると斯ういふ極端な事を言ふ人もあります。一年に一つ宛の整理をした所が、一萬餘の町村を整理するには、丁度一萬年掛のワケである。又一齊に各府縣の整理を始めるとした所が、餘程の年月が掛らなければ、一萬二千のものを整理することは出来ないと云ふのであります。けれどもやる氣でやれば、勿論出来ないことはないと思ふ。

そこで整理を實行するにはどうするかと言ふのに、第一に、町村の當局者及村民に於て、是非整理をしようといふ覺悟と熱心とがなければならぬ。が此覺悟を喚び起し、其の熱心を發揮させて、整理の實を挙げさせるためには、監督官廳の熱心な督勵指導といふことが、最も必要で又最も有効であります。私は市町村の整理といふことに就いては、皆さんが特に此點に注意せられんことを御願ひし

市町村整
理の第一
歩

たいのであります。市町村に對する監督の事に就ては、後で申上げるつもりであります。この監督の制度といふものが、我邦のやうに有力に出来て居る國は、世界中他に類がないのであります。どうか此の有力な仕組を有効に働かせて、市町村の整理をやつて貰ひたい。近來は各地で良市町村の表彰といふことが切りに行はれる。これは實に結構であります。併し良い市町村を賞めるばかりではないかぬ。悪い村を矯めるといふことも是非にやらねばならぬ。縣郡で悪い村を取調べ、其れを嚴重に督責して、熱心に指導することにし、一年なり二年なりを期して、必らず整理を遂げさせる様にしたい。現に福島縣では、各部役所に、郡内不良町村の臺帳といふものを作つて、この臺帳面の村數は、一日も遂に減少しよう、なくしようといふ考へで、着々と不良村の整理を行ふて居る、甚だよいことと思ふ。

整理の時
期を定め
て着々實
行すべし

そこで整理を實行する順序方法といふことになると、時と處との事情に依て違ふので、一概にどうすればよいとは言へませぬが、先づ悪い町村であるといふ最大病根から改めてかゝるといふことが、一般の原則であらう。尤も病根の深いもので、一朝一夕には之を斷絶し難いといふ場合には、易いものから改めて、漸々難い方に進み、さうして次第に其の病根を枯死させるといふのも、一方法である。要するに歩一歩と著々進んで行くより外にないのであります。第一の月には、必ず此の點を整理する、

次の月には此の方面を片付ける、第三箇月には何、四箇月には何といふ風に、何年目には必ず全部の整理を立派に済ますといふ計畫でかゝらなければならぬ。勿論必ずしも月割にせねばならぬといふこともないが、一兩年中には、必ず全部の整理を了るものと定め、其の間を適當に區切つて、整理すべき事項を配分する。それから著々として整理をやらせたならば、詰度よからうと思ふ。一方にはさうさせておいて、一方では又絶えず、吏員を派遣して、其の整理の進行如何を督促指導させて、豫定の整理は必ず實行させて行く様にしたいものであります。以上は或る一つの不良町村を整理する事でありますが、又一郡の中で、多くの村に通じて色々不整理な點があるとすれば、其等の村をして半年なり一年なりの後、其の中の一二の事項を必ず改めさせるといふことにして、其の點の整理に全力を集注し、其整理が出来たならば次は何の整理を何時迄にやらせるといふ様に、亦一方法であらう。要するにたゞ漫然と整理させよう、整理しようといふ次では行かぬ、何から整理をはじめ、何に移るといふ計畫をちゃんと立てゝかゝらねばならぬ、又かゝらせねばなりません。たゞ整理の計畫や順序が定まつただけではいかぬ。何は何時迄に必ず整理を了り、次のは何時迄に、さうして全部の整理を、必ず何時迄に完了するといふ具合に、何然とした目的を立てゝかゝらせなければ、整理の志があつても、整理すべき事柄は明かでも、整理するといふ精神が厚くなければ、容易に出来

るものではありません。

若し以上述べました様にしまして、我邦の有力な監督の仕組を能く利用し、著々整理の歩を進めて行つたならば、一萬三千の町村に亘つて整理をするといふのも、決して百年河清を待つ様なものでなく。遠からずして整理といふことをさへ口にする必要がない様になるであらうと思ひます。町村整理の事に就きましては、夫々知事さんや郡長さんの御方針もあらうと思ひますが、其の命を受けてやるも皆さん方は、別けてどうか熱心に此の事を御考へ下さつて、この講習會から御歸りになりましたらば、早速一定の計畫を立てられ、著々整理を始むるといふことにして戴きたいと考へます。

さう願つておきまして、然らば良い町なり良い村なりといふものがどうして出来るかといふ根本に遡つて研究をして見たいのであります。此の場合に於ても、矢張り自治の訓育法から研究して掛らなければならぬのであります。さうして之を實行して、はじめて良い町村といふものが出来るのであります。普通教育制度などに就ては、文部省の方から御話しがあると思ひますから、私は特に自治の訓育法に就て、諸君と御相談をしたいといふ考であります。

自治の訓育といふ事は、之を分けると先づ二つの事に歸着する。第一は公共心の養成であります。第二は所謂共同心の養成であります。一方は即ち公德の養成といふことになり、一方は即ち團結をす

る習慣を養ふといふことに外ならぬのであります。それをどういふ方法で養つて行くかといふことが、訓育の方法であり、又訓練の方法であります。「是は町村の人々に任すばかりではいかぬ。矢張り諸君に心配をして戴かなければならぬ。是が根本であります。それから整理も經營も、出来なければならぬのであります。」

數日前仙臺から熊と新聞を送つて呉れた人があります。是れには仙臺市で銀行の頭取をして居る土岐儀といふが、内務省が言ふたことであるといつて、それを材料にして『仙臺市』といふ話をして居られる。其中に斯ういふことを言つて居られる。「日本に六十一の都會があるが、内務省の明言する所に據ると、一つの市として整理も經營も完全に行つて居るものはないといふことである。だから宮城縣から、率先して一つ整理も經營をも良くしやうではないか」といふ話であります。誠に團體が大きくなれば大さくなる程、不整理になるのは残念至極であります。土岐君の話は、内務省の材料を用ひての話であります。併しながら此の材料を用ひられた土岐君が語せられた中から私は却て一部分を借りたいと思ふのであります。是は私の言ふよりも、土岐君の話の方が、實際懇切であるからであります。土岐君は英吉利のカーライルがいつた話を引いて居られる。カーライルは御承知の通り、所謂人物崇拜家であり、個人を中心にして、萬般の事物を改良しなければならぬといふ説を唱へた

人であります。此のカーライルの書いた書物が、非常に英吉利人に感化を與へました。英吉利に於ける地方の政治、中央の政治などが良くなつたのも實はカーライルが人物論を唱へた御蔭であるといつて居る人さへある位であります。カーライルの語といふのは、『政治上の事業でも社會上の事業でも、先づ心の中で完全に出来上つたものでなければ、輕みにならぬ。人間が心の中で能く練り上げて、完全に出来上つたもので仕事をしなければ、本當の改良は出来ぬ』といふのであります。是は實に適切な金言であらうと考へます。

それから此の政治の腐敗、行政の不整理といふことに就ては、日本のみならず西洋でも非常に心配をして居るのであります。私の最近に見た書物で、誠に感心したのは、オストロゴフスキイといふ人の行政論であります。是は餘程良く書いてある二冊の大部な書物でありまして、殊に地方の行政に腐敗が多い、不整理が多いといふことを、滔々千萬言を費して親切に書いて居る。併し此オストロゴフスキイは最後に結論として誠に短いことを言つて居る。其言つて居ることが正直であります。『斯んなに浩瀚な書物を書いて論じ盡したけれども、詰るところは國民の良心に訴へるより外がないといふことに歸着する。猶ほ地球が地軸を中心として運轉するやうに、地方の政治も、國の政治も、國民の良心といふものを中心として廻轉しなければ、外に方法がない』といふのであります。分り切つたこと

政治は國
民の良心
な中心と
からず

オストロ
ゴフスキ
イの言

勤勞
市

ではありますけれども、此の如くに研究をして、此の如くにいつてあるのを見ますと、我々が尋常一様に言ふのとは違つて、餘程感服をさすのであります。

近頃の事であります。英吉利では、妙な熟語が出来始めたのであります。それは勤勉市、良心市といふ語であります。正直で能く整理して居る所を勤勉市、勤勉村、それから良心市、良心村といつて居るのであります。良い町なり村なりに、良心があるといふことは語が、餘程面白い。是等は是まで日本人の言はなかつた所であります。其の意味から考へますと、英吉利人の言ふ所に感服しなければならぬのであります。

公共の心
を云ふ
自治の
心は

序でありますから、公共心といふ文字の起りを、ちよつと御話をして置きませう。是は自治制を制定する際に出来た文字であります。御承知の通り日本の自治制はプロイセンの市制から來たものであります。プロイセンの市制は、スタインといふ名宰相が居つて拵へたのであります。けれども其の市

制の草案を、誰が拵へたかといふと、是はケーニヒスベルヒといふ寒い地方の一市で、先づ日本でいへば秋田市のやうな所、其處に居る書記のブランドといふ人が作つた。實に地位の上下を以て區別すべきものではない。どんな地位の低い者でも、自ら任じて何でも改良をしようといふ考を持つてやれば此の通りにやれるのであります。流石にスタインは名宰相といはれた人程あつて、其僅かな一書記

普魯士の
自治の心
を云ふ
心は

スタイン
と愛敬心

のフランドといふ人が作つた草案を見ると、痛く敬服したので、それを内閣に提出して「此の如き人が斯の如きことを唱へて居る、是は誠に今日の急務であるから、どうしてもこの自治制を施さなければならぬ」といふことを言ひ始めたのであります。フランドといふ人はさういふ閱歷のある人であるから、今度内務省から中川書記官が洋行せらるゝ時には、もつとよく調べて貰ひたいといふ考を持つて居ります。改革案を出された時に、スタインは斯う言つて居る「自治政治の下で練習したものでなければ、國の政治には役に立たぬ。國を再興するには、郷土を愛する公共心が本である」と、かう明に言つて居る。私は公共心の定義が此時から始り、此時に最も明瞭に示されて居ると信じて居る。其當時のブローイセンは、ナポレオン一世が攻め込んで來たので、實に累卵の危きに追つて居つた。然るに此の自治制に依つてブローイセンといふものが、固まつた一大勢力となつたので、遂にナポレオンを追出した、さうして國を再興するやうになつたといつてよいのであります。其の位な勢を以て拵へた自治制であるから、それに擬へて作つた日本の自治制に就ても、此のブローイセンの歴史を考へて、大に努力しなければならぬのであります。

非
常
心
と
愛
敬
心

それから共同心といふ字であります。是はスタインが明瞭に言はなかつたのであります。此事を最も明かに世の中に紹介したのは、佛蘭西の宰相でチュルゴといふ人であります。此チュルゴとい

いふ人に就きましては、感心な事があります。此人は自己の榮轉せざるやうにといふ建白書を出した人であります。日本で言へば、幕府の中頃に當る時代に居つた人で、今から見ると百五十年位前、リョージュといふ非常に寒い地方、日本で云へば岩手縣のやうな所、且度々饑饉のあつた所の知事になつて居つたのであります。所が貴族であるから氣の毒である、良い所へ榮轉させたいといふので、親族が此の人の爲めに運動をした。其の結果遂に榮轉をするといふことになつた。其の時チュルゴが建白書を書いて「自分は此の饑饉の國を棄て、榮轉をする希望を持たぬ。どうか災害に遭ふゝ居る人民を助けたい。榮轉は御免を蒙る」といつて再三再四、榮轉を願はぬといふ請願書を出した。其實自分は非常に病身であつたから、榮轉した方がよかつたのであつた。丁度同時代に日本でも津輕信政公といふ人があつた。是は弘前から來て居られる方は能く御承知であります。此人は白河樂翁公に知られて、當時の老中に推舉せられやうとした方でありました。所が此の信政公は其の時に津輕の饑饉に困つておるのを棄て、老中になることは出来ぬと言つて斷はられた。丁度此の話と能く似て居るやうに思ひます。今日でも津輕方面の榮えて居るのは、此信政公の御蔭であります。それでチュルゴはデュボンといふ學者と相談をして、自治制を施いたのであるが、其時分に此人が「共同心といふもの程、大切なものが無い」といふことを言つて居る。其當時には、貴族と平民との軋轢、言換へ

ると地主と小作人との軋轢が盛んであつて、連も是では國の維持が出来ぬと思はれました。其の際に「テュルギー」が共同心を唱へ出したのは、全く時宜を得たものであります。以上申述べた様な具合で、公共心とか共同心とかいふ字が、西洋にやかましく唱へられたものであります。

以上二つのもの、養成をば、何等かの方便を以て是非やらなければならぬといふのが、次の問題であります。それを名けて私共は自治の訓練方法といふのであります。教育の方面でも、勿論此の精神を以てやつて貰ひたい。其他各般の事業に於ても、此精神を以てやつて貰ひたい。近頃獨逸あたりでは、「自治の新生活」といふことを、大變やかましく云つております。それは是までも農村都會は勿論進んでは居るが、猶もう少し活かしたい、活氣活力を持たせたいといふので、自治の新生活といふことを言つて居るのであります。是も矢張り訓練に依るの外はないのであります。それから亞米利加あたりでは、近頃民育論といふ事がやかましい。「教育といふだけでは狭い、民育でなければならぬ。子供を教育するばかりでない、大人をも何とか訓練をして、良國民にしなければならぬ」と言ふて居る。此民育論を唱へたのはウイスコンシンといふ大學の教授であるウイルコックスといふ人であります。此人の本を翻譯したものが、内務省にあります。矢張り自治の訓育法に關して居るものであります。私共は今日諸君と共に、一萬何千といふ不整理な市町村を控へて居ります。之れを整理するといふ

自治の
新生活
命の
治の
命の

英國の
民衆の
自治の

英國の
民衆の
自治の

ことは、餘程困難ではあるけれども、併しながら西洋の實例から見ても出来ぬことはないと思ひます。成程西洋には、非常に整理して居るものが澤山ありますけれども、昔は非常に案れて居つた。或點に於ては日本よりも一層ひどかつたかも知れぬ。今から百年前に於ける英國の町村は、實に言語道斷でありました。其の一二の例を言ふと、メンドストーンといふ町に、斯ういふことがあります。餘りひどい町であるから、町の當局者に推されやうとした時に、賄賂をやつて當選せぬやうに運動した人が出来るやうになつた。どうか私を投票して呉れないやうにといふて、賄賂を使つた。それからデルビーといふ所の學校も、百年前には不整理極つた學校であつて、あゝいふ學校には子供をやれぬといふて、校長の子供が、たつた一人しか出なかつたといふ話であります。それから「コベントリー」といふ町、此處の學校では校長と教員との二人で、學校の基本財産即ち學資金を分けて取つた。それから町村長と監獄に居る囚徒とが、角力を取つたといふこともある。其の頃監獄も矢張り自治の行政に屬して居つたのであります。そこで町村長が囚徒を監獄から引き出して、さうしてそれと角力を取つたといふのであります。それから或市の市長など、いふものは、眼に一丁字がない。役場の書類がどういふ書類であるかといふことも分らぬ。それであるから判をつくことも出来ないから、豫め白紙に署名して置いて貰つたといふことである。それから平均して十年間も役場に出なかつたやうな名譽職が、随分あ

つたといふことであります。英吉利でも曾ては斯ういふ時代もあつた。所が今日の英吉利はどうであるかといふのに、公共心の旺盛なることは、驚くべきものであります。是は色々な方便に依つた訓育の方法が行届いて來た結果であると私は信じて居ります。

何づれ中川書記官なり、生江囃託なりから、英吉利で以て公共心の最も盛んなグラスゴー市の話をされること、思ひますが、私も一つグラスゴーに就て、紹介をして置きたいのであります。それは或る亞米利加人の作つたグラスゴー巡遊記といふものの一節であります。亞米利加の人は何が故に英吉利の事を研究しに行くかといふと、米國の現状を書いたものに、かういつてある。『亞米利加の自治制は、今日殆んど腐敗の極に達して居る。一たび市町村長が迭るといふと、小使に至るまで迭へて仕舞つて、自分の黨派から出して來る。實に亞米利加は言語道斷である。それであるから良い人は、成るべく名譽職などにならないといふ方針を執つて居る。名譽職になるのは、出口も入口も分らぬ數に這入るやうなものであるといつて居る。斯ういふやうなことで町村の改良は出來ぬ。唯金があるから金力で仕事をする。併しながら公共心といふ事に向つては、誠に後れて居る。故に亞米利加の方では、是非此の趨勢を挽回したいといふので、色々の人が英吉利に行つて研究するのである』といふことです。

ホーエー

茲に御紹介しやうといふのは、ホーエーといふ人が、千九百七年にグラスゴー市を觀て、巡遊記と

のグラス
ゴー巡遊
記

いふものを書いた事であります。それを讀むとグラスゴーに行つて感心したことが、眼に見えるやうに書いてある。私共もグラスゴーに行きましたが、それは五六年前であります。此人の行つたのは一昨年であります。グラスゴーはスコットランドの真中に在る、寒い地方の一市、日本で言へば東北地方の一都市であるといつて宜しい。併しながら寒い國の方が、向ふでは却て成績が良い。英吉利の有名な學者なども言ふて居る。『どうも絨緞の上に居る者に限つて、良くならぬ。寒國に居つて裸足でドン／＼出て働くといふやうな、比較的野蠻な粗野な、^{ペンシルベニア}山國の人の方を見ると、成績が良い。スコットランドの如きは、其一例である』と言つて居る。今日ではグラスゴーは實に驚くべき都市であります。總ての經濟を合せますと、一億七千萬圓を計上して居ります。日本などの都市は、全く比較にならない。水道とか電氣とか瓦斯とかいふやうな、収益の事業から這入つて來る収入を見るのに、一箇年三千万圓に上つて居る。餘り大き過ぎて日本の市にさへ、比較にならないから、町村などには無論比較にならないといふ人もあるかも知れませぬが、併し小さいものを持て來て日本へ比較して見た所で、向上心を喚起するに足らないから、矢張り大きいものを手本にして、それに追つ附かうといふ方が良からうかと考へます。それであるから都市の人達に向つては、是非に此のグラスゴーの事を紹介して置きたいのであります。併し其の精神から申すと、農村でも矢張り同じ事であります。

グラスゴーは良心市である、勤勉市であるといふことを、ホーエーが其の『巡遊記』に書いて居りますが、日本でも斯ういふやうな町なり村なりを、西洋で紹介することの出来るやうになりたいものと思ふのであります。此のホーエーといふ人が、馬車を備つて市役所に行く道すがら、馬車の馬丁と問答をしたことを書いて居ります。『お前は馬車の馬丁をどの位して居るか』『私は二十年して居ります』と答へた。今度は馬丁の方からホーエーに質問をして居る。『お前は世界に於ける都市の最も良い都市を見に来たのであらう』と馬丁の方から尋ねた。『さうだ』と答へて、更に『前は此のグラスゴーをどう考へるか』とホーエーが尋ねると、『實に税が安い』と云つて居る。税は安い、仕事は實に良くて呉れる。それから公園の方に、馬車が廻つて行くと、公園の説明を詳しく馬丁がやつて居る。『お前は大變町の事に詳しいな』といふと、『私はかりではない、此町に居る人は、大抵私の言ふ位な事を誰れでも話す。私がお前に話して居る事を、總ての人が話すばかりでなく、大抵の人は電氣のことで、水道のことも知つて居る。總ての事を、何でも言へる』と馬丁が答へたから、さういふ點で以てホーエーが先づ感心しておる。是は全くグラスゴーに於ける講話會の御蔭であります。講話會では何時でも町の人を集めて、町の有様や事業の事共に就ての話を聞かせる。それであるから誰でも大抵の事を知つて居るのであります。是は實に良い事であると考へます。日本の町村にも講話會

グラスゴー市講話會

とか、青年會とかいふものがあります。是れもさういふ爲めのものでありませうが、またさう旨くは往つて居らぬ。人民と當局者とが所謂喜憂を共にするといふことは、西洋でもグラスゴー程に往つて居る所は少ない。今日は水道の講話會がある、明日は教育の講話會があるといふので、始終市民を集める。東京でも近頃市教育會の事業として、講話會を始めました。一ツ橋の高等商業學校で、一月に一逼位はある。一年に費す所が僅かに二三千圓ぐらゐるものであります。是れは餘り金を使はずに、日本の市でも町村でも出来ることであります。けれどもそれに斯ういふ一つの心配がある。即ち皆んなが税を滞らしては到底斯ういふ事業が出来ない。そんな心配のないものとして、負擔が少し位重くなつても、有益な事業であるから、之れは是非にやつて貰はなければならぬ。斯ういふ風にして、町村會、市會などの外にも、市民町村民を集めて、市や町村に必要な話を聞かせる機會を得させたいものであります。此のグラスゴーの馬丁などは、全く講話會の御蔭で以て外來者を驚かせるほどの知識を得たのであります。

それからホーエーが、ダルノールといふ所の下水を見に行つた。高い塔に上つて、下水の説明をして呉れたのが、老人の下水係である。『何年お前は下水の事をやつて居るか』といふと、『今年でもう五十年である』といふ。其の年を八十歳と見ても、三十の歳からやつて居る次第である。段々説明をし

勤続五十
年の下水
係

てから「近頃段々と私が工夫をして、汚い水が此通り奇麗になつて河に流れる。河に汚い物を流しては、衛生上悪いから、此通りに濾して居る。どうか一杯飲んで見ぬか」といふて、一杯飲んで出した。ホーエーは「今朝喉が渴いて居らぬから」といつて飲まなかつたといふことであります。私も伯林でさういふ目に遭つた。奇麗に濾されてあつて、宮中の御庭にも這入る、一杯飲んで御覽なさいといふて出された。私と一緒に居たのは、京都市の助役でありましたが、それを飲んで見て、誠に奇麗であるといつてをりました。其の下水の職務を有つて居る案内者が言ふには、「是程大切なものはない、伯林に二百萬も居る人間の命を此處で預つて居るのであります。是れ程楽みなことは無い」と言つて大に任じて居りました。そこでホーエーがグラスゴー巡遊記にかう言ふて居る。「熱心といふこと、趣味といふこと、信仰といふこと、それから名譽といふこと、を以て、斯ういふ立派な都市に住んで居る。此四つのものがグラスゴーに於ける市民の特長である」と言つて居る。

それから市役所に行つて、市長を訪問した。其時ホーエーが市長に向つて、「どうも亞米利加あたりでは、漬職罪が多い、公金の費消、請負の弊害が最も甚しいが、こちらでは如何であるか」と、大膽に尋ねて見た。所が市長が言ふには「私は五十歳まで市會議員をして居つて、市長になつてからも二十年になるが、さういふ話は餘り聞きませぬ。併し幼少の時分には、斯ういふことがあつたと思ひます。

諸負商人から賄賂でも持つて來ると、其れを買つた市會議員が其の賄賂を買つた儘で包みにして、市會に出てそれを議長の上置に置くことになつて居る。さうしてそれは慈善事業にやるといふことになつて居る、たしか若い時にさういふことが一度あつたが、それ位のことである」と市長が明言して居る。都市の行政に對する觀念が餘程能く進んだものであります。それから此の市では、色々な収益事業をやつて居るが、事業局長のターロンといふ人に會つて、ホーエーが「こちらでは澤山の職工を御雇ひになつて居りますが、何人居りますか」といふと「四千四百人居る」といふ。それでストライキなどはありませぬか」といふと「職工には一々教へることを力めて居りますが、ストライキなどに出喰したことがない」と言つて居る。それならばグラスゴーの市長などになると、餘程金が取れるかといふのに、グラスゴー程の經濟から言ふと、却て損ばかりしてをるのである。毎年何十萬圓といふ宴會費などは、自腹を切らなければならぬことが多い。それ故どうしても徳望と實力とが共に一流の人でなければならぬ。又それ位の人でなければ市長にはせぬ。それであるから唯名譽だけで、退職してから後には、市會議事室に油繪を書いて遺して貰ふ位のものだと言つて居る。又市會議事室に油繪を書いて遺すやうなことが、餘程名譽なことである、さういふ譯であつて昔は随分ひどかつたが、今日は非常によくなつて居る。前に英吉利の内閣總理大臣をして居つたバーナムといふ人が「グラス

ゴも百年前には言語道断であつたが、今は整理し改良せられて山の上に在る都市である。人々皆仰いで之を見る。グラスゴーは真に山嶺の都市である。」と言つて居る。

それではどういふ方法に依つて、自治の訓練をするかといふことを、是から順次御話致します。

第二 自治訓練の種類

其一 教育に依る自治の訓練方法 教育に依る自治の訓練方法は、獨逸が一番良い。英吉利のやり方を人格に依る訓練方法といふならば、獨逸のやり方は教育に依る訓練方法といつてよろしい。英吉利は前に述べた様に、名望のある市長の下に居るから、自然徳化されて居る。或は之を名譽主義の自治制とも名ける。之に反して獨逸の方は、學問のある者、教育のある者を村長や町長にする。之を名けて技能主義の自治制といふ。それであるから採用するにも試験がある。さういふ風に教育を重んずる國であるから、自治の訓練方法も、矢張教育に依つてを。即ち議員の制度であるとか、參事會員の制度であるとかいふものも、教育主義に依つてゐて、段々と若い人に教へ込んで、練つて／＼練り上げて、町村長にもし、更に之を市長にもするといふのであります。

少年時代

茲に所謂教育に依る自治の訓練法といふのは、主に少年時代に就いていふのであります。向ふでは

自治の訓練方法

補習教育に
伴ふ公共
心の養成

少年時代の訓練方法を如何にするかといふと、それは補習教育に依つてやるのであります。小學校では公共心の養成や、社會に對する道德の訓練には少し早過ぎるといつて居る。小學校を卒つてそれから實際の社會へ乗出さんとする其際が、一番大切である。それが即ち補習教育の時機であります。向ふでは日本と違つて、補習教育に強制主義を取つて居る。義務教育を卒つても、青年の時期に達するまでは、是非補習教育を受けなければならぬ。御承知の通り、補習教育は職業に就いて居る儘で、教育を受ける。大工は大工で、日に一二時間大工の教育を受ける。農民は夜間に農業の教育を受ける。即ち其職業に近い教育を受けるのであります。其の時分が一番良いといふ考であります。我邦に於ても、文部省に依つて補習教育の方法が設けられてを。補習教育を行ふ時期が、即ち青年時代でも最も危い時で、又最も大切な時である。不良少年も、多くは此時期に出来る。親の監督が鈍くなつて、色々社會の惡事を覚えかけようとする。此際が最も危険な時期である。併しながら實際社會に取つては、最も大切な時である。此機を逸せずして、爰で公共心の養成をする。村を大事にしなければならぬとか、町を大事にして之が爲めに盡力しなければならぬ、といふやうな心得を話して聞かしたり、又さういふ風の習慣を付けたるするには、最も良い時期である。是は英吉利人などの餘り言はぬ事でありませうけれども、流石研究心に富んでおる獨逸の事ですから、明瞭に其事を言つて居る。

小學校生
徒自治團

然るに亞米利加では、逆も補習教育までが待てぬといつてを。亞米利加は政事が腐敗して居るから頑固のない子供の時分から、頭に此思想を注ぎ込まなければならぬといつて、自治體に擬した教育、といふものがあつて、小學校の時代から町村らしくやらうではないかといふので、それを實行して居る。生徒の中に幹事を置いて、其中から幹事長を選ばせ、さうして何でも一同が相談をしてやつて行くといふ、詰り自治體同様にやつて居る。之と同じ方法で靜岡縣なる榛原郡吉田村の小學校が、學校の生徒に自治團といふものを作らして居る。六名の生徒を一部にして、其部々々で色々相談をすることになつて居る。もし其中の子供が病氣であると、見舞に行く、旅行をすれば迎ひに行く、といふやうなことをして居る。併ながら私は餘り之をやり過ぎると、理窟が先になつて、道理の方をよく覺えるかも知れぬが、情育といふ方が、出来ぬといふことになりはせぬかと思ふ。免に角亞米利加では、自分の國が後れて居るので、非常に急いで居ります。

青年會の
山林手入

日本でも青年會などで以て、地方々々でやらせるのは大變良い。例へば山の手入れ、石垣の修繕などをやる。此等は青年會員にやらせる方が良い。石川縣では或る青年會が、四十町歩の山林を植ゑたといふ所もあるが、現在はどうです。

石川縣屬河崎宇吉郎君、手入も済んで居りますが、十分なことにはいきませぬ……

北米ス
ラング
イルド
の
少年
營林
員

是は石川縣には限りませぬ。亞米利加のスラングイルドといふ町では、營林の事業をやらせるのを少年に限るといつて、町の少年を四千人も雇つて、少年營林員といふものを設け、それで以て害蟲の驅除をやらせてを。それから又町の少年に、道路の小破損修繕などをやらせて居る所が澤山あります。之を少年に任せるといふと、道路を大事にする。我邦では是等の事を青年會などにやらせるのも妙であらうかと思ふ。一體道路が立派に出来ても、どうも小破損の修繕を怠り勝ちになるものである。それが爲めに破損が大きくなるのであります。

青年會の
道路修繕

滋賀縣の如きは、小破損の修繕が能く行届いて居る。其れが爲めに同縣の清水技師などは、最早や自分のゐる必要がないといつて居る。私は同君に向つて、『滋賀縣の道路を通ると、君の頭の上を通つて行くやうな心持がする』と申しましたが、是等の事業などは是非何處でも青年にやらせたい。それから青年に能くさせるのは、村の基本財産を推へることあります。是は各地に種々あります。宮崎縣小林村の提共志會といふ青年團體では、鶏卵を醸出して、村の基本財産を作つた例があります。今日の狀況はどうです。

青年會の

宮崎縣屬井上允君、今日は引き續いて良くなつて居ります。既に金を村に七百圓ばかり出しました。其當時の報告には、四百圓とあつたが、餘程殖えたものと見えます。兵庫縣で私の聞きましたのは、

協の矯正
に努む

或る村で或る村民が納税を怠つた。それを青年會が聞いて、「税を怠るといふのは残念である。此の鶏を貸すから卵を取つて、それで税を御拂ひなさい」といつて、鶏を貸したといふことでありますが、それは何といふ所でしたか。

兵庫縣屬長瀬貞夫君、揖保郡譽田村の矯風會……

余土村の
青年と村
是の調査

それから冒目の村長が居るといふので有名な愛媛縣の余土村、其處では村是を作る時に、村の青年にそれを作らせた。是は成程良い。どうも自分の村には、米の出来上りが反別の割に少い。斯ういふことでは困るといふので、村是を調査させると、自分の村の缺點が、青年の頭に確かと注ぎ込まれる、此青年會は近來どうですか、

愛媛縣屬中村潔君、農業などに就ても青年會員が他の町村に雇れて行くといふやうなことがありますが。

青年と消
防

それから亞米利加人は、非常に消防の事を貴んで居ります。少年に自由の精神を養ふのは、之に限るといつてを。併し日本では、少年消防といふ事も出来すまい。けれども日本の少年會で、金を出して消防の機械を村に具へたといふ例は、澤山ある。廣島縣沼田郡千歳村の例を報告になりたい、廣島縣屬武岡充忠君、消防機械を購入してやつて居りますが、それは千歳村に限りませぬ。他にも

やつて居ります。又最初は自ら消防をやらせました。

兒童俱樂部

亞米利加
に於ける
「愛郷俱樂部」

又自治訓練の一つの方法とも申すべきは、兒童の俱樂部であります。是に依つて練習をやるのが大變宜い。亞米利加にはリンコン俱樂部、ワシントン俱樂部といふやうな、古人の名を附した俱樂部がある。日本でもさういふことは、大變面白いと思ふ。チヨツと亞米利加のアツペーといふ婦人に就て御話をしたい。紐育の人間が、紐育の事を一向に知らない。小學校の先生も、郷土の歴史に暗い。唯空に知識を注込んで駄目である。郷土の知識を注ぎ込みたい」といふので、此のアツペーといふ婦人が「愛郷俱樂部」といふものを設けました。さうして故人の誕生地に遠足したり、故人の歴史を説明をするやうなことをしたりして居ります。是は小さい形でやるならば、日本でも出来るのであります。

兒童文庫

新潟縣
善組合の
實行せる
文庫

又兒童の爲めに文庫を設けてやることも甚だよろしい。地方に圖書館を設けるといへば、何か宏大なものをやらなければならぬやうに考へますが、さういふ大袈裟な事はいらぬ。兒童文庫でよろしい。先づ、村長の家か有志家の家でもよいが、一室を貸し與へて、其處に集めればよろしい。之れに就て新潟縣の積善組合がやつて居る文庫事業があります。

新潟縣事務官楠相馬恒彦君、先づ積善組合の起りをちよつと申上げます。それは明治三十年であつ

たと思ひますが、一の貯蓄組合を作つた。其の貯蓄の組合を作りましたのは、素と保險會社のやうなものが澤山這入つて來まして、地方の資金を中央に皆吸収して仕舞ふやうな傾きがあるから、それを無いやうにしたいといふので、積善組合と名けて、一番に此貯蓄組合を作つたのであります。其れが非常に能く發達しまして、今日では殆ど七十萬圓位の貯金を有つて居ります。それに二萬以上の會員があつて、全縣下を統一して居ります。今日では其の貯蓄金の利子で以て、色々な仕事をして居るのであります。貯金者にも相當の利子を附けますが、其の利殖した一部の金を以て、相互の救済をもやつて居ります。それから、講演會をも開くし、學生の養成をもやつて居ります。其他色々な仕事をやつて居る。其中で巡回文庫といふのが、漸く昨年から始められました。極く簡單なものであります。ちよとした小さな箱を作りまして、其箱に百三十冊の本を入れて置きます。さうしてそれを今日では十五箇所に配付して居ります。十五箇所の役場若くは小學校で、閱覽所を定めまして、重に小學校の兒童に讀ませて居ります。それから其本を時々に変換して、新しい物を見せるといふことになつて居ります。此事業を始めてから、僅か一箇年しかたちませぬけれども、今日まで其の本を見ました人數が、殆んど二萬人以上上つて居ります。それがために近頃は其中で最も良く成績を擧げて居ります兒童に向つて、表彰の式なども行いました。さうして本を讀む

ことを奨励して居ります。此の巡回文庫といふものは、積善組合が初めは手本を出した爲め、各地に起つて來たのであります。例へば古くから成立つて居る村に於きまして、一つの圖書館次が出來ても遺憾でありますので、三種の巡回文庫を作りまして、それを各大字に廻して歩くといふやうな具合になりまして、各村に澤山な巡回文庫が出來ました。資金は餘り掛らぬのであります。併し千葉縣とか山口縣あたりにありますやうな、完全な巡回文庫はない。極めて幼稚なものであります。併し此の事業をば積善組合といふ一つの法人組織でやつて居るのであります。

それから最も簡單なものをいへば、家庭文庫であります。是は子供の家でも出來るのであります。二十軒位の家庭が申合せて、何か良い本を買つて置く。さうして銘々を以て集まると二十冊集るワケであります。それを先づ甲の家に集め、其の次には乙の家に集めるといふ風にして見たならば、餘程儉約が出来る。それを讀んで家長の人なりが話をするなり、或は學校の先生に來て貰ふなりしてやるのも面白からうと思ふ。是などは日本に最も適當であらうと思ふ。是等の方法に依つて、段々と子供の時、青年の時から養成をしたいものと思ふ。

其二 人格に依る自治の訓練方法 是は申すまでもありません。所謂中心人物を求めて、それにしつかり頼まうといふのであります。是は諸君の中にも澤山例があります。日本の是までのやり方は、

多くは是であります。事業をやる訓練方法に非ずして、人格に依るのであります。けれども此方法は動もすれば其人が亡くなると、後が續かなくなりますから、前者と併せて行ふやうにしたいものと思ひます。

キッドの

英吉利のキッドといふ人は、社會の感化力を人に依る感化と、物に依る感化とに分けて居ります。或は個人的感化、社會的感化といつて居る。英吉利のやり方は、大體に於て是まで人格に依るの感化であつたが、それでは足らぬといふので、獨逸のやり方たる技能に依るの感化を加へてやるやうになつた。日本では今は斯ういふやうな時代と思つて居る。

三河の古橋
陣兒

今度内務省の參考品陳列場に三河の古橋陣兒といふ人の碑文が出て居る。地方長官の控席の隅に出て居る。是は諸君も『自治要鑑』等の書物に依つて能く知つて居らるゝことと思ひますが、私は其親類である所の挾間奎右衛門といふ人を訪ねて、岐阜の中津といふ所に參つた。此挾間奎右衛門といふ人は、一人で三萬圓も出して高等女學校を立てた。平素儉約な人で勤勉力行して、大きな財産を作つた人であります。土地に女學校が無ければ、女房になるのに適當な實業教育が行はれぬといふので、高等女學校を拵へた。此の人をして公共の事業に手を出させるやうにしたのは、愛知縣で農會の副會長をして居る古橋源六郎といふ人であります。古橋陣兒といふのは、其の親父であります。此の人の

事蹟も、矢張内務省から嘗て配付しました『自治要鑑』の中に書いてあります。此の古橋陣兒が村長をして居つた稻橋村といふ所は、誠に山間の僻村であります。其處で村の産業を興さうといふので、茶の奨励を非常にやつた。大地主の身でありながら、畑に出て自分で茶の世話をやつた。とう／＼卒中か何かで、畑に倒れて亡くなつた人であります。其時分には前以て遺言してあつたのであります。『此の通りおれが熱心に奨励するのであるから、自分の死骸を寺に持つて行かずに、茶畠の真中に墓を設けて貰ひたい。』斯ういふことを遺言して、死んだので、墓を茶畠の真中に建て、あります。先年其墓を寫眞に取つて宮内省を首じめ、方々へ出したことがあります。斯ういふやうな種類の中心人物を求めて、仕事するのが大變に良い。是は精神の感化でありますから、必ずしも仕事をする上ばかりではありませぬ。總てに至大なる感化を受けるのであります。

カーネギー
の圖書視實教育
と國民教育

『英吉利では公益事業などの創立費といふものは、大抵篤志家の寄附に依つて出来て居る。カーネギーなどは圖書館の爲めに二千萬圓も金を出したといふことである。其外小さい人で創立費を出した人は澤山ある。英吉利などでは自分の誕生日に、公衆の爲め浴場を設けたといふやうなことも澤山ある。其外教育に屬する學校、圖書館の如きものをも、勿論やつて居る。近頃は段々外國でも、資産のある人達が、お祝ひの費用を省いて、徒弟學校を造るとか、或は子守教育に金を出したといふことがある。

やうであります。どうかさういふ習慣を、我邦にも作るやうに導いて戴きたい。

それから御参考の一例として、御話し申したいのは、是れも内務省で据ゑました『田園都市』などにも書いてありますが、佛蘭西のエロール縣の葡萄組合の事であります。其の組合長の名をエリー、カタラーと申します。二十四歳の時驟然として従來の非を悟つた。一生空な事に奔走してはつまらぬから、どうか當時葡萄業の甚だ振はなかつたマローサンといふ村の改良をやりたいといふので、小さいな仲買人でありながら、儲かつた金で葡萄の産業組合を作つて、小作人を改良して行つた。そこで小作人もさう彼の人にはばかり厄介を掛けては濟まぬといふので、百二十一名の人で組合を作つてやつた。こちらからも其の事業に感心して手紙をやつたことがあります。『戦勝國の日本にまで、私の仕事を知れて居るとは意外である。實に是れ程喜ばしいことはない』といつて眞に雀躍して喜んで手紙を寄越してあります。其の手紙なども今度の陳列場に飾つてあります、各國の例に見ますのに、さういふ篤志な人物を中心としてやつて行くのが、何より早い方であるやうに思はれます。

其三 家庭に依る自治の訓練方法 是は家庭から這入るといふ訓練方法であります。随つて内助の點には、婦人の力が最も大切であります。亞米利加人は一家庭を以て、民育を受くべき第一の場所として居ります。家庭からして自治の進歩に貢献することが出来れば、之を内助による自治の訓練方法

佛蘭西
エロール
縣の
葡萄
組合
の
組合
長
の
名
を
エ
リー
カタ
ラー
と
申
し
ま
す

と申してもよろしからうと思ひます。

元の船取
村長田村
又吉氏と
夫婦の一
人
物
の
中
心

昨日も伊豆の稻取村から、書家が歸つて來ての話しを聞きました。其の書家が感心したのは、元の村長であつた田村又吉氏、是れは二十年以上村長をやつた人ですが、『村長として改革をするのは、職に依つて出来るのである。それでは又やり悪い事もある。どうか一平民として村の改革をやりたい』といふ考を興した。又『事業ばかりでない、精神の根柢から、村の改良をやつて見たい』といふので、遂に村長の職を退いた。其の時に一生村長の職に就かぬと言つて袴を焼いた。其時分に——

是は今まで『自治要鑑』にも、『田園都市』にも書いてありませぬが、今度書家が歸つて來ての話しを聞くと、——愈々職を辭するといふ時に、太田某といふ高等小學の校長を自分の宅に呼んで、女房と一緒に手を合せて、此の校長に頼んだ。『自分は是れで一生村長の職に就かぬ。併しながら村の事は何とかしたいものである。此の儘ではなかく、續きはせぬ。どうか一つ教育の方から、村の改良を研究して貰ひたい。就ては私共夫婦の者が御願ひするから、是非あなたにやつて貰ひたい』といつて、手を合せて頼んだ。夫婦で校長に頼むだといふのは、どんな譯であるか』といつて、書家が聞いた。ところが田村翁が言ふには、『是れには謂れがある。私しいくら一生懸命に盡力しても、其の事を家内に能く言ひ聞かせておいて、平生から其の考へを能く示して置かなければならぬ。それで自分が職を辭

する際に、此の事を妻の頭に確かと入れて置かせたい爲めに、さういふことをさせた」といふのであります。

それから今度實驗談をして戴く爲めに招きました、静岡縣の高林維兵衛君、是は農工銀行の頭取をして居らるゝ方で、又村の改良に熱心な方であります。今度來て貰ふに就ても『自分の後ろ立としてやつて居る村長を呼んで貰ひたい。自分を呼んで戴いては、村長に濟まぬから御断りをする』といつて、手紙を寄越されましたが、併しながら『どうか來て貰ひたい』と言つてやつて、遂に來て貰ふことにしました。一體農工銀行と言ふものは、農村のためになるやうな貸附法をせねければならぬものであります。それに就ては高林君のやり方などは、一般の農工銀行の頭取や取締役の人々などに知らせたいと考へます、廣島縣の農工銀行も能く其方に注意して居りますが、外のは随分其の正當なる軌道を逸して、事實政治の機關になつて居るのもある様であります。此の高林君は『どうしても村の改良が家庭に在る。如何に税を納めさせやうとしても、如何に衛生を奨めやうとしても、家内が其の料見にならなければいかぬ』といふので、其の居村たる有玉村では、疾くから家事講話會といふものを始めて居られる。どうも此んな種類の講話會では、是れが始めかと思ひます。是れは家内の者にも、能く會得の行くやうに、村の事や公共の事を話しをして聞かすのであります。

一大分
鐘に於
て漁
村の
活動
する
女子
の力

それから大分縣の南海部郡なる或漁村では、婦人が盡力して消防組が出来たといふことであります。女が其の練習をやつて居るといふ事です。又それが學校をも設けて、開校式を舉行するのにも、總べて女がやつたといふことであります。

大分縣屬佐藤益三君 私は詳細な事を存じませぬが、唯其れ等の事を女がやるばかりでなく、實際あの邊の漁村では、家の財政は總て女が持つて居るのでありますから、總て公共の事にも、皆女が出て來て、仕事をやるといふ風が行はれて居ります。

其四 宗教に依る自治の訓育方法 近頃は宗教家が色々と農村の爲めに盡力して呉れますのは、誠に結構であります。滞納の整理などに就ても、説教があつた序に、其あとへ直ぐ助役などが顔を出して、『いつ何日は愈々公租を納める時期である、宜しくやつて貰ひたい、いつ何日は清潔法をやる日であるから一つやつて貰ひたい』といふやうに頼むのみならず、其の説教の中にも、それを入れて貰ふのが、一番近道であらうと思ひます。滞納などを平氣で居るのは、教へぬのが罪であります。それではいかぬと教へてやれば、屹度悪いと知るのであります。

伊國、白
け等、に
於ける
宗教の
力

英吉利のエドウィン・ブラッドといふ人が、『農村一新論』といふ本を書きましたが、其中に斯う言つて居ります。『既に伊太利、白耳義あたりで、産業組合が盛んになつた。是れは誰の力であるかとい

より産業
組合の盛衰
何となれど

松林了親

山口縣久
米村の眞
宗僧侶と
特殊部落
の牧師
河野諺聞

ふのに、宗教家即ち教會の方である」といふことを特筆大書して居ります。又其の本に書いてあるものを見ると、或農業組合で用水が壊れた、どうしやうかと言つて居ると、『それをおれが直してやる』といつて、耶穌の宣教師が直してやつたといふやうな例を澤山書いてあります。日本でもさういふやうになつて呉れ、ば宜いが、或所では此村に這入つて貰つては、困るといふやうな僧侶があるといふことを聞いて居ります。

愛知縣碧海郡なる安城町といふ所の青岸寺といふ寺に、松林了親といふ住職があります。此の人は自分で貰つた御布施を、悉く夜學校の費用に使つて居ります。此人の妻君は稻取村に處女會があるといふことを聞いたので、自分が主唱して此村にも處女會を始めたのであります。それから自分等の生活に對しては、自分の寺に附いて居る田があるからといつて、二人でそれを耕して食つて居る。始終手足に鞭を切らして居るから、鞭の和尚といふ名が附いて居る。始終青年などの爲めに盡くして居るので、何れも非常に感化を受けて居ります。

それから近頃山口縣から歸つて來た人の話を聞くと、山口縣の都濃郡なる久米村の或住職が、特殊部落を改良して、税などに一文も滞りがないといふ話であります。

山口縣岡村勇三君 唯今御話のは、山口縣の都濃郡久米村に、河野諺聞と申す僧侶であります。

此人が宗教及び教育の上から、一つの特特殊部落を改善したといふ事實があります。其坊さんは、山口縣の授業生といふ免許狀を持つて居りまして、四五年の間、小學校の教育にも従事して居りました。それから小學校の教員を辭しまして、自分の特殊部落に歸へりました。其の部落の爲めに、色々熱心いたしましたのは、明治十九年の二月頃であつたといふことであります。

其の十九年の二月頃、諺聞が特殊部落に歸つて見ると、一般行政の不整理、其外意納處分であるとか或は小學校の就學の状況、其他萬事に於て見るに忍びない状態であることを嘆いて、是非其之を立派な部落に改めやうといふ決心を起しました。そこで其の年の二月、青年行道會といふものを起し、又婦人美成會といふものを設けて、婦人の方からも改良を企てることにしました。それから進德會といふものを設けた。さういふやうに、色々な機關を作りまして、改良の歩を進めました。一面には毎月二三回の公會を開いて、講演を致しました。其傍ら説教の序に、教育其他納税義務の大切な事などを説いて、改良を企てたのであります。此の如く熱心に致しました結果、其効果が非常に現れまして、現在此の部落では、久米村の中でも、優れた部落であるばかりでなく、山口縣下に於ても、他に例を見ることが出来ない程の好成绩を擧げて居ります。

農事の改良に就きまして、三十四年の頃から山口縣では苗代を短冊形に改良することや、正條自治訓練の方法

植の事などを奨励を致しましたが、此部落では河野諦圓の盡力に依つて、三十四年よりも前から、既に各戸に實行されて居りました。又小學校の児童を奨励するのにも、自ら率先してやつて居るの必要があります。山口縣の三事業として居るものも、此の部落では、一つも特別に奨励をするの必要が無くつたといふ位であります。近くは共同苗代といふ事を、縣下に奨励いたしますが、此の部落では縣下に率先してやつたのであります。即ち部落の三十六戸が申合せをしまして、反別五反六畝歩の共同苗代を實行いたして居ります。而も其成績は極めて良好であるといふことであります。けれども共同苗代といふものも、實は廣島縣で以て共同苗代の利益を認めて居る所から、其に伴はれて思ひ付いたのであるといふことです。そんなやうな次第で、河野諦圓が晝夜を分たす、熱心に共同苗代の利益な事を申した所が、漸くに其言を信じて實行する事になつたさうであります。諦圓は宗教家でありながら、自ら衣の袖を褰げて、田の中にも入ることを何とも思はないのみか、肥料などを自ら施して、部落民と一緒に共同苗代の事に従事したといふ事を聞いて居ります。

其外一般の公心が段々進みまして、近くは斯ういふ事實を聞いたこともありまふ。今年の春に當りまして、其部落に恰も四十二と六十一とに當ります者が七人だけでございました。從來の慣例に依りますと、此の七人が其の家内で以て祝ひを致し、近傍の者を呼んで饗應をしなければな

らないのであります。所が、既に諦圓の感化によつて、一般の宗教心、公德心も高まつた爲めでありませう。此の七人が申し合せをしまして、大須賀郡の久賀町といふ所から、態々坊さんと呼びました。さうして祝ひの代りに説教を村民に聞かせることに致しました。

其の説教が二日間ございました外、更に其七人の者などが申し合せを致しまして、部落の中間に架つて居る橋を架け換へるといふ相談を致しました。從來の橋は木造りであつて、最早腐つて仕舞つたので、危険に瀕して居るから、之を架け換へるといふ申合せをしたのであります。けれども石橋にすれば、大分な資金を要するのであります。七人は既に坊さんを態々呼んで、説教した費用もありましたし、其上に石橋に取換へると云ふ費用を出すのは容易でなかつたのであります。其の事を認めまして諦圓は、更に村長の所へ相談に往きまして、村から幾分の補助を受けたいといふとを申出しました。村長も頗る其の義舉に感服しましたので、臨時に村會を招集して、十圓の寄附を致しました。けれどもそれだけでは尙ほ其費用に追附きませぬ所から、諦圓は村の人民を更に説いて廻つて應分の義捐を募りました。其結果一切の總計五十四圓の金が集まつたので、其橋を架換へ、更に其の橋へ通じて居ります道路の普請をもしたといふ事實があります。諦圓は其の橋が出來た來歴が頗る圓滿であつて、誠に感心すべき所があるといふ所から、其の橋に和合橋といふ名を

附けました。村内が和合して架けたといふ因縁から、さういふ名を附けたといふことであります。其の外教育上からも、衛生上からも見るべきものが少なくないのであります。現に此の部落の信用組合が発達して居りますのは、天下に多く類例のないやうな好い成績を擧げて居るのであります。それは丁度旅順の第一攻撃がありまして、其情報が日本に達しました時、其の部落でも戦勝の御祝ひを致しました。其の際に當つて村民が『勤勉して業に就かなければならぬ。それには資金が最も必要である』といふことを感じまして、或時各戸に貯金の通帳を配附いたしました。それが遂に信用組合と變りまして、現在では七千有餘圓の貯蓄をして居ります。のみならず更にそれを運轉して十分に組合の事業を致して居ります。其の組合に於きまして法衣を着けた諸圓が全く無報酬で、自から組合の爲めに盡力して居るといふことでございます。税などは全く滞納がない。小學校の就學児童も僅に一人だけ學校に參らぬといふことであります。

其外千葉縣では宗教家が官公吏有志者と一絡になつて輿風會なるものを起して矯風事業を工夫し殊に農村の改良などには少からず盡力して居ります。本願寺などで布教師の人々が個人一家の心得と共に村に對し町に對する心得をも能く説き聞かして貰ひたいのであります。

其五 神社に依れる自治の訓練方法 宗教と神社とを混同して、宗教家の中に神官を入れて居る者

もあります。併し日本の國體として、神社が萬人の中心であるから、さういふ混同した考を持たぬやうにしたい。外國の大使館あたりから大使の代理者が日枝神社へ參拜に來るといふことがあります。

日本の制度としてさうあるべき筈で、宗教の如何を問はず、總て參詣するといふことになるのは、大變に宜しいと思ふ。

「さういふ神社であるから、唯置いては残念であります。日本だけで、十一萬からの神社がある。若しも神官の人達に能く働いて貰つたならば、其の効果は非常なものでありませう。神官を以て村の事に盡くした人の實例が茲に一つあります。詳しいことは知りませぬが、兵庫縣穴栗郡からの報告があつて、神社局で刷つたものがありますから、それを御分けします。是は神職として大變人から崇められた進藤正治と云ふ人の事であります。此の人が自分の子を養蠶學校に入れて、養蠶の事を覚えさせました。さうして村の物産を殖やすことに盡力をしました。其の外産業組合の世話までもして居ります。殊に産業組合から貧民に金を貸附けるなどの場合には、其れを氏神に誓はして、別に證人を立てぬ。それで少しも間違ひがないといふことです。是れも詰りは此の人の徳であります。又稻橋村といふ三河北施樂部の山村では皆さんが承知の縣農會の副會長をして居る古橋源六郎と云ふ人が村長であつて國家をも修め敬神家である所より村の年中行事は新年の始に村社で神に申告し村々の人を集めて

穴栗郡の
神社

稻橋村の
神社を中
心とする
美風

申し聞かすのである。又信用組合の發會式で誓つて規約に背かぬ様にとの申渡などは神前でやるのである。神を敬する真心より自然に人々が村に對して至誠の心を發揮して貰ひたひのである。

其六 歴史に依る自治の訓練方法 先頃地方長官會議に於て、郷土の歴史を研究し、遺物の保存をやつて戴きたいと申しましたのは、是であります。名所舊跡を風景の方から見て、外國人を澤山に呼び寄せ、さうして金を落させる方法にするのは、伊太利あたりのやり方がさうであります。名所舊跡を訪ねて外國の人が来る。それが落して往つた金で以て、伊太利が財政の整理をしたといふ位であります。日本で以て固有の歴史を保存し、遺物を大切にするといふのは、それと少し意味が違つて居ります。即ち古人に依つて今人を教ふるといふことをやりたいのであります。さうなると是れも一種の訓練方法であります。

陳列場の出品中には、群馬縣の群馬郡なる古卷尋常小學校の校長、狩野金次郎といふ人が書いた村史といふものが出て居ります。此の人は大久保内務卿に拔擢せられ、故品川子爵に愛顧を受けた老農船津傳次平翁の三男であります。今の農科大學の農場といふものも、もとは此の傳次平翁を聘してやらしたものであります。駒場農場の本を尋ねると、大久保内務卿が維新當時の功に依つて祿を貰はれた。其の祿として賜はつた地面が駒場であります。ところが内務卿は其の祿を抛擲して駒場の農場と

小學校長の
村史

平島にし
て趣味あ
る村史の
切要

偉人祭

いふものを拵へられたのが、其の起りであります。それを船津傳次平翁が開墾して、立派なものに仕上げたのであります。其の三男たる狩野金次郎が今日父の精神を繼いで、篤實にやつて居りますのは實際床しい所があるのであります。二十年の久しい間、學校教師として子弟を訓育し、又村の産業にも少からぬ貢獻をして居ります。此の人は誠に綿密な人で、明治十九年から引續きに日誌を附けて居るさうですが、今日まで一日も缺かしたことがないといふことです。それですか村に於ける既往の事などは後場に行つて問ふよりも、此の人に問ふ方が一番明かだといふことです。近頃は村の歴史を作ることが流行ります。それにはむづかしいものを作るよりも、兒童の感化になるやうな、手早いもので趣味のあるものを拵へて欲しい。縣廳などでは、どこでも餘程大業にやつて居りまして、數年掛らなければ出来ぬといふやうなものばかりでありますが、さういふものよりも、直ちに感化のあるやうな輕便なものを拵へるやうにして欲しい。

亞米利加のやうな歴史の無い國では、實に此點に困難をして居るのであります。日本のやうな二千有餘年の歴史を有つて居る國では、歴史に依つて教ふる方が、効果も多いやうに思はれます。此の國學院に於きまして、神職講習會が開會せられた際にも學神祭といふものをやつて貰つた。菅公や、本居宣長や、加茂真淵といふやうな風に、それ／＼其の道の偉人を祭つたのであります。此の學神祭の

やうなものを、何か成形で以て小學校などでやつたならば、面白からうと思ひます。私は日本全體としてやるには、菅公のやうな和漢の學に通じて居られた人、それから國學の大成者ともいふべき本居宣長翁のやうな人、それから行政家としても、武將として立派な人であり、それから『神皇正統記』などを殘して、我國民道德の基礎を立てられた北畠親房卿をも、學神として祀りたいのであります。此の三人を中心としてやつたら良からうといふ考へを、平生から持つて居るのであります。是れは小學校に限らず、家庭でやつても宜いと思ひます。勿論郷土の先輩からして、相當の人を選んでも宜い。

米國には、『リッコン俱樂部』『ワシントン俱樂部』と言ふ名の付いた兒童の集會があります。會の名稱に偉人の名を取るといふのが、既に面白い。進んで偉人の記念日に兒童を集めて有益な話でもしたならば、其の感化は少くなくあらうと思ふ。安藝の國の竹原といふのは、頼山陽の生れた土地として有名であります。此所では『郷賢祠』といふものが設けてありまして、郷土の先人十二人を選んで祀つてあります。毎年其の御祭を行つて、先賢の流風餘韻を長へに傳へつゝ、教化の助けとして居ります。是は山陽の叔父に當る頼杵坪翁が郡奉行であつた時、晩年になつて考案せられたもので、其の孫の小園に命じて實行させたのであります。又青森縣の弘前市に伊東重といふ醫學士が居ります。『東門會』とい

「リッコン俱樂部」
「ワシントン俱樂部」
「郷賢祠」
「神皇正統記」
「本居宣長」
「菅公」
「北畠親房」
「安藝の國」
「竹原」
「頼山陽」
「先人十二人」
「郷土」
「御祭」
「流風餘韻」
「教化」
「伊東重」
「醫學士」
「青森縣」
「弘前市」

東門會と
偉人祠

義墓義人
詩

ふ會を起して、青年の薰陶に努めて居ります。それから『養生幼稚園』といふものをも設立しまして稚兒の教養をやつて居ります。此の人が近頃『偉人棚』と名くるものを作つて、其中に偉人の持つて居つた物品を蒐め、それを幼稚園の小兒に觀せて、品性を陶冶するの資料として居ります。

どうか郷黨の中でも、村の爲めに苦辛して、功勞のあつた人などの事跡を取調べ、さうしてさういふ人の墓を義墓と致し、公費を以てそれを保護したいものであります。其の人の事跡を記して、義人録といふ様な名稱を附け、さうしてそれを後世に遺すのも良からうかと考へます。土佐では昔から税を怠らぬで、村治の優秀であつたものを『義民村』と稱して表彰して居ります。それから其の義民村には、必らず義人録といふものが残つて居ります。獨り忠義の爲めに斃れた者のみが祀らねばならぬといふものではありませぬ。村の爲めに盡した人をも祀らねばなりません。さうして義墓と稱へるべき先人の墓をば、小學校の生徒などに掃除をさせて、知らず識らずの間に感化を受けしめるのも良からうと考へます。唯單に招魂社を設けるといふのはナット古臭くなりまして、其建物を利用する方法もない。それでありますから義墓の周りには花などを植ゑて故人を偲ばしめるとか、其人の命日に人を集めて其の人の話をするとか、もう少し活きたやり方をせなければならぬかと思ひます。招魂堂の如きものも、其周圍に植林をやつたら宜しからうといふので、青森縣などでは現にそれを實行し

た例もあります。

英國に於ける監督の成功

其七 監督に依る自治の訓練方法 監督の事に就ては、湯淺事務官から詳細に亘つて御話しが有る。ませうから、簡単に申上げておきます。今日最も監督を嚴重にやつて、自治改良の結果を奏して居るのは英吉利であります。英吉利で以て視察方法といふものを始めたのは、有名なレザーであります。此の視察法といふものを始めました時に、英吉利では視察官といふものを、地方にも亦中央にも置きました。日本でやつて居ります近代の制度も全く之に胚胎して居ります。其結果英吉利で地方經費の節減をやつたことは、夥しいものであります。其の一例を言ひますと、英吉利で最も財政上に困難をしたのは、救貧費であります。七千萬圓の金を之が爲めに費して居つた。此の無益なる金の節約をやつたのは、英吉利に取つての大事業であります。一體有用な事をするために、無益なものゝ節約をすることが、最も大事であらうと思ひます。それから四萬人からの私生兒があつたのを一萬人に減じ、五十ばかりの町の中で四十三といふものは學制を改良し三十二の町に向つて水道の布設をした。それで今日は下水や水道が良くなつて、非常に死亡比割合減じたのであります。即ち總數九萬人を減じたといふことであります。日本でも死亡比割合減じなければならぬことゝ信ずるのであります。パーミング・ハムといへば、今では模範市となつて居ります。けれども昔は非常な惡徳をやつたも

ので、飲用水の如きも匪のやうな色であつたといふのが、今ではそんな形跡もないやうに奇麗になつて居ります。

佛國の監督方法

さて法律で以て監督方法の能く具つて居るのは、佛蘭西であります。最も諸君も希望せらるゝ町村長の休職權、免職權といふものを監督官廳に與へてあります。それから豫算施行前の認可權に就て、亞米利加では大統領の認可を経なければならぬ。……成程日本などでは休職權を與へて貰ひたい、罷免權を與へて貰ひたいといふ人もあるが、是はなか／＼行はれないことであります。現在ある所の監督制度だけでも宜いから、よく之を利用して戴きたい。今日與へてあるだけの監督權でも、十分に之を完成したい。就てはどうせ旅費も足らぬでありますし、人も足らぬであります。中には視察部書記といふものを置いた所もありますから、何とかしてそんなやうなことをして貰ひたい、一定の期間を指定して、其期間の間には是非やるやうに、夜まで行つて責め附ける様にして監督をして貰ひたい。

宮城縣では嚴重な督促をやり通して、怠惰の整理をした例もあります。三重縣にも斯ういふ具合にして整理をしました。それで内務大臣が行かれた時に、滞納の無い村は何村あるといふことを表に作つて出された。斯ういふ縣は餘程進んだものであらうと考へます。宮城縣などは非常な意氣込で掛り

ました。殆んど徹夜の勢を以てやられたといふ話を聞いて居ります。是は根氣の問題であつて、少し手緩くやると知事に持つて行つて運動したり何かするやうな事もありますけれども、根氣良くやりさへすれば、こちらの方へ附いて来るものであります。それで成功しなければ已まぬといふ勢でやつて戴きたい。越後の直江津などは、不整理を極めた町であつたが、前の吉原内務次官が行かれた時に、是ではいかぬといふので、一年の間に整理しろと命ぜられ、其の後少し年限を延ばして、遂に整理を仕遂げしたのであります。斯ういふやうに期間を指定して、其間に是非やるといふ方法を取つて貰ひたいのであります。勿論そればかりでもいかぬのでありますけれど、一例を申すのであります。

宮城縣玉造郡長成毛英雄君、私は宮城縣の玉造郡に居りますが、其當時宮城縣は滞納の弊が甚しくありましたので、どうしても縣財政の整理をするには、怠納を直さなければならぬといふ御方針でありました。所が是は非常な多額に上ばつて居りまして、二十何萬圓もあります。甚しきは五年も七年も溜つて居りましたから、容易な事ではなかつたのであります。そこで各、部署を定めまして、其の方から各、各部を分擔しまして、郡に於きましてそれを一緒にやることにしました。さうして休みでも何でも、町村に行つてやりました。其の結果大分不平もありましたが、どうしても一齊にやらなければならぬ、さうして先づ公職などに従事する人から先にやらなければならぬといふので、

或は郡會議員とか、或は縣會議員とかで怠納をして居る人には、眞先にやつたのであります。數箇月は何れも強制的にやりました。所が漸く整理の緒に就きまして、決算の如きも縣を通じて、六箇月の法定期間中に皆済むといふことになりました。從來決算の如きは、始終後れてばかり居りましたし、それから町村税の如きも、殆んど紊亂を極めて居りましたが、この嚴重なる監督を始めてからといふものは、全く面目を一變しました。本年は其れから丁度三年目でございます。

其八 指導に依る自治の訓練方法 言ふまでもなく懲戒等は最後の方便であります。それより以前に善い方へ導く指導の手段を幾らも試みなければなりません。講習、講話などは、皆其手段の一つであります。近頃町村長の講習會が大分行はれて居るやうであります。茨城縣の如きでは、収入役の方が寄合ふといふことであります。一體に講話會などは、空なる演説會に流るやうなことがなくして、實驗談の交換などに最も力を入れてやりたいものです。斯んな事を郡などでやり、又縣などでやる場合には、縣の當局者も、郡の當局者も、何かな實驗談をやらうとしても、實情に通じて居らぬやうなことがあつてはならない。それでは話をしても、一向に徹底せぬものであります。どうか當局者自身が實驗談の中に立入つて、實驗家の紹會をしたり、又話の能く分るやうにして欲しいものであります。それから専門の事業などを照會するにも、何か簡便な方法に依つてやることが、最も適當であらうと信じま

す。我邦でも將來村長になるべき人を書記に使つたり、又は収入役にしたりすることが行はれて居る所も大分あるやうであります。又學校の暇な場合に、生徒を雇つて来て、臺帳の整理や、寫字などをさせたり、租税の意納處分をする場合に手傳をやらせて居るといふやうに、子供を見習にして居る地方もあります。是も一つの訓練方法であらうと思ひます。それから町村會に小兒を借りて来て、何かと手傳をして貰ふ。是も一つの練習方法であるから、誠に良い思ひ付きであると考へます。斯うしてやつて居れば、其中に彼等も自然訓練されて行くのであります。

何れ諸君は夫々の地方へ歸られて、他の人に講習をやらせることもありますが、以上御話しをしました様に、色々な方法で以て其の方法を盡くして戴きたい。自治訓練の方法とでも、種々ありますから、何とかして實際の役に立つやうにして戴きたいものであります。町村として比較的備つて居るのを求めますと、熊本縣に小國といふ村があります。此の村などは實際良い村であると考へます。それから東京附近では、八王子の上の方に戸倉村といふのがあります。難村を整理して、今日に至つたので、整理の模範としては、中々参考になる村であります。校長と村長と村の青年の團體とが、難儀をして整理をやつたのであります。此の二つの村の事に就て、諸君に御紹介したいのであります。が、今日は時間がありませんから、又後日に御紹介することがあらうと考へます。

第三 自治訓練の効果 (上)

前には第一『自治訓練の必要』第二『自治訓練の種類』に就て、お話を致しました。今日は第三として、『自治訓練の効果』たる、各國の趨勢が如何になりて居るかをお話し致し、それと比較をして今日日本が他の諸國に對して、如何なる點に劣つて居るかをお話し致さうと思ひます。

これまでの日本では、餘り西洋の例を真似ては大き過ぎる、比較にならぬといふので、すまして居りました。然るに今日の日本では、其趨勢が違つて參つたのであります。諸君が町村長其他の人に話をする場合に、注意して戴きたいことは、昨年和蘭の海牙に於ける萬國平和會議で、始めて日本が世界の一等國となつて、而かも世界に於ける八大強國の一つに數へられることに決まつたといふことであります。此事を能く一般に紹介して戴きたいのであります。即ち英吉利、亞米利加、獨逸、露西亞、佛蘭西、澳太利、伊太利、及日本と、かうなつて居るのであります。それでありまから今日では英吉利が大きいから、真似が出来ぬ、亞米利加の身代が違ふから、到底及ばぬといふことは、モウ許さぬのであります。若し金が足らぬければ、急いで作るより外はありません。規模の點に於て、今日及ばぬければ、精神の點に於て、寧ろ急がなければならぬのであります。それでありまから各國

て居るのであるから、我々赤子は、多少精神のある準備をするのが、當然であり、又其考へでやらなければならぬのであります。これ等の事などは、各上長官の御方針にも、固よりあることであります。此等一二の事例は、他府縣でも多少の参考になることであらうと存じます。

私の話は、自治の訓練方法に就きまして、極大體を述べたのであります。各節目に就きましては、各講師から夫々講演せられるのでありますから、それ等をも綜合せられて、諸君が其の活用法を考へることを望むのであります。そして活きた訓練法を、實地に施行せられんことは、真に本懐の至りに堪へぬ所であります。終りに一言して置きたいのは外でもありません。講習會で會得せられた事柄でも、其採否と施行の緩急とに就ては、一切上長官の方寸に頼ることです。諸君が何處までも、善を上長官に歸するやうにせられ、最も殊勝に上長官を輔佐して、忠實に其指揮を受けつゝ、萬事に盡力せられんことを切に願ふのであります。先づ自分からが秩序を守り、規律を守る所の良主務官であつてこそ、市町村に對しても、良指導なることが出来るなれ。此の通り外に對して、良指導者であると同時に、内に於ても、良主務官として、立働らいて戴きたい。さうして何れの方面に於ても、他の模範となる様に願ひたいのであります。是は己れより人に及ぼすといふ法であります。さうして是れが最も崇高であり、又最も有力な一種の自治訓練法であります。

(完)

事務處理の要項

内務書記官 中川 望君講演

事務處理の要項
事務處理の要項
事務處理の要項
事務處理の要項

今日は事務處理の要項といふことに就てお話を致します。事務の整理は地方改良事業の基礎であります。地方の改良を計り、地方行政の發達を期しますには、先づ其根本となる事務の處理を正確にしなければならぬのは勿論のことです。それであり、事務の整理に就ては從來各地方廳に於ても充分力を盡して居られる所であり、又本省に於ても常に茲に意を用ひて居るのであります。先年來事務簡捷に就ては特に地方廳に御注意を煩したことがあります。本省に於ても今向は引續いて事務整理委員を設けて整理すべき點を調査して居る次第であります。事務處理の原則を簡単に申しましたならば、第一には簡捷を圖り且つ懇切であるといふことが必要であります。事務を執るには成るべく繁文褥禮を避けて簡潔にすることが肝要なのであります。従つて事務の取捌きが敏活で遲滞のない様にすることも肝要なのであります。併し繁文褥禮を去り且つ簡便で又敏活でありまして、それが唯だ執務者の側に於てのみ簡便であるといふだけでは、未だ足らぬのであります。人民の便宜

事務は終
二に對法
で相違な
要する

を圖るといふことは簡捷を期するに就て最も忘れてはならぬことであります。此の故に事務處理に就ては簡捷を旨とするけれども亦懇切の取扱をなすといふことを忘れてはならぬと思ひます。第二の要件は其取扱が適法で且つ相當でなければならぬと云ふことであります。事務の取扱が法規の定むる所に適合しなければならぬと云ふことは説明するまでもありませんが、茲に猶ほ注意しなければならぬことは先例を尊ばねばならぬと云ふことであります。先例に違ふといふことは、成るべく避けねばなりません、殊に法規の不明若くは不完全である場合にこの必要があるのであります。尤も先例であつても餘程故障でもある場合には速かに之れを改めなければならぬのは勿論でありますけれども、漫りに之れが變更を試みると云ふことは慎まねばなりません。然し事務は單に法規の定むる所に従ひ又唯だ先例の示す所に據ると云ふのみではまだ其本分を盡したものと云ふことは出来ませぬ、事務を處理するに就て、常に注意せなければならぬことは、失當でないといふことであります、即ち公平であつて情實に支配せられず其場合に最も好く適合するといふことが大切であります。假令法律上裁量の餘地があるからと云ふても情實に驅られて不公平な處決をするといふ如きことは最も識むべきことであります。準據すべき規定なく又則るべき先例もない場合に於きましては、特に此の點に注意せなければなりません、行政の紊亂しまするのは多くは情實に流れて失當の處分をするといふのに基くので此の例

は從來少くないのであります。

以上述べました事務處理の二大綱目に就て詳しいことは後にお話を致しますが、要するに私は事務を處理するに就て此二つのことをさへ格守したならば間違はあるまいかと信じます。然らば如何にしたらならば此二つのことを遂行して行くことが出来まじやうか、私はこれを二つに分けてお話をしたいと思ひます。その一つは方法で、他の一つは精神であります。第一の方法と云ふことは事務の形式に關することであり、或は形式的要件と申すことが出来まじやう、第二の精神と云ふことは事務を執る人又は其相手方たる人に關する方面でありますから、假に人的要件と申して置きます。之れから項を分けて事務處理の方法及び精神に就てお話を致します。

形式的要件

甲 形式的要件

第一處務規定

豫め御断りして置きますが、此點に就て詳しくお話をしますならば、色々と申述べたい事は少ないのであります。併し事務に就ては多年の經驗を持つて居らるゝ諸君のことであり、茲に唯だ特に御注意を願ひたいと思ふ點のみに就てお話を致さうと思ひます。

第一、處務規程 凡そ事務を執るに就いては、事務處理の準則を一定して置くのが便宜であります。

事務處理の要項

茲に於てか處務規定の必要が起るのであります。處務規程は既に各府縣に於て夫々規定のいなものはありませぬ、殊に近來に至りましては事務簡捷の主旨に基いて、種々なる改良が加へられたのであります、併し町村等に於ては未だ處務規定の重んずべき所以を、充分に了解しないものが澤山あるのであります、地方に参りました時に役場に行つて處務規程があるかと尋ねますと、それを搜索するに非常に時間がかかる、中にはなか／＼見付からぬといふ様なこともあるのであります、甚だしきに至ては、町村吏員の更迭が頻繁である爲めに、處務規程の有無をすら、知らぬものを問々見受けるのであります、それは甚だ遺憾なことでありまして、事務を取るについて處務規程の様に重要なものは是非とも一般に制定させなければならぬ、そうして、制定した上は、是非之れを實行させなければなりません。

處務規程を制定するに當つて注意すべきことは、事務の簡捷を圖ることを主眼とすべきは勿論であります、同時にあまり細目に亘ることは之れを避けねばならぬと云ふことであります、監督官廳に於て準則を示す場合に於ても、同様の注意が必要であります、處務規程に於て餘りに細き所まで規定致しますと、夫れに拘束せられて便宜の處分をすることが出来ぬ爲め却て不都合を見る様なことが屢々見受けられるのであります、そこで規定は設けてあるけれども、實際には行はれぬと云ふことが

處務規程に
細かく
通すべ
からず

處務規定
を大綱に
止むるの
利

起つて來るのであります。又規程を制定し又は改正する際に不注意であつたが爲めに、實行の出来ぬと云ふ様なことも起るのであります、そこで私は處務規程は餘り細目に涉らず、簡捷の主義に適合することを主旨として要點だけを規定することが必要であると思ふのであります、さうすれば實際の執務者がいろ／＼規定以外のことに就て工夫も致しまするし、又實際の經驗の結果改良すると云ふことも起るのでありますから、工夫をさせ事務の取扱ひの進捗を計るに就ては、細目まで拘束すると云ふことは避けた方がよからうかと考へます、官廳の事務の取扱方が實業界よりも始終遅れて行くといふ非難を受けるのも、一つには餘り細かい所にまで處務の規定が行渡り過ぎて居るといふことが、原因をして居りはせぬかと考へる、何となれば一旦定められた規程の改廢はむづかしい、隨て其規程が自然時勢に運れることとなる、便宜と知りつゝも規程に拘束せられて、其事を行うことが出来ぬ、正式の帳簿を一つ置いて又外に便宜に適つた副帳簿を作らねばならぬといふ様なことも、起て來るのであります。

第二分課
分掌

第二、分課分掌 分課分掌に依る事務の分配は各府縣大體に於て同様であります、多少の相違はないでもない、非常に細かに分けてある所もあり、大きく分けて居る所もあります、凡そ多數人の共に依て仕事をするには分業の方法に依るのが最も利益であります、けれども經濟學の説明に依りま

事務處理の要項

分課分掌の多きに於ては、地方監督の地位と事務の關係を如何に分配すべきかを分

地方監督の地位と事務の關係を如何に分配すべきかを分

しても分業は利益が少からぬと共に、亦多少の弊害は免るゝことが出来ませぬ、而して分業にすればどうしても多數の人を要するといふ結果は免かれませぬ。地方の官吏、吏員には皆定員があります、この一定少數の人に就て、分課分掌を定める時に當て餘り理想的に課を分けて、其數が多う過るときは却つて不便を來たすやうなことになるだらうと思ひます。課を分つこと多きに過るの結果は主任者は一人となる、其人が出張するときは代理者が無い、地方に行つて見ますと折々今日は誰れが缺席でありますから其事は分りませぬといふ答辯を聞くことがあります、そこで定員の多寡に應じて分課分掌を定め繁閑宜しきを制することが必要であると存じます。例へば地方課或は庶務課を地方監督の側と議事の側とに分つものと然らざるものとがあります。其可否に就ては得失相伴ふものでありますから、俄に斷定を下し難いのであります。が課内に掛を分けぬ方にも相當の理由はあると思ひます。例へば兵庫縣に於ては元掛を分けてありましたが今は議事と庶務とを分けませぬ、其理由は議事掛は豫算の調製に當るのであります。が、其掛の人々が地方の事情に明るくなければ、適當なる豫算を作ることには困難であると云ふ點にあるのであります。今日では議事掛の人も地方の監督に出かける。中學校を見るとき或は農事試験場を見るとき縣行政の實際を觀察して居る、それが他日豫算を調製し或は豫算の執行をなす際に少なからざる便益を與へるのであります。一概にいふ事は出来ませぬが、分課分掌

分課の細分は過るに過ぎぬことな要

會計課に於て豫算の可成る可

を定むるに當て餘りに細分することは避ねばならぬと思ひます、特に少數の人を以て事務を執る場合に其注意が必要であります、勿論専門の知識を有するものは最も必要であります、あまりに専門に流れ自分の擔任して居る仕事には明るいが其他の事は一向知らぬと云ふ様では事務を適當に處理すると言ふことは困難であります、或は單純な機械的の事務のみを執る人は其必要はなからうといふ議論もありますが、之等の人と云へどもいくらか頭を廣くして置く必要はあると思ふのであります、殊に將來は社會の趨勢上少數の人を以て多くの事務を執らねばならぬ時勢でありますから、これ等の點は深く注意せなければならぬと思ひます。

地方課の事を述ぶる序に議事掛のことをお話ししましたが、或る縣では豫算編成に關する事務を扱つて居るところがあります。それは地方長官に於て十分慎重に考慮せられた上の事ではあるし私も確乎たる意見がある譯ではありませぬけれども、各府縣に於て、採て模範とすべきことであるや否やは頗る疑問であると思ひます、成程内務省等に於ては會計課で豫算の事を取扱ひますが、之を採て直ちに地方廳に於ても會計課で豫算の編成を掌ると云ふことは考へものであると思ひます。或は金錢の出納を掌つて居る課で金錢の出納と密接なる關係を持つて居る豫算のことを掌るのは便宜に適つて居るといふ意見もありませうが、豫算の調製は常に金錢の取扱ひに關することのみではなく、事業施設の方

各局課間
の連絡を
計るるに
於ては

勤務課に
於ては
責任を
十分に
負つて
責任を
負つて
責任を
負つて

褒賞事務
の要項

地方課に
於ては
勤務課
の要項
を参照
すること
を要す

針と大關係を持て居るのでありますから、從來一般に行はれて居る通り、議事課で取扱つた方がよくはないかと思はれるのであります。最も或る縣に於ては現在の會計課長が事務に老練せる人であるか豫算の編成を托しても少しも差支ないと思ふことではあります。然しそれだけでは制度かよいと言ふ決論を得ることは困難であります。少くとも將來猶ほ研究の餘地があると思ひます。次に注意しなければならぬことは各局間の關係の密接圓滑を計らなければならぬと思ふことではあります。事務の分配を定め、自己の管掌外の事務には全く關係せぬ爲めに餘程迂遠なことをしなければならぬことが起るのであります。局課間の連絡を計る方法として關係ある掛或は課に合議すると云ふことがありますが、合議をなすに當ては充分責任を以てやらなければなりません。他課より廻付せられたものは動もすれば其調査が疎かに流れ勝ちのものであると思ひます。例へば彼の行賞事務であります。藍綬褒章等の褒賞に關する事務は知事官房に於て管掌し官房から本省の方へ進達することとなつて居りますが其調査を見ますと不十分なことが多いやうに思はれるのであります。現に町村長にして藍綬褒章を貰ふと云ふほどの人の進達があつた場合には其縣の地方課に其者の事績が調査してあるかと問ふて見ると、その調査が無いといふ様なこともあるのであります。地方監督の銜に當つて居る地方課が町村制實施以來勤続して藍綬褒章まで貰ふと云ふ程の町村長の事績を少しも知らない、

官房から廻つて來たものには、唯だ盲目判を押すといふやうなことでは、地方課の職責を全ふしたるものと云ふことは出来ぬといふてよい、從來やかましく言つて居ることであるし又近來餘程改良せられたことではあります。時によると唯今でもさういふ例がありますから、此事に就ては深く御注意を願ひたいのであります。褒章のことは誠に重いことであります。これは此の種類の事務の通弊であると申してもよいが、文章で飾り過ぎると云ふことがある、先づ郡役所で文章で飾る次に縣の官房で又一層よい文章に直して來る、それが本省に來ると更に又立派な文章で飾られるといふ順序で文章ばかり進むと云ふ弊があります。それから充分御注意を願ひたいのであります。之は單に一例に過ぎぬのであります。地方課に於ては又勤業のことをも知つて居らなければならぬことが屢々あります。目下自分の縣では勤業のことに就てどれだけの事業をやつて居るか如何なる事を獎勵かして居ると云ふ位は知て居らなければ、地方の監督の爲めに監視するときに甚だ迂濶なる質問をして却て笑ひを招き、其信用を害することが少からぬ様なことが出来るのであります。かういふ風では充分なる監督をなすといふことは出来ぬと思ひます。要するに各課の間に聯絡を保つと云ふことに就ては猶一層の御注意を願ひたいのであります。地方では官制改正の結果事務官制度となつた際には課を廢して

官目判多
く過ぎる
べからず

主任副主
任

掛とした所が澤山起つたのでありますが、其後再び課長を置く舊制度に復歸した所も少なくないの
であります、事務簡捷といふ趣意から申しますと、書類を處理するに當つて餘り官目判の多いのは喜ぶ
べきことではありませぬ、近來多少減少の傾向があるのは誠に賀すべきことであります。一つの書類の
上に十も二十も判を押してあることが少くありません、實業界が役所の事務を迂闊だとして非難する
のも此判の多いことが其原因の重なるものであります。判が多いから其事務が正確に行つて居るかと
云ふに判を捺した人でも官目判であるから其何の事件であるかと云ふことすら知つて居らぬといふ有
様で、矢張り他から合議を受けたときのやうに甚だ責任が輕いのであります。それでありますから主
任と副主任と二人位として主任が調べたものを副主任が更に別の考へで調べる、さうして充分缺點を
補ふことにするのがよいと思ひます。事務上のことに就て議論を戦はすといふことは結構のこと、考
へます、二人で充分意見を聞はした後に案を提出すると云ふ風にやれば何れも連帶責任であります。
私は現にさう云ふやり方にして居ります。從來は大分判が多かつた、判を捺した中の一人を呼んで少し
く聞て見るに一向分らぬことがある。地方でも長官の前で答へが一言も出來ずに赤面して引下るとい
ふことが澤山ある。私は主任を二人宛にし下場合に依てどちらでも呼んで聞くことにして居ります。が
なるべく人の數は少なくして責任を充分持たせることにした方がよいと思ひます、縣廳は其事務多

課役所は
課長を發
止するな
可とする

第三文書
の收受發
送及び處
理

(一)文書
の收受

文書の收
受なりす
もの他
に事務員
に先づこ
とを必要
とす
愛媛縣の
新聞記事

人も比較的多いことでありますから課長は全然不要であるとい概に言ふことは出來ませぬ、統一とい
ふ上から必要なこともあるのであります。併しながら郡役所では課長を廢した所が少くありません、
郡長が大體を統べ其下に主席郡書記が居りますから郡役所の如く事務を執るものが僅かに十人か二十
人位に過ぎぬ所では課長を廢したことは蓋し適當であらうと思ひます。課長を置かぬ爲めに非常な不
都合が起るといふことはあるまいと思ひます。

第三、文書の收受發送及び處理

(一)文書の收受 文書の收受發送に就ても近來事務簡捷の主旨を以て研究した結果改良を加へられ
た點が少からぬやうであります、文書の收受事務を取扱て居る者はなるだけ事件を處理する者の手を
空さぬやうに工夫をすることが必要であります。それには他の人よりも一時間位早く出勤して書類の
收受を整理して置いて執務者が出勤すれば、直ちに其書類を配付することが出来る様にすることが必要
であると思ひます。先日愛媛縣で發行する新聞に次の様な記事がありました。記者が縣廳に行つて見
ると近頃大分様子が變つて來た、從來縣廳の官吏々員は午前中は皆煙草を飲んで新聞を見て居つた
が近頃は朝から事務を執つて居る、これは不思議であると思つて其原因を索ねて見たら、文書課の課
員が他の課員よりも一時間早く出勤して書類を整理して待て居るからであると云ふことが分つた、物
事務處理の要項

宿直を誠
實に守る
ことを要す

事はかうなくてはならぬと大層褒めて書いてありました、此事は既に大抵の地方では實行して居ることと思ひます。次ぎに宿直であります、宿直も夜中に受けた書類は翌朝各課へ配付することが出来るやうに準備して置くことが必要であります。私は先年福島縣に奉職して居た時分に、宿直は文書課の人を用ゆることに定め書類の整理をさせることに致しました。兵庫縣に居つたときにも同様に改めたのであります。兵庫縣に於ては現に行はれて居るかどうか知りませぬが、福島では現に行はれて居るのであります、序に申して置き度いことは宿直の職務を誠實に守ると云ふことであります、どこでも規定の上では宿直を置くべきことに定められて居りますが、盗難などのあつたときには宿直が不在であつたといふことが甚だ多いのであります。現に私共が地方を巡視する際にも豫め通知して置かぬときは日曜日等には宿直が居らぬ、近所へ使に行つたとか、風呂に行つたとか云ふことが少からぬのであります、宿直は必ず宿直をなす可き所に居つて其職務を忠實に果して貰はねばならぬと思ひます、殊に町村役場等に於きましては死亡者があつた場合には何時でも埋葬證を貰ひに来る、宿直は直ちにと急の間に合はぬといふことになるのであります。規定の執務時間以外でも至急を要する事は直ちに處理することが出来るやうに常に用意して居らなければなりません、此弊は殊に町村等に於て甚だしいのでありますから、やかましく言つて戴きたいと思ひます。町村役場等に於ては受付は町村長少く

町の受付役場
又は町村長
の又助役長
たるに可當
と

敷地村に
ては農繁
期には執務
時間を受理
する

役場に於て
は用紙を
定めて一
定の人に
備ふる
場にも
民に便
なり

とも助役が自ら當ることにするがよいと思ひます、役場へは常に願届等の書類を持つて来る人計りでなく種々の人が来るのであります、それには矢張り村長の如き重なる人が應接をする必要があると思ひます、此の事は既に實行して居るものが、ありますが誠に結構なことと思ひます、静岡縣磐田郡敷地村の村長の如きはそれであつて始終役場を以て自分の家とし自ら受付を擔任して居ります、受付は出勤時間を早くする方が宜しいといふことを文書取扱の所で申しましたが、役場に於ては農事の多忙なる期節などには執務時間を延ばして夜間でも事務を執ると云ふ位に親切でなくてはならぬと思ひます。現に敷地村に於ては農繁の際には役場に來る爲めに農業を休ませてはならぬといふ主意で夜間も事務を執て居るのであります。次に述べたいことは口頭受理のことであり、これは警察側に於ては事務の性質上それに適するからでもありましやうが、非常に多く行はるゝのは甚だ結構なことと思ひます。町村役場に於ても其實行は敢て難いことではないと思ひます。殊に町村長或は助役が受付に當れば口頭受理でよいことがいくらかあると思ひます。尙ほ其上に一定の用紙を備付けて置くか又は代書の勢を取ることにしますれば口頭受理も餘程多く採用することが出来ると思ひます。一定の用紙を備へて置くことは大分各地方で行はるゝやうに成つて來たのでありますが、之れは人民の側にも執務者の側にも共に少からぬ便利を與ふることと思ひます。良町村と目される程の所では此の位のこと

役場にて
代書する
は便宜な
り
村
に
在
る

出来後
の提出
を
加
知
茂
郷

は殆んど行はれて居らぬ所はないと申してよからうかと思ひます。千葉縣山武郡源村の如き東京府西多摩戸倉村の如きは何れも村民の爲めに代書の勢を取つて居るのであります。東京市の區役所には代書業といふものがありますが、地方になつては役場員の内で代書人を決めて置くのがあります。或は戸籍事務だけは代書してやるといふ様に一部の代書をなすものもあります。戸倉村に於ては總て代書してやつて居りますから出產の届出に來て何といふ名を付けてよいからぬから、序でに名を付けて下さいといふ位までになつて居ります。役場に於ては其位までになるのが面白いと思ひます。次に本省へ出すものとか或は規定上必要なものゝ外は副本の提出を廢し、願届考證簿といふものを作つて大に便利を感じたと云ふ實例は愛知縣の西加茂郡役所であります。本省でも實は法人の申請書は二通を要することになつて居ります。地方官會議の時に一通にし度いといふ意見もあつたし又成るべく人民に手数を懸けぬ様にするといふことは最も必要であります。併し指令をするだけで済むものは宜しいのであります。一通を返し一通を取つて置かなければならぬ物であると、その寫を取るに多くの人を要することになり、申請者に於いて二通を書いて貰ふ方が却て事務の簡捷を圖る所以となるのであります。それであるから非常に事務が繁忙な所では止を得ず人民から出して貰はなければならぬのであります。しかしながら地方では郡役所に殘して置く分、縣廳に出す分、其上に本省に出す分と三通も四

書類を授
けるとき
は重
たし
に
て
可
と
す
る

(一)文書
の發送

文書の授
けるとき
は重
たし
に
て
可
と
す
る

通も出させるのでありますからなるべく人民に迷惑を懸けぬやうにするが必要と思ひます。次に書類を受理したるときは是非重立た人が一應檢査する必要があると思ひます。さうでないといふ事件の緩急輕重を別ち、それに従つて臨機の處分をすることが出来ませぬ、そこで全體のことに通じて居る人が一應目を通して特に指揮をすべきものは指揮すると云ふことに致し度いと思ひます。これはどこの處務規程にもあるところでありますが、兎角實行が疎かになる様でありますから充分實行して戴きたいと思ふのであります。殊に村町役場に於ては此の事を勵行するやうに嚴重に御指示を願ひたいのであります。岡田縣川上郡宇治村は内務省の視察員の報告によると事務の整理がよく出来て居る、助役が受付を擔任して居ります、役場員は他に二人しか居りませぬ、實際の事務は總て助役一人で執ると申してもよい位ださうであります。

(二)文書の發送 次ぎに文書の發送に付て述べます、書類の決裁がすめば直ちに發送することが出来る様にするのが最も必要であると思ひます。縣廳に於ては淨書は總て文書課でする所と成る種類の物は文書課でやり其他の物は凡て主任でする所とありますが兎角決裁後淨書して發送するまでに少からぬ時日を費すことは甚だ遺憾であります、此事は各主任に於て充分注意して貰ひ度いのであります、兵庫縣では書類の配付には給仕を使用することを廢して書類は先づ部長或は課長が一應目を通して主

書類の配
付方法
（郵に就ては
農商務省
内務省）

書類の配
付方法
（郵に就ては
農商務省
内務省）

任に渡す、これを主任が調べて自ら課長又は部長の所へ持つて行つて説明をし、改むべき所は改めて始めて立案する。只長官へ出す時だけに給仕を用ゐるそうであり、各省の取扱を調べて見ますと農商務では課長の所へは主任が持つて行く、決りが済むと總て再び局課へ返つて来る、それから文書課へ逆送されて文書課から發送せられることになつて居ります。内務省に於ては之に反し文書は關係局課へ返送せず直ちに文書課から發送してしまふ。但し執行するに決り後時期を待つ必要があるが、きは特に書類の上に注意して執行前に主任へ廻すことにしてゐるのであります。又書類の發送に就ては郵便時間に御注意を願ひたいと思ふ。私が福島縣に奉職して居つた時に、書類が縣廳を何時に發送せられて、それが郵便局を何便で出て郡役所へ何便で着いたかと云ふことを小票に書いて送つて貰つて一週間の表を作りました、福島縣は御承知の通り青森線が真中を貫て居り同線郡山驛から會津方面に行く支線があり又海岸線が平から相馬郡の中村を通つて宮城縣の岩沼に合して居ります、福島から平方面へ書類を送ると宮城縣の岩沼を迂回せねばならぬので、書類が到着するのに時間がかかる、郵便物は汽車の時間を見計つて郵便局から發送せらるゝのであります。退廳後或は夜間に急ぎのものとあるから判を呉れと起されることがあります、然し書類に急いで決りを捺したところが十時を過ぎれば翌朝迄は發車する汽車がないから何もならぬ、一週間計りの経験によつて見ますと會津方面は午後

文書發達
用紙の使
用に就て
は、經濟
的な事
なすこと

千葉縣
千代田
利根郡
利根町

五時、福島發の汽車に積むが最も早く到着する、海岸方面は少し早めて三時の汽車に積むやうにした方がよいといふ統計を得ました、近來は逓信省でポストの開面時間表を各戸に配ることを始めました、地方官廳にても郵便の發着時間を貼出して置く所もあります。縣廳等に於ては殊に注意して最も適當なる時間に發送すべき書類を郵便局に送り付ける様に工夫するものも亦必要なることと思ひます。殊に船便に依る所ではさういふ點は餘程注意しなければならぬと思ひます。次ぎに文書を發送するに就て用紙の經濟に巧拙がある、これは町村役場等に殊に必要なことに思ひます。發送のみならず或る地方廳に於ては紙の便ひ方に就ても餘程經濟的にやつて居る所があります。例へば罫紙は總て半裁にするとか西洋紙を用いてインキで表裏共に使用するとき、公文用紙は反古でも使つてはいかぬといふことを決めて居る所もあります。これは反古と思つて大事の書類を失ふ恐れもあるからであります。其用意は周到であると云はねばなりません、つまらぬ事のやうであります。例へばこれから諸君が觀察せられる等になつて居る千葉縣の源村は役場の建物も至つて小さく、總てのことが經濟的に行はれて居ります。官報の帯紙を切つて紙燃りを作るとか、反古で封筒を作るとか二重になつて居る封筒の中の色紙を分けて封筒にするとか、小使を使つて廢物利用を圖つて居ります、或はそんなことをするよりも安いものを澤山買ふて用ひた方が、經濟上よいではないかと云ふものもあります。これが又一つ

廣島縣
村役場の
秋袋製作千葉縣
千葉市
理事の
理事名

には訓育ともなっております。役場ではかういふ廢物まで利用して居るといふのが訓育上良好なる結果を出すのであります。廣島縣の廣村では助役が家に歸つて仕事の暇々に夫婦で役場の狀袋を貼つて居るといふことであります。一般の町村役場でも、どうか是位親切にやつて貰ひたいと思ひます。町村の指導をする時分にはさういふ事までも御注意になつたならば篤志の人は實行して呉れることと思ひます。次に千葉縣で收受發達簿を廢して理事事件名簿といふものに改めた所が大變に簡便になつたといふことでありますが、之は千葉縣の方から直接お話を承はつた方が明瞭であらうと思ひます。

○千葉縣屬小澤勝君　千葉縣では收受事件名簿が不整理で甚だ困つたのでどうか整理したいと思ひまして種々考へました所、町村役場は單に進達するに止まるものは之を收受事件名簿で處理したならば手數も省け整理にもよからうと云ふことになつたのであります。從來は町村役場を経由すればよいといふ書類に就ては進達回報といふものを設けて居つたのであります。役場などに餘り帳簿の多いのは却て手數を煩す計りですから、成るべく帳簿の數を減らし收支事件名簿の整理をよくし、又進達する書類に就ては、必ず決判を経て出す習慣を付けることに致し度いと考へて、理事事件名簿といふものを備ふることに致しました。そこで町村役場を経由するだけの文書でありましたならば理事事件名簿へ記載しまして何月何日進達といふことを書き加へましたならば其進達と書いた所で直に

町村長の決判を取ることにしたのであります。それからいろいろの證明などに就ては、口頭受理の方法を開きました。何々の證明をして貰ひたいと言つて來れば其の理事事件名簿へ件名を記載し、其の傍の欄に要旨を書き込みたる上一定の様式の證明書を直ちに交付することに致しました、今日までの實行に徴して見ますと大分成績はよく多くの事件は理事事件名簿で處理されるやうになつて居ります。

次に文書を收受してから發送するまでの顛末は明確にして置かなければならぬと思ひます。これは申す迄もないことでありますが、文書の行先が不明の爲め一時事務を滯滞することもあり、甚だしきは全く紛失してしまふことも間々あるのであります。地方廳では大抵督促簿といふものを設けて書類の行先に注意して居られることでありますがどうか此督促を嚴重に勵行して、まだ主任の手で調査中であるとか、それが何日會議に出したとか、或は判決か何時済んだとかいふことをいつでも明にして置き度いと思ふのであります。後にお話をします戸倉村では未決簿を作つて置いて、一つの仕事は一日でやつてしまふ。それが出来なかつたならば村長が未決簿で持つて督促をすることになつて居ります。町村役場などでは勵行さへすれば譯なく出来ることと思ひます。督促機關を設けて書類の行先を常に明かにして置くことは申すまでもなく必要のことと思ひます。

文書處理
の顛末を
明らかに
すること
を要す
督促戸倉村の
未決簿

法處理の方

(三)事務處理の方法、事務を處理するに就ては第一に準備行為が必要であります。これを軍隊に就て見ると、戦争をするには先づ全體の組織を整へ、作戰計畫を定むる必要があるのと同様であります。然らば準備行為としてはそれだけのことが必要であるか、それに就て述べたいと思ふことが三點あります。

其第一法
令其整理

其一是諸法令、例規を整頓して改廢の際に怠らず加除訂正することであり、前に事務は總て法令の定むる所に違ひ、又は先例の示す所に反する様なことをしてはならぬと申しましたが、それに就ては諸法令、例規の整頓が最も大切で、それか無かつたならば恰も暗夜の航海に磁石を失したも同様であります、地方官廳に於ては夫々充分に注意して居ることと思ひますが、本省へ出て來る書類を見ますと時々不注意から出たことではありませうが、既に法令の改廢せられて居ることを少しも氣が付かずに居る様なことが折々あります、之等は畢竟法令例規の不整頓といふことから起ることと思ひます、此の點は殊に御注意を願ひたいと思ひます。先刻申した敷地村の村長の如きは毎日深き注意を以て自ら此の事務に従事して居ります、又縣廳或は郡役所から此の點についてやかましい令達を特に出して居る所もありますが、誠に結構なことと思ひます。一つでも忘れれば場合に依つては大變な間違が起りますから是非忠つてはなりません。後にお話をしますが索引等を作つて見易いやうにして置く

法の令規
は、事務加
除は、事務
員は、事務
責を任可
す

その外の人は何も知らずに居る、其爲めに甚だ不都合な場合を生ずることがありますから充分御注意を願ひます。

其二年
中設
行事
定

日村津津千
一市町郡葉
覽務の木縣
表期町更君

郡口賀歌あり付を年
(舞郡山りたし印中
屋(舞)るて劇行
武山那和郡領に事

其二是年中行事を定めて置くことであります。これは町村役場等には殊に必要なことであります。期限が定めてある書類の進達を誤らぬやうにするためには年中行事のやうなものを豫め調製して置く必要があります。此所に掲めましたのは千葉縣津郡木更津町長加賀見儀助といふ人か作つた、町村事務期日一覽表といふのであります。(實物を示す)丁度巡查の名簿のやうになつて居つて最初に例月期日の部、次には豫報の部、臨時の部、それから月朔にして上に事項を書いて下には關係法規を記して置く、かういふのを自分で工夫して縣内の各町村に寄附したのであります、誠によく出来て居ります。或る地方では年中行事を印刷にして町村に頒つて居る所もあり、又今回御持参になつたものゝ中でも郡役所で年中行事を決めて町村に分つた所もあります。例へば和歌山縣の那賀郡役所の如き之れであります、其一番初めに書いてあることが面白い、常に訂正することを怠りては却て本表の爲めに誤られるから其事を注意せよ、といふのであります。これは必要なる注意

山田村長
の心得埼玉縣東
玉郡東
玉町東
玉村東
玉兒
の
方
注
保
存
書
類

利に出来て居ります。此人も永く助役をして居つた、既に廿年以上も役場事務に携はつて居る人でありませんが、『人は何時死なぬとも限らぬ、若し簿書の整理が不完全であつたならば、さう云ふ場合に後の人はどんなに困りまじやう、私は何時死んでも又どんな事が起つても、後の人に迷惑を掛けぬやうに又どんな素人か來ても役場の事務が直ぐに分る様に、此の點は特に注意して書類の整理をやつて居ります』と言つて居りました。利己と云ふ觀念を離れて、全く村の爲めに盡して居る其心掛けは、誠に結構なことと思ひます。簿書の整理不完全なるため事務引継ぎが完全に出来ず、前任者が去ると後任者には何も分らぬといふ例も少くありませんから、書類の整理といふは餘程大切な事と思ひます。それから埼玉縣の兒玉郡では、大變細かなことをして居ります、これは埼玉縣の方のお話を願ひます。

○埼玉縣屬成松胤隆君 兒玉郡東兒玉村のことを申し上げます、三十六年に郡が訓令を發して準則を示したのであります、本村の規定は此準則に基いたものであります。何所も同様であります、文書を十ヶ年保存のもの永久保存のものとしそれを又種類別けにして、一定の箱に納め何の書類はどの箱に這入つて居るといふことが、直く見えるやうに整理してあります、又始終取扱の書類は其箱に入れますが、保存書類は倉庫に入れて居ります、倉庫には吹抜の棚を拵へて、置き所を一定して

整理して居ります。

今お話の東兒玉村の方法は陳列場で御覽を願ひます、これは内閣でも採用して居りますが、藏の入口に第一號の（イ）には何か這入つて居るといふ表がある。かう云ふ風にして置けば小使でも給仕でも其他誰れが行つても、必要な書類を直く捜し出すことが出来ます。事務は整理して帳簿の付け方はよいが、帳簿書類が押入の中に無秩序に山のやうに入れてあるのが有る、現に有名な町村の中にもさう云ふ様なやり方である所を見ましたが、地方を巡視する際には、十分注意を與ふことを怠らぬ様願ひたいと思ひます。

念の爲めに申して置きますが、簿書の編纂等に就き各地の例を取寄せて參考の爲め御覽に供することになりましたが、從來のものを一齊に立所に改正してしまふといふことになれば、地方の經費にも關係するのであります。現に宮崎縣の名寄帳の政正を司法省でやかましく催促するのでありますが、入金を掛けること少からぬので、數年間に分けて實行したいといふのであります。濫りに形式上の事に事務を處辨する上に就て注意すべき二三の點を申上げたいと思ひます、一つは時間の勵行であります、内務省に於ても兒玉伯が大臣をして居られた時代には、午前八時出勤を嚴格に勵行せられた、現

簿書の編纂等に就き各地の例を取寄せて參考の爲め御覽に供することになりましたが、從來のものを一齊に立所に改正してしまふといふことになれば、地方の經費にも關係するのであります。現に宮崎縣の名寄帳の政正を司法省でやかましく催促するのでありますが、入金を掛けること少からぬので、數年間に分けて實行したいといふのであります。濫りに形式上の事に事務を處辨する上に就て注意すべき二三の點を申上げたいと思ひます、一つは時間の勵行であります、内務省に於ても兒玉伯が大臣をして居られた時代には、午前八時出勤を嚴格に勵行せられた、現

事務處理の要項

事務處理の要項

事務處理の要項

外國官吏
法務省

執務中の
官吏の
短少を
補ふ
こと

其日の事
務中に
終日
了せし
むるこ
とを
要す

戸倉村
で此の
主眼
を實行
す

在に於ても農商務省では之れをやつて居ります、此事は必要なることに相違ありませんが、時間通り出勤したからといつて役所へ来て新聞を讀むで居るといふことでは何んにもならぬと思ひます。時間利用といふことを考へて、秩序的にやつて行くことに致したいと思ひます。西洋の話を聞いて見ると西洋人の働き方は餘程違つて居るやうであります。官吏でも晝飯時間には家に歸つて二時間も三時間も休み英氣を養つて又出勤し五時頃までも事務を取る、かういふ風に執務に餘裕がある而かも執務中は人か面會に來ても五分位の立話で済ましてしまふ。我國では殊に地方に行くと役所へ面會に來ても、机の脇に腰を掛けたら容易に立たぬといふ弊がある、これは最もよくないと思ひます。兵庫縣では事務官室には茶碗を備へて置きませぬ。來た人も、事務の繁忙なので外套を着たまゝ立話で用事を済して直ぐ歸るが、田舎の方では一般にさうは行きませぬ、これは人民の方でも充分注意しなければなりません。執務者の方でも其心掛てキチンと事務をやつて行くことか必要と思ひます。

次には其日の事務は其日に終へてしまふことが必要であります。これも勵行するには困難なことではあります、極めて必要なことであります、殊に町村役場等の事務は非常に複雑なものではないのでありますから、其日に來た事件は、其日の中に片付けてしまふことはさまで困難なことではないと思ひます。先刻申しました通り戸倉村では此の主義を忠實に勵行して居ります、敷地村でも夜まで

掛つても、其日のことは其日の中に處理してしまふことになつて居ります。他の町村に於ても之れに習ふ様獎勵して戴きたいと思ひます。

次には報告の期限を誤らぬことであります。先刻お話しした年中行事とか又は期限表などを調製して置いて之を勵行する。講習員諸君も屢々實驗せられたことでありませうが、報告が一ヶ村でも期限を誤れば郡で統計を作ることが出来ませぬ、縣に於ても矢張り出来ないのであります、中央に於ては殊に其必要が甚しいのであります。全國一萬有餘の市町村中一ヶ村でも期限を誤るものがあれば、那縣に於て之れを纏むること出来ず延いては其影響を全國に及ぼすこととなり、つまり一村の怠慢が一萬有餘の市町村に迷惑を掛けることとなりますから、此事は町村當局者によく御示しになつて、國の爲めにすることであるから、期限物の期限を誤らぬことが、如何に必要であるかといふことを了解せしめて戴きたいと思ふのであります。

次には回議文書の簡を圖ることであります。これに就きましても事務簡捷の結果大分各府縣に於て改良を加へられて、内務省に報告せられて居りますから、定めし郡役所等にもお示しになつて居ることと思ひます、斯く近來種々工夫を凝された點が多いのでありますが、兎角一利一害で一方に利益があれば一方には不便を免かれぬといふやうなことがあるのであります。照會書を發するに就ても……

事務處理の要項

期限を
定められ
たる報告
の期限を
誤らざる
こと

回議文書
の簡便を
計ること

領會川紙
分上下段に
記入し會入
るな入容
る所あり
ては決判
のようにな
山口縣某
郡に於て
を代表し
示す
教の原本
を常及付
千葉縣に
は千葉縣
に於て
換照會書
に

今度提出されて居る中にもありますが……極く簡單なものは照會書を二段に分けて上の方に照會すべき事項を書いて、下の方に回答を書き入れる仕組のものがあります。此の用紙は原議から切り放たれるやうにしてありまして、決判が済めばこれを切り放ちて送付すると先方では下段に回答を書いて返事をよこすといふことになつて居ります。此方法は地方では随分行はれて居りますが、輕易なるものには随分便宜の方法であります。福島縣では決判のものを送付すると思ひますが、それでは書類が紛失すると判らなくなる虞れがありますから、其點は餘程注意しなければなりません。此頃山口縣下を視察した人の復命に依りますと、郡の名は今記憶致しませぬが、或郡では何回も督促照會するときは一々之を表に記入して置いて、これで何回目であるといふことが明かに分るやうにし、一ヶ月の成績を表として各町村に示して矯正の策を講じて居りますが、之れも誠に結構なる矯正策であると思ひます。福島縣のやり方では質問の元本を送付してしまふから後に残らぬので都合を感ずる場合があると思ひます。此の弊を防ぐ爲めには、郵便局のやうに黒い紙を下に布いて書けば、原本と副本とが同時に二枚出来る、その中の一枚を送つて一枚を取つて置くことにすればよろしからうと思ひます。照會書類の如きはさう奇麗に書かなくてもよいのであります。千葉縣では照會すべきことは、縣報に掲げることにして別に照會書は發しないことになつて居ります。これは餘り例のない扱ひ方ではありますが、

結構なことと思ひます。縣報を始終意らず注意して見て居らぬと照會があつても知らないで居る。何月何日に縣報に掲げた、あれはどうなつたかといつて催促が来る、従て縣報を熟聞する習慣を養成することとなるのであります。此頃はどうかつて居りますか。

○千葉縣屬小澤勝君 近來は大分其習慣が付いて參りました、つまり縣報を必ず見る習慣を付ける爲めであります。

それから督促のことです。先刻お話した阿武郡では督促狀は赤紙にして居ります、これは人の注目を惹くことが甚だしい、赤紙が來たならば早くしなければならぬといふ慣習を付ける一工夫と思ひます。是等の事に就ては平常大分御研究の方もありませんから、私の申し上げることは、これだけにして置いて何れ御經驗談を伺ひたいと思ひます。

次ぎに地方事務の内、主なるものに就いて申し上げます。

第一、徵稅事務 徵稅事務は御承知の通り地方事務の中で最も複雑であり、又事務件数の最も多數なるものであります。之れを整理して居ると否とは他の事務にも大なる關係を及ぼし、吏員の數に迄も影響するものであります。一度び徵稅事務を怠りますときは、忽ちに滞納が溜ります。そうなることを整理する爲めに特に人を増さねばならぬ場合もあるのであります。又其事務の能否は直接財政

阿武郡に
は亦紙に
を用ひ

第一徵稅
事務

源村の納
税組合福島縣
沼津市
沼津町
沼津下町若松市の
日掛金
久留米市
の日貫月
貫の方法

する貯金組合を設立することが、最も必要となるのであります。従来の例によると納税成績の良い位の町村には納税組合も容易に出来るのであります。これは畢竟人の問題で篤志の人が居る所には特種なことが出来るのであります。納税組合の最も必要なのは納税成績の悪い所であり、所が其納税の組合の最も必要な所で之を作らうと言つてもなか／＼出来ないものであります。根氣よく勤めて呉れる人と適當なる監理者を得るより外は致し方がないのであります。源村の納税組合では郵便貯金にして居ますが、小學校の生徒に集金をさせて居るのであります。教師が生徒を撰定して、どの字は誰れと各受持を定めて置き、生徒が役場の袋を持つて、各自受持區域内の貯金を集めるのであります。又福島縣の河沼郡坂下町は元と非常に滞納の多い所でありました。そこで日掛貯金を始め役場の使丁三人を使つて毎日掛金を集めさせることにしたのであります。今日では町民の八九歩通り組合員となつて居りまして、これが出来た爲めに全く滞納の弊を無くすることが出来たといふことであります。日掛の方法は農村のやうに人家が散在して居る所ではむづかしいのであります。町のやうに人家が密集して居る所では容易に行ふことが出来ると思ひます。例へば市でも若松市の如きは日掛貯金をやつて居ります。又久留米市の如きは日貫月貫法といふのを行つて居ります。久留米市には収入役に熱心家が居ります。現今では久留米市は滞納がないので評判のよい所でありますが、以前は非常に納税が不整理

静岡縣
静岡市
静岡町
静岡下町大阪市の
振替貯金
の振替法

であつたのであります。そこで市長助役收入役等が熱心に説廻つて納税の責任を家主に負はすことにしたのであります。市に於ては寄留者が多い、従て滞納をするものが多くなるのでありますから、家を貸す時分に納税に就ては一切御迷惑を掛けぬといふ證文を取つて、家主が責任を負ふて納めることになつて居るのであります。それでありますから寄留者も久留米市に來れば、此所は税を能く納めなければならぬ所だと初めから承知して居ります。家主も責任を負ふて居りますから、市でありながら滞納がないのであります。近頃納税組合は各地で行はれて居りますから、いろ／＼御工夫もあること、思ひます。これも後で承りたいと思ひます。又静岡縣濱名郡積志村では銀行の貯金から租税を差引く方法を取つて居ります。此の村にある積志銀行は村に取つては深い關係のある銀行であつて、町村合併の際村名に其銀行の名を取つた位であります。此銀行に便利なる貯金が出来て居つて、其貯金の中から税金を差引いて役場へ納付してしまふので、間違などのない便宜の方法になつて居ります。又近頃の最も新例で他には行ひ難い事であるかも知りませぬが、大阪市では振替貯金で納税する制度を始めたのであります。大阪は四區に分れて居つて納税者の數も非常に多いのでありますから、多少の経費は掛りますが今回税金を振替貯金で郵便局に納め得ることになしたのであります。これは通信名でも賛成して呉れまして兎に角試験的に大阪でやつて見ることになつたのであります。これはまだ試

納税者の
出所を
市街に
納税所
に設け
るに
注意
する
こと
は
早め
に
行
ふ
べ
し
と
す

納税者の
数に
増減
あり
得
る
事
を
注
意
す
べ
し

納税者の
手帳を
整理
する
事
を
注
意
す
べ
し

驗中であつて、當分他からの申込には應せぬことになつて居るから、直接御参考にはならぬと思ひますが、逓信省でも多數の人手を要することであり、先づ大阪で試験をして見て、其結果が良かつたならば他にも許さうといふことになつて居ります。次に神戸市では市内に戸數の派出所を常設して納税者の便宜を圖り、又町村でも山間部落等では出張して受取つて居る所もあります。出張所を設くるまでなくとも、納税者の多數ある時は納税の日に限つて執務時間を早め又は延すことも一の方法であると思ひます、此の事は既に東京の區の中には實行して居る所もあります、それでないと例へば官吏の如きは出勤時間がありますから納税の爲めに勤務を缺かねばならぬこととなり、農村等では夜間取扱ふことにしたならば便利のことと思ひます。又東京市の如く大きな所で最も必要なことであり亦既に實行されて居ります通り、納税日には特に吏員の數を多くして受取口を澤山設け、入口と出口とを分けて柵を結び巡査に應援して貰つて、順々に納めて行くやうにするのも必要であります、兎に角さういふ風に特に納税者の便宜を圖つて時間を空費せしめぬやうにすることは、又滞納を防ぐ一の手段になると思ひます。併しながら斯く種々なる方法を盡しても滞納を絶滅することはなか／＼困難である、滞納の整理に就いては今後益々諸君の努力を願はなければなりません。先日の實驗談にありましたが、滞納者の中には督促手数料と利息とを差引勘定して居るものさへあるのであ

ります、さういふものには有力者の方から先に督促に掛つたならばよいと思ひます。こゝで埼玉縣秩父郡樋口村の事例をお話して戴きます。

埼玉縣秩父郡樋口村

○埼玉縣成松胤隆君 秩父郡樋口村では以前から納税組合を設けて居りまして、税金は其組長が取り纏めて納付するのであります、これは以前からの習慣でありまして今日では郡内で納税成績の最もよい村となつて居ります。

富山縣では滞納督促の手續を減する爲めに、豫め注意する方法を取つて居ります。そのお話を願ひます。

富山縣正府君 毎期滞納するものは凡そ各村に於て分つて居りますから、そのものには納期前に豫め各戸に就いて特に注意を致しまするに、其結果は頗る良好のやうであります、注意方法は

納税者の
成績を
注意
する
事
を
注
意
す
べ
し

縣稅、國稅すべての成績のよい町村を表彰することに致しました、各税を通して納期三日前までに完納になったもの、及び納入額が全部の八十九パーセント以上に達したものを、表彰するのであります。三ヶ年間に表彰しました數は、百七十二箇町村に達しました、昨年は地方局長の御來縣の當時、褒賞狀授與の式を挙げました、褒賞狀は役場の入口に掲げて置かせ、若し其後成績悪くなれば

事務處理の要項

それを取上げ、その事を縣報に告示するのでありますが、之れを取上げた例は未だ一回もありませぬ、今では全町村の六分以上を表彰致して居ります。

縣税の滯納に就ては地方官會議の時には其成績を配付し、又官報にも掲げてあります。近頃秋田縣山口縣等に於て整理を始めましたが、其狀況は官報に掲載して置きました。凡そ納税の整理をするには期日を決めて實行するが最も必要であると思ひます。宮城縣で滯納整理を始めた時の話を聞きますと、今の龜井警視總監が知事で居られた時郡長會議の際に知事から「宮城縣は凶作續きで甚だ氣の毒であるが、滯納が非常に多い、五六年間に亘る滯納もある。これでは事務の整理も出来ず財政の整理も覺えないから、此際是非戦後の經營として、各郡の狀況を調べて本年内に滯納の整理をやつてしまいたい、然しこれをやるに就て他の事務に溢滞を來しも困るから、大變骨は折れるが一つ奮發してやつて貰ひたい」といふことを話されて遂にそれが成功したのであるといふ話であります。其際は縣廳でも郡役所でも随分骨を折つたさうであります。爾來同じ筆法で三年間續け現在では大に成績が擧つて居ります。又或る地方では滯納者の家には其事を公衆に示す爲めに赤紙を貼る所があります。小學校の生徒がお前の家では税を納めぬから赤紙が貼つてあるといつて他の生徒にいじめられる。子供は家へ歸つて家では税金を納めぬから赤紙を貼られたのであるさうだ、學校で皆からいじめられるから、こ

納税の整理
に於ては
期日を定
め、實行
するが最
も必要と
思ひます

滯納者の
家に赤紙
を貼るの
を公衆に
示すこと

れを取つて貰はぬ内は自分はどうしても學校へ行くのはいやであるといつて、両親にせがむので、両親も遂には之れに動かされて、酒飲みであつた父親が酒まで廢めて、税を納るやうになつたといふ實例もあります。これは少しく慘酷のやうでありますが、時と場合に依りましては是等も一つの方法であると思ひます。どうか縣廳とか郡役所ではこの納税成績を擧げることに全力を盡して戴きたいと思ひます。

第二、會計事務 次ぎに簡単に會計事務……主として會計事務……に就いて申述べます。會計事務が迅速に處理せられると云ふことは、最も必要なことであります。金銭上のことは受取るものであつても渡すものであつても、是非迅速に處理しなければなりません、自分が會計事務を取扱つて居た時にも、受取るべき金のある者は早く渡されるのを待つて居るものと思ひますから、其支拂は出来得るだけ早くすること、心掛けて居つたのであります。又會計事務を處理するに當ては、其日の出納は其の日の中に必ず精算して記帳を怠らぬ様にして置かねばなりません。町村役場では最も綿密な收入役である居ると、帳簿を綺麗にする爲めに、淨書して居る。これも出来れば結構でありますがそう云ふことをしてひなからうと思ひます。帳簿の整理をし計算に誤がないやうにして、證據書類等を整へて置くことが

第二會計
事務
會計事務
は迅速に
處理する
ことが最
も必要と
思ひます

其の日の
出納は其
の日に精
算するこ
とが重要
である

に證據書類
を保存する
ことと要す

役場の金
錢及帳簿
の保管を
大切にす
ることに
町村の出
入を管理
するに
意を
集中
すべき
ことと
要す

最も必要であります、難村を整理する際に證據書類がない爲めに非常に困ることがあります、印刷にしてお廻する筈であります、山形縣に非常な難村があつて明治七年頃からの借金がありました、打ち捨て、置くこともできぬので、興業銀行から低利の資金を借り入れて、整理することゝなりました、何が云ふにも七年からの借金でありますから、利に利を重ねた上に證據書類が不完全なので、個人の借金や何やら不明であつて、縣廳でも甚だ困却した例もあります。證據書類は充分八釜しいふて、保存されて置きたいのであります。又役場の金銭及帳簿保管のことも大切であります。又町村の出納検査を怠らつて居る所が甚だ多い、のみならず其の検査が非常に形式に流れて居るやうであります、これは是非改良しなければならぬことと思ふのであります、出納検査は必ず之を勵行し、而して又形式に流れぬ様にしなければならぬと思ひます。會計事務は經理其の宜しきを得る様に致さねばならぬことは、申すまでもないのであります、縣に於ても縣參事會員から會計検査の結果、意見書を出されて答辯に窮する様なことがあります、同一地方の農學校と中學校に於て、同一物品の買入値段が餘程違つて居る、同じ炭一俵の値段に何故これほどの相違が起るかと思はれるのであります、それは畢竟經理が其宜しきを得ぬためと思ひます、今は故人となりましたが、香川縣 郡 村の小學校長は村民が其生前の徳を記念する爲め記念碑を建てやうとして、三百圓も金を融出したといふほどの

徳望家でありましたが、此の人は學校の會計の經理には非常に注意したもので、其の地方の商賣人から嫌はれた程であります、村會にも信用を得まして、小學校の豫算だけはいつも原案で通つたといふこととであります、氏は何を買入るゝにも先づ相場付を見る、例へば紙は何所か一番安くて其の質もよいといふ風に研究し、凡べて一年間にどれ位必要であるかといふことを計算して、一度に安く買込んで置く、又炭の如きものも、いつも残して行つたと云ふことであります、之は餘程大切なことで豫算が決まつて居るから、豫算内で買へさへすればよいといふのは、親切なる遣り方ではないと思ひます。

第三統計事務

京都府の
統計事務
處理方法

第三、統計事務

統計事務に就ては、各府縣其餘程御注意になつて居る様であります、殊に京都府では餘程以前から其注意を怠らぬやうであります、其苦心に就ては後で京都府の方に御話を願ひたいのであります。京都府では統計の爲めに特に機關を設けて居ります、即ち府縣郡役所、町村役場に統計主任があります、三十六年に先づ廳内の統計講習會を開催しました、それから各個の人の統計思想を養ふために、一週一度市内の人を集めて講習をし、一年間續けたのであります。講師には京都大學の教授も來ました、又知事内務部長も聽講生と一緒になつて、其講演を聴かれましたから、非常に効能があつたのであります。次いで府廳内に於ても、内務部長が係長になつて、講習會をして居るの

であります。又郡内には郡勢調査をなすに於て、町村長、小學校長或は村會議員其他町村長の指定したる人を選んで郡勢調査委員として居る所もあるやうであります。事務に就て申述べべきことは少なからぬのでありますが、時間もありませんから、これだに置いて置きたいのであります。尚序に一つ御注意を願ひたいのは、役場の構造であります。

第四 役場の構造

第四 役場の構造 に就ては、既に夫々各地方で考案をこらされて雛形を示して居らるゝ處もあり又加納子爵も役場の造り方を御研究になつて、理想的の役場の雛形を造られて居ります、今回提出せられた書類の中にも此の種のものがある様であります。それは後で御覽を願ひたいのであります、役場は事務員の爲めにも又人民の爲めにも、双方に取つて都合のよい様な、構造を選ばねばなりません。中央を土間とし真直に這入つて突當りの正面に町村長が居つて、その兩側に助役、収入役其他が居るやうにする式もあり、又町村長の席も一番前の受付の所へ置く式もあり、又土間を横に長くして町村長が真中に据つて、それに並んで助役収入役が居り書記は後ろに置くといふやうな式もありますが、要するに執務者が人民と直接話し得る様な、構造にするのが、必要であると思ひます。今度提出せられた中には、金庫の位置が宿直室と大變離れて居るのがありますが、これはなるべく傍に置いた方がよくはないかと思ひます。村會議事堂は二階を使ふ所もあり、又横にある所もありますが、村會議事

村會議事堂の構造

役場の建築物の用途に依りて異なるもの
香川縣山田村の取組
引所
準公事務

堂の如きは縣會議事堂とか、國會議事堂とかのやうに堂々たるものになくとも、場合によつては疊でもよい、打解けて話しの出来る方がよいのであります。場所によると疊敷に低い机を並べて、議事堂として居る處もありますが、却つて話が四角張らず圓満に行はれてよいと思ひます。餘り堂々たる構造を用ゐますと、立つて演説でしなければならぬやうになりますから、これは考へ物ではなからうかと思ひます、又町村等に於ては出来る丈、村民の娛樂的なる集會をすることが必要でありますから、財政が許すならば唯役場として許りでなく、他の集會にも使用することが出来るやにして置くがよからうと思ひます。香川縣の山田村では役場の事務所の傍に疊を敷いた部屋があつて、其處に舊曆毎月三日に、各自が製作した經木眞田を持ち寄つて、役場の吏員が委員を選み格付を爲し取引をして居る、納税期日には代金を直に役場に納めて行くといふ習慣も付いて居るので、大變都合がよいのであります。地方事務の内には公の事務の外に準公事務があります、此準公の事務例へば赤十字社の事務を執るに就ても、十分御注意を願ひたいのであります、會計の検査で公金だけやかましく言つても地方官吏の犯罪事件は却て赤十字社とか愛國婦人會とか云ふ、會の金を私消するのが少なからぬのでありますから、之等の事務に就ても十分なる注意監督をなさねば其効は薄いのであります。併ながら危険であるからといふて、産業組合其他町村の爲になる事業を、全くやらぬことも適當と申されませ

事務處理の要項

ぬ、地方によると篤志者がないので、そういう事務が執れぬ所もあります。又篤志者のあるよい町村になると、役場で萬事の世話を焼いて居るのもあります、畢竟は人にあることで、親切に事務を取る人があつて間違がない様な所では、之等準公務をやつてもよいのでありますが、唯十分なる監督が必要であると思ひます。之等の準公務を行ふにも役場は利用されるのでありますから、堂々たる建物を造る事は好ましくないと思ひます。

人的要件

人的要件

町付治績
否の懸念
市町長
職務の重
大なる感
ぜざる
を要す

次に人的要件に就てお話をしますが、人の問題に就ては、廣く縣郡市町村に亘つて申しますと、お話しすべきことも多くありますが、茲には主として市町村に就いてお話することに致します。假令市町村の形式的事務の整理が出来て居りまして、實際の事績の擧ると否とは、畢竟事務を執る人にあるのでありますから、第一に、大に力を盡さねばならぬのは、町村吏員の選任であります。殊に市町村長は其職務たる地方の開發に、最も直接の關係を有つて居る者であつて、重大なる責任を負つて居る者でありますから、現に其職に在る人には其責任が重大であつて、其職務は神聖なるものであるといふことを、充分自覺させなければならぬと同時に、住民にも亦市町村長の職務を、重んずる風習を

投票の
求むる
しを
町長に
要する
を要す

市町村長
養成訓練
を要する
を要する
を要する
を要する

養成しなければならぬと思ひます。殊に市町村長の職にあるものは、其地方の長老として、衆人の儀表となるものでありますから、其反ばす威化の力も殊に深甚であります、町村長たるものには其事を能く自覺せしめて、其平生を慎み徳を積んで其地位に耻ぢぬ様、心掛けさせねばならぬと思ひます、良い町村長になると或は投票函を設けて、自分のやり方に就て町村民の批評を乞ひ、自ら反省して居る人もあります、又町村長は部下のものを統御しなければなりませんから、職務に忠實にして他に其模範を示さなければなりません、細かなことは適當なる人に任せて置いて、自分は只大綱を握つて居るといふ人もあります、それも必ずしも悪いとは申しませぬが、任せるにも程度があるものであります、自ら働いて見なければ吏員は怠り勝となること、思ひます、又市町村長は吏員の養成訓練に注意して、賞罰を明にして貰ひたいのであります、思ひます、當に市町村長が注意しなければならぬ計りでなく、縣廳でも郡役所でも大に其心掛が必要であると思ひます。一例を申しますと、地方局では課員の訓練には大に力を用ゐて居りまして、あらゆる機會を利用して課員相互の研究を志して居るのであります。唯今實行して居ることは、第一に毎日食後に地方を視察して返つた人の複命談を聞くことであります、復命書であると時間を費すことが多いばかりでなく、復命書を見ただけでは徹底せぬこともありますから、口頭を以て視察談をさせ、局長始め我々も共に聴くこと

にして居るのであります。話であるといひて居る人は其談話につれて、種々なる質問をすることも出て來て甚だ有益であります。又外國の新聞の雑誌や書物で參考となるものは常に注意して居て購入して居ります。西洋の雑誌が時に五六冊も十冊も同時に到着します。それを一人で讀んで居つては時機も運れるしなかに讀めない、それで雑誌が到着すると、局に居る學士諸君に見て貰ふのであります。其の見たことを矢張り食堂へ集まつた時に話して貰ふさうすると勞することなくして省が見たと同じか若しくはそれ以上に能く頭に入れることが出来るのであります。それを一方で速記に取つて官報にだして差支ないものは或は之を官報に出し、又は報徳會に寄贈して斯民で廣く世間に紹介する手段も取つて居ります。之れはチヨットの時間の利用であります。お互が始終頭を改良して行く方法としては、最もよからうと思ふのであります。又例へば自治要鑑の出來るとか、田園都市が出來るとかする時、市町村課の人は朝早く定刻出勤時間前に來て、輪讀をして居ります。ういふ風にすれば譯もなく讀めるのみでなく、讀むよりは聽く方が能く耳に残つて居ります。又學士の一週二回朝一時間位宛刑法の講義とか行政法の講義をして貰ふこともして居ります。内務省に居る屬官の人は終始各地方を視察して見聞も廣くなつて居るからでもあります。能く各種の事情に通じて居るのは、一つには始終さういふ訓練に注意して居る影響があらうと思ひます。私は地方に行きますと郡長さんに役所の退け後

郡役所に於ては、
時分の執行に
輪讀を於ては、
輪讀を於ては、
とす可
ける訓練に於

町村にも
奨励する
必要あり

市町村長
の協議會
(廣島縣)
(岡山縣)

一時間とか、又は朝三十分早く來るとかして、有益なる書物の、輪讀會をすることを常に御勧めします。現に之れを實行して居られる所もあります。其他地方廳では知事さんとか内務部長とかの熱心で、時々縣廳の人を集めて互に視察して來たことを話す、或は知事さんあたりが調べられたことをお話になつて居る地方もあります。之れは非常に有益なことであつて唯事務だけを執つて居つては、其人の頭を改良發達させることは出来ませぬ、始終訓育することを、怠らぬ様にせなければならぬと思ひます。心掛け次第で實行することはさまで、むづかしいことではありませぬから、町村にも奨励する様に願ひたいのであります。町村の中でも斯民などを取つて居る町村ならば、確かに其役場の吏員の頭は、何處か違つて居る少しも訓練をせずに唯だ野暮ものまゝではどんな偉い人でも時勢に運れるのは已むを得ぬと思ひます。地方の事務官方にも其心掛けで部下の訓練に當つて戴きたいのであります。或は聞がないと云はれるかも知れませぬがやつて出來ぬことはなからうかと思ひます。さうすればやる方も勉強することになります。又視察して來てもそれを他人に話さなければ寶の持ち腐れで、何んにもなりません。他人に話すことにすれば自分も興味を感ずることと思ひます。序に申して置きますが、近頃は市長村長の協議會といふことが行はれて居ります。例へば廣島縣岡山縣の如きが之れであります。互に郡内の他の町村を視察するのであります。これは大層有益なことと思ひます。又近頃

町村事務
（千葉縣
山武郡）

千葉縣山武郡は時々事項を豫定して置いて町村長の打合せ會をします、例へば來月十五日には何村に集會して徴税上の打合せをすると思ふことを定めます、さうしますと其日までに各々自分の村の徴税に關する書類をすつかり整理して、其所へ持ち寄り郡役所からも人か來て互に帳簿を交換して檢査し、忌憚なく批評するのであります、それでありますから自分の村は今度は一點も非難を受けないやうにと、整理して持つて行きますけれども、變つた眼で見ますれば過ちを發見したり、かういうやう方は誤て居るといふ様な意見も出ます、これなどは誠に有益なる方法と思ひます、夫々御參酌の上各地方で、御勸めになつてよからうと思ひます。

次には申すまでもないことでありますが、市町村長は常に其の部内の融和親睦を計ることに注意して、村内を以て自分の家と心得て、懇切に指導することにしたと思ひます、然し實際の有様では村役場は唯一つの事務所に過ぎぬと思はれて居る例が澤山あります、町村長の尊ばれぬ源因の一つは體に茲にあると思ひます、町村長は町村内の事はすつかり頭い入れて置いて、町村内に起つた事件は自分の事件と考へて、親切に其解決を勉める様にして、夫婦喧嘩の仲裁までも引受けてやるやうになるのが、理想の極致であると思ひます、それに就ては町村内を親しく廻つて見て、貧困者があれば親切に救済の道を考へてやり、病人があれば見舞をしてやると云ふ様にせなければなりません、それで初

市町村
計和親睦
からなる

市町村
一員市
なる一員市
事務は町村
の事務は町村
の事務は町村

市町村
の町村長
の町村長
の町村長

市町村
の町村長
の町村長
の町村長

めて町村民と町村長との間が密接に結び付くと思ふのであります。次に若し市町村吏員の間に、共同一致の實を缺くやうなことがあつては、地方の圓滿を期することは到底出來ぬのであります、それでありますから上に立つ町村長は下の吏員の統一融和を圖ることが必要であります、或は町村長と助役と互に嫉視反目し、書記の中にも派が分れて居ると云ふやうなこともあります、上に立つ吏員からさういふ有様では町村内の一致など云ふことは到底望むべからざるものであります、他日町村制が改正になる様なことがありまして、吏員の選任に就ても町村長に充分の權力を賦與する様に致しましたならば、此點は改良する事が出來るかと思ひますが、現行法の下に於きまして、之等の失態なき様御指導になりたいと思ひます。又町村吏員に先きにも述べました通り其地位は重いものであるといふことを自覺せしめて、監督官廳の指揮命令を遵奉し、且つ其品格を高からしむる様にしたいのであります。茲に統計は持つて居りませぬが、大分近頃は町村吏員の犯罪が多いのであります、各地方からの報告によつて見ますと、其の源因の多くは酒色の爲めに公金を費消するにある様であります。地方だけで内済に終つて、内務省に報告にならぬものが餘程ありますから公金横領といふことはなか／＼多いことと思ひますが、其源因は先きにも申した通り、酒色に浪費するのでありますから、平素の監督として其人の行動を觀察することが大切であります。料理店に頻繁に入出入するとか、或は贅

[illegible]

町村會議
員も適當
なるを要
す

町村會議
族會
利用行の議

第 10 卷

らず、又法令を工んする所以を知らぬからであります。村民にその頭を養ふことが事務整理の根本的の方位であります。町村會議員に就ても黨派などの關係をはなれて、村の状況利害に明い適當な人を選ぶ様にし、議員もまた町村民の議題となつたこと批評的に議論するばかりでなく、自分か局に當る積りで専心に考へてやつて呉れるならば、町村の狀態が餘程よくなつて來ることと思ひます。町村會議員中に各方面に立つて専門家が出來て來ますれば、町村長も仕事がやり易くなると思ひます。町村會議員は此地方の重立つてありますから、旅行する場合も多いと考へます、其旅行の際には他の治績の擧つて居る町村を視察せしむる様にして、村の人か其話を聴くことに致しますれば、村民に村治に關する理想を與ふるのみでなく、其人か町村の公の事務に就て趣味を感ずる様になり、自分の町村のことを議するに就ても、親切になり従つて名案も出ることと思ひます。

爲めに左右せらるゝことなきやうにすることが、大切であると思ひます。就中情實に支配されると云ふことは、最も思ふべきことであると思ひます。今ではさういふ事はありませんが、黨派の關係で議會操縱の爲め事務の處理を二三にすると云ふことになると、自分の地位の安全を得るためにするのであるか、團體の爲めにするのであるか、可成り異なると思ひます。又法律の定むる處に適合して、情實の

且情實に陥つたならなか／＼挽回することはむつかしいのであります。この情實と云ふことに、一切顧着せぬ様になつたならば、地方の改良、事務の整理も餘程結果が擧ると思ひます、茫漠としたことはかり申述べましたがこれで終ります。

自治と經濟

内務書記官 中 川 望 君 講演

地方經濟
發展の必
要

今日は自治と經濟といふことに就てお話を致します。問題の廣いにも拘はらず僅か二時間でお話する譯でありますから、甚だ困難を感じますので、其中の肝要の點だけを申述べたいと思ひます。

地方經濟の發展地方實力の充實といふことは、地方改良事業の根底をなすところの重大なる一要素であります。衣食足つて禮節を知ると申す如く、地方人民が富んで居れば、總ての改革も遣り易いことと信じます。又地方の自治事務が整ふて、財政も整理し收支の調節が甘く出来るといふことは地方改良事業中第一着に行ふべきことであります。只それが満足に出来たといふだけでは足らぬ、人間

に譬へて見ると、其人の健康が普通の状態にあるといふだけであつて、唯だそれだけにして置ては地方の發展といふことも望みは少ない。殊に日進の大勢に伴ふて國運の發展を期せむとするの秋に當ては、當に事務の整備をし、財政の整理を遂げたといふだけで、満足しては居られないのであります。諸君へ差上げてありますところの各國の國力比較表等に就いて見ましても、まだ我國は列國と肩を並

べて行くには餘程國の富を増さなければなりません。此國運の發展をなすには精神上の發展の必要な

ことは無論でありますが、財産上の發展即ち富の増殖を圖るのが殊に急務であると思ひます。是から私のお話致さうと思ふ自治と經濟といふことは、主として自治團體と其富力の問題であります。

本論の要
圖

地方の團體を富ますといふことは、どういふことかといふと、其團體を組織して居る人々の富を増すこと、即ち言葉を換へていふと、其地方の産業を發展するといふことにならうと思ひます。それでは今日自治と經濟といふことをお話するに就きましては、第一には地方産業の發展策は如何、第二には其發展策を講ずるために地方の自治體が如何なる手段を執るべきであるか、第三には自治團體が其手段を遂行するために必要な實力を増進するの道は如何、といふことであります。

第一の地方の産業の發展策といふことは、先般農村改良事業といふことに就きまして大體ではありましたが、申述べた次第がありますが、それを御參考下されば茲に更に繰返して申述べねばならぬと思ひます。又昨日下午農務局長からも有益なるお話があつたやうでありますから、茲に繰り返す必要は尚ほ更なるからうと思ひます。第二に地方産業の發展の爲めには自治團體が如何なることを成すべきであるか地方の産業の發展を圖るに就ては、國府縣又は市町村と申す如く團體の階級によつて行ふことが種々違ふのであります。國の勸業行政のことは茲では申述べませぬ。地方の産業を發展するには、どうしても個人の力に依らねばならぬ。實際に働くのは個人でありますから、個人に於て

地方産業の發展を圖るに第一は如何なる方針を立てるに當るべきかといふこと

如何なる經營をなすべきかといふことも研究する必要がありますが、それも茲には略します。扱自治團體は此の目的のために如何なる方法を取つて行くべきものであるか、私は地方産業の發展策を立てるには先づ第一に一定の方針を定むることが必要であらうと思ひます。地方の實際を見ましても、産業發展の施政方針が定まつて居らなければ、其地方の人が唯だ銘々思い／＼の考へでやりまするし、又其考への及ばぬ點もありますから、假令産業が社會の進歩に伴つて自然の發達はしますにしても確實で且つ充分なる發達を遂げるといふことはむづかしいのであります。産業發展の方針が當局者の更迭或は地方議會の改選等によつて、屢々變はるといふやうな事がありましては、第一に産業の發展を阻害することは申すまでもなく、第二にはそれが地方の財政を紊るの基となると思ふのであります。これは諸君の既に御熟知のことと思ひますが、地方によつては曾つて設けた産業奨励の設備が、唯今になつて實際何の役にも立つて居らぬとか、或は十分利用されて居らぬといふやうなことが甚だ多いのといふことも非常に地方を紊るの基となるのみならず、地方の財政はこれのために餘程狂つて來るであらうと思ひます。抑も地方産業の發展などいふことは最も世間の同情を引き賛成を得ることです。誰れかい或ることを唱道すると中々賛成が多いのであります。其賛成が多いからといふて

あれもよしこれもよしで、無暗に産業發展策を講ずると、却つて充分な結果を擧げることとは出来ぬのみならず永續しないことになり得ます。それでありますから此施政方針を定むるに當ては如何にすべきであるか、充分考究を爲さなければなりません。

この施政方針を定めるに當ては、廣く各種の方面に互つて考究せねばなりません。過日申述べた農村改良事業の中にも出来得るだけ廣く種々の項目を擧げたのは、つまりそれらのお參考に資したい爲めであり得ます。例へば地方に於て捨てられたる利益の開發すべきものはないか、或は地方の産業のやりに方に改善すべきことはないか、又新たに起すべき地方適當の産業はなからうかと、廣く地方の經濟に顧みて、又市場の状況及び海外の事情等も出来得るだけ調べて、其地方の産業に如何なるものが適するかを明かにせなければならぬ。決して輕率に産業の獎勵等をやつてはならぬ。他の縣で此頃麥稈真田が流行るから、自分の方でもやつて見やう、或は葡萄の栽培は甚だ利益があるやうであるから此所でもやらうといふやうなことをして失敗した例も少なくないやうに思ひます。

次には其地方の既往の歴史を考へて現在の状況と對照して研究せねばならぬ。則ち産業上其地方が如何なる歴史を持つて居るか、其地方の産物が如何なる得意を地方に有つて居るか、其地方の産物が如何なる原因によつて起つて來たのであるか、さういふ沿革も考へて見なければならぬ。又其地方の

地方産業の歴史を研究すべき

現在の産業は、如何なる方針によつて是迄獎勵されて居るか、これも深く考へなければなるまいと思ひます。前任者のやつた事は、後任者の目から見ると種々批評の餘地があるものでありまして大に參考になります。斯の如く地方産業の歴史も考へると同時に從來の當局者の施政方針等に就ても、深く玩味して、己れの方針を定めなければならぬと思ひます。

地方産業の歴史を研究すべき

次ぎには出来得るだけ其地方に適した、且つ永遠の策を講じなければならぬ。時勢の變化によつては、地方の有益なる産物が全く廢れてしまふなど、いふこともあります。殊に今日の如き世界の經濟が共通になつて居る、世の中であり得ますから、種々貿易の關係等からして甚しい變化が起ることもあります。故に今日は地方の物産の盛衰が激しいのであります。従つて方針を定めるに當ては充分研究の上で其地方に適して、此地方の殖産としては是非これを發展して行かねばならぬ、又永く發展させて行くことの出来るものを定めて一般の策を講ずることが大切であらうと思ひます。

地方産業の歴史を研究すべき

次には施政の方針を定めるに當ては、極めて大綱を捉へて定めて置くことが必要であらふと思ふ。各種の方面に總て定本で決めたやうに方針を定めても、その遂行といふことは餘程むづかしい、大綱だけを極めて置けばそれに附随した外の點は時勢に伴ふて自ら定まつて來るのであらうと思ふ。事の緩急と輕重を考へて大綱だけを定むるに止めて置くがよいと思ひます。

地方の產物
と
實業

徳川吉宗

地方の産業發展と申すことには當局者の考が餘程影響するものであります。歴史上から申しまして、或は明君或は高僧知識といふやうな人が一つの産物を讀めたために、それが唯今までも地方の名産になつて居るやうなことが澤山あります。近い例で云へば、薩摩芋のこと、薩摩芋と申すと青木昆陽といふことを直ぐ聯想する。青木先生といふことを考へると又吉宗公といふことを考へる。吉宗公は薩摩勤業のことには熱心でありまして、且つ多方面に亘つて種々工夫せられたものと見へまして或は薩摩の改良をやるとか、薩摩芋に就ても青木昆陽の甘藷考といふものを見られて、各藩に種を分けられたといふこともあります。又開墾といふことに就ても、餘程此時代に手を着けられたものであります。まして、現に埼玉の大宮公園の附近にある北埼玉郡の箕間の開墾の如きは著しいものであります。これは徳川時代の關東三大工事の一と數へられて居るので、此開墾の出来たために米が非常に安くなつて、吉宗公は米將軍といふ仇名を取つたのであります。甲斐、薩摩の煙草、上野下野の織物、上州信州奥羽の養蠶、阿波の藍等は矢張り此時代から始まつたのである。それから紀州の蜜柑、甲州の葡萄酒佐薩摩の經節、沿海諸國の諸藩の食鹽、かういふものが吉宗公時代に、公が勤業に熱心であられたので其結果起つたのであります。それを考へて見ると地方の産業の方針を決める、或は新たな産物を定めるやうなことは、餘程影響の大なるものであらうと思ひます。其當時の各藩の明君といはれる

保科正之

前田松雲

上杉慶山

細川銀台

津輕信正

方々の産業發展の方針などは研究して見ると唯今の世の中にも餘程參考になることが多い。唯今でも福島縣の會津には種々の工業がある。尤も今日餘り發展はして居りませぬが、漆物、鐵物細工、陶器等といふ種々の工業がある是れは保科正之公が、他藩から物を買はずに、自分の藩内でいるものは自分の藩内で作るといふ方針で、産業發展策を講せられた結果であります。又加賀の前田松雲公——此の人に關係した物が内務省の陳列場に出してあります——此の人は保科正之公が後見をされたのでありまして、餘程保科公の感化を受けたらうと思はれます。非常に勤業のことに骨を折つた人でありまして其の事績は今度日英博覽會にも寫眞に撮つて出すことになつて居ります。其の中に百工比照などといふものがあります。其當時の漆器、織物、鐵器等の標本を集めたものでありまして、之を見ますと、あの時代で克くこれ程のものが出来たと思はれます。それから其當時の三百諸侯中の明星と稱へられた米澤の鷹山公、或は肥後の銀台公の如き勤業方針などは餘程初めから秩序を立て、根本的に勤業を努められたやうであります。諸君も御承知の通り米澤藩では非常な凶作の後で難儀を極めた際に、鷹山公は廿五年の繼續事業として、勤業の方針を定められたのであつて、それが唯今でも養蠶業や其他の工業となつて残つて居るのであります。明君の在られたといふ各藩に參つて見ますと、二百年三百年経つた今日でも何か立派なものが残つて居る、青森へ行けば津輕信正公の殖林事業の成果が、唯今でも國

野中篁山

産業の定む方
針をば専ら
針にば専ら
るにば専ら
門家は相
試すべし

有林の最も重要な部分を占めて居る。それから次に私が勸業方面の事績として面白いと思ひましたのは先年實地に見聞致しました、高知の野中望山の勸業政策であります。内務省陳列場にも其の事績が出て居ります。あの時代はまだ餘り手の着いて居らぬ時代でありましたから、聰明な人が産業の發展策を講じて其ことを行はうとするに當つて縣會で反對するでもなし、一旦君命であるとなれば、それが如何なる方法によつても遂行することが出来たのでありますから、充分の成果を残すことが出来たことと思ひます。又かういふ立派なる方針を定められた明君といはれる方には必ず學者なり、或は勸業の經驗家なり、適當の補佐官が附いて居る。聰明の君が上にあつて、下にかゝる人物を集めて方針を定めるのでありますから、其方針の誤りの少なかつたといふことも當然のことと思はれます。それでありますから、今日地方の當局者が勸業の方針を定めるに當ては、各種の方面の専門の知識ある人に相談しなければならぬと考へます。唯だ素人考へて、この土地は開墾をやつたらよからうとか或は此山には何を植へたらよからうとかいふことを無暗に勤めて、結果が悪かつたといふような例もあります。

輕市郡
是市町
村是市

各地方の産業の發展を講ずるに就ては、一定の方針を定めなければならぬが、其一定の方針を定むといふことは、つまり縣都市町村共、縣是、郡是、市町村是といふやうなものを定めることであり

是

此縣是としふことに就ては、農商務大臣が最も熱心に主張される所でありまして、同大臣が島

根縣知事時代に島根縣の方針を定められた御経験もあり、大臣に成られてからも此事を地方長官に對して屢々訓示もして居られる。又地方でも近頃大分縣是が出来て參るやうであります、これも多年の経験によつて既に地方のことが明かになつて居るのでありますから、縣是として産業の方針を定めるに就ても容易に出來得ると思ひます。私は一旦定めたる縣是は他くまでも非常なる時勢の變化がない限りは、又非常なる損失を招かぬ限りは其方針によつて、永くやつて行かねばならぬものと思ひます。是は縣是といふ語から申しまして當然であります。それでありますから、定むるに當り

815
816
817
818

和國縣に於ける是市町村は

市

市町村是

町村是設
定に關す
る注意

統計調査

で行ひ始めた年、則ち三十六年十月の調査で見ますと、一市十八町二百四箇村合計二百二十三箇所あつたのであります。而して諸縣に於ても町村是の調査をやる町村には補助をするといふ方針を取つてやつたので、其後澤山出来たことと思います。この最後の町村是を定めるに就ても、其方法は茲に詳しく述べる暇はありませんが、唯だ二三の注意を申述べて見ると、先づ第一に統計によつて、數字上の基礎の上に將來の經綸を定めるのが最も大事でありますから、統計の調査には餘程重きを置かなければなりません。此統計の調査が間違つて居るといふ結果を來たします。地方で町村是の統計を取る時分には生産調査、消費調査といふことを致しますが、村民は或は所得税等に關係のあるものではなからうかと虞るから固く秘密を取りて實をいはぬといふことがあるやうであります。これに就ては、町村是を定める趣旨をよく普及させて、人々の迷惑にならぬやうな方法を取つて、少くも眞實に近いものを求めることが大事であると思ひます。それから之れが調査を爲すには先づ調査委員を定め、實業の實際家とか、夫々各種の方面から調査委員を設けて先以て調査委員の訓練をせねばならぬと思ひます。

村は調査
に青年
を利用す
べし

次に村は調査には青年團體を利用することが最も利益であらうと思ひます。これは現に愛媛縣温泉

愛媛縣温泉
余土村

郡の余土村でやつて居ることあります。私は此青年團體の利用といふことは自治の訓育といふ方面から觀ても、利益があると思ひます。青年團體には各部落に屬する人が這入つて居るのでありますから、小字々に就て擔當者を定め各種の調査を遣らせるのであります。又其擔當者も定めやうによつては教育の擔當者、産業の擔當者、産業の擔當者の中でも養鶏の擔當者或は養蠶の擔當者といふやうに定める。それで自分の小さな字、小さな組合の擔當をして居りますから、例へば一青年或る字の養鶏の擔當者であるとするとその字の養鶏のことは詳しく知つて居る。始終此字では鶏が何羽居つて一日卵をどの位産むといふことを調査するのであります。又各字から統計を持て集まる際は出来るだけ自分の受持の方面の成績をよくしたいと思ふから、お前の家ではモツ少し鶏を飼はぬかといふて勸誘する人もある。さういふ人が各地方から種々資料を持寄つた結果、此村では昨年までは養鶏が何羽で卵がこれだけであつたが、今年はいかうなつたといふて、一村の養鶏事業の趨勢が、頭に這入つて參ります。余土村前村長、即ち彼の盲目村長として有名な森恒太郎氏もいふて居りましたが、統計の調査は年寄りには余程むづかしいが、青年團體を使ふと皆小學の經歷があるから、少し訓練をすれば直ぐ出来る様になるさうである。此の青年達に受持を小さくしてやらせると間違のない調が出来る。それで専門を決めて毎年やらして行くと、一年二年とやつて居る中に充分の調が出来る。其人が専門家になつ

て受持區の成績をよくしたいといふので實際家として働くようになる。かういふ人が大きくなると皆地方の産業上に趣味を持った又一定の考へを持った人になるのである。それで町村の自治の訓育にも非常に利益がある。それでありますから私は青年團體の自治の訓育といふことに就ては、無暗に青年團體に事業をやらせるよりも、かういふことの方が全程實益あり又精神上的の訓練にもなることと思ふのであります。

次に町村是を定めるに當つては、上級監督官廳が充分なる指導をしなければならぬ。又其實行に就ても充分なる監督をしなければならぬと思ひます。地方の人には實業の熱心家もありますから、間違は減多にならうと思ひますが、時としてはとんだ誤りを生ぜぬとも限らぬのでありますから、實地に於て多く指導をすることが必要である。

町村是を定めてそれを實行するとそれだけの利益があるか、それは地方の實例もありますから明白なことを思ひますが、是に就いては岸農學士の農村是設定法、村是資料論を御參考になつたならばよからふと思ふ。其中にテヨット面白いことか書いてある。日本の全國の土地の面積を農村の數で平均すると、一村が二千五百町歩、戸數が六百戸、人口が三千三百人になる。それから農戸數が四百戸で其人口が二千二百人といふやうな一つの村を拵へて、是れに就いて各種の産業改良の方針を定めて實

町村是設
定實行の
利益

町村是設
定實行の
利益

行して行く、かういふ計算になるのであります。(一)土地の利用に就て六萬五千圓、(二)米作改良七萬六千圓、(三)麥作改良一萬千圓、(四)蠶茶業改良一萬七千圓、(五)畜産改良二萬一千圓、(六)肥料取扱改良一萬九千圓、(七)産業組合一萬圓、(八)副業獎勵(農産物林産物)五十七萬千圓、總計七十九萬圓これだけの改良をすると、全國平均の唯一村で七十九萬圓の總收益があるといふ計算であります。實行着手の翌年から十四萬三千圓増収がある着手後數年を経ると、毎年の増収が六十四萬八千圓になる。これを一萬二千の町村全體から見ると、總ての額が九十四億八千萬圓になるのであります。設定の翌年から取れるのが十七億一千萬圓、數年後には七十七億七千萬圓づつ取れて行き、結局には九十四億といふ大した増収となります。此計算は餘程綿密にやつて居るやうであります、實際行はれさへすればこんな結果を得られるだらふと思ひます。町村がこれだけであるから、此上に郡縣が又種々改良の方法を講じて行くことになれば更に大なる利益があらふと思ひます。

此町村是を定めるに就て永遠の策を定めると申しましたが、其永遠の策といふのは、其精神が永遠に變ばらないものといふ意味で、之が實行の方法としては五年計畫とか、三年計畫とかいふ具合に餘り長くない年限で段落を付けて置く方がよからうと思ひます。

町村是を設定して、それを實行すれば先刻申したやうな増収の利益があるのでありますから、其利

町村是設
定實行の
利益

町村是實
其利益一
部を公益
事業に投
入すること

福島縣上
真野村に
於ける通
利代止の
公益事業

益の一部は公益事業に向けて行くといふ方針を定めて置くことも亦必要のことと思ふ。此事業をやつて、それで豫定の増収があつたならば其の増収の何割を以て他の公益事業に向けて行くといふ風にす。例へば或る地方で商業が盛んになつて來ると、生活の餘裕が出來て來る。さうすると又種々風紀を紊すやうなことも起り勝てありますから、利益の幾分を以て更に新らしき公益事業に向けて行くことが大事であると思ふ。福島縣相馬郡の上真野でかういふ計算を實驗したことがある。東北地方には通苗代といふものがあります。之は一度苗代に用ひた所を其儘はつて置いて、苗を植へぬのであります。これが非常に多いのであります。上真野だけで見ましても、通し苗代を廢してそこに苗を植へると一年に四千八百八十六圓といふものが生れて來る。これは苗代地に植へると収益が普通の田より少ないといふことになつて居りますから、八割に見積つての計算であります。之を實行して見ましたが丁度これが三十六、七、八年の三箇年平均を取つて見ると四千八百圓の増収でありました。通苗代を廢しただけでこれだけの金が出る。恰も此の村の經費に相當する金額である。今若しも福島縣下全體で通苗代を廢すると、縣下全體の町村費が出る計算となるのであります。さういふ風に地方には捨て、ある利益が餘程多いと思ひます。

前に増収によつて他の公益事業を舉げると申しましたが、御參考として展覽場にも出してあります

野中信用
組合

から御覽を願ひたいのは、群馬縣勢多郡木瀬村の野中信用組合の事業であります。これは廿七年に出來た組合でありまして、會員は僅かに三十五名、其資本金は二千圓であります。此二千圓の作り方が面白い、どうしたかといふと、作物の初穂を積んで作りしました。毎年一度づゝ持ち寄るのであつて、玄米が一斗、麥が一斗、大豆が一升、小豆が一升、草履が十五足、繩が廿五束、鶏卵三個、藪一升といふものを積んだのであります。此玄米一斗といふのはどこから出て來たかといふと、此部落で鹽水撰をやる、稲が餘る、其餘たものが丁度一斗計りになる。これは今迄捨て、居つたもので、鹽水撰をやつたお蔭でこれだけ湧いて來ることゝなつたのであります。又此の村では肥料の共同購買をやつて居りますが、其のやり方が中々適切であると思ふ。前回にも申し上げましたが、肥料は磷酸肥料がよいとか過磷酸がよいとか申しまして、唯だよいといふことだけを聽いて、實際に使はぬか又使ふにしまして、理由は分らずに金の掛つた肥を使ふのが、一つの流行になつて居ります。ところが其の村では共同購買組合員が自分は田と畑とをどれだけ持つて居つて何をどれだけ植へるといふことを組合に申出で、それに對しては何には如何なる肥料がどれ程要るといふことを組合で調べてやる。それは農事試験場の標準によつて調べる。何某の所は米か何んば、麥何んば、豆何んば植へる、さうすれば肥料が何程要るといふことを決めて必要なだけの肥料を種々調査をして、其儘用ひ得るものとして配

町村是の
實を
得る

附して居る。これだけの手續をすれば肥料の改良といふことも餘程利益があると思ふ。

町村是を立て、結果のよいものも大分ありますが、諸君の觀察される個所になつて居る東京府西多摩郡の戸倉村なども、元と非常に難村であつたのが、町村是を定めて其通り實行して唯今では東京府第一の模範村となつて居る。それから奈良縣の生駒郡北倭村は是は明治三十三年に前田正名男爵が熱心に町村是設定を唱道されて、日本全國で八ヶ所の模範村を撰んで、其所の村是を調査された。北倭村は其の八箇村の一つでありまして、此の村のことは内務省の印刷物等にも書いてありますから皆様も御覽のことであらうと思ひます。この村では村是をよく實施して居る。既に町村是を實施する際に、模範村といふ名稱を附けられたのでありますが、其模範村といふ名稱が非常の此村人を奨励して居る。此所の壯丁は徴兵検査に行つても他村の者とは其態度からして違ふといふことである。己れは模範村の若い者であるから徴兵検査に出ても決して他村の者に負けまいといふ氣がある。現に壯丁教育などの三箇月間もやつて居る。此の村の村是實施の結果を最近の調査によつて一言申しますれば、土地所有權に就て、他町村の人が此の村内で持つて居る土地が、三十三年の調査當時に比べると、一町三反二畝廿三步増して居る。一見するとは是は惡くなつたやうですが、本村の人が他町村に持つて居る土地がどれだけ増たかといふと、五十七町二畝二十七步になつて居りまして、差引五十五町七反

四歩の増加になつて居る。貯金の方で申しても郵便局や貯蓄銀行に預けてある金が八萬圓増して居る。今度日英博覽會へ内務省から町村の曼羅院といふものを出す都合になつて居りまして、高橋廣湖及び今一人の書家に頼んで、我が國の理想的の農村を描いて貰ふつもりで、此北倭村もイロ／＼の施設がありますから、此所を見に行つて貰ひました。所が、丁度此の人々が行つて泊つた晩が非常に暑くつて、夜寝るに戸を閉めると苦しい、閉めやうか閉めまいかといふ話になつて、若し閉めずに寝て泥棒が這入つたら、模範村の名は刺奪してしまはうといふて、閉めずに寝たところが、泥棒も這入らなかつたさうであります。此の村で監獄に這入つて居るものが四人ありますが、これは餘程古い時分に這入つて居るので殆んど名義だけださうであります。大坂には不良少年の非常にエライ奴が行つて居りますが、これも此の村に單に籍があるだけであつて、今日村内に犯罪者は全く居らぬと申してよろしいのであります。

一體縣是、郡是、市是、町村是と申しまして、これを明文に於て定めるのと明文で定めないのである。稻取村の如きは田村又吉翁の定めた常備軍、豫備軍、後備軍などといふのは文章には書いてないが、不文の町村是と申してよろしいと思ひます。兎に角明文で定めると、定めないとを問はず、大事のことは方針を定めて之を實行するといふことは最も必要であります。町村是調査といふことには大

町村是の
實地調査
の必要と
公表

變費用もかかる、青年會を使ふことを前に申上げたのも、一つには經費の節約の方法ともなるからである。成るだけ金のかからぬやうにして、印刷費などは無論要るが、手當などはなるべくやらぬで、村の一大事であるから、各種の人が出て働かねばならぬといふわけでやつたがよいと思ひます。それから私共が地方へ視察に出て或る村へ行つて、村是があるかといふと、さあ有つた筈ですがといふて大騒ぎをやつて、やつと古籠の中から古い印刷物を捜し出して見せるといふやうなことがあります、たとへ町村是を設けてもかういふことでは何にもならぬ。町村是を設けてあつても一向實行しないのが随分ある。さういふ所へ行つて辯解を聴くと、實はやつては居りますが、其の後の調査はして有りませぬ。調査に就てはナカ／＼金がかゝりますからといふ。それでは何にもならぬ。定めたからといふて後調査をしなかつたらどうなつたか分らぬ。矢張り委員を設けるとか、或は青年團體を利用するとか、擔任者を決めて置いて、其人々が町村是の實行の経過がどうなつて居るかを始終調査することが必要である。そこで私は町村是は實行を確實にするため成るべく明文で定むるがよからうと思ふ。何百頁といふ大冊子を作るには及ばぬ。簡明なものでよろしいから、書いたものを出來得るだけ村内の學校なり、役場なり、公會堂なり、神社なり、寺なり人の目につきやすいところに掲げて置く、例へば耕地の整理は何年間にやるとか、書いて赤い線でも引いた圖にして見易くして掲げて置く。さうすれば村の

人が始終見て、例へば廟の方はどうなるといふやうなことを、蠶を飼ふ人は必ず注意する。さういふ風に發表して置くと、實行を期する上に於て村の人が責任を重んずる。又た他町村のものが見に来ても聞かれると答へなければならぬから、更らに自分の責任の感念が強くなつて來ます。それに就ては矢張り神官僧侶或は教育者に骨を折つて貰はねばなりません。町村是を定めたならば直く學校に送つて、出來るだけ、其の中のことを教材にして貰ふことにする。例へば本村に於て耕地整理をやる、耕地整理をやると一反歩どれだけの金がかかる。さうして其利益は何んばである。差引いくら利益になる。さうすれば本村の全體の利益は何んばになるなどといふ立派な算術の問題にもなる。又他の町村との比較をして、之を學科の教材とするなども面白からふと思ひます。又僧侶方の説教等の時にも、町村是に就て詳しく述べて貰つたら餘程都合がよからうと思ひます。又神官に頼むもよからうと思ふ。其の御禮として或は寺或は神社に收穫物を奉納する。例へば正條植をやつていくら増収があつた、神社はこの村を守つて下さる神様であるから其一部だけは献上する、といふやうなことにすると神社と町村との關係が篤くなる。或は弊害の多い協議費なども要らなくなるかも知れぬ。さういふことにすると此の他にもイロ／＼趣味ある關係が出來て餘程面白からふと思ふ。總て事を計畫するには同じ事をするでも、工夫すれば趣味が附いて來る。此趣味を付けることは自治の調育上にも有益と思

ひますから、それ等の點に就ては尚ほ皆さんにも充分の考へを願ひたいと思ふのであります。

地方の産業の發展を圖るに就き一定の方針を定めて、それを實行して行くに就ては町村が自ら町村費を以て行はなければならぬことがナカ／＼多いのであります。勸業の方面のことは今後金を惜まらずドシ／＼やつて行かねばならぬことが少くない。併しながら其の資源は之を何處に求むるかは考ふべき問題であります。團體自身の資力の充實といふことに就いては種々の手段方法がありますが、是は地方財政の要項に就いて御話をする際に譲りまして、こゝには只基本財産だけのことを少くしばかり申述べて置かうと思ひます。

基本財産
不要公課
の町村

此自治體の事業經營をするに就ては、第一に財産の收入を以て其の費用に當つるといふことが原則になりて居ります。唯今現に町村税を賦課せしめて財産收入のみで經濟を営むて居る村は僅かに三箇町村しかありません。それは神奈川縣の足柄下郡、元箱根村、三重縣北牟婁郡錦村及び靜岡縣賀茂郡白濱村であります。町では兵庫縣の生野町が今日迄は租税を徵集して居りませぬ。其他財産の收入で經費の半ば以上を支辨して居る所は廿七箇町村あります。東京の近くでは新宿などは此の例であります。

各市町村
基本財産
の有無

基本財産を持つて居る處と持つて居らぬ所が、どれ程あるかといふと、三十九年度末の調べに依つて觀ますれば、市では基本財産を持つて居らぬ所はないのであります。町村では基本財産を持つて居る

基本財産
の積立
の例

基本財産
と地方債
の積立

ものが一萬千四百九、持つて居らぬものが八百三十九あります。尤もこれは三十九年度末のことです。ですから、其後はこれ以上の成績になつて居ると思ひます。基本財産を持つて居らぬ町村の多い點に於ては埼玉縣が首席を占めて居ります。埼玉縣の次が福島縣、愛知縣、熊本縣、東京府、鳥取縣、岐阜縣、山形縣、廣島縣といふ順序になります。戦争中に基本財産蓄積條例が非常に増加しました。三十七年の宣戰布告前にあつては基本財産蓄積條例の數は四千貳百貳十五であつたのが其後一年間に五千四百七十に上りました、即ち千貳百四十五殖へたのであります。其當時私は福島縣に居りて、此基本財産の蓄積條例に就ては非常に努めたので、戦争中に一番多く殖へた縣はどこであつたかといふと、福島縣下であります。其増加が三百三十三といふ數になつて居ります。之でも尙ほ三十九年度末に於て基本財産を持つて居らぬ所か八十七ありました。是は條例が出来ても實行して呉れぬのか、或は條例が出来ぬの甚だ少ないことを發見したのであります。これはお參考に申し上げますが、何故全體基本財産の蓄積が出来ぬか、縣廳では之に就いてどういふことをやつて居るかと言ふに、内務省から出た通牒訓示に就て更に詳しい縣知事の訓令も出し、標準規定も示してあつて、各町村に行き渡つて居るが、どういふ譯か其結果は甚だ悪い。惟ふに本省から行つたものを、唯だ何んでも刷物にして下へ廻しただけ

地方歳入
基本財産
の増加
歩合

では其効はない私は何時もこふ言ふ懸口をいふ。本省から送る印刷物は流石中央部だけに立派な活版刷にする、それが縣廳へ行くとき金が足らないので寛藹版にでもなつて不判明である、それが郡役所に行くと今度は鐵筆版になるから益々悪くなる、町村に廻つた時分は見へなくなつて居る。さういふやう方では何もならぬと思ふ。下の方へ行けば行く程昔の大學のやうな大きな字で、誰れにでも分るやうになつて行かなければならぬと思ふ。それが下へ行く程薄くなつて影が見へなくなるから、いつの間にか無くなるのではないか、何んでも書類が來たら下へ廻せばよいとなると所謂郵便配りになるのである。面白くない。私が埼玉縣に居る時分知事から訓示を出して貰つた。先年既に基本財産蓄積のことはこれ程に言つてあるにかういふ實況である、各府縣に比較してかういふ現況である、何故に蓄積條例の決議が出來ぬか、出來ぬ筈はないと思ふ。議決の出來ぬ特別の事情があるならば、其町村に事情を書かして、郡長から出して呉れと、言ふてやりました。一箇月半で東京に歸りましたが其の結果は聽かずに居りますが、基本財産蓄積の決議が出來ぬことはないと思ふ。市町村の歳入の中で、基本財産から生ずる収入が市町村歳入總額に對しどれだけの歩合になつて居るかといふと、市に於ては四十年代は三、二一、それに對して租稅收入が二八、二二、それから四十一年度は五、〇六、租稅收入が三、二四。町村の方では四十年代は三、九三、それに對して租稅收入が七、〇、九四、四十一年度は三、

基本財産
の増加
歩合

六八、租稅收入が七、〇、九八、割合である。市町村費中で、基本財産蓄積金の増加の趨勢を見ると、廿九年には市（區）の方では九萬八千圓、町村では十六萬四千圓であつたものが、四十一年には市の方が九十萬三千圓、町村が三百十八萬一千圓といふ巨額に上つて居ります。これは非常に結構な趨勢であると思ひます。基本財産に就いては申述ないことがまた澤山ありますが、其れは財政の講義の時に譲ることに致します。（終）

地方監督事務の要項

内務事務官 湯淺倉平君講演

本日は監督事務の要項といふ題でお話を致します。此題目に就きましては、實はお話を致すのに非常に困難を感じた次第でございます。其譯は御承知の如く此題は範圍が非常な廣いのでありまして、監督と申せば下級の官吏、吏員に對する監督といふ意味もありますし、下級の團體に對する監督といふ意味もあります。又下級團體に對する監督を致しますと、郡市町村及び各種の組合に關係を有つて居ります所の澤山な法律命令訓令例規等を廣く取調べてお話を致さねばなりません。又事務といふ側から申しますれば國政事務即ち國家の事務と地方自治團體の自治の事務共に含んで居るのでありまして、其一方に偏する譯には參らぬのであります。府縣郡制市町村制水利組合法小學校令及び施行規則地方學事通則地方團體の政務に關係を有つて居る所の各種の規則等に就きまして、少くとも實務に關係の深い所の條項殊に疑義のあり又間違の起り易い事項に就きましては、それ／＼研究を致さなければならぬのでありますが、到底一々に此目的を達することは出来ませぬ。で自分の希望と致しましては此表題に就きましては其大綱を分けまして多くの人と多くの時間とをあて

がはなねばならぬことであらうと考へます。それ故に今回お話を致すに就きましては如何様に此題目を切り極めてお話を致さうかといふことに就きまして、頗る苦んだ次第であります但其結果甚だ秩序の立たないものになる次第でありまして其點は豫め皆さんの御諒承を願つて置きたいと思ふ次第であります。題目は右申す如く廣汎に過ぎて居ります故に私のお話する範圍は郡市町村に對する監督に限るつもりであります。尙ほ又郡市町村に對する監督と致しましては細密に各事項に亘つてお話を致すことは到底出来難いことであるから先づ監督といふことはどういふ意味合のものであるか、監督の必要な所以は何所にあるか、監督の本旨監督權の範圍及び監督者の注意すべき事柄、これだけの梗概をお話致すに過ぎませぬ。

監督といふことはどういふ意味合のものであるかと申しますれば自治體の性質から申さねばならぬのでありますが、茲に自治といふことの學説をお話する必要は認めませぬ。明日次官より自治の本義に就きましてはお話がある筈でありますから茲には申しませぬが、自治體のする仕事には國家の事務があり又自治體の生命として居る所の仕事があるのであります。自治體の生命として居る所の仕事と申しましてこれ又國家の存立に必要な事務であるのであります。又自治と申しますれば單に考へますと自由獨立であるかの如く感ぜられますけれども、自治といふことは決して獨立の意味を有

つたものではありません。國家生存の目的から國家が地方の團體に自治を許して居るのでありますから、國家の存立の必要から致しまして地方團體をして法律上の義務を盡さしめねばなりません。或は地方團體に爲さなければならぬことを命じ、或は或る種類の事柄は爲してはならないと制止する、これが監督の意味に外ならぬのであります。そこで監督の目的は國家の存立といふことであります。一國の成立を鞏固ならしむる爲めに一國を組織して居る所の自治體に或る義務を負はしむる譯けであります。それ故に府縣知事部長の監督の事務も國家の政務であります監督事務といふことは今日地方を改良するに就ては最先の仕事であります。曩きに本會の開會の日に當りまして大臣の訓示せられた中にも事務の整理を第一とする整理即ち事業であるといふ訓示がありました如く第一に監督を充分にして下級團體の事務を充分に整理させ然る後に助長の事務に力を盡すといふ順序を取らなければならぬと思ふのであります。此事は決して我田引水の論ではあるまいと思ひます。若し今日の自治體が全體に於て事務の整理がよく出来て居りますならば助長の仕事に重きを置くのが相當であらうと思ひます。去りながら今日下級團體の状況を見ますと、先づ以て監督に力を致さなければならぬといふことを感ずる次第であります。今日地方團體の全體の状況を見渡しますと下級團體の不整理は存外に甚しいのであります。全國一萬二千の町村を通して事務の整理が充分に出来て居るといひ得るも

のは僅かに指を屈するに過ぎないやうな状態であるやうであります。世間には段々模範の町村といふやうなものがあつて居るけれども、往々實際と評判と伴つて居ないものがあるやうであります。此近い一二ヶ月の間に於きましても模範町村といはれて居るもの、中で町村の理事者が文書を偽造し公金を費消したといふやうな事實が二三あつたのであります。これ等は兎に角に監督者の側から見ましても或る程度までは事務も整理して居つたものである。世間一般の人々もこれらの町村に對しては相當の尊敬を拂つたものであります。かういふものでさへ尙ほ且つ斯の如き事實が稀にはあるのであります。其甚しいものになりますと選挙に際しては町村の理事者である所の公吏は重なる運動者である、或は候補者の運動費を着服するものがある、或は町村の投票を取纏めて候補者に賣り付けるやうな者がある、町村の名譽職の地位にあるのは己れの小さな政治的野心を充たす手段である。其町村の事務を誠實に見て居る譯ではない、町村人民の利福を増進するといふ誠意に出てたものではありませぬ。偶々己れの管轄して居る所の町村に府縣郡の費用を以て道路の改修中等程度の學校の施設といふやうなことが起らんとする場合にはこれを自分の町村若くは附近に引付けるが爲めに狂奔して居るやうな有様であります。さうして其目的とする所は自分の勢力を樹立するためであります運動の爲めには町村の必要ならざる經費であるに拘はらず公費を濫費する。かういふ事實は全國を通

じて決して珍らしくない事情であるのであります。で事實に就て言ひますと曾て茨城縣の龍ヶ崎町の如きは矢張かういふことの爲めに財政の紊亂を惹起した事實があります。兵庫縣の豊岡町の如きも曾て斯の如き事情の下に非常なる財政の困難を來たしたのであります。其他斯の如き事實を挙げますれば枚舉に遑ない程であります。これを人に譬へて申しますれば今日の自治團體殊に下級團體の状況は其甚しきものになりました。其他輕微な疾病に罹つて居るやうなものである。或は甚しい肺結核を患へて居るやうな状態にあるのであります。其他輕微な疾病に罹つて居るものは非常に多いのであります。それ故に今日の急務と致しましては監督の責任ある所の人々々は先づ以て死に瀕して居るものを治療してやらなければならぬ責任があるであらうと考へる。悪性の病の爲めに瀕死の状態にあるものに向つて特殊慈善の仕事又健康人に望むやうな理想的の盡力を望みました所で到底出來得るものではないのであります。

次に監督の本旨といふことに就て少しく御話したいと思ひます。監督の本旨は丁度行政警察の趣意と同じであります。行政警察の本旨と申しますのは治安を維持し兇害を豫防する、かういふのが本旨であります。下級團體に對する行政監督の本旨も徒らに下級團體の缺點を摘發し處分を加へるのを以て能事と致すのではありませぬ。即ち事後の監督を主と致すのでなくして事前の監督を主とし事

の起らない前に周密の監督を施して下級團體をして過ちに陥らしめないやうにするのが監督者の第一要義と心得なければならぬのであります。元來警察で申しますと既に犯罪があればこれを罰せねばならない、行政監督の側から申しましても下級團體が非常に普法の仕事をして居りますればこれに對して處分を施さなければならぬけれどもこれは已を得ざるに出づるのであります。監督の理想と致しまする所はこれに依つて下級團體を過ちに陥らしめないといふ點にあるのであります。其故に下級團體に於きまして財政が紊亂を致して其町村人民は謂れのない多額の負擔をしなければならぬといふやうな事實は監督者の側に於て充分に責任を盡して居ない結果であるといはなければならぬ。茲にも一つ事實を申して置きますが山形縣の田麥野といふ所は戸数が僅かに七八十戸の村で一時六萬一千圓といふ村債を背負つたことがある。僅かに七八十戸の村で六萬一千圓といふことを一戸の平均に割宛てゝ見ると随分大した負擔になる、これが或る事業を起して其事業の爲めに償還されるものがハッキリ見えて居るやうな負債であるならば何んでもないのでありますが、其田麥野の六萬一千圓といふ負債はさういふ負債では無かつたのであります。隣村との山林に關する訴訟費用、村界の争、さうして贏ち得たる所の山林は保安林に編入されたといふが如き事柄の爲めに明治の初年から近年までに亘つて生じた所の負債であつて、一村殆んど滅亡の運に近づいたやうな状態であつたの

であります。かういふ事柄が稀れにはあるのであります。幸ひにも今申しました田麥野村の如きは近近縣廳郡役所の非常なる盡力によつて亡滅の境に達して居る所から救済されましたけれども斯の如き事實が起つて參りますのも實は既往幾十年の間監督者が責任を盡して居なかつた結果であります。監督者の責任は輕くないと考へるのであります。尙ほ又地方の事務整理の結果と致しまして意外な結果の起つた一例を申上げて如何に我々が平素監督に力を盡さなければならぬかといふことの參考に致したいと思ひます。其事柄は東北の饑饉に際しまして各地方から義捐金が集つた。單り内地のみならず或は外國人の義捐金などもあつたのであります。然るに此義捐金を取扱つて居る所の公吏が其幾分を費消したといふ事實があつたのであります。其際其事實が新聞に現はれると横濱の外字新聞がこれを轉載した、さうすると更に其事實が亞米利加の新聞に轉載された、時恰かも彼の地では排日熱の盛んに起つて居る時でありまして、これに對する排日黨の批評が非常に酷である。日本人は斯の如き性質の者である。國の一部が因作であつて饑饉に泣いて居るものがある。内外の篤志家慈善に富んだ人が金品を贈つたのである。然るに地方の官公吏は此金を費消して救助の用に宛てない、斯の如き不信な人種であると言ひ嘲らしたのであります。事柄は實に微々たる事柄である、日本人の考へから見ると又普通今日の状態からいひますと、全國數萬の公吏中に一人や二人の心得違ひの者の起るのは何んで

もないことのやうに我々は思つて居る、去りながら其結果はどうであるかといふと意外の邊に意外の結果を惹起すのであります。のみならず我等が日常多數公吏の中に一人二人の公金費消者か起るのは別に怪むに足りないかと考へて居ります事柄が實は非常に間違つて居るのであります。我々の徳義心か少ないのでありはしないかといふ疑があるのです。外國の事例は存じませぬけれども外國に事行つた人の話を聞きますと向ふでは公金の消費者といふやうな者は殆んどないといふて宜しい、事務の紊亂といふことはあるかも知れない、又下級團體の公吏か監督廳に反抗するやうな事實は珍らしいことではない、去りながら公金を費消するといふやうな事柄は全く知らないといふ話を聞くのであります。然るに我國では遠慮なく露骨にいひましたならば殆んど日々全國の下級自治體の中に甚しき惡意であるか若くは甚しき惡意ではないに致しまして何か不正な事件が行はれて居ると斷言して差支なからうと思ふ。然るに之に對する所の監督者は今日までどういふことをして居つたかと申しまするに遺憾ながら今日までの監督者といふものは甚だ手段を缺いて居る。熱心でもない、形式的の監督をして居るのみである。固より全部ではありませぬが概していふとさういふ譯けであります。自分の知つて居る處だけで見まして町村に對する第一次の監督廳たる郡長の地位に居らるゝ人が毎年管内の町村の實地の監督をされて居るかどうかといへば随分監督は缺かれて居る。更に府縣に就て見ま

すると管内の郡役所に對して府縣の高等官か巡視監督をされて居る事實に到つては實に少ない、全くない所が澤山ある。又縣廳の判任官か町村を巡視し郡役所の事務を見たといふことは甚だ其數が少なく、兎に角監督の充分でないといふことは斷言して差支へなからうと思ふ。これでは甚だ監督者たるの職責が充分盡されて居ないといふ感じを持つのであります。昨年の地方官會議に於きまして内務大臣は府縣の高等官をして管内の巡視をさせるといふことを訓示されました、本年も亦此訓示を繰返されて居るのであります。それから又明治廿五年五月九日の訓令三百四十八條の第二項に於きましては市町村の行政事務を監督するが爲めには監督官廳は各市町村の巡視を行ふべしといふことがありますが、尙同日の訓令三百四十九號に於きましては郡長は少くとも毎年一度は郡内の各町村を巡視するやうにといふことが申してあります。斯の如く内務大臣よりは度々訓示になつて居りまするし監督の必要であることは繰返へし述べる必要もない程でありますから、今後に於きましては充分此監督の方面に力を致されん事を希望致す次第であります。何故に今日まで監督が充分に行はれなかつたかといふことに就て考へて見ますと、大概監督者の側で申されることを承るとイロ／＼寄附の募集を餘儀なくされる、朝に寄附の募集をして夕に監督權を以て臨むといふことは誠に困難を感する次第である。これは随分私共も同情に堪へぬ所であります。次には又どうも多忙である上に人か足りないといふこと

をいはれるのであります。尚ほ又旅費が足りない、かういふことも監督を厳密周到に行ふことが出来ないといふ理由として述べられる處であります。各種の寄附募集の爲めに監督を嚴重にすることが出来ないといふのは尤もの次第であるとは考へますけれども赤十字社の社員募集が急であるか愛國婦人會の仕事が急であるか監督を帯びて居る所の監督の地位にある人は少しく慎重に前後緩急を考へなければならぬと思ふ。成程赤十字社の支部長は府縣知事が當りて居るそれ故に赤十字社の支部長の言ふ所は郡委員長である所の人は聽かなければならぬかもしれませぬけれども、これは公務ではないのである。公務の餘暇があつて然る後に私設團體の仕事に力を致すといふことなれば止を得ぬ事情と考へます。去りながら或は赤十字社の支部の病院の建築の爲めに町村の巡視を欲してまで寄附金の募集に奔走しなければならぬ必要が果してあるかどうかは監督の地位にある人が自ら考へるより外はなからうと思ふ。次に多忙であり人及旅費に不足を感ずるといはれることに就きましては私は甚だ理由のないことであると考へる。今日町村に對する第一次の監督廳たる郡長さんの御手許を見ますと、郡の事務は十中九歩通りの郡は郡自體の事務は至つて少ない。郡會議費を除く外にとういふ經費が豫算に積つてあると見えますと、僅かな勸業費の補助教育費の補助として居るだけの郡が非常に多い、勸業費

の補助と申しますとこれも固よりイロ／＼でありましてけれども多くは郡農會に對する補助である。教育費の補助といふことも教育會に對する補助である。其他郡によりましては里道に對する所の補助費を書いてあることがあり或は郡に公會堂を設けるといふが如き臨時の經費を計上して居るものも無いではありませぬが、要するに郡の自治事務なるものは殆んど言ふに足りない、然るにも拘はらず、多忙であるといはれるのは何故であるか、多忙であるといふことを仔細に打割つて見ると人の少ないといふやうなことが這入りて居る、社交に關することが這入りて居る、前に申した各種の寄附募集といふやうなことが這入つて居る。これでは事務が多忙といふ譯では決してない、私事に忙しいからといふ事に歸着するのであります。私事に忙しいから公事を放擲して置くといふ理由のないことは申すまでもないことであります。旅費の不足、人の不足といふことに就きましても實際私共の考へでは首肯するに足ることではないと考へる。小學校の開校式、町村役場の開廳式、各種の品評會の開閉の式褒章授與式といふやうな儀式張りの事柄には郡役所あたりの人の出張は單に主任である人のみでなくして數人の出張を見るのであります。出張の性質から言つたならば、果してこれが公事であるかどうか疑のあるやうな事柄に随分出張をされて居るやうに思ふ、それでありまして旅費も不足をする、人も不足をするかういふ結果になつて來るのでありまして、適當に人を使ひ適當に旅費を使ふと

いふことでありましたならば、随分管内の町村の巡視監督が出来ないといふ程度のもではないやうに考へられる。私は地方に參つて今日の旅費の支給額が往々減額されて居るのを見まして旅費の支給額の改正を試みる、其時分に起る反對論は必ず定額の旅費では一年を支へることが出来ないといふ議論である、去りながら各種の團體を通じて経費の多端な今日に思ふ存分に経費を増して旅費の支給額を改正する譯には行きませぬから、豫算の定額を其儘にして旅費の支給額の改正を致しますが、其結果必ずしも旅費の支給に一年を支へるのに困るといふやうなことを見ませぬ。これから推して見ても旅費不足の爲めに監督が出来ないといふやうなことは多くは間違て居るやうに考へる。若し又どうしても旅費が不足である。どうしても人が足りないといふやうなことであるならば地方々々の經濟の状況もありまされども、必要止を得ぬ経費でありますから相當の増額を府縣に求められて然るべきであらうと考へる。現に岩手縣の如きは町村監督の爲めに郡書記の定員を特に一人餘分に取つてあるといふことを聴くのであります。それから又多くの縣には郡書記の旅費を配當するに監督旅費を別に見積つてある監督のために充てられてある旅費が謂れなく他に流用されます爲に監督が充分に行はれない監督巡視に充てゝある旅費は殆んど絶対に流用を許さないやうな方法を取られましたならば、必ず其結果は有効であらうと考へらる實際監督の周到でない原因は何んであるかと言ひますとイロ／＼の理

由を聴きますけれども私共の考へる所では監督の周到を缺く眞の原因は監督者の薄弱不行といふことが一つの原因である。今一つは監督といふことに左まで重きを置く念慮がないといふことであると考へます。監督の周到を缺くのが志薄弱行であると申しますのは監督者が被監督者を恐るゝのである。今日の被監督者である所の町村長の中には或は郡會議員をして居る人もあり府縣會議員又は衆議員議員をやつて居る人もある。其政治上の地位勢力といふものが頗る強いのであります爲に、監督者がこれを憚るのも一つの原因である。又自分の郡内の町村から町村の事務の紊亂の甚しいといふ事實を暴露しないやうにしたいといふ庸榮心が伴ふて居る。これは人情の然らしむる所であります、時と場合によりては頗る諒察に値するものがありますけれども、監督の本旨は決して被監督者を苦しめるのが目的ではないのでありますから、懇切なる考を以て臨みますならば嚴正なる監督が必ずしも反抗を惹起すものではあるまいと考へる。監督の實のない所の監督者は却つて地方有力者の爲めに輕侮せられ反抗をされるといふ事實は往々に見る所であります。此に反して監督の嚴正なる人は却つて其地方で聲名の隆々たるのを見る譯であります。要するに監督といふことは間違を防ぐといふ親切から起つて居るのである。又公の職權に基いて居る一箇の私人が偏頗な私情を以て下級團體の公吏を苦しめるものではないといふことを明に致しまして毅然として臨みますならば、決して監督をするのに苦し

は譯はないのであります。これも御參考まで申して置きますが、先日自分が地方に出張致しました際に曾て知つて居る所の或る司法官に出會ひました。其司法官の話によりますと、一體今日の町村に對する郡役所の監督はどうしたものである、司法官の眼から見ると町村の公吏といふものは到る處惡事をして居るやうに見へる、さうして公金費消等の告發のあつた場合に取調をして見ると其犯罪の事實は餘程以前から起つて居る、數代以前の町村長時代から起つて居る、永い年月を経過して居るのであるからして行政上の知識の薄い司法官の側からは實に頭綜混亂して居つて調に困る、其處斷をなすに就て非常に解し難い所の疑義が起つて来る。然るに數代町村長が更迭をするのに平然として事務の引繼きを受けて居る、郡役所も少しも之に對して監督をしたこともなければ指摘したこともないやうである、一體郡役所といふものはどういふ仕事をして居るのであるかと聽かれたのであります。少し其話とは隨分話ではありますけれども随分かういふ事實はある事柄でありますから甚だ答辯に窮したやうな次第であります。私は今日監督が充分に行はれないといふに就きましては監督者が無責任であるか、然らずんば監督者が無能で任に堪へないといふ双關論法の結論を甘んじて受けなければならぬことであると考へる。

次には監督の範圍といふことに就てお話を致さうと思ひます。監督權の範圍に就きましては現行の

郡市町村制によりますと、第一には團體をして法規に背かせないやうにするといふことであります。又第二には積極の義務を盡さない場合に適用する所の強制權、第三には實況を監視する所の權であります。第四には公益を害する場合に對する強制權、第五は議決に對する認可、第六は裁決、第七は特別の事由によつて上級團體の機關をして下級團體の事務を行はしむること、第八は機關の組織に團體が干渉するといふことであります。これを詳しく申上げると際限がありませんから郡市町村制の中から直接關係のある規定を掲げて置くに止めます。

第一の團體の法規に背くことを制止する上級團體の權限に就きましては市制の第六十四條第二項第一號の規定同第六十五條第四項、町村制第六十八條第二項第一號の規定がこれに當るのであります。市町村會又は市參事會が其權限を超越し又は法令に違背する決議を致しました場合に監督官廳は其執行を停止して郡又は府縣參事會の裁決に附することを得るといふ規定を設けて居ります。此規定によつて町村會又は市參事會の法規に背くのを制止することになつて居りますが、郡に在ては郡制第六十九條第一項、府縣に在りては府縣制第八十二條は即ちこれに該當するものであります。

第二は積極の義務を盡さざる場合に適用する強制の權、これを分つて三つと致しますが其中の(一)は必要の費用の支出を拒んだ場合に適用する所の強制、即ち強制豫算及び強制支出であります。市制

町村制第百廿一條、市制第六十四條第二項第一號同第六十五條第四項、

第四の公益を害する場合の強制に就きましては市制第六十四條第二項第一號同第六十五條第四項、

「地方自治法」第六十二條第四項所稱の「市町村制」第八十二條第三項が適條であります。

第五の議決に對する認可では市制第百廿一條乃至百廿三條、町村制第百廿五條乃至百廿七條、郡制第百廿九條乃至第百三十七條、府縣制第百三十三條乃至百三十五條であります。

第六の裁決は上級團體が自ら報告を取るとか檢閲をするとかいふのと別途の手段によつて下級團體

第七の特別事由によつて上級團體の機關をして下級團體の事務を行はせるといふのは市制第百十三條と町村制第百十四條の場合を言ふのであります。其場合はつまり市町村か市町村内の部落と利害を

異にするやうな恐れがありはしないかといふ所からかういふ規定が設けてあるのであります。

第八の機關の組織に干渉する上級團體の權限これも二つに分けて（一）は市町村吏員の任免（二）は議決機關の解散、これは次の如くになります。

市役収入役……知事の認可
(制第五十二條
 制第五十八條三項)

市長……裁
(制五十條)

……
(制百二十四條)

市町村吏員の任免

町村
町村長助役……………知事の認可(制五十九條)
収入役……………郡長の認可(制六十二條四項)
……………(制百二十八條)

市 制百二十條

町村 制百二十四條

郡 制百十二條

府縣 制百三十一條

議決機關の解散

次に監督者としての注意すべきことをお話しやうと思ひます。元來ならば此監督の範圍に就てはこれを細密にお話を致し且關係の條項に就きましてはイロ／＼疑義もありませんし又從來取扱はれた實際の上でイロ／＼間違の起ること、どうかすると聞却され易いやうな事柄に就て逐一お話するのが私の擔當の此題目に就ては必要と思ひますけれども到底時間の許す所でありませす、又各種の實例を引いてお話するのはは私自身充分な知識經驗を持ちませぬのでこれはこれだけに致して置きまして最終に監督者としての注意すべきこと、心得て置かなければならぬことを少しく御話致さうと思ひます。これも實は甚だ講演をするのに困難を感じました點で、擔當の題は監督事務の要項といふ題でありまして、事から其監督事務の性質をお話すればそれで足るやうにも思ひますし又一方から見ますと、事務例規に就ては却つて皆さんの方が御承知になつて居る、下手に申せば行政法學者の説をお話するやうな風にもなります、それも此講習會の本旨とする所ではあるまいと思ひます。又これを妙に解して

監督事務の要項といふのを監督の骨とか秘訣とかいふ風に解しましたならば最も適切であるかもしれないと思ひますけれども、元來監督事務の骨とか秘訣とかいふやうなことは其人々の着眼點といふことで私が自分はどういふやり口をするといふお話をして見た所で敢てこれが利益になるといふことでもありません、又さういふ事は組織的に到底お話の出来る事でもありません。禪宗坊主のいふやうに秘訣とか骨とかいふことになりまして「教外別傳不立文字」といつたやうな譯でどうも呼吸といふ事は甚だ説明に困るのでありますから茲では簡單に監督者がどういふ注意を取つたらよからうか自分の考へだけを少し申述べたいと思ひます。

監督者としての第一に心掛けて居らなければならぬ事は關係の法令例規判決例等を詳しく知つて居ることが必要であります。如何に觀察する力がありまして法令なり例規等を諸記して居りませぬければ下級團體の法令に違ふのを矯正することは出来ませぬ。例へば一片の報告を受取りても何故にそれが報告されるかといふことを見なければなりません。即ち其報告は如何なる法令例規に基いてされるものであるか、其報告は法令例規によりて必要な報告であるや否や報告の内容は法令に違背した所の事實を現はして居るものであるかないかといふことを知らなければ何の効をも爲さぬのであります。それで私は今後地方を觀察する場合には回覽に止めてある所の書類を豫め纏めて置いて貰ひまし

て處分をする必要があるものが單に同覽に止めてあるや否やといふことをも見たいと思つて居ります。次に法令に違つた所のものがありましたらこれを矯正しなければなりません。矯正する手段としては、單に通牒を出す、若くは照會をするといふことで終了をしてはなりません。次に又段としては、單に通牒を出す、若くは照會をするといふまでの結果を見なければなりません。次に又監督者は書面による監督に止めないで實地の視察を怠つてはなりません。これだけが私は監督者か必ず心得なければならぬ必要の條件であると考へる。それから實地に就てからは其觀察するところは必ず關係の簿冊を調べる、會計の檢査を必ず行ふことが必要と考へます。今日町村の事務の紊亂といふことをいひまする所以は其主なる所は會計の紊亂といふことに外ならぬのであります。單に事務か形式に於て誤つて居る所があるとして見ても強ち深く咎めるには及ばぬことと考へる。些々たる形式の誤りはこれを矯正するのは容易なことである。又多くは惡意に出でたものではないのであります。多くは法令を心得ないこと又注意が周到でないからといふに止まるのであります。唯だ會計の紊亂といふことになりましては町村の自治の基礎に非常なる響を持ちますから此點には最も重きを置いてお貰ひたい。私は町村の會計事務の整理が出来て居りますならば監督者の其町村に臨む所は最早消極的の監督といふより以上に一步を進めて所謂助長指導を致すべきものであると考へますが、會計の不

整理なるものに對しましては極力此整理を致さなければならぬと思ふ。會計の整理といふことはどういふ意味であるかといひますれば収入が正確である支出が適法であるといふ意味であります。収入支出の正確であるといふことは要するに収入すべきものは必ず収入する、収入すべからざるものは決して収入はしない、支出すべきものは必ず支出をする、支出すべからざるものは支出をしない、かうして収入はしない、支出すべきものは必ず収入する、収入すべからざるものは支出をしない、かういふ事に外ならぬのであります。斯く申しまするとこれは極めて簡單明瞭な事柄であつて今更解説を要しないやうに思はれますけれども實際はどうであるかといへばこれに違つて居るものが非常に多いのであります。例へば収入すべきものを必ず収入するといふのには滞納を許さないといふことが一つになります。それから前年度の繰越金を収入して居ないといふやうな事實が稀にあるといふことになり、それから前年度の繰越金を収入して居ないといふ實際になるのであります。それから町聴きまされども、これ又収入すべきものを収入しないといふ實際になるのであります。それから町村に對して債務を持つて居るものか其債務を履行しない、これを町村が放任して居る事實もあるのです。あります、これなども矢張り収入すべきものを必ず収入するといふ原則に違つて居る。現に此事實は神奈川縣の多くの町村にある、町村基本財産を拵へるといふ一時の流行に追はれて町村の重立つた人か町村に金を寄附することを約束して證文を入れて居る、中には年々利息を拂つて居るものがあるし利息を納めなければ元金も納めないといふものがある。それから又基本財産から生ずる所の収入、こ

れが紊亂した所であると、どうかすると收入されて居ないことがある、或は基木財産の管理が不充分である爲めに正當に生すべき所の利息を得られないといふやうな事情がある。或は又町村の財産を相當の價格に賣却をしないといふやうな事情も矢張り收入すべきものを收入しないことになる。それから前にお話を致しました、茨城縣の龍ヶ崎町の如きは實では内密に町債を起して居つた。従つて町の歳入歳出豫算に這入つて居らぬ、これは形式上豫算に上せぬといふだけであり、結果は町に收入されども當り前から言へば豫算に必ず計上をしなければならぬ。又豫算に計上しない結果は町に見なければならぬ必要があると思ひます、次には收入すべからざるものを收入しない此點に就ても亦注意をたか否かが分らない、かういふ風に此原則に違つたものは澤山あるのでありますから此點をも見なければならぬ必要があると思ひます、次には收入して居るといひますのは往々にして賦課額に超過しななければならぬ。收入すべからざるものを收入して居るといひますのは往々にして賦課額に超過した所の町村税を徴収して居る、かういふ場合がこれに當るものであります。或る下級の團體に於ては實際に徴収して居る所の制限がとういふ課率であるか分らなかつた、町村の理事者が知らないといふやうな事實に遭遇したこともある。かういふ所ではどうかすると收入すべからざるものを收入して居るかも知れない、次に又支出すべきものを必ず支出するといふことに就きましては下級の團體に法令が負はして居る所の必要な支出があるのであります、即ち義務支出に屬するものがある。これを豫算

に計上して居ないこともあり、又豫算には計上されて居るけれども實際に支出をしないといふやうな實例があるのであります。これを法令の上から申しますれば小學校教員にも俸給の如きは法令の規定を以て義務額が定めてありますし又實際からいひますれば町村の財政の紊亂した所では小學校教員の俸給の支拂をして居ないといふやうな事實が往々にしてある。かういふ事實のあるやなしやを見なければならぬのであります。次には支出すべからざるものを支出して居るやうなことがあるなしを見なければならぬ。一箇の爲めに支出するやうな公金の費消の如きも矢張りこれに屬するのである。補助費を濫給するものも之に屬するのであります。何かの運動費を支出する如きも矢張りこれに屬するのであります。正當の豫算課目がなく町村の公益に關係もなく不必要の經費を支出するのは悉く之に屬するものであります。尙ほ經費の節約といふことに注意を缺いて居る支出も矢張り之に屬するのであります。凡そ此等の點が整理されて居るならば其町村の會計は整理の出來たものでありますし之に反するものは不整理なりと言はなければなりません。それ故に監督者はこれらの點に就て充分注意をする必要がある。然らば如何にして此原則に違つて居るか居ないかを見るかといひますれば、そこは前にお話したつまり監督の骨とか呼吸とかいふものでありまして組織立つた説明の出來る事柄ではありませぬが、大體其年度若くは其前年度二三年度の豫算を見ること、又最近の決算を見ること、歳

入歳出の内譯を詳細に見ること、日計を見ること、現金なり基本財産の管理は如何にされて居るかを検査すること、且つ下級團體の公吏々員が關係をして居る所の各種の私設團體の經費を別々に分けさせて見るといふことが肝要であらうと思ふ。或は場合によつては豫算表を見たのみでも此原則に違つて居る事實を發見することがあるであらうと思ふ。又必ず収入しなければならぬものを収入豫算に計上して居ないといふ事實を發見することありませう、曾て自分の經驗した一例を挙げますと、かういふ豫算を見たことがある。

第一款 土木費 三千五百圓

第一項 調査費 三千五百圓

第一目 雜費 三千五百圓

これは數年前のことではありますが、款項目が皆三千五百圓となつて居る、つまり調査費なる項は一つの目から成立つて居る。土木費なる款は唯だ一項から成つて居る、即ち第何款の土木費は其中の一日の雜費のみから成立つて居る、費用の性質は土木費であつて其實質は雜費から成立つて居る。三千五百圓は雜費としては少しく大きい、試みに尋ねて見ると説明が要領を得ない、何故に此土木費は雜費のみから成立つて居るかに對して主任の答辯が甚だ要領を得ない、で此支出に對する領收證を得た

いと求めますと領收證がないといふやうな話であつた、尤も自分がこれを見た時は此豫算を執行した年度よりも大分過ぎ去つた後であつた、此豫算を御覽になる方は必ず疑を起されるに違ひない、僅かこれだけの事實で變な性質のものであるといふことが考へられる。果せる哉、此經費は縣道の改修に際して運動の爲めに郡費を以て支出した經費であるといふことが後から分つた。土木の關係こそあるけれども其郡の土木費ではない、そこで會計の検査に就ては豫算表に就ても課目を充分に見られる必要があるであらうと思ふ。さうして其内容に立入つて收支を正し内外良く調査を致しましたならば、間違の有無は必ず分りますから其豫算の未だ執行されて居らぬものであれば其執行を差止め既に執行を終へたものであるとしましても回復すべき見込のあるものであればこれを矯正して甚しき過ちに陥らないやうにしてやることが監督者の職權であるといふよりも寧ろ重い所の職責であると信ずるのであります。甚だ問題の範圍が廣いので不秩序なお話を致すやうになりました、時間もありませんから遺憾ながらこれで終ることに致します。

部落有財産の統一及利用

内務事務官 湯淺倉平君講演

私は先日井上参事官から御紹介を得ました湯淺でございます。豫め皆さんに御断りを致して置きたいと思ひますのは、先日井上君からの御紹介の中に、私は多年地方で内務部の仕事をして居つたといふことでありましたが、實際は内務部長としての経験は僅かに一年有餘でございます、地方に居りました残りの半分は警察官として奉職して居りましたので、地方の實際の仕事に就きましては却つて皆さんの方が御経験に富んで居られるのであります、想ふに私は皆さんに向つてお話を致すことは或は甚だ迂濶な話が多いかと思ひます。

今日お話を致しまする部落有財産の統一といふ事に就きましては、從來何れの地方でも非常に困難を感じられて居る事柄であると考へます。自分がこれまで各地を歩きました所では、どうも此部落有財産の統一といふことに就ては、地方の當局の方々が其必要を感じて居られるにも係はらず、どこでもむつかしくて容易に出来ないといふことを承つて居ります。又先般東北の方に出張を命ぜられました際にも、此の部落有財産の統一が出来て居り、採つて以て模範とするやうな實例があるか知らんと

思ひましてイロ／＼話を聽いて見ましたけれども、これといふ實例に遭遇を致しませぬ。この事情は非常に困難な事情であるといふことは私から申さずとも既に諸君の感知せられて居る所であります。が、此むづかしい事情をどうして仕遂げるかといふことに就て聊か諸君と共に攻究を致して見たいと思ふ。此部落有財産の統一といふことは一方から申しますと國家經濟の上からの研究、又他の一方から申しますと自治行政の上からの研究と此二様の攻究を要する問題であると考へます。部落有財産の種類はどういふものであるかと申しますと、或は山林或は田畑或は家屋或は有價證券或は現金といふやうにいろ／＼の種類があります。其中で現金なり有價證券といふやうなものは兎に角多少の利益を見つゝあるものでありますけれども、不動産の中殊に山林の如きものに就きましては多く管理も行き届かず經濟的に利用されて居らないやうに考へます。さうして此部落有財産の中で最も重なるものは山林原野等の土地であると考へます。此部落有の山林原野等が今日どれだけの反別を持つて居るかといふことは統計の不充分なためにどうも知ることが出来ませぬ。去りながら其反別が非常に廣大のものであることは疑のない所でありまして、此廣い山林原野といふものが經濟的に利用されていなのは國家の經濟からいふと非常なる不利益である。立木のない山に植林を致しする必要は事新らしく申すまでもなく或は氣候の調和、水源を涵養するため土砂を防止するため水害豫防のために必要で

あるのみならず、樹木の利益といふものは頗る大きいのであります。然るに此部落有山林の大部分は無立木の山である。先般地方に參りました際に途中で農商務省の上山林局長に會つて話を承はると立木のある山は大抵私有である。立木の無い山は公有が多い、極端にいふと無立木の山を見てこれは公有林であると推測を下しても大した間違はない位の状況である。かういふ話を承りました。そこで此全國の公有林の整理がよく行届きましたならば其利益は豫想の外に大きなものであらうと思ひますが、此點に就きましては山林局長より公有林の整理に就てお話があることになつて居りますから、國家經濟の上から見た部落有財産の統一利用といふことに付きましては茲ではお話を省くつもりであります。兎にも角にも國家經濟の上からいつて非常に此部落有財産を利用するといふことが必要であると致しますれば、如何にしても此利用の方法を考へて國家經濟の目的に副はなければなりません。單に國家經濟といふだけからいひますと山林の如きものは如何なる方法を執つても植林をさせさへすればよい、かういふ事になつて參ります。唯だ土地を明けて置かないで土地の上に樹木が出来て、其樹木が個人の利益にならうと部落の利益にならうと町村の利益にならうと問ふところであります。去りながら自治行政の方面から考へますと今日まで荒れ果てゝ居るところの部落有財産を利用致しまする上には一つの條件を加へなければなりません。其條件は單にこれを利用するといふに止まら

ずして市町村有と致して利用する、かういふことが必要になるのであります。少しく繰り返すやうにありますが、國家經濟の上から申しますと部落有財産の山は兎に角個人に分割してやつても、個人に持たせれば私有林となるから木を植ゑるに相違ない、部落が持つて居ればナカ／＼それに植林をするところではない、個人に分けてやれば木が出来る、木さへ出来ればそれだけ國の財産が殖ゑる譯でありますから、寧ろ部落中の各戸に割いてやつて植林させたとところで差支ない。去りながら一面自治行政の上から申しまするとそれだけでは甚だもの足りぬのであります。自治行政の側からは是非ともこれを市町村有に引直して其上で荒れて居る土地を利用する、かういふことにならなければならぬのであります。我はこれを理想と致しましてどこまでも此理想に副はしむるために力を盡さなければならぬのであります。何故にこの困難なる所の部落有の財産を殊更に市町村に移すことが必要であるかと申しますると二つの効果を挙げたい希望を持つて居るからであります。其一つは部落割據の弊を防ぎ、國家を成したして居る團體となつて居ります市町村の團體としての基礎を鞏固にさせるといふのが一つの目的であります。今一つの目的は段々世運の進歩に伴ひまして下級團體の公費が年々歳々殖ゑて参ります爲めに個人の負擔は益々重くなつて参る、此困難を救ひまする爲めに市町村なる團體の基本財産を作りまして、市町村の各種の施設をなす所の財源に充てたいといふ希望であります。それでありま

すからして唯だ部落有の財産を統一するのみでは此理想に副ふことは出来ませぬ。單に部落有の財産を町村に移したといふまででは從來部落有財産として土地が遊んで居つたやうに矢張り町村有となつても遊んで居るといふことでは私の理想に副ふものではありません。必ず市町村の基本財産として利用されなければならぬのであります。

斯の如く部落有の財産の統一及其利用といふことは國家的又自治行政上から見まして極めて重大な問題であるのであります。問題が重大であり必要であるに係はらず、從來甚だ成績の見るべきものがないのであります。此必要といふことに就きましては何人も異論はあるまいと思ひます。局にあるつて仕事をする人は何人も部落有財産の統一が悪いといふ意見を持つて居るお方はあるまいと思ふ。言葉を変へて申せば部落有財産の統一及其利用といふことに就きましては識者の輿論である。識者の輿論であるにも係はらず、これが行はれないといふに就ては種々の故障が實行の前途に横はるためであらうと思ひます。併ながら實行が困難であり故障が横はつて居るといふことは必ずしも此問題が不可能であるといふ意味ではありません。どうしても出来ない問題であると思像することは出来ぬのであります。かく申しますると諸君は或は中央の人は空想に耽つて居る理想に走る殆んど至難な事業を如何にも容易く出来るやうな考へを以て我々に望むのである。かういふお考をお起しになるかも知れ

ませぬが、私もこの問題の困難であることはどこまでも承知致して居りますけれども、聊か其困難を排除する方法に就て卓見のある所を述べて見たいと思ひます。

今日まで此仕事が餘り實効を擧げて居ない原因に就きましては各地方の部民の反抗といふものが勿論重なる原因でありますけれどもこれに臨まれる所の局に當つて居る人が少しく冷淡ではないのであらうかといふ考へを持つて居る。中には熱心にこの事を實行しやうと努められる向きも段々ありますけれども餘りに急激である。其土地の人情事情を精細に究めず一氣呵成に仕遂げさせやうとする氣味がありはしないか言葉を換へて言ひますと、熱心はあつても其やり方が分別を凝したやり方でないのではあるまいか思慮を凝した方法を缺いて居られるのではないか、地方の當局の方々が此問題に冷淡なる嫌がありはしないかと申しますのは少しく言葉が過ぎるやうでありますけれども自分のこれ迄諸方で承つた所によりますと或る縣では内務省がこの事を勧誘するといふので内務省の訓示若くは通牒を郡市長の會議に出して協議をさせる或は單に郡市に向つて移牒をされる又郡役所では町村に通牒をする。町村長會議に協議をすとかいふ位に止まつて居つてさうしてどうも其事が實行が出来ないといふて居られる向があるやうであります。かういうやり方では到底此問題の實行が出来ぬ筈がないと考へます。極端にいへば義理一片の勧誘といふだけでは元來が事態の困難なる問題を解決する

道では決してないのであります。事柄が必要であつてさうして此實行が困難であるといふに就ては困難には困難なる事情があるのであります。部落の方から見ますといくら町村長が勧誘しやうとも郡役所が勧誘されやうとも府縣の當局者が勧誘されやうとも、自分の部落で持つて居る財産は隣りの大字で持つて居る財産よりも分量が多い價格も違つて居る、これを唯だ故なく村に寄附をして村の基本財産にしろといふのは無理な話ではないか或は自分の所で持つて居る山林原野は株を取るのに必要な山である田に入れる草肥を取るに必要な場所である。それを直に村の基本財産として差出すやうなことは到底出来る筈のものではないといふやうな事情で種々の故障がありますが何れも一通り筋の立つた故障である、一概に部落の人間が頑固であるといふのは酷な話であらうと考へます。中には選舉に關して感情の衝突もありませう水利に關して甲乙部落の喧嘩をして居る事情もありませう。兩方の黨派が違つて居るといふやうな事情もありませう自分の所の町村長に對して不信任であるといふやうな事情もありませう或は小學校の位置の問題といふやうなことの衝突等によつて妨げられる事もありませう、殆んど其故障の原因は數へ切れない程の事情が全國にあるでありませう、これに對して唯一片の訓示一片の通牒だけを以て實行をしやうといふことは到底出来ない事柄であります。そこでこれを実行致しまするには町村長のみを同意させたからといふて出来る譯ではありませぬ。現に或る地方

では町村長會議で全部部長の勸誘を容れて部落有財産の統一を通じてやるという決議を致した所もありました。さうでありますけれども町村長が部長の方針に同意したからといふて必ず出来るものではないのであります。議員のみを同意させたからといふてそれで出来るものでありません、又區長のみを同意させたからといふてもそれで出来るものとは限りませぬ。必ず其部民の唱へて居る故障に立入つて其故障が相當の理窟があり事情があるものと致しますれば其部民の言ふ所をよく聞き分けて相當の方法を立て、納得させなければ出来ない仕事であります。部民が若し株が必要である肥としての草を取る必要であると稱へますならば其必要に應ずるだけの工夫をしてやる事が必要であらうと思ひます。先づ先方で唱へて居る所の故障の第一の關門を破らなければなりません。此事は後に一つ實例を以てお話を致すつもりであります。それから又これを遂行致しまするのに一度破れたからといふて挫折するやうなことでは到底出来ぬのであります。三度も四度も丁度外交官が暢氣な國を相手として交渉問題の解決をしようとして居るやうな態度で臨んでお貰ひしたいと思ふ。どこまでも忍耐といふことが必要であるやレ内務省の方針であるから或は今度の知事の方針であるからといふやうなことで一時に湧き立つたやうな態度で以て勸誘をされる。暫くすると熱が冷めるといふやうなことでは到底出来ないであります。執拗く根氣よく二度も三度もつまり土地の人と根氣比べをするといふ決心を以

て當りましたならば必ずしもこれが出来ないことは考へられませぬ。尚又其やり方に就きまして一府縣内の各都市町村の部落有財産を一時に整理しようといふやうなやり方がありますがこれも亦實効を奏することの出来ぬ一の原因であらうと考へる。自分の府縣の各市町村にある所の部落有財産を一時に整理しようといふ急激のやり方では効を奏しない一郡に就て申しても郡内の各町村を一時に整理させやうといふことは今日まで効果を擧げることの出来なかつた一つの原因であらうと考へる。私の卓見と致しましては出来て居ない所の地方では先づ一町村を拵へるといふことで實効を擧げてお貰ひしたいと思ふ。又一郡で一町村を整理するといふに就きましては先づ郡内の部落有財産の臺帳の整理を充分にしまして全般を見渡して一番容易な所から着手をする。どういふ所が一番容易いかといひますれば、各部落の財産がどれもこれも少ない餘り大した反別でもなく大した價格でもないといふ所は統一をするに容易い一つの事情であらうと考へます。それから又町村の中で同じ町村内の各部落の持つて居る財産の程度が或る標準によつて見ると略ぼ均等を得て居る甲の部落としては甲の財産が相當である乙の部落としては乙の財産が相當である、具體的に言ひますと若し甲乙部落が二つありまして甲と乙とに戸數の相違がある。甲は百戸ありて乙は五十戸である然るに甲の財産は乙の財産の丁度倍になつて居るといふやうな所は甲乙均衡を得て居る、かういふ部落がありましたならば先づこれ

を一つ標的として又其村の中に熱誠公共のことに力を盡す人がある且其人にして同意をしたならば大概の事柄は運ぶといふやうな有力者のある村に着眼をする、かういふ種類の中に就きまして最も容易なる所を第一着に整理をしまして順次他の町村に及ぼすといふ方法を取りましたならば段々に其事柄が實効を奏して來はしまいかと思ふのであります。斯く申すと甚だ迂遠な手緩い話であるやうに聞へますけれども今日の實情は多くは一氣呵成に仕途げんとして少しも出來て居ない萬遍なく訓示通牒を出されるけれども一つも出來て居ないといふ今日の現狀に比べますれば遙かに實行の緒に付きやすいであらうと考へます。

茲に私の尊敬して居る所の二宮先生の意見を御紹介致して置きます。これは二宮翁夜話の中にある先生の意見であります、二宮先生は「何事にも變通といふことがある。これを知つて居なければならぬ、變通といふのは即ち天道であるそれは困難のことを先にして行くことは古への聖人の教へであるけれども田を耕したりして手遅れのする時分に草の多いやうな所から先きに手を付けるといふのは仕事の仕方か拙なのである草の少ない容易い畑から手入れをして行つて草の多い所は最後にした方がよい、これが仕事をするに最も大切な事である何故かといへば草が多くて仕事の仕難い所を先にすると大變に手間が取れる手間が取れると其間に草の少い方の畑も皆一面草になつてどれもこれも手遅れ

になつてしまふ。草が多くて一番耕耘に困るやうな畑は五畝や八畝は荒れやうとまゝだといふ覺悟をして暫く捨て、置いて手輕るな所から片付けるさうでなくして手重ひ所にかゝつて時日を費して居ると總體の田畑を順に遅らしてしまふ。國家を興復するも亦此道理である。よく此道理を知らなければならぬ又山林を開拓するにも大きな木の根は其儘差置いて周圍を伐り開いて行く、周圍を伐り開いて居る中には月日か經つて大きな邪魔になる木は自然に腐朽して來る。そこで力を入れなくても取れる。これを開拓する時分に一時に掘り出さうとすると勞するのみであつて効は少ない、萬事皆此理窟によつてやつて行かなければならぬ。かういふことをいはれて居るのであります。私の前に申しました最も容易い所から一郡の中で唯一つの町村でもよろしい先づ實効を擧げてお貰ひしたいといふ希望は即ちこゝに當るのであります。

近來模範町村の旌表といふことが頻りに行はれて居ります。又篤志慈善家の推獎といふことが段々行はれて居ります。何れも其趣意は一善を擧げて百善を勧めるといふ趣意でありますから爲政者の業としては必要なことに相違ありません。喜ぶべき現象でありますけれども一府縣内に百萬の人の居る中で五人や三人の篤志家があつたからといふて又數百の町村の中で一つや二つの模範町村があつたからといふて之を以て直ちに府縣の當局者或は郡の當局者が自分の縣の名譽である郡の名譽であるとい

ふのは早まつて居りはしまいかと考へる。若しも府縣の當局者が一人なりとも一町村なりとも其指導に依て以て模範町村長を拵へられた又篤志慈善の事業を起さしめられたといふ事でありますならば、私は其數は少くとも其府縣の當局者郡の當局者を稱揚するに吝ならぬものであります。去りながら偶然に模範町村長がある偶然にも篤志の人がある其人が自分の町村を整理し自ら進んで篤志慈善の事業をやつて居るといふことが府縣郡の當局者の指導によらないのである。帝力なんぞ我にあらんやといふやうなことでありましたならばこれを旌表することは固より必要に相違ありませんけれども其旌表するものを以て府縣郡の當局者の功勞と認めることは出来ぬのであります。旌表し推奨するといふことは爲政家の業としては必要なことでありますけれどもこれを以て能事終れりと考へるのは誤りである旌表や推奨といふことは一擧手の勞一投足の勞に過ぎぬのである、これに反して斯の如き人物を作り出したり又は事業を指導によつてさせるといふことが出来たならば其功や頗る大なるものであると考へる。此見地より致しまして私は府縣郡の當局者が一つでも二つでも當局者の指導によつて町村の部落有財産の統一及其利用をさせられた者は其功其勞を多大なりとして推奨するに憚らぬものであります。これを一つやらせるとしましても簡單なものを實行させるとしましても非常なる熱心がなければ出来ませぬ。熱心であつても其熱心が冷め易い熱であつたならば到底出来るものではありませぬ。

ぬ。忍耐がなくては行けませぬ尙又思想を凝さなければならぬ其方法が拙劣であつては出来るものでありません。其土地に就き人に就き部落有財産のよつて起つて居る所の沿革を調べて故障のある所を探つて之を排除することを兼ねてやらなければ一つだに容易に出来るものではない前に私は部落有財産の統一に就て部民が故障を唱へる其故障には相當の道理がある酌んでやらなければならぬ事情があるといふことを申しました。其一例として一つの市町村内にある所の部落有財産が甲と乙と丙と各持つて居る處の財産價格に相違がある。或は甲は持つて居るが乙は持たない。丙の持つて居る所は甲の持つて居る財産よりも非常に價格が多いといふやうな物に向つて各部落の財産を擧げて其町村の基本財産とするやうな場合には頗る困難であるといふことを申しました。然らば如何にして斯の如き場合にこの困難を排除することが出来やうかといふことを攻究する必要があらうと考へる。理想の第一と致しましては、各部落が公共心に富んで居つて其持つて居る財産を無條件無償で町村有に移すならば之に越したことはありませんけれどもこれはナカ／＼容易に出来る話ではありませんぬ先づ多くの場合には空想と申してよからうと思ふ。此理想が行はれないとしますれば第二には斯の如き場合には或は戸數を標準とするか人口を標準とするか戸數割の賦課額を標準とするか、其土地々々の事情に應じて一町村内の各部落の持高の比較をして見る、さうして其の最も高いものを標準と致しまして其足り

ないものは其標準に達するまでは積み立てをさせる、さうして平均した所で合併を實行させる、第三には一つの市町村内の各部落の中で或る部落が甚しく大きい財産を持ちて居りますならば其最高價格を持ちて居る分を暫く措いて財産の價格が二番目になつて居るものを標準とする。さうして此標準に達しないものは標準に達するまで積立てをさせて行く餘りのある一番大きい財産を持つて居る部落の分は餘りある部分だけを止むを得ず残して置く。つまり此場合には遺憾ながら一番澤山財産を持つて居るものゝ餘りの一部は削ります。この残つた分に對しては町村費を以て買収する。固より買収は町村の經濟に關係を持つて居りますからして部落有財産合併の際に買収をやつてしまへば一番よい事ではありますけれども是非其時にしなければならぬといふ譯のものでありませぬから經濟上の模様を見ても他日に買収しても差支はありませぬ或は又其財産價格が非常に廣大なものであつて多くの金を投じなければならぬといふことであれば一定の方法を立て、一時に買収しなくても數回に買収してもよい、この第三の方法は順次これを推して一つの市町村内の部落の中の最も小さい財産を持つて居る部落を標準として合併をされても差支ない。さうしてそれに超過した他の部落の財産は順次買収をするといふことにしても差支はないのである、これは随分面倒でもあり理想には遠い事でありませうけれども、今日の現状で抛つて置くよりも遙かに優つて居ると考へるのであります。それから又各地で部落

有財産の臺帳を見ますと非常に畝歩の小さな財産が點々一つの字にあるといふ事實を見るのであります。部落有財産の臺帳を御覽になつた方は御承知でありませうが一反歩に足りんやうな地面が澤山にある甚しきに至つては十坪もないやうなものがどういふ原因でか澤山にあるかういふものを寄附をさせる或は纏めたもので甲乙部落の比較をして村有に移すことは決して出来難いことではないのであります。けれども從來は餘り顧みられて居らない。かういふ風の財産が果して適當に管理されて居るかといひますと其管理は適當でない又甚しい例を申しますと監督廳たる郡役所に於てすら部落有財産の臺帳の整理が充分でないために其處分をする際に郡役所に於ては分らないといふことがある。極端の例をいひますと登記所に照會して初めて知るといふやうな實例がある。郡役所が先づ知らなければならぬ事柄が却つて他の役所に照會して初めて部落有の財産があつたといふことを知つてそれから處分をするといふことがある。そこで行かないで大字で勝手に處分をして居るといふやうな實例もあります。此零碎な部落有財産も矢張一筆なりとも減らすといふ心掛けがなくてはならぬと思ふ。これは容易なことであつて少し骨を折らせれば出来る話である。それから又部民が反對を致す所の理由の一つとして秣場を失ふといふ故障がある、これは常に聞くことであります。部落有財産を村に移して植林をすることになると秣を取る事が出来ないとはいふ苦情をよく聞きます。これも一應事情は尤であ

る。併ながら實際は部民の方に永年の因襲による誤解があるのであります。非常に廣い無立木の山林を林場として残して置く必要は實際はないのであります。植林をしたために忽ちに鬱蒼たる林相を呈するやうなことはありませぬ樹木の繁茂するまでには多年を要する其間には草は充分取れる。これまで植林の結果農民の需用する林、草肥、の缺乏を告げて困つたといふやうなことは滅多に無いのである。若し果して農民が困るやうでありますれば其時こそは山林として多大の價格を持つたものが代りに出来て居るのであります。先づ一番利用されて居らない部落有財産の中の山林の利用と致しては統一した結果植林をするといふ事が最も必要である。さうして植林の仕事には決して澤山の費用を要するものではありませぬ。又比較的失敗のない仕事である數年の後には相當の利益を挙げ立木の成長によりて意外に大きな基本財産を得るのでありますから山林の利用としては植林が最も必要であると考へます。

尙茲に私が講話の表題につきまして聊か申上げて置きたいと思ふことがある。私の題は部落有財産の統一及其利用といふ題であります。單に題を見ますと部落有財産の統一と今一つは部落有財産の利用、かういふ風に見へるのでありますけれども、部落有財産を其儘利用するといふことは私の理想とし希望とするところでは無いのであります。部落をして部落自らの財産を利用させるといふことに致

しますると之れを統一するといふことは益々困難になりて參るのであります。其結果は町村の自治の基礎を薄弱ならしむることになるのであります。そこでどうか此趣意は部落有財産を統一して且これを利用することを目的としたものと御考へを願ひたい。即ち部落有財産を町村が統一して町村がこれを利用するかういふ趣意に御考へを願ひたい。去りながら茲に一つ部落有財産を其儘にして置いて町村が利用する方法があるのであります。これは理想としては完全なものではありません。出来得ることとならばかういふことは防きたいとは思ひますけれども、どうしてもこうしても部落有財産の統一が出来ないといふ場合には町村が其部落有の山林に地上權を設定して植林を成す、部分林の方法としふござりますさうして町村の基本財産を拵へる、かういふことも萬止を得ない時分の一つの方法と致しまして部落有の財産を荒廢に歸して置くといふやうなことのないやうに致したい。兎にも角にも此部落有財産の統一及これを利用するといふことはナカ／＼輕微な問題ではないのであります。全國に亘つては非常なる廣大な地積を占めて居るところの部落有財産の多くが利用されずに居るのでありますから國家的にいへば非常なる遺利がある、其遺利を拾ひ上げて開拓をするといふことでありますから事柄は非常に緊切である。重大な事柄であるといふことに御考へを願ひまして熱心に根氣よく實効を擧げられんことを希望致します。それからこの事柄が非常に困難である出来ないとはいふことは至

る所で聞きますが、多分諸君は既に受取つて居られると思ひますが地方局から配附になりました部落有財産の統一と其効果といふ印刷物を御覧になると、熱心事に當つてこのことが出来ないものでないといふことは諸君が発見されるであらうと思ひます。印刷物の中には三重縣の公有林野の整理と部落有財産の統一といふ題で實例が澤山擧つて居りますが三重縣の當局者が非常に熱心に村につき人に就て熱心勧誘せられる結果は段々と出来て參るのであります。この印刷になつて居る外にも段々と部落有財産の統一が行はれて居る。人に依ると或はかういふことを申されるでありませう、人氣が違ふ、官吏を尊敬する所の地方又部民が純朴である地方は出来るかも知れぬが自分の方ではナカ／＼さう容易く出来ないとはいはれる人がありませう、併ながら今日の世の中では誰れでも利害の打算をしないものはない又選舉其他の關係からして感情の衝突のない所はありません、けれども熱心に手を着けて行くとは相當の理窟を立て、部民の主張を或る程度まで酌んでやるやうにして行きますれば必ずしもそれか不可能の事ではない、といふのは困難であるといふのはどうしても此關は破れないといふ所まで進出した聲ではない。そこで私の希望するところは單に口で困難といはずに困難であるといふ關所に突き當つて前に述べたやうな方法を以て進行されんことを希望するのであります。尚又此印刷物で見ると三重縣のは誠に簡單に行つて居るやうである唯だ一日の間若くは一夜を徹して説諭した結果全部の

部落有財産の統一が出来た、かういふ風に見るのでありますけれども其衝に當つた處の主任の人の意見を聴いて見ましたならば種々知慮を凝し種々工夫をして曲折の徑路を辿つてあらゆる故障を排して効果を收めて居るに相違ないと思ふ。私は不幸にしてまだ三重縣の方にも參りませず實地に就て調べたのでありませぬからこのことに就ては諸君と共に此印刷物を見るに過ぎませぬ、唯だ私は先般栃木縣にあります一の實例を稍、詳細に實地に就て調べましたので其結果を後にお話し致したいと思ふ。

此部落有財産の統一に就て國が實行をされることを希望して税法の改正を致したことに就て申し上げます。これは御承知の方も多いのでございませうが政府は本年四月十二日に法律第三十一號を以て登録税法の改正を致しました。其中部落有財産に關係を持つて居ります條項は第十六條の二號に揭げてあります。従來大字の不動産を市町村に無償で移します場合の登録税が價格の千分の六十でありましたのを政府に於きましては部落有財産の統一を希望致す趣意より此法律によつて僅かに千分の一の登録税を課することになりました。申すまでもなく今日は國費は非常に多額の折柄であります、年々歳々財源を求め新たな課税をする課率を増すといふ際に部落有財産の統一に就ては特にこれだけの特典を開きまして非常なる低率の登録税を課することに致しましたのは國家が如何に部落有財産の統一を希望して居るかを證明することが出来ると思ひます。

これから栃木縣上都賀郡粟野町の部落有財産統一のお話を致さうと思ひます、この粟野町の部落有財産の統一に就きましては御手元に廻してある印刷物にも載つて居りますが、これは報告の本か間違つたか事實が違つて居ります。本月の八日に私は實地に参りて調べた結果をお話し致します。粟野町は口栗野、中栗野、入栗野柏木といふ四つの部落から成り立つて居ります。さうして此土地町村制施行前からある各部落の不動産の反別を調べますと、臺帳面積で五百何町歩といふ山林を有つて居る。此山林は從來林及草肥を取るためであつて其大部分は立木もない儘ではうてあつた、維新後此五百何町歩の山林から収益をしたことは曾て横根山といふ所の四百餘町歩の山林でポツ／＼生へて居つた所の栗の木を賣却して百圓餘り取つたことがある。さういふことが一度ある外には収益を擧げたことがない却つて公課の負擔の爲めに毎戸に賦課徴收したことがある位である、これが今日では殆んど全部村の基本財産となりまして毎年千四百五十圓の歳入を得て居るのみならず大部分は植林としてしまつた。これが如何にして出来たかといふ道行を見ますと明治廿一年に四ヶ村を合併して粟野村といふ村を築へたさうして其後に町村制を施行しやうといふ場合になりました今現に町長をして居るところの神山太一郎といふ人が其當時どうも廣い宏大なる山林が荒廢して居るのを見まして山に這入つて實地を踏査して植樹に適して居ることを信じて一般に植林をさせやうといふ考を持つて居りました。けれど

も頼て願ひるに部落有山林を其儘で植林をさせると植林の上からは利益があるけれども部落割據の弊を助長する恐れがある。又管理方法が當を得なかつたならば少數者の爲めに勝手なことをされる或は健訟の弊を生ずる。一朝事あれば運動費の財源になるといふやうな所からこれはどうしても一村に移した方がよいと云ふ考を決めまして統一案を作つた。其統一案は前に私がお話を致したやうに各大字で有つて居る所の財産を評價してそれを戸數に割當て、見た所が、大字口栗野村の財産統計が八千圓餘になる其戸數が五百二十五戸あるので一戸當りの平均額が十五圓餘になります。中栗野村の財産の評価が千五百餘圓になります。これが戸數九十八戸で一戸平均が十五圓四十三錢、入栗野村の財産總額が千六百圓餘になります。戸數が百〇五戸で一戸當りが十五圓六十三錢、柏木村の總財産が百五十圓、戸數九戸で一戸當りが十六圓六十八錢、先づかういふ割合になります。此中で中栗野村の分を標準としたのであります。さうすると口栗野村は不足する入栗野村と柏木村は超過する、それでこの不足した所の口栗野村からはこゝは戸數が多くて消防器械があるので、それを合せて出すそれから中栗野も入栗野も不完全な消防器械を出す。柏木村は僅かに九戸の所で器械がないそれ故に餘つた財産の割戻しをしてやらない、かういふことで我慢して貰ひたいといふので最初に案を出した、所が其當時の村會ではこれを可決したが中栗野と入栗野村からは評價が不當である、よい加減の評価を擧へ

たものであるといふて苦情をいひ出した、或は村會の議決の手續きが間違つて居るといふやうなことからして切りに苦情を唱へ出した。或は其結果として訴訟を起すといふやうなことを言ひ出してナカ容易に納得をしない。これは表面の理由としては評價格が不當であるといひ或は議決手續きに缺陥があるといひますけれども、其實際は秣や草肥を取ることが出来なといふことから起つた苦情であつた、この村は地圖を御覽になると分りますが今日は町でありますが當時は村であつて農民が深山に居る、商業者が四分で農業者が六分の割合である。さうして商人は山に秣を取りに行く必要はないからこの問題に就ては極めて冷淡である、これに反して農民は適切に自分の利益を奪はれるといふ感を持つて反對したそこで當時の村長がこれを考へて見るのに如何にも農民の故障をいふ所は尤もの點がある、村會の決議を経たからといふてこれを無理やりに押し通して行くと將來部落同士の喧嘩が絶へないことになるといふので一旦決議を取消した。其決議を取消したのは所謂伸びんと欲するものは先ず屈す、それで止めるといふ趣意ではない、いろ／＼考案を立てて何遍も村會に出した、ところが其都度部落同士の主張に隔たゝりが起つて來て何遍附議しても容易に議が整はぬ。再三工夫をした結果明治二十二年の九月十二日及び同月二十七日の決議で口栗野村と中栗野村と入栗野村の共有山林の四百五十九町餘りそれから柏木村の山林の一反五畝餘り田が七反畑が二反弱だけを第一回到村有に編

入した。此方法は前に申しましたやうに非常に故障のあつた後でありますから、其故障を除けてしまはなければならぬといふので餘程苦心をした、それはどういふ風にしかたかといひますと最初には財産の評價格が故障の種になつた。今一つは秣場を失ふといふことである、そこで第一に此評價が公平であるといふことで納得させなければならぬ、今一つは秣場を失ふといふたから秣場を失はせないといふ工夫をしなければならぬ。そこで評價を公平ならしめる爲めには土地は全部これを競賣してさうして其代價を村に皆寄附するそれから寄附した金を以て其山を又村に買戻す頗る迂遠のやうに見へる。さうして其山は矢張り秣も取らせるし草肥の草を刈ることも許すことにしたのであります。これで話が纏つたといふと容易のやうでありますが茲には餘程苦心の跡がある。此時分に秣や草肥を取らせるに就ては村の基本財産になる以上は少しはこれから村の収入を掲げて行かなければならぬから取りに行くものは入山料として一戸から十錢づゝ村に納めて貰ひたいといふので皆從來の通り山に這入ることが出来れば十錢は納めませうといふて纏つた。さうして纏まつた後に更に村長が考へるにどうも十錢の入山料を取つても非常に廣い地域で山番も居ないから納めないで這入るものがある、其だ不公平の結果になるからといふので屢々村會に諮つて更に第二の方法を案出した、その第二の方法としては全部ではないが其山の中の或る部分を草を取る場所として從來慣行によつて秣を取りに行く

ことの出来たもの即ち農民は一年に四十五錢入山料を拂ふ。さうして年期を五ヶ年として一人前を一反八畝歩として土地を貸渡す、さうすればつまり自分の借區が決まるから納めないで山を持つことが出来ないことになる。それは従來慣行があつて山から草を取つて居つたのだから安いが従來山に這入らなかつたものは一戸九十錢の入山料を拂つて植樹するためならば入れやう、年限は三十ヶ年で反別は矢張り同じである。さうして孰れも其契約は更新することが出来る。其上に従來の慣行あるものに地區を選擇する優先權を與へてやる。さうして残りを抽籤にして地區を決めた、それで納得して暫くやつて居る中に草を蒔る爲めに這入つて居るものは家から近い所を選んだ、所か草だけは取れるか植樹には適しない所を選んだ、木を植ゑやうといふものは奥の方を選んだ、ところが此一反八畝歩といふ分け方は目分量で分けたので非常に廣い所と狭い所が出来て段々苦情も出て來た、暫くすると木を植ゑた方は段々木の發育がよいので楽しみになつて來たそれから木は植ゑたが草も矢張り取れる一方の草を取つて居る方は毎年草を蒔り取つて居るだけで何も楽しみはない、三年五年經つ中に農民の方は羨ましくなつて來た。さういふことで明治廿五年頃になつては短期の借地をして居つた農民の側は全部三十ヶ年の長期に改めて貰ひ入山料を九十錢拂ひたいといふ出願をするやうになつて村の方でもそれを許して全部年限は三十ヶ年入山料は九十錢といふことになつてしまつた。そこで入山に

宛てた山は全部どの家も植林をすることになつた。其今の農民の側から苦情の出たのは自分の方に割當てられたところは植林に適しない奥の割當を得たものは植林に適して居る、自分等は従來より不利益になつた或る所は一反八畝歩といふのが大變廣い地域になつて居り或る所は大變狭いといふので故に隙が起つたがこれは最初農民の側には優先權を與へて勝手に場所を撰ましたのである草を取るためには近い所が利益であるといふので自分の家から近い所を撰んだ、それから廣い狭いといふのは固より實測の結果でないから止を得ぬが要するに此不公平を救ふために抽籤をやらした其結果であるから仕方がない、村の當局者がやつた譯ではないこれは我慢して貰はなければならぬ、其代り村の基本財産は一面に於て出来て來るからといふので其故障は有力な故障にならずにしまつたのであります。今一つは矢張り九月廿日の決議で口栗野村の方から原野一町四反八步金二百九十圓八十錢中栗野村からは金百三十二圓餘入栗野村からは山林二十五町金八十圓三十二錢柏木村からは山林廿六畝七步だけを從來有つて居つたものを吐き出した。これも戸數に應じて均等の負擔にした、それで新村の小學校の基本財産に利用するといふことになつた。其年の十月十一日には口栗野と中栗野と入栗野と此部落の消防器械を新村に移した。これが最初に村長が消防器械を以て埋合せを付けやうとして心配した譯です、其際柏木には僅に戸數が九戸しか無い部落であるから消防器具はないために柏木村で有つて居つ

た廿五圓を新村に寄附させた。其次は同年十二月十一日に中栗野が妙な不動産を有つて居つた、それは三十四は山林一町六反一畝廿四歩といふものに對する四十四分の十の共有權を持つて居つた、それは三十四戸と一つの大字が共有して居るので三十四戸は四十四分の一づつを有つて大字が四十四分の十といふ共有權を有つて居つた、でどうもこれは管理上甚だ持て餘した、そこでこれを賣却して金に替へて中栗野の財産として保管をした、かういふのがどういふ譯で起つたかといふと此中栗野に百戸ばかりある中の十戸ばかりが入栗野に移住をした、その移住をした十戸と外の三十四戸で一町六反一畝二歩といふ山林を有つて居つた、それを移住の際に村の人がお前達は他村に行くならば村に何か残して行けといはれたので別に残して行くものもないから四十四戸で共有して居つた共有權の持分を差上げやうといふので貰つた、ところが大字で四十四分の十を持つて居るので管理に甚だ困るから賣つて金に替へて置いた、それから翌二十九年七月十五日に中栗野の山林八町七反九畝十四歩原野四反二十五歩郡村宅地八畝十八歩田十八歩畑五步入栗野の郡村宅地の廿二歩と保管してあつた現金それから入栗野にかういふ小さな反別があつた、郡村宅地で四畝廿四歩四畝廿二歩、一畝、七畝七歩、一反六畝十六歩、八畝三歩、三歩、三歩、かういふ點々零碎の財産を有つて居つた、これは何故かういふ小さな財産があつたかといふと此村は方々に小さな宮があつて其宮の敷地に關係して居る地所であつた、それ

がどういふものか入栗野村の有になつて居つたので誠に畝歩か小さく點々散在して居りて管理するに不便であるといふので、熊野神社、神明社、子育て觀音、二の日光神社、三の山神社に寄附した、それと同時に中栗野が持つて居つた四十一圓五十錢を小學校の建築費に寄附をさせた、それから廿三年八月になつて村有山林の八町六畝歩と個人山林の四町八反七畝十五歩を交換した、此交換は或る山の中央を個人が持つて居つて管理に困るので其中央を村に取つて他を個人に渡したのであります。それから十七歩を道路敷地に寄附し、それから入栗野から又小學校基本財産のために建築費に寄附して居る、三十五年一月になつて役場の建築費に各部落で有つて居つた現金を寄附されて居る、三十七年に口栗野が持つて居つた山林の三十七町二歩、墓地四反五步中栗野の山林雜種地一町三反六畝二十五步墓地七反五畝十七歩畑二十五歩、柏木の雜種地二畝十七步墓地八畝七步現金六十一圓三十九錢入栗野の現金五十圓別に中栗野の現金百圓十五錢入栗野の現金百圓これたけを全部栗野町に移してしまつた。かういふ風にして今日の部落有財産の現況が如何に有つて居るかといふと入栗野に十四町歩の山林が残つて居ります。これは前に申しましたやうに始終戸數を標準として何回となく各部落の財産を村有に移した結果入栗野の分がこれだけ餘つたのであります。この餘して置くのも甚だ残念であるけれども此分を強ひて提供させるのも甚だ無理であるから之は後日買入れる考へである。その價格も今日決まつ

熱心な人で誠實に仕事をして居るが書類が鮮明に整へてはない、もし御調べになることがあるならば根氣よくお調べになると當事者の苦心したことが分る實地を御覧になるにはこれだけはお含みでなければならぬ、それで村は渾然融和して居つて總て實質はよい、唯だ形式からいふと改善すべき處は多々あるのであります。私のお話はこれに止めまして皆さんの中で實驗上他の諸君の参考になる考へを持つて居る方のお話を願ひたいと思ひます。(終)

都會と地方

澤柳政太郎君講演

●文明は善か、惡か ●愛府縣郡市町村心 ●都會は不健全なり ●田舎の娛樂 ●酒問題 ●日本人の體格 ●食物の改良 ●賭博の取締 ●健全なる娛樂 ●巡回文庫 ●小學校の經濟 ●理論よりも實驗上の意見 ●新規の工夫 ●法令の眞精神を解せよ ●産業の經營はナミなるべし ●學資の補助 ●碑文は解し易き文字を以てせよ ●小學校教員を尊敬せしめよ

時間も十分ありませんからして、前置は略しまして、直ぐに本文を申し上げやうと思ひます。本文と申しましても私のは雜駁なことをお話するのであります、首尾一貫した事柄ではないのであります、茲に演題を掲げろとのことで都會と地方と題しましたが申上げることは幾多の事項に亘りて雜駁の事であります。其中一つでも諸君の御參考になりますれば私の本懐と致す所であります。

御承知でありませうが、學者の中に文明といふものはよいものであるか悪いものであるかといふやうな議論がある。其事を先づ初めに申したいと思ふのであります。普通には文明を進める文化が進むといふことは、論するまでもなく希望すべきことである。よいことであるといふやうに考へて居るのであります、我々も常に其事は諸君と共に口に致して居るのであります。大體に於て文化が進むといふことは希望すべきことでありますが、併ながら歐米諸國に於て文明が段々進歩した、其事蹟を見

て小學教員をして一層自重せしめて直接には學校の事業の爲に又其餘力を以て間接には町村の事業の爲に盡力せしむるやうになしたいと希望して居るのであります、其事を少し詳しく述べたいと思ひましたが大分時間も経ちましたから唯其大目だけを申上げて置くに止めます。何卒小學校の教員に對して社會が尊敬を表するやうに諸君の指導盡力を願ひたい。長い間の清聴を謝します。(終)

普通教育

文部省普通學務局長 松村茂助君講演

過日内務省の井上參事官より私に此講習會に臨んで何かお話をせよといふことであります。甚だ納屈であり且又此頃は御承知の通り私の方にイロ／＼會議がありまして一向準備が出来ませぬで、折角今日参りまして諸君にお話をするに致しまして、充分有益なることをお話することが出来ないのは、甚だ遺憾に存する次第であります。尙ほ今朝茲へ出て参りまして時間割のお話を承はりましたら、私の話をする時間は二時間であるといふことであります。然るに私は一時間なりと承知して居りましたから一時間位お話するつもりで参つたのでありますが、話が下手でありますから、所謂下手の長談義で自然一時間余にならうと思ひます。併ながら二時間は掛りませぬから中休みも致さずに續けて致しますから暑い所甚だお氣の毒でありますが左様御承知を願ひます。

さて本日私が諸君にお話せむと欲することは茲に書いてある普通教育に就てでありますが普通教育の如何なるものであるとか、普通教育はどうせねばならぬものであるといふやうな空漠たることを申上げて余り話が散漫に失する嫌がありますから、特に普通教育のために設ける所の學校基本財産の

造成といふことに就きまして一條のお話を致さうと考へます。私が此問題を特にお話せむと欲するのは、近頃段々此市町村費は嵩んで来る。其市町村費の嵩んで来る中に就きまして特に教育費が非常に激増して來た、どうも斯の如く激増したならば町村は將來非常に負擔に困るであらうといふ聲が段々聞へます。又實際さうであらうかと考へますから、これは教育の將來のために一つ方法を講せぬければなるまい。若し其方法を講せざるに於ては割合に今日折角發達しかけて居る所の小學教育の將來の發達に大なる支障を來たすであらうといふ所から此事をお話しようと思ふのであります。唯だ理論の上から考へて見ますと、教育費の年々増加するといふことは喜ぶべきことであるか又恐るべきことであるかといへば喜ぶべきことであることは敢て喋々を要せざることと思ふのであります。年々歳々教育費が増加して行くといふことはつまり就學兒童が漸次増加して行く結果に外ならぬのであります。然るに教育費が非常に殖へるといふて、強て此費用を減じやうといふやうなことをしたならばこれはつまり世運に反するものでありますから決して國を隆興せしむる所以ではなからうと思ふのであります。殊に實際世界の状況を見ますのに、何れの國も其國が段々盛んになる時は必ず教育の盛んなる時である。これに反して教育の衰弱して來る時には矢張り國も亦衰弱する時である、普通教育費が

増加せぬやうにといふことを考へるのは前に教育費が増加するのは教育の普及、學齡兒童の増加の爲めであると申しましたが其反對で學齡兒童も増加せず、教育も普及しないといふことになれば教育費は増加せぬのであります。又學齡兒童が年々減少し就學兒童が年々減少するといふやうなことであつたら年々歳々教育費は減少することになります。かういふことになりましたならば其國は如何でありませうか、學齡兒童が漸次減るといふことは即ち其國の人口が減少することを證明するものでありますからして國は漸次衰亡に趣くのであります。又教育が普及すべきに普及せず停滞して就學兒童が増加しないといふことは即ち國の教育が進歩しないのでありますから、矢張り國勢の上に直接に影響を及ぼす故に國の繁榮に赴くのと衰亡に赴くのとは一に此教育費の増加若くは減少の上にかゝるといふても差支なからうと思ふのであります。それで今教育費は澤山である、かういふ人があり又十年前と比べて見ると非常に増して居りますから随分過大の増加であるやうに見えますが、これは果して過大の増加であるかどうかといふことを見ますと我國の教育費の全體は最近の調査によれば經常費が參千萬圓、臨時費が一千萬圓總計四千萬圓計りである。さうして就學兒童の數かどれだけあるかといへば五百萬人程ある。それで兒童一人の爲に一ケ年に費す金は經常臨時合せて八圓であります。これを又經常費の方から見ると三千萬圓でありますから丁度一人に對して一ケ年六圓を費して居る。これを

十二ヶ月に割りますれば一人に對して一ヶ月五十錢を費やすことになる。斯の如き廉價に普通教育を實行して居る國は世界の何れの國にも其比を見ないのであります。然らば總額で申せば成程非常に多い金で、町村の經濟からいへば非常に重い負擔のやうでありますが、我國の小學校に費して居る金は余程廉價であるのであります。併ながら此教育費といふものは前にも申しました通り我國の如く年々歳々人口の増加する國に於きましてはどうしても年々歳々又就學兒童が増へますから教育費は膨脹するのであります。教育費は人口の増加と共に増加して止まないものであります。殊に小學教育を完全にするが爲に正教員を悉く各學級に配當するといふやうなことになりますれば益々此經費は加はるのである。現に正教員は四萬人近くも不足して居るさうして資格のある教員は七萬人計りであるさうして現在の七萬人に拂つて居る俸給額の平均を以て將來増す所の四萬人に支出することになりますれば代用教員準教員等をやつて居るのとは違ひまして其増加といふものは又著しいものであらうと思ひます。それでどうも教育費といふものは其物の性質からして常に非常に増加して止まないものである。未だ日本の現今の狀況からいへば小學校教員は不十分であるから現在の費用で居りますが、今後小學校教員に精良なるものを増すに従つて益々高くなる狀況であるのであります。前に申上げた通り日本の小學教育費は經常費は漸く一人に對して六圓計り經常臨時合せて漸く八圓計りであつて、非常に廉

價でやつて居ると申しますが、教員が漸次整つて來ると非常に又殖へて參りますが、さて教育費は増すばかりであつてこれを節約する方法はなからうか、これも亦考へて見なければならぬことと思ひますが、最初申上げた通り町村の負擔は段々重きを加へて來て居つて今後も亦重くなるのでありますから出來得るだけ節約が出來るならば節約をする工夫をせねばならぬ。それで私は其節約の方法と致しましては二部教授をやつたらよからうと思ふ。二部教授は前年來文部省に於きまして大分獎勵になつたのでありますけれども、實行して居る所は甚だ少ない。なぜ實行しないかと申しますればどうも父兄が嫌ふ、或はこれを増當する教員が嫌ふ。而かも町村の當事者は二部教授が果してどういふものであるかを充分に了解しないから不利益の方のみ聞かされれば成程さうであるが若し不利益のものであれば少し費用がかつても二部教授は廢さう。かういふことになつて行はれぬかと考へます。二部教授といふものは現に昔から小學校令施行規則の上に於ても許してあるのである。それは教員が其學級に配當すべく充分でないといふ場合、即ち一學級に對して正教員一人を配當することが出來ない場合には二部教授をやつてよいとある。又町村の都合で校舎を建てたいけれども急に出來ないといふ場合にも二部教授をやつてよい。のみならず此義務教育年限延長の爲めには當り前にやるならば増築等やらなければならぬであらうから經常費の上に臨時費を負擔することはナカ／＼困難のことであらう

からといふ所から大に二部教授を奨励したのでありますが、どうも教員が反對し父兄が反對するつまり其反對の理由を打壊はし或は解釋してやらないからであります。教員が反對するのは二部教授をやれば教員が骨が折れる、二部教授をやる場合は自然毎日教員は六時間づつ、授業せなければならぬ。それだけの授業をするに就ては準備に骨が折れる。又一學級を擔任して居る場合と違ひまして、多くの生徒を教へなければならぬからそれだけ骨が折れる、其骨折りに對して相當の報酬をやらないから自然前に樂をして居つた時と二部教授をやる爲めに骨を折つても其骨折甲斐がない、骨折賃を拂ひ十分に其働きを認めてやることになれば教員は骨折甲斐がありますから決して反對はしいと思ふのであります。それからモウ一つ父兄の方に於きましては從來の四時間なり五時間なり學校に出て居るものが急に三時間に減するから成績が非常に悪からうといふことを懸念するのでありますが、實際其結果は甚しき不成績にならぬ、却つて成績のよい場合がある。何故不成績にならずして成績のよい場合があるかと申しますればつまり普通であれば學級が二つある。其場合に良い教員を得られぬといふ所から方 正教員であつても一方は准教員若くは代用教員を使ふために成程時間こそ多く費して居るが有効なる教育は代用教員を使つて居つては出来ないであります。然るに二部教授となりたる結果有効に時間を使用す 所の正教員が授業致すことになりまから、却つて成績が良好になるのであります。

す。さういふことを實地に示せば父兄も反對しないであらうと思ふのであります。モウ一つ父兄の話には理由がある。それは貧乏な所で二部教授でもやらうといふ村に於きましては随分學校へ通學するに遠距離から通學するものが澤山ある。或は山を越へ或は川を渡るといふやうなこともある。其場合に普通の二部教授で午前と午後にも分けてやる場合には午前には年の少ないものに出て來い、午後には年の長じたものに出て來いとか、それに反して午後には年の少ない子供に來い午前に年の長じたものに來いといふやうなことになるさう致しますと、小さい子供の通學することが甚だ難義になるのであります。朝年の長したものに連れられて行けばこそ喜んで行くのでありますけれども、午後になつて兄が歸つて來る時分に弟が出て行くといふことになると第一其點に於てもいけません、第二には通學上親も不安心に思ひ子も亦不安心に思ふといふやうなことで出席上甚だ惡結果を來たす。然らば同時に南方共出て同時に歸るやうにすればよからうとなりますが、今日まで單級であつた學校で生徒が殖へて二學級にした場合を想像するとかういふこととなります。教室は一つである 所が生徒は二組ある此一つの教室を二組の生徒か使ふこととなりますから、其生徒が一組に來れば一組の生徒は他の一組の生徒が教授を受けて居る間天氣のよい時は外の運動場で遊ぶことも出来ませんが、雨天の時は彼等はどうするでありませうか、さういふ學校に於きましては彼等が其遊んで居る時間雨雪を避けぬ

快に遊ぶといふ場所がないのでありますから教場の方から申せば外で非常にやかましくする害がある、遊んで居る児童の方からいへば充分に遊べないことになりす。随つて學校の方でも通學が不便にならうとどうしやうと教授が出来なくては困るから午前・午後のものは午前から出て来てはいかぬとなりますから、通學の不便又生徒の所理法が不都合なために二部教授が行はれぬのであります。故にかういふ場合には多少金はかかりますが、適當なる普通の教室より小さくてよからうと思ひますが生徒の控室を造つてやる。さうすれば朝一緒に來晩一緒に歸ることが出來、雨天の時と雖も自由に遊ぶことが出來る。又天氣の時には外で無暗に遊ぶのみに時間を消費しないで授業中に休んで居る生徒の自修室として自脩させるやうにすれば通學上の不便等は全くなくなる。のみならず學業の成績の上にも於ても亦甚だ好結果を奏することは實驗上明かに證明されて居る。斯の如き不便不利を取去つたならば二部教授は随分行はれると思ふ。それでありまして地方當局者は此二部教授の利害得失を充分飲み込まれて苟も町村にして其教育費の負擔に非常に困難して居る、若くは不時の天災等があつて、臨時に教室等の設備をすることが出來ないやうな所では常に此二部教授の實行を怠らざらんことを希望するのであります。殊に大都會といふまでもありませんが、近來工業商業の開けた土地には田舎より農夫が職工となる爲めに集まつて來る又職工が集まつて來るに従

つて小商人等も随分集つて來る。それが爲めに急に校舎を造らなければならぬ。資力も相當にあるけれども兎に角急に設備をしなければならぬといふ爲めに困難する場合が随分あるやうに見受けま。さういふ所に於ても亦此二部教授をやれば一時に過重の負擔を人民に蒙らしむることなく又非常に多額の公債等を起すことなくして教育の完全なる發達を漸次充實して行くことが出來ますから、田舎であらうと都會であらうと何れに於きましても兎に角教育費の急増を防ぐために若くは教育費の節約の爲めに二部教授をやることは非常に必要なことにして又今日の如き義務教育年限延長の場合で急に就學児童が澤山になるといふ場合には實行を怠つてはならぬことと考へるのであります。併ながら二部教授は要するに僻村はさて置き其他の場所に於ては永久的の施設と見ることは出來ないのでありますから、漸次設備を完成して一つの學校を造る必要が生ずるのであります。斯の如くなりますから二部教授の外にも尙ほ平生總ての經費を支出する上に於ては年々歳々教育費が増加すればする程これが必要であらう。これは必要でなからうとよく其必要不必要を辨别してさうして少しなりとも濫費をしないやうにすることに努めねばならぬことと思ふのであります。次に一體教育費といふものは未來永劫に常に町村税でのみ支辨して行かなくてはならぬかどうかと考へますと、これは昔小學校といふものを始めて造る時分から既に當時の當局者はどうしても町村税のみではいかぬといふことで一番

初め出来た學制とか教育令とかいふものを見ますと授業料のみでやる、授業料の足らぬ所を町村で負擔する。かういふ仕組みになつて居つたのであります。モツ一つは授業料もさう高くは取れぬから是非基本財産を造つて置かねばならぬ。早い頃は基本財産とはいはなかつたのであります。資金と云つて居つたのであります。それを造らなければいかぬといふので其用意をさせて其収入と授業料と町村費でやうといふことになつて居つたのであります。併ながら兎に角基本財産を造成するといふことは事柄はよくても實行がむづかしい爲めに今日まで余り澤山の基本財産も出来ない、それでありまして三十三年に小學校令が改正になりました授業料を徴收することは出来ない、特別の場合の外は其の徴收を許さぬといふ主義を取る場合になりました。經費が今日のやうに著しく膨脹するやうになりました随つて又町村の負擔に堪へないことになつて來たのであらうと思ひますから町村の負擔の上から考へて見ましても又國家有事の時を考へて見ましてもどうしても此基本財産を造成するといふことは一日も忽ちに附す可からざること考へます。それで此基本財産は今實際どういふ状況になつて居るかと思ひますと、小學校基本財産といふ名前が出来たのは明治廿三年地方學事通則といふものが發布になつた時初めて出来たのであります。此地方學事通則に於て基本財産を作るには從來地方官限りイロ／＼の規程を設けて居つたのでありますが初めて法律で認められさうしてどういふものを財源として基本

財産を造つてよいといふ其財源に充てる所までも規定されたのであります。それを見ますと授業料書器使用料或は入學試験料といふやうなもの若くは町村の歳出の殘餘又は基本財産を造るために増徴したところの歳入の増徴額、これらを積んで基本財産を造つてよい、かういふことになつたのであります、それで其當時も基本財産造成に就きましては、中央政府に於ては地方長官に大に獎勵するやうにといふことを訓示になつたのであります。これを實際の状況に照して見ますと、どうもこれは日本人の性癖と思ひますが、獎勵を加へられたる時には皆熱心に基本財産を造る、ところが其後になつて成績を見ると甚だ面白くない、自ら必要なりと自覺してやるのでなくして、言はれて初めてするのでありますからチョット基本財産を造ることをやりましたがこれが永久に亘つてシツカリやられないために折角の良法をも忽ちに廢滅に屬してしまつて基本財産は出来ない、かういふ形があります。現に私が地方に居ります時分にもかういふことを経験したことがあります。どうも學校基本財産といふものは必要なものであるから一つどれたけあるか調べて見たらよからうと段々調べた、實際それだけの金があるかどうかといふて一帳面に就て調べた結果、町村は唯だ寄附者の與へたる借用證文若くは預り證書のみを持つて居る、帳面の上では大變に基金があるやうであるが實は皆それは寄附者の證文のみである。しかも其證文が物を云ふ證文であればよいけれども初の其證文を出す時の關係を聞いて見る

と、私は寄附致しませう併し唯今現金を持つて居りませぬから預り證を上げませう、さうして年々利子を出したら同じことではありませぬか、それでよからうといふ譯でやつたのであります。然るに段段町村の當事者が注意の足らぬために寄附者も怠慢で出さない、それが十年か十五年経つと初の寄附した人は非常に貧乏になつて、實は今日救助をして貰はなければならぬといふことになつて居る。さうすると先方は篤志で出した證文であるから唯だ返してやるといふことになる。又殆んど忘れてしまつて居るやうな證文でありますから、どうも其證文を楯に訴訟まで起して金を取るといふことも出来ぬ。といふやうなことで整理をすれば其村なり町なりには一文半錢の基本財産もない。かういふことになつたことがあります、これは唯今申上げた通り一朝奨励を加へられた爲めに一時に村の當局者かお褒めに預りたいとか或は知事がさういふことをいはれるからやらねばなるまいといふやうな、義理一片でやるやうなことの爲めにさういふ結果を來たすのではないかと考へて居ります。それで茲に一つ甚だ喜ぶべきことが今日出來て來た、それは戦争の前後からであります、殊に戦争後は著しいやうであります、が戦役を記念するために又は戦役中どうも學校の維持が非常に困難であつたといふやうな所から熱心なる町村若しくは府縣知事に於きましては段々奨励を加へ又必要を自覺したものを見へまして最近に於きましては漸次此基本財産の造成といふことが好況を呈して來て居るのであります。こ

れが甚だ人民自ら自覺したのであります、また結構なことである。此好機を逸せずして諸君の如き地方の當局に居られる方々は十分に人民を指導奨励してさうして基本財産が無い所には之を設置しある所はこれが増殖をする。方法を講せられたならば其効果も亦將來に於ては大なるものあらんかと考へます。

兎に角今日基本財産はどんな工合に殖へて來たか其極く荒いことを申上げますが明治三十年末には現金が四百三十五萬圓あつたのであります。此外に無論山林もあれば耕地もあるものであります、それらは収入を生ずることも甚だ少ないのであります。それから十年後の四十年十二月にはどれだけになつて居るかといふと基本財産は七百七萬圓となつて居る。此十年間に二百七十二萬圓を増加して居る一年に廿七萬圓を増して居るに過ぎないのである。さうして其十年間の増額は十年間の四百三十五萬圓に比して唯だ七割を増加して居るに過ぎないのであります。これに反して教育費の方はどうであるかといふと十年前には千二百八十萬圓であつた、然るに今日に於きましては四十年十二月の計算によれば四千九百一萬圓となつて約三倍になつて居る。一體費用の増すに従つて基本財産も又増加して行くことが必要であらうと思ふに、費用は三倍になつて居り、基本財産は唯七割を増加するに過ぎないといふものは甚だ面白くないことと考へるのであります。それでありまして今日の基本財産は

り生ずる収入を以て教育費の三千萬圓若しくは四千萬圓に比すると實に驚くべき僅かのものである。基本財産は現金もあり土地も山林もありそれより生ずる収入が現在に於ては六十萬圓外ないのであります。此六十萬圓を以て四千萬圓の補給をしやうなどといふは無いには疑わけれども、これが日本の小学校の基本財産であるなどいふことは外國に向つても言へないし、又基本財産設置の目的からいへば、こんな有様ではいけませんから益を増殖せなければならぬ。若し日清日露の戦役、あの好結果を奏せずして最後には勝利を得るにしても、今少しく長びいた時には町村等に於ける税の収入も減少しなければならぬことになつたかもしれぬ。さういふ場合には小学校を休んでしまはねばならぬといふやうな状況であるのであります。然るに戦争は、あのやうな結果でありますから、幸ひにして右二戦役の場合に於ては小学校といふものは殆んど當時と變りなく其授業を續けて行くことが出来ましたが、今後若し非常の場合に果して右のやうな良經驗を其儘繼續することが出来やうか、我輩は深く教育の爲めに今より充分に諸君の獎勵指導によつて町村民をして基本財産を蓄積せしむるやうに致されたい、冀くは塵も積れば山といふこともありすから秩序正しく蓄積をして行くやうに致しましたならば三十年、五十年、百年、國家の事業より言へば百五十年は短期である。其短期間に於て多額の金を蓄積することが出来やうと考へるのであります。

それで此基本財産は我輩の考へでは、これを二種に分ちて造るがよからうと思ふ。第一種は經常費を支辨するための基本財産、第二種は臨時費を支辨するための基本財産、かう二つに分けて造ることが最も適當であらうと思ふのであります。而して其管理の方法としては現金は郵便貯金に預ける。或は國庫債券を購入することが最も安全の策と考へます。前にも申し上げました通り基本財産の収入が最も役に立つといふ場合は非常な場合に役に立つのである。さういふ非常の場合に於て役に立たせる爲めには最も安全な場所に預けて置くことが必要であるからであります。併ながら總て現金は郵便貯金若しくは國庫債券にして置くかといへば總てやる必要もなからうと思ふ、或は其中で山林を購入し田畑を購入し若しくは場合によつては其地方の金融を助けるといふことも亦一法かと思ひますが、さういふ場合には余程よく返済の出来るといふ保證のある場合でなければ地方の融通はなるべく見合せた方がよからうかと思ひます。この經常の費用を支辨するための基本財産の外に臨時費を支辨するための基本財産を造るといふは現在地方學事通則に於きまして、臨時費の方は基本財産と言はずして積立金といふ名で出来て居るのであります。それでそれは積立金と申してもよい、日本の學校の建物は皆木造であります。故に或る年限即ち二十年若しくは三十年経ては必で改築の時期が来る譯であります。然るに現今に於きまして此用意をして居る所は甚少ないので、一朝校舍を改築しやうといふ時には非常

に租税を賦課するか若くは租税の賦課位では到底出来ない爲めに借入金をするようになるのであります。それが抑も町村の財政を紊亂させる本でありますから、平生に於て必ず二三十年後には要るといふものに對しては少しく考へある一個人でもやることであるから公共團體たる町村に於ては必ずやつて置かなければならぬことと考へます。

これは少し傍道に外れるやうであります。が所によると火災の多い所がある。校舎が火災に罹つて非常にも人民も困弊すれば教育にも妨害を與へるといふことが、随分ある場合がありますからかういふ土地に於きましては、火災保険を附けて置く必要があらうと思ふ。私の考へでは實は小學校の校舎の改築、或は火災若くは風災、水災といふやうな難の時の用意のために一つの法を設けてつゞき小學校々含相互保険といふやうなものを設けて置いたならば余程有効と思ふのでありますが、現にまだ其運びに至らず、考究中であるのは實際火災がこれまでどれ程あつたかといふ調へがナカ／＼むづかしいので其有つた當時のことを今日から調べるのではどれ程の損害であつたかといふやうなことも甚だ不明であるから保険率を定める基礎が立たぬ所から實行はむづかしい譯になつて居りますが、これは各府縣毎におやりになつても相當の利益あることと思ひますから序でに其事を申上げて置きます。

臨時費を支辨する方の基本財産に就きましては現金も無論宜しい、併ながら殖林といふやうなこと

が最もよからうと思ひます。木は平生切つて使ふことは出来ない、厭でも應でも其儘にして置くさうすればそれが五十年位経ては材になる、其時に學校を新築することになるので木さへ植へて置けば自然に改築が出来る都合になりますし其間には草柴を蒔るとか、抜切をするやうなことがあつて、これは修繕費等に宛てることが出来場合によつては經常費を支辨することが出来ますから、植林を以て臨時費支辨の財源とすることがよからうと思ふのであります。私は此基本財産を造る爲めには少し理想かも知れぬけれどもかういふことが最もよからうと考へて居るのであります。前に申上げた通り現在基本財産は七百萬圓除である。さうして從來の増加歩合を見ると毎年二十七萬圓許りである、斯の如き状況ではいけませんから、人民各個に互に蓄發させてやつて貰ひたいと思ふが、今假りに小學校の兒童一人に就て年々一圓づゝ父兄が基本財産として學校へ寄附することになりますれば、兒童の數は五百萬人でありますから一年に五百萬圓の金は直ぐ出来るのであります。一圓は多過ぎるから五十銭にしたらよからう現に京都府加佐郡高野小學校では五十銭づゝ、積んで居ります。さう致すと五百萬圓の半額二百五十萬圓宛年々出来る。かういふことであります。而かも其五十銭の金は一年にこそ五十銭であります。これを月でいへば四銭餘目にすれば一厘餘に過ぎないのであります。如何なる貧民と雖もこの位の務めは出来やう。而し我らは敢て貧民に對して求める必要はない又求めざるを快しとして

居るから納め得るものに就てやりまして平均に於きましては五十錢位は積むことが出来やうかと思ひます。一體日本人は非常なことがあるとナカ／＼奮發して舉國一致といふやうな心を以て如何なる國難に遭遇するも義勇公に奉ずるの精神を發揮致すのでありますが此教育のことは國の發達の根本でありますから平時に於て舉國一致の精神を充分に發揮して基本財産造成に努めて貰いたいと思ふのであります。それは一に諸君の指導獎勵の宜しきを得ると否にかゝると信じて居る。それでありまして或は初めから五十錢といふことがむづかしければ廿五錢でもよいから一つ方法を講じて蓄積に努められんことを希望します。そこで今各地でどういふ方法によつて基本財産を積み立て、居るかに就てお話をすることは此基本財産造成に關するお話を結ぶ上に於て必要であり又諸君の御參考になると思ひますからこれより其造成の方法に就て少しくお話をしやうと思ひます。

唯今私は現金を積むといふお話を致しましたが土地の状況によりましては日々僅かな金を積むと致しても尙ほ現金を有つて居らぬといふやうなものもありましてむづかしいこともありますし、又木を植へるに致しても松の木が適する所もあり、杉の木が適する所もあり檜の適する所もあり或は寒い方に行けば落葉松が良いとか榎松が良いとか、又熱い所に行けばそれに適した木もある。又地味によつては柑橘、或は林檎が良いとか或は桑を植へて養蠶をやるとか或は蜂を飼つて蜜を取るとか種々難

多のやり方があらうと思ひますがチヨットこれは諸方に大分行はれて居るやうでありますからそれをお話致しますと第一には毎年其地方の産物の品評會を開くのであります。さうして其審査が済んだ後にそれを賣却して其金を學校基本財産として寄附する、これは餘程諸方に行はれて居るやうであります。が、産業發達の上から申しましても又基本財産造成の上から言ひましても至極行はれ易いしかも一舉兩得の方法と考へて居ります。其次きには冠婚葬祭等に要する費用を節減して寄附をして居るのであります。近頃都といはず田舎といはず、どうも兎角奢侈の風に流れて來てこれは戊申詔書の下るやうな事になつた譯で、我々臣民たるものは常に節儉の徳を努めねばならぬ。其精神から申しましても婚禮に要する費用とか子供の祝に要する費用であるとか、或は葬式に使ふ費用の如きを節約して寄附するといふことは誠に然るべきことと思ふのであります。殊に葬式などは死者に對する禮法といふ方からいへば、費用を節するなどと云ふことは甚だ忍びんでありませうが自ら人には分度があるから分度相應のことをやればよいのが、近頃は分度不相應のことをやるものがあります。然るに生命保險といふことが段々行はれて居るから親が死ぬ保險金か下がる、さうすると棚から牡丹餅でも落ちたやうに考へて、今まで引續つて葬式をやらうと思つたのがかういふ拾ふたやうな金が這入る以上は盛大にやるがよい、親類もさういへば近所のものもさういふといふやうな譯で大に立派にやる。其結果保險

金では足らずして借金をする。後では夜逃げをしたといふ話も聴いて居ります。それらは甚しき例でありますがこれは私が實見したことであります。マアチツヨト人情そんなものであらうと思ひますから、分度を越へないやうにして節約を加へて幾分なりとも寄附をする事は至極よからうと思ふのであります。モウ一つ手近の例を申し上げますが、これも私の知つて居る話であります。御承知の通り田舎へ參りますと、町村の人民といふものは隣保團結といふことが今以てナカ／＼厚いのであります。それでありますから屋根を葺くにも近所のものが来て助ける、普請をするにもさうである。葬式をするには無論である。此風習はナカ／＼良い風習である人口が尙ほ稠密でない時代に於きましては此方法による外仕方なからう。人を雇はうと思つても雇ふことが出来ない、勢力を寄附して貰ふことか余程よかつた。然るに近時段々部落などの人口も殖へて来て居るに矢張り此風習を守りて居る。私の知つて居る例を申し上げますと、或る所で死者があつた、ところが其例によつて其部落のものが皆葬式にやつて来た。今日此人口は從來に比すれば或は二三倍、モット殖へて居るかも知れぬが、矢張り舊來の如く皆集まつて来る。女房といはず亭主といはず、皆集まつて来る。さういふ風に喪家へ集めて來るのであります。葬式にさう手は澤山要らぬが、尙舊慣を墨守して居るさうして来てどういふことをするかといふと働く者もあるか大部分は遊んで居る。さうして飲食をする大人が来て居るから子供も来て食

ふそれで葬式を出す家では葬式を一遍する毎に大變食ひ倒されてしまふ。それが爲めに非常に借財を造つて困難をするといふ向きもありました。かういふ習慣は世と共に多少變更を加へて行かなければならぬ。然るにナカ／＼習慣を改良することはむづかしいのであります。戊申詔書御下賜の今日又或は基本財産を造成するとかいふことをやるを時期として、かういふ風に葬式をやつたらよからう、さうすればこれだけの費用が節約されるといふて一方では夫れを引締められるやうになり他方では喪家を斯の如き苦痛から救ふことが出来るやうになりはせぬかと思ふのであります。又家を新築し若くは倉庫を建て或は分家をするとか子供を生むとかいふ場合、祝する時には先づ初穂を神様へ上げるやうに寄附することになつて居る所がある、それから土地を有つて居れば其土地より収入は無論の話、又人民が有つて居る土地からして米が上る麥が上るといふやうな時期に其幾分を學校に寄附する、或は大根を寄附する所もあり或は豆を寄附する所もあります。それから桐の木を村落の各戸に配りまして子女が學校へ這入りますとそこへ町村役場或は學校から桐の苗木を渡してやる、其苗木を養つて子供が學校を卒業する時分若くは夫れ以上の年月が経つた所で切りて其金を寄附する。さうして幾分は又其人にやるといふことをやつて居る所もありますが、これなどもナカ／＼面白い法と思ひます。桐は御承知の如く奇麗な木であるし屋敷などに植へるに適當して居る。又發育が非常に早い、さ

うして價も高いそれでこれを植付けた所では夫れ程手數もかゝらず、自然々々に其木は大きくなる譯で、貯金して金を寄附するのと恰も同一である。併し桐の木を植るに就きまして、若し轉住するものがある時又土地を所有して居らぬものゝ爲めには夫れを植ゑる代りに幾分の金を納めさせるやうなことをやつて居る所もある。これは桐の木に限りませぬ。氣候の關係によつては棕櫚を植付けるもよからうと思ふ。あれは御承知の通り年々歳々皮を剥けばそれが相當の金になるのであります。而かも桐の木より手がかからぬ唯た植へて置けば自然に大きくなるものであります。何んでも總てのことをやらせるなるべく面倒がかからぬやうに知らず／＼にやらせる工夫をするは余程よい事でありまして、所によつてはかういふことをやるもよいと思ふ。これをやつて居るものも大分あります。栃木縣にも奈良縣にも島根縣にもあります。又他にもあらうと思ひます。又渡し場の純益金を積立て、行く渡し場の益金は村民が若し學校にでも寄附せしめは分けてしまふものと思ひますが、かういふ物はそこを通行する人が拂つた金であるから、さういふものを寄附することも苦痛を感ずることなくして蓄積し得る方法と思ひます。それから兒童に學校基本財産のために一錢貯金をさせて居る所もあります。毎月一錢づゝ預けさせる基金はどうするかといふと兒童は御承知の通り毎日五厘なり一錢なり親から間食の費用を貰ふ或は其他のことに使ふために貰ふ。それを節約して寄附する、それでありませう。

から兒童は平日に於きましても總ての物を大事に使ふといふ良習慣が付きました。それも毎月一錢であるから金額も僅かであつて行はれ易い方法と考へます。それから先程チヨツト申上げたやうに茶を植ゑたり、桑を植ゑたり或は蜂を飼つたり又近頃は御承知の通り學校園といふものが大分出来ましたが此學校園で出来た花卉の類を兒童に賣らして基本財産にして居る所もある、それは福井縣でやつて居ります。都會地に於きましては花などは随分高いのでありますから學校で上手にやつて不用な分を賣れば随分これも面白いことと思ひます。それから茶の出来る所で茶を植ゑて置けば茶に關する知識を養成する。又養蠶地方に於きまして桑を植ゑれば桑に關する知識を得せしめ又養蠶をすれば養蠶に關する知識を得る。蜂も亦然り又或る地方では柑橘をやつて居るが、柑橘の如きも知識を與へて單り學校基本財産にするのみならず。前にも申上げた通り兒童をして將來農業に對して趣味を有たせることも出来れば又學校よりして農業改良の助けをなすことも出来ると考へる。それから不淨物は賣拂つたら總て基金に入れる。其他寄附金があつたら何んでも構はず、縣から交付されたものでも國庫から貰つた金でも總て基本金に入れる、其他紙屑不用物品を賣拂つた金を入れる所もあります。それから學校に農場を造つて其農場に共同耕作をして其收益を寄附させる所もある。これなどは兒童の農業に關する經濟思想を養成する上に於て尠からぬ益のあることと思ひます。又かういふ所もあります。米の取

れる時分に生徒をして落穂を拾はせる、段々收穫してしまつて落穂が随分ある。従來は御爺さん御婆さんの小使錢になつたといふことでありますが、近時は落穂も減つて居るとは申しますが、これを拾ふ。或は學校から種子を生徒に與へて大根なら大根を蒔かせて夫れで兒童に作り上げたもの、中二本なり三本なり寄附させることをやつて居る。又牛馬等を飼つて居るものに對して金を納めさせる。又講を起して其利益を寄附させるやうなことをやつて居る所も大分ありますが、これは割合に多額の金を蓄積出来るやうであります。或は寄留者に其町村へ初て來た時に金を幾分か出させる或は新造船の船卸しに際して一定の金を出さす又千葉縣では御承知の如く貝類を非常に養成する所でありましたが、貝を養殖して其收益を學校に寄附する所があります。これらも貝を養殖する所養魚をする所では取つて以て飽とするに足ると思ひます。それから木の方で申しますとイロ／＼ありますが木を植へるに就ては土地が要る。其土地は自分で有つて居ればよし、有つて居らぬ場合には例の部分木に關する規則によつて農商務省に出願して或は部分木にする、或は民有地を借りて部分木をやることにすればよからう。殊に國有林野整理法といふものが出來まして國有林野の拂下げは餘程簡易になつたのであります。さうして學校基本財産等の爲めには充分便利を與へる事になつて居りまして文部省に於きましては屢々府縣知事の手を経て町村に拂下げのことを勧誘したのであります。然るに其成績を見るに未だ以て充分

なることに行きませぬから此點に就ても諸君は不明の所がありますれば文部省は其林野整理委員會にも籍を有つて居り又文部大臣より農商務大臣に相談をしてもよいからなるべく便宜を與へるやうにしますから拂下の公告などがありましたならば此機を外さず拂下を受けて基金に充てるやうな方法にしたならば非常によからうと思ふのであります。此植林に於て今一つお話して置きたいのは、苗木はどうするかといふ問題でありますが苗木は購入してやつて植ゑさせる所もあり又自ら植ゑて居る所もあります。非常に澤山植ゑる所に於ては購入するのは無論止を得ぬ事ではありますが、山林思想を養成し愛林の心を養成するためには學校の内若くは相當近所の土地を借りてもよいが、苗床を拵へて生徒をして苗より山に植ゑる所までさせるやうな方法を取られることは甚だよからうと思ふのであります。

これも私が或る縣に居つた時のことでありますが、或學校におきましては山林に關する役所に願出でて日曜とか土曜とかに山に這入りましてイロ／＼の木の種子を拾ふ。第一種子を拾ふ時にこれは何んであるといふことを兒童に注意する。随つて種子に關する知識をそこで養成される教場で實物をチョット見せるよりも大變利益がある。扱てそれを拾つて來て仕分けをして蒔く、さうして段々芽が出る其芽の發生する状況から發育の状況を段々教員が教へてやることになりましたからそれが出來上つた時分に山に植ゑに行くといふのであります。これは甚だ面白いやり方と思ふ。又所によつては其兒童

の培へたのを更に人民に預けて人民の畑で充分作らせる。それから一二年経つた所で山に植ゑるやり方をして居る所もあります。これは土地々々の風でありまして水を充分に成長させる上に於ては此方法も相當の方法かと考へて居ります。

以上が各地に於ける基本財産造成の方法ですが、どうぞ諸君に於かれては尚ほより多くの智慧を搾られてより多くの効果を収める方法を講じて置くはなるべく早く基本財産が出来て自然に町村の負擔が軽くなり教育が益々完全に行くやうに御盡力あらんことを希望して止まざる次第であります。

實業教育

文部省實業學務局長 眞野 文 二君講演

私は實業教育といふことに付て御話するやうにといふ豫ての御話がございました、實業教育と申しましても随分漠とした問題でありまして、如何やうなることを御話して宜しいかと實は御依頼を受けました當時より心配を致して居つた様な次第であります、併し今日となりましたも格別纏つた考もございませぬが、御依頼の御趣旨に應じまして實業教育といふ一般の事に付て大體を申し上げるので、此間開會の時に内務大臣閣下から御話がありまして成るべく應用のあることを御話する様にと伺いましたから、諸君が應用し得る所の事柄を成べく擇んで數點御話をするといふ考でございます、それ故大體を通して或は纏つて居るまいと思ひますけれども、其邊は御用捨を願ひたい。

先づ實業教育と申すことに付きまして、解釋を狭く取ります人と、廣く取ります人と思ひます、例へば先年實業學校長會議がございました時分に澁澤男爵が演説されまして、爰は實業學校長の會議であるからして、此所で實業といふ定義を諸君に求めるのは決して無用の論でないと思ふ、實業といふ言葉は成程無形の文字で、例へば法律とか、政治とか、文學とかいふものに對して作つたと云

育に對して大體の點を數點擇んで御話したやうなことであります、少しにても諸君を益することが出来ましたならば幸であります。(終)

特殊教育

高等師範學校教授 乙竹岩造君講演

私は只今御紹介になりました乙竹岩造でございます、今日は特殊教育のことに付て御話を申上げようにとのことでございます、即ち茲に罷り出た次第であります、御承知の通り近來教育の施設並に内容共に着々と進歩を見るに至りまして、殊に國家全體と致しまして、又一地方と致しまして、乃至は一自治團體と致しまして、總じて其實力を充實せしむる所以の途は一に教育の刷新に在りといふ點に着眼せらるゝことに成り、其結果教育上色々と改善を加へらるゝに至りましたことは寔に適當なことと存じます、殊に斯様に進歩いたして參りました結果、教育の各方面即ち普通教育、實業教育、進んでは又特殊教育の方面に至りますまで段々と種々の施設を加へられ、又之が實質の改善も着々と進めらるゝに至つたことは洵に喜ぶべきことと申さんければなりません。此中所謂特殊教育の方面に付きまして極く大體をかい摘んで御話を致さうと存じます。併ながら何分僅の時間に其全般に涉りまして御話を申上げるのでございますから、詳細に入りますことは固より不可能であります、唯だ主なる方面に就て極く大體だけを申述べるに止めます。

矯風獎善の事業

内務書記官 中川 望君講演

一 矯風獎善上の三大力

矯風獎善の事業も、矢張地方改良事業の中では餘程重要な地位を占めて居るものと申して宜しからうと思ふのであります。先づ矯風といふ事に就て、御話いたします。

社會の弊
害を矯正
すべき正
大の力

矯風事業と申すのは、犯罪として國が法律の力で取締つて居る以外の事を、團體又は個人が、共同の力で矯正して往かうといふことであります。凡そ社會の弊害を矯正して行くといふことに就きましても、茲に三つの大なる力があります。それは申すまでもなく法律と宗教と道德との三つであります。法律の方は、社會の弊害や或は罪惡の中で、最も重大なるものを取締つて行く。國家が權力を以て矯正して、法律でそれを抑へて往くのです。けれども宗教の方では、人の務として、或は未來の制裁を教へ、又は冥福を説いて惡い行のなからしむるやうに教誡して行くのであります。それから道德の方は、一般の人が各々相勉めて、自分で守つて、惡い事のないやうに維持して往くといふことです。此

の法律、宗教、道德といふ三者の關係は、研究すれば勿論面白い問題でもあり、又重大な問題であります。爰ではさう深く研究する必要が無からうと思ひます。唯法律といふものは、國家の權力を以て、社會の罪惡を矯正するものであるからして、其範圍がどうしても狭いのです。道德といふ大きな圓の中には、法律といふ小さな圓が這入つて居るのであります。それでありますから法律で禁じない所を、どうしても外の力で矯正して往かなければならぬといふ必要があるといふことは、争はれぬ事と存じます。

併し此法律といふものは、申すまでもなく立て方に依つては、煙風の上にも非常な効力のあるものであります。近い例で申しますと、新刑法の實施であります。此新刑法の實施せられてから、日がまだ浅いのでありますけれども、既に著しい効能が現はれて居るのであります。それが爲めに犯罪が著しく少くなつたことは、事實であります。一つの例として申しますと、賭博であります。新刑法の實施と同時に、賭博がどれだけ減つたか。或縣の例を取つて見ますと、三重縣などでは、賭博の常習あるものゝ名前で、警察の名簿に登録せられて居る者が、新刑法實施の當時に、千八百五十三名もあつたのであります。所が、實施に先んじまして、縣の當局者が、是等の者に向つて、懇々と新刑法の主義や、精神などを諭して、賭博を止めるやうに説諭したのであります。其訓示をした結果、昨年の末

法律と煙風の減少

新刑法實施と賭博の減少

に此種類の視察人員が、千五百七十一人もあつたのであります。が、其中で全く改悔して正業に就いたと認め得べき者が四百七十四人、稍々改心したと認むべき者が九百四十三人、改悔したといふ實の無かつた者が百五十四人であつたといふことになつて居ります。即ち三分の一強、約四分の一が全く改心して仕舞つた。それから稍々改心したが、まだ少し注意を怠ることが出来ぬといふ者が九百四十三名、どうしてもいかぬ者が百五十四名であります。其のどうしていかぬといふ者に對しては、舊との者に較べたならば、新刑法が一步を進めて居るのであります。即ち現行犯でなくとも、それを罰するといふことで、餘程威嚇したのであります。かうなると法律の命する所で、力が餘程強いのでありますから、効果が勿論著しいのであります。此東京市内でも、下谷の警察署を私が調べたこともありますが、あの邊に萬年町などいふ所もありまして、東京でも貧民窟の一つであります。其邊は拘賊或は小泥坊の巢窟でありまして、警察の方でも大抵ちやんと名簿に載せてあつて、何れも分つて居ります。が、人を廻して聞いて見ると、『今度の新刑法にはたまらぬ、ちよつとしたことでも長い間牢に入れられる、殊に我々のやうな眼を附けられて居る者が捕まらうものなら大變だ』といふことで、ひどく警戒をして居る。新刑法實施といふ事を聞いてから、彼等の方は素人よりも餘程研究して居るさうであります。さういふ次第でありますから、下谷署長の話でありましたが、『犯罪は少くなつたがこつちが

餘程用心して往かなければならぬ。之れといふのは、彼等が如何にすれば、今度は發見せられずして、犯罪行為を行ひ得るかといふことを、非常に研究して居る。今犯罪の擧つて來ぬのは、新刑法實施の効果ではあるけれども、それは彼等の研究時代で、まだ實行時代に入らぬのである」といふことでありました。斯ういふ話でありましたが、如何にも尤もらしい話であつて、警察の方でも餘程用心をして居るといふことでありますが、併ながら新刑法には、効果が十分あつたのであります。愛知縣では警察部長、それから事務官が、新刑法の結果を調べたのであります。其話を聞きましたが、愛知縣では田舎の方の賭博が、非常に減つたといふ事でありました。それは統計を見ると、立派に分かる。さうして一方に面白いのは、近頃田舎で生花が非常に流行る。それから恭將葉が非常に流行つて來た。是が餘程面白い現象である。一方に賭博犯が少くなつたのであるが、片一方を見ると今まで餘り流行しなかつた生花など、いふものが行はれて來たし、それから恭や將葉といふやうなものが、非常に盛になつて來た。此現象が餘程面白い現象であらうと思ふのであります。詰り是は矯風上にも、餘程關係のありますことで、一方に賭博を罷めた代りに、一方に新なる娛樂が加はつて來たといふのであります。社會の犯罪、或は犯罪とならざるまでも、總ての惡風が、法律の力に依つても、相應に抑へることの出来るものであるといふことが、是で分ります。併ながら此法律といふものは、法律を行ふ人の

賭博と
餘程の
減少と
流行

宗教と
餘程の
維持と
勢力

道徳と
餘程の
進歩と
風俗

如何に依つて、大變結果を異にするものでありますから、唯是のみに依ると云ふ譯には往かぬのであります。警察の方は、外部から抑へて往くものである。それを又内部から改むるものがなければならぬ、それが即ち宗教である。宗教が社會の風教を維持することに、大なる効力のあるといふことは、是は論するまでもない事と存じます。それから道徳の方面では、社會の制裁と申すものがあつて之を維持することにはなつて居りますが、尙進んで其標準を高め、社會の習俗をして醇厚且つ高尚ならしめて往かなければならぬ。是れは主として各個人の心懸一つに由るものであります。隨て教育の力に俟たねばならぬ事が多いのであります。尙其上に寛慈相識と申す如く、各人が互に相識の互に道義の實踐に努めて往くといふことが必要であります。さうして法律、宗教、道徳といふ三者の關係から申しますれば、道徳の進むことが最も望ましき事でありました。道徳の維持作興を計るに就いての民間の施設などにも、色々なものがあります。是には全國を通じてのものと、それから地方自治體の中で、共同してやつておるものとの二通りあるやうであります。前の西郷元帥や、板垣伯などの唱へられた社會改良會と申すやうなものは、日本全國を通じての矯風會であつたのであります。それから西村茂樹翁の唱へられた日本弘道會なども、同様に全國を通じての事業であります。唯今は徳川達孝伯なども、餘程熱心に盡力して居られるやうであります。餘程地方に感化を興へて居ります。隨分其御

道徳に
矯る民
事同業
の風

際で以て、地方が良くなつて居るといふやうな實例もあるのであります。近くは又高崎正風男が首唱せられた一徳會の如きも、教育勸語に依つて相勵まし、さうして國民道徳を守つて行くといふ主意の會であります。それから皆さんも御承知の通り、私共も關係して居り、諸君の中にも多數會員となつて居らるゝ報徳會の如きものも、是れ亦全國を通じてのものでありまして、積極の意味から申すと、矯風の事のみならず、それから尙ほ進んで地方改良等の事をも、御互に研究もし、實行もして居るといふ會であります。或は又禁酒會なども、先年から出來て居りますし、動物虐待防止會の如きものもあります。それから學理的に研究をして參りつて、それを實際に行ふといふ花柳病豫防會の如きものもあります。其他佛教に屬したり、或は神道各派に屬するもので、此種の會が澤山あるのであります。教育の方面から申ししましても、教育會の如きものも、矢張りかういふやうな一つの任務を爲すものと思ひます。此等の種類に屬すべきもので、自治團體の中に設けられて居る會合のあることは、固より申すまでもないのであります。

三 獎善事業

此の如く種々の方面から、社會の風教を維持するの手段が盡されてあります。けれども目下の所、

三大矯風
事業たる
酒と賭博
と淫行

矯風問題の主なる事項になつて居りますのは、殊に外國あたりで最も喧ましい問題になつて居りますのは、酒と賭博と、それから淫行とであります。是れは我邦でも同じ事であります。三大矯風とも申しませうか、外國などで都市改良の問題と申しますならば、此三大矯風の改良といふ事が、先づ重大な問題になつて居るのであります。日本でも都市と農村とを問はず、是れは總てを通じての問題にしても宜からうと思ふのであります。殊に賭博の如きは、必ずしも都會のみに限らぬ。田舎などは娛樂機關が少いといふ事からして、従來は賭博が唯一の娛樂になつて居つたといふ風でありますから此賭博の如きものも、矢張り都市、農村に亘つての問題だらうと思ふのであります。

(第一)
節酒事業

〔第一〕に節酒事業に就て申述べます。此節酒制度に就きましては、既に外國では、國又は地方團體の問題として、法律で以て或制度を立て、居るのが多いのであります。日本ではまだそれほどには参りませぬ。未成年者禁酒法の如きも屢々議會に出て居るが、まだ行はれぬのであります。此節酒制度に就きましては、内務省で作りました『田園都市』等の書物にも十分書いてありますから、あれを御覽下されば、餘程御參考にならうと思ひます。それから井上さんの『救濟事業要義』それから『歐西自治の大觀』等にも、此節酒制度に就て、詳しく論じて居られますから、それを御覽下されば、餘程御分りにならうと思ひます。茲では唯それ等の書物に載つて居らぬやうな事を、ちよつと御話した

テグテの臨
ム、ン「典
」シブゴ諸
スルツ威

戦争疫病
より恐怖
るべき酒
の害毒

例をちよつと申述べます。是は千九百一年から同五年までの統計ですが、即ち一人で何程飲むかといふ分量を示したのであります。

	佛	伊	獨	奧	匈	伯	米	英
葡萄酒	三〇、八	二五、一	一、四五	一、三〇	一、〇二	〇、四三	〇、三三	
麥酒	七、五	〇	二六、三	一一、三	四八、八	一六、八	二七、七	
酒精	一、三七	〇、二九	一、四一	〇、九六	一、一〇	一、二六	〇、九一	

此表に示してある通りに、酒精といふ中には、純粹の『アルコール』をも含んで居るのであります。それから葡萄酒、麥酒を除いた強い酒も、皆之に含んで居ります。之を概括して見ると、麥酒と葡萄酒と、さうして酒精の三つであります。今まで年々に量を増して居るのは、一番が白耳義であります。次が佛蘭西、次が獨逸であります。それから減じて來て居るのが、加奈太と伊太利とであります。もう一つ千八百八十五年から千九百年までの統計がありますけれども、是は細かいものでありますから大略にしまして、其統計の結果だけを御話させよう。それに據ると、商工業に於て最も成功して居る國と、此酒の量との關係を見ることが出來ます。最も少いのが米國である。英吉利、獨逸の如きは、米國の二倍になつて居る。佛蘭西は米國の三倍になつて居る。此酒の量が、商工業の發展といふ

事に就て何等の關係の無いものであるといふ斷定も出來ぬであらうといふことを、ストロングといふ人が論じて居ります。英吉利だけでも、千九百六年に酒の爲めに費した金が、一億六千六百萬磅であります。之を一人宛にして見ると、三磅十六志三片（我邦の三十八圓ばかり）であります。千九百五年にはそれが三磅十五志十一になつて居ります。英吉利の中でも、イングランド、アンド、ウェールズの方が高くて、スコットランドとアイルランドとを較べて見ると、孰れも三磅位であります。即ちイングランドの方が一番上になつて居ります。英吉利でも、勿論酒屋の制限をして居ります。向ふの酒屋では自分の店だけに用ふるものと、外に賣出すものとがありますが、千九百六年に酒屋の許された数が、内でやる方は九萬八千八百九十四、それから外に賣出す方は二萬五千二百八十一であります。是が人口一萬に就て三十五、九五になつて居ります。此酒舖の数を制限するに就ては、各地方で種々の條件を附するのでありますが、千九百六年に許した場所の中で、七個所だけは、日曜日に開店することを禁じたのであります。それから二個所では、日曜日に開いても宜しいが、二時間だけに限る。それから一個所は、日曜日に開店して宜しいが、酒店に女を使ふことが出來ぬ。さうして其店は料理屋の目的外に用ゐてはならぬといふ事であります。千九百七年に英吉利の労働黨が總會を開きました、其席上では斯ういふ決議をしたのであります。『地方團體で酒店を制限することになつて居るが、

労働者
の健康
と飲酒
の制限

一層進んで全く絶対に禁酒の出来るやうにしたら宜からう、それから若し許すにしても、数を制限して仕舞ふ。或一定の数の外は、許すことが出来ぬことにして仕舞ふ。其上に十分やかましい條件を附けて、相當の地方の團體や又は私の團體などの監督の下に置くやうにしたら宜からう」といふ決議をしたのであります。それから英吉利では、料理屋の制裁があります。酒を客に奨めることは宜しいが、酔はしてはいかぬし、それから泥酔者に酒を賣つてはいかぬといふ制裁がある。それをやるといふと、料理屋が直ぐに罰則を喰ふのであります。其件数が、千九百三年には千二百件、千九百四年には千五百五十三件、千九百五年には九百三十五件、千九百六年には七百五十六件といふことになつては居りますが、其減つて居るのが男に多いのであるといふ事でありませう。男女を別けて見ると。千九百五年に男が十六萬四千人、千九百六年には十五萬八千人といふのであるから、大分減つて居る。其減り方は四萬二千人あつたのに對して、翌年が四萬一千人になつて居ります。此減り方の割合が女の方に少いのであります。女の中にも是ほど泥酔の爲めに檢査されるものがあるなどは、驚くに堪へ

婦人の
飲酒

たるものであります。

飲酒と貧
困の原因

酒の害に就きましては、先刻來も申した通り『田園都市』等の書物にも載せてありますが、酒を飲んだ人の間に出来た子供は、酒を飲まぬ人の間に出来た子供より天死をするのであります。それから徴兵検査の際に於ける合格者の統計等もあります。それを見ると酒を飲んだ人は、不合格になるといふことの分かるやうな統計も出て居りますから、それ等の事をも參照して戴きたい。それから貧乏と酒飲といふ事に就てちよつと申して置きますが、貧窮になる原因に就ては、學者も色々其原因を研究しまして、統計を取つたものもあります。ツルナーといふ教授が取つて居られる統計の中には、色々と貧乏になる原因を掲げてあります。其中に英吉利と米國と獨逸との都市に就て、貧乏人になつた原因を調べたものを、統計に取つたものがあります。米國では紐育始め五つの都市、英吉利では倫敦獨逸の方は七十六の都市に就て、貧乏になる原因を調査したのであります。其中で平均を取つて見ると、酒を飲んだ爲めに貧乏になつたといふ原因が、百分の十一といふことになつて居ります。各國で見ると一番少いのが獨逸で、一、三多いのが倫敦の二、九といふことになつて居ります。併しツルナーも言つて居ります。是は單に直接の原因としての酒といふものを見たのであるが、其他貧乏になるとか、或は病氣になるとかいふやうな、間接の原因としての酒を研究して見たならば、少くとも酒

貧困及疾病に於ける酒の原酒

を飲むといふことで貧乏になるといふプロセントは二十八、一位になるだらうといふことを言つて居ります。倫敦の救済事業に就て最も深く研究をしたチャーレス、ブリスといふ大家があります。此人の著述は有名なものでありますが、最も廣く貧民窟の状態を學問的に研究したものであります。此人の説でも矢張り酒を嗜むといふことが、家庭を害するものであり、又小さな子供が夭死するの原因となるものであるといつて居ります。それは貧乏になる原因の統計上、疾病或は老衰といふ如きものが、大分高い比例を示して居るけれども、併ながら酒を飲むといふ弊が無かつたならば、此等の疾病でも或は老衰でも、其比例が餘程減つて來るだらうといふことも言つて居るのであります。此酒といふものは、救済問題にも非常に關係しまするし、健康上或は風紀上から申しまして、餘程重大な問題であります。地方に於ても農村の改良上等に就きまして、此酒といふことも餘程考へなければならぬと思ふのであります。幸に近年の趨勢を見るのに、酒を飲むといふことが、餘程減つて參つたやうであります。東京あたりの様子を聞いて見ましても、舊と宴會を開くには、一人前に就て饒子二本、即ち軍人あたりにはどうしても平均二本の割にせぬと、足らないといふのであつたが、唯今では一本でも澤山といふことになつた。それよりも却て『サイダー』やなんかを飲むものゝ方が多くなつたといふことであります。一方では酒の直段が高くなつたのと、一方には酒が甚だ危険なものであるといふことになつ

飲酒過剰の趨勢

静岡縣の酒類消費の趨勢

て居りますので、其方から言つても、酒を飲む習慣が減つて來るのは、結構な事でありまして。犯罪等の原因を調べて見ると、酒に基づくものが餘程多數であります。酒を飲んで元氣を附けて、さうして犯罪をするといふやうなことが多いのであります。此酒の事に就きましては、『地方資料』等の冊子にも載せてありますから、皆さんも既に御覽になつたであらうが、静岡縣濱名郡の村櫛村では、酒の専賣といふ事を、村の人がやつて居るのであります。それは以前濱名郡に海嘯のあつた際に、此村櫛村といふ所が一度亡村にならむとした。其際勤勉して村を恢復するが爲めに、一切禁酒をしやうといふことを村の者が約束したのであります。けれどもそれがなか／＼行はれぬといふので、今度は節酒といふことにしまして、村に一軒の酒屋を極めた。さうして買ふにも一升以上は買へぬといふことにし、又夜の六時以後にも、買へぬといふことにして、やかましい規則を設けたのであります。唯今でもそれが村櫛村の消防組がやつておる事業になつて居ります。それであるから其村に限つては、酒などの行商も遁入つて來ないといふことになつて居る。さうして其酒から得た純益を何に向けて居るかといふのに、それを町村の教育費へ寄附して居るのであります。是は先刻も申しました『ゴットン、ブルック、システム』の諸形式と、殆ど同じものと申して宜いのであります。其他地方で酒を節するといふことに就ては、大分規約等を設けて、實行して居る所があります。其他にも酒を全く飲まぬとい

矯風規
矩
村
止
の
規
矩

出
征
軍
人
の
家
族
に
於
て
禁
酒
の
趣
意
を
行
ふ

明日より
禁酒す
といふ
常世語

賭博の
趣意

矯風獎善の事業
ふやうな所もある筈であります。埼玉縣児玉郡の秋平村といふ所では、是も矯風規約を結んで居つて
其中に杯の返酬を禁ずるといふことにして居ります。是は日露戦争前から、既に其規約を結んで居る
のでありますが、田中といふ老村長が居りまして、萬端世話を焼いて居ります。五人組制度をも昔の
通りに維持しまして、なか／＼能く治つて居る所であります。此人が言ふて居りましたが、杯の返酬
を廢するといふことを、多年勵行した結果、今では大分行はれて來たといふことです。併し一番困つ
たのは、日露戦争の時であつたさうです。戦争に就て村から出征軍人が出る。今は國家非常の際で、
身體を捨て、皆んなが戦さに出る。一旦出れば歸るといふことは期せぬのである。此別盃だけは、返
酬を許して貰ひたいといふ請求が、各種の方面から申込まれて、田中村長もそれには一番困つたさう
であります。けれども田中村長はどうしても聴かぬ。今は國家非常の場合であらして、我々の子
弟も命懸けで戦争に出るではないか。こんな場合であるから、今まで村で守つて來た返酬の禁制位を
守れないことはあるまい。今こゝでそれを破るといふことは、甚だ相濟まぬことと思ふ。斯ういふ時
こそ大事な時であると言つて、とう／＼聴かなかつた。それが爲めに其際でも返酬廢止の規約が破れ
なかつたといふことです。所が今度又困つたのは、凱旋の時であつて、『村長さん此前あなたはア、や
つて頑張つたが、あの時と今は違ふぢやないか。今度は凱旋の祝だから、宜いでせう』と言ふ『イヤ

それがいかぬ、さういふ事で破つてはならぬ。何も返酬をしなくても宜いではないか。返酬したから
更に目出度なるといふ譯もあるまい。戦争中守られたものが、今守られぬといふことはない』と云つ
て、又々押し通はして、とう／＼今までも守つて居るのであります。一體矯風事業などに就きまし
て、矢張り誰か斯ういふ人が一人居るといふことが、最も大事なことであると思ふのであります。『明
日から禁酒する』といふことが、世の中に能くあるのであります。禁酒をすることも、煙草を止める
ことも、中々にうまくいかぬものでありますから、何でも固く執つて動かぬやうな人が居らぬと、ど
うしてもいかぬやうであります。此酒の事に就きましては、歐羅巴各國の如く、また政府として、一
定の制度が設けてある譯ではありませぬが、現に日本に於ても、酒の全廢をやつて、節酒制度を立て
て居る所がありますし、地方の規約に依つて、酒を入れぬまでも、返酬を廢するといふことをやつて
居る。是等は衛生上の利益もあるし、一つは餘計飲まぬといふ利益もありますから、さういふ事は甚
しき困難もなく、行ひ得らるゝことであつて、敢て制度の力を俟たなければならぬものでもないやう
であります。それでありまして、地方に於ても心掛次第で、十分に節酒が出来るだらうと思ふので
あります。

【第三】次には賭博の事に就いて、ちよつと申上げます。此賭博は先刻申しました通りに、都市農村

者及び都
のゝる市
比既来に
例婚嫁於

第10卷
 第10期
 1997年10月

の選挙者けり来
議員と及る國
弊選市貧勞に
舉會民働於

委員五取育
人縁の
のと賢

○ hd hd

政治と社
會教育の
必要

兵庫縣大
阪府村の
婦女會の
改善家

と、それから家庭以外としては學校の教育と、更に學校を出た人に對しての所謂社會教育といふやうな事に注意しなければならぬ。所謂社會教育の一としては、娛樂制度にも意を用ゐねばならぬ。それから單に娛樂で以て其人を楽しましむるといふばかりでなく、更に進んで其青年者或は遊んで居る人々の知識をも弘め、向上心をも養はしむるといふ事に就ても、各種の手段を盡さなければならぬといふことになるのであります。地方で青年者の風紀を取締る事に就ては、潮事務官からも詳しく御話があつたらうと思ひますが、此等の點に就きましては、地方團體の效能があるといふことは、固より多言を要さぬのであります。兵庫縣印南郡に大鹽村といふ所があります。此所の村長は、惜いことに今は死にましたが、戰爭中に芳川内務大臣があそこを巡廻せられた時に、此村長も表彰された一人でありました。其村では處女會といふものがあるのです。併し此所の小學校長も、なか／＼能くやつて紀の改善をやつて往くといふ所も、固より少くはない。併し此所の小學校長も、なか／＼能くやつて居るのであります。一體に海岸の地方では、風紀が非常に悪いのであります。それであるから初は學校の卒業者といふので、先づ以て十八歳以上の婦人一つ、婦人會を作り、さうして地方の風紀を改めやうとした所が、風紀の悪い所でもありますから、十八歳以上など、いふ頃には、前科者が中多いので驚いたといふことであります。そこで根本から手を著げるより外仕方がないといふので、

青年の遊
戯出入の
割合

小學校時代からの處女會を作つたのであります。其方が餘程有效であるといふことであります。斯ういふ具合にして、教育の力に待つべきは、無論の事ではありますが、一番に重きを置くべき所は、家庭のやうであります。是は單に此事ばかりにも限りませぬが、家庭の整善といふことが、最も大事なことでもあります。農村あたりでも都會でも、家庭のしつかりした家の者は、間違ひがないものといつて宜からうと思ふ。殊に青年の取締といふものは、餘程嚴重にしなければならぬと思ふのであります。愛知縣の例であります。土曜、日曜、月曜の三日間に亘りました、名古屋の遊廓に入るもの、年齢を調べて見たのであります。それを百分比例にしますと、二十一歳未満が一、八。二十一歳から三十歳までが七十一、七八。三十一歳から四十歳までが五、八五。四十一歳から五十歳までが二十一、四。五十歳以上が四、一といふことになつて居ります。驚くべきは二十歳未満の者が、百十人出入して居るといふ事でもあります。それで此種の取締といふことも、矢張り退いて青年の訓育に俟たなければならぬ事と思ふのであります。

地方の婦風に就ては、我邦では現今どういふ事をやつて居るか。其れ等に就きまして少しく御話することに致しませう。近頃皆さんの所に御廻して置きました『地方改良事業諸規程』といふ冊子には、地方でやるべき婦風に就ては規約等が大部分載つて居りますから、是非これを御覽になり、それから各

東京府戸
島村の善
金と慈善
貯金

地方に於ける規約をも參考として、色々な規約を設けるやうにして戴きたい。先日も申しました通り町村是を規定する際などには、是非に其事項を規定して戴きたい。現に戸倉村でも町村是を設けてありまして、物貰ひなどは入れないことにして、さうして慈善貯金といふやうなことをして居る。殊に戊申詔書の實行といふこともありますから、町村是を作る際には、是非それに規定されるやうな事にしたいと思ふ。其他諸地方で、矯風會とか或は地方改良會とかいふやうな會が澤山あります。本年(四十二年)正月に出来たのでありますが、千葉縣に矯風會といふのがあります。一體千葉縣は御承知の通り、日蓮宗の中々盛なる所でありまして、日蓮宗に幾派もありますが、其一つの管長をして居る本田日通といふ人があります。此人は昨年此所でやりました感化救済事業の講習會にも、講習員として出て來た人であります。東京に來て居る時には、品川に居られますが、其品川にも矯風會といふのが出来て居りまして、葬式などのときに、餘計な費用を減するといふやうな事をやつて居るのであります。品川にも既にやつて居りますから、今度は千葉縣全體に尙風會といふものを作りまして、各地に支部を設けたのであります。源村など、いふ所にも、現に其支部を設けたのであります。さうして此八月の初には、尙風會の事業として講習會をやるといふことです。さうして教育者や或は町村長や、或は尙風會員などを集めて、講演會をやるといふことであります。此會の事業としては、まだ規定がありません。

千葉縣の
尙風會

奈良縣
戸島村の
矯風會
規約

私の所に執行事項のやうなものがありません。是非は宗教家を中心になつて、遣り出した事業で、千葉縣の一部の地方人が皆それに這入つて居ります。さうして知事も矢張名譽會員といふことになつて居る宗教家が自治の方面などに働くといふには、講習會が一番適當な仕事であるとして宜からうと思ふ。さうして其會で、町村自治の改善を圖るといふことや、それから實驗談とかいふやうなことなど、總て地方改良の事業を實行したいといふので、規約を其の會から送つて來て居るのであります。斯ういふやうな會が地方に段々多くなつて參りましたのは、誠に結構な事と信じます。併し其立てた規約が實行さへ出来れば、それに越したことは無いと思つて居ります。それから奈良縣の宇陀郡神戶村の如きは、二十五箇條の矯風規約を作つて居ります。結婚等に就て今までは、非常に金を使ふ。箒笥や長持を澤山持つて行く。それを改めて、貯金にして行くといふやうな規約もある。それからどんな人でも、絹布を着ることが出来ない。若しも規約に反して絹物を着るには、村長の許可を受くるといふことになつて居る。さうして規約以上の贅澤をした際には、學校の基本財産に寄附をさせるといふのであります。村長の許可を得て贅澤をする。其許可を得る際には、必ず金を出すといふやうな規約もあつて、著々それを實行して居るさうであります。かういふ風に矯風會で以て、御互に規約を設けさうしてそれを履行して居るもの、外に、報徳社の如きものも、産業組合がやるやうな仕事をなすつ

千葉縣香取郡
大原郷
大原村

地方の善風
吹散する者
及ぶる者

つあると共に、矢張風紀改善の方にも勉めて居るのであります。それから千葉縣の香取郡に行く、性學といつて矢張儒學に基いた、實踐躬行の教へがあります。それは大原幽學といふ人が唱へたもので、只今でも其遺風が残つて居ります。此大原幽學といふ人は、餘程の精神家でありましたが、竟には地方の人を逐はすといふ嫌疑を被つて、獄に繋がれたのでありますが、其後獄から出てきまして、自分の道を廣めるのは、なか／＼容易なことでないといふので、山に登つて松の木の下で割腹をした。さうして自分が死んでも、斯道を守つて呉れさへすれば十分であるといつて書き残した。それでありますから其所の青年團體なども、外の青年團體とは餘ほど違つて居るといふことであります。斯ういふやうに地方には一人の篤志な人が居るとか、或は道德上の鼓吹者が居つた爲めに、只今も遺風が残つて居るといふやうなことがあるのでありますから、篤志な人や、地方の人が規約を結んで、十分固くやるといふことが、子々孫々までも長く續いて、恩澤を與へるのであります。即ち敦厚俗を成して而かも永續するといふことにならうと思ひます。それでありますから是非斯ういふやうなことを、地方の團體で以て規約に結ぶといふことにして、やつて戴きたいと思ふのであります。

三 獎善事業

支那に於ける
善風獎善の
事業

それで此矯風の方法に就きましては、夫々各種の方法もあるのでありますが、積極的にやる方法としては、獎善の事業といふものがあります。獎善といふは一人の善行で萬人の善を奨めると申すのが主意でありまして、一人でも善行者があつたならば、それを或方法に依つて表彰してやるといふと、世間の人がそれを慕ふて、それを模範とし、さうして自然に變つて來るといふことになるのであります。此獎善の事に就ては、『自治要鑑』や其他の本にも澤山書いてあるから、それを御覽になるやうに願ふことにしまして、昨年の講習會に御話しましたものなどを、御參考下さるやうに願ひたい。此獎善の制度といふものは、古くから東洋の方に、最も發達して居るやうに思はれます。一番初めには支那で以て制度として起つたやうであります。それが今度は日本にもズツと傳つて來たものゝやうであります。これは或學者に調べて貰つたのでありますが、支那で一番初めにやつたのは、歷史上で見ると史記の貨殖傳の中にある猗頓傳の中にも書いてあるものが、即ちそれである。秦の始皇帝時分に始つたことで、其時の金持を表彰したのであります。保といふ人が非常な金持で、財産が量り難い。そこでそれには諸侯と同じやうな待遇を與へた。それからもう一人は後家さんであります。清といふ人で非常な貞婦であつて、此人が自分の家を支配して、非常な金持になつた。そこで此人を賓客として、此人の爲めに女懷清臺といふものを築いた。是が歷史上に見えておる一番初めての表彰である

一個の善
と旌表の
何

孝子順孫
の門閭旌
表

我邦の旌
表の進歩

といふことであります。其他『苟も一個の善あれば、宜しく旌表の例あるべし』とかいふやうなことも本に出て居りますし、八世不朽門閭に旌表すといふやうなことも、支那の本に見えて居るそれから孝子、順孫、廉夫節婦、さういふものは門閭に旌表して栗帛を賜ふべしといふやうなことも見えて居る。斯ういふ事が日本へも這入つて来て、古い時分に日本では養老の孝子を表彰されたといふことがあります。是などは歴史上で、最も古いといふ事になつて居ります。それからずつと降つて徳川時代になりますと、各藩の諸侯が旌表といふ事をやつたことも、随分あるのであります。孝子或は節婦といふやうな者の旌表が非常に多いのであります。殊に日本では君臣の關係が父子の關係のやうになつて居る所から、忠孝といふ事を、最も尙ふべき國柄になつて居りますから、孝子、仁孫などといふことに、最も重きを置いたこと、思ふのであります。孝は萬善の本とも稱して居るのでありますから、是等の事は日本で最も進んだやうであります。色々と旌表等に就て、歴史上の面白い事などありますが、それは省略いたします。

其他日本では、功績のある人を旌表するといふ方法も、中々具つて居る。是は少しゑら過ぎるかも知れませんが、日本には神社といふものがある。此神社といふものが、私の考では國家に功績のある人を旌表する、一つの制度としては、世界に類の無い位進歩したものではなからうかと思ふのであり

神社といふ
神の表影

ます。人を祀つて神として置くのでありますが、是れは日本のやうな國柄でなければありませぬ。それであるから政府の方でも昔から重きを置いて居ることでもあります。是等の事は若し表彰制度といふことが出来るにしても、少し大き過ぎるやうであります。併し是が旌表制度の絶頂ではないかと思ふのであります。唯一時に表彰するのみでなく、それから勳章を賜つて表彰するといふことに限らず、末代までも其人の遺風を偲ばせて、地方の改善にも、良い影響を與へ、さうして國風の守りにもなり家族制度には、其立派な精神が護り本尊ともなることであります。是等は地方の風紀問題から言ひましても、非常に重大な關係があるやうに思はれます。

石碑といふ
種々の表影

成島松竹
の表影

次には石碑であります。今回の展覽會にも各府縣から御寄贈を願つたのでありますが、皆忠臣孝子とか、或は其他の功勞ある人などの功績を表彰したもので、既に展覽會室にありますやうな。石碑にして、それを末代に傳へるのであります。さうして其所を通行する人が、覺えず足を留めて古人の遺風を慕ひ、其事業を知ることが出来るやうにしてある。是が又一つは彰善の方法であつて、地方の風化矯正には、餘程影響のあるものと思ふのであります。彰善の方法として、特種のものとするべきものは、諸君も御承知でありませうが、廣島縣の賴杏坪さんが、近古に建てられた竹原の郷賢祠であります。是れは其土地に功勞のあつた先人を祀つたものであります。是れなどは古人を尙ふと同時に、古

人の功績を表彰して居るものでありますので、地方の改良にも、重大な關係を持つて居ります。先頃香川縣に参りましたが、彼所の有名な壇の浦の横あたりに、柴野栗山先生の生れた家の址があつて、其所に栗山堂といふものを立て、あります。唯今も栗山堂の中で附屬の夜學をやつたり、或は地方の人々が集つて、論語の講義を聴くとか、或は法制、經濟に關する毎月の講演があるとかいふことになつて居るのであります。是も矢張り古人を表彰すると同時に、唯今は地方の改良訓育機關に使はれて居るのであります。

次は地主と小作人との關係でありますが、此兩方を進めて行くに就ても、地方に依つては常に小作米の立派なものを作つたといふばかりでなしに、品行が方正で、よく家業に勉勵した者などを表彰して居るのであります。是も展覽室に出ておりますが、兵庫縣の大地主たる伊藤氏がやつておる表彰の仕方などもさうである。それから鹿児島市の町田貫一といふ大地主のやつて居る表彰の方法も、矢張り其一である。何れも皆平生から點數を附けておいて、表彰式の時には其小作人が檀徒になつて居る御寺の坊さんにも出て貰つて、御寺からも賞品をやるといふことにして居る。さうして其際に説法をやるのであります。斯ういふやうな事は、地主が小作人に對しての旌表方法として、餘程效能のある事であらうと思ひます。多數の小作人を有する人には是非斯ういふやうな事を、やつて貰ひたいと思

大英地中
兵庫市伊
栗山先生
の邸宅に
表彰する

ふ。

それから工場に於ける職工の表彰といふやうなことも、只今では大抵何處でも行はれるやうになりました。單に工場主が職工を表彰すると云ふだけでなくして、縣で表彰して居るものもあります。香川縣、それから福井縣、岡山縣等でも、それを行つて居るのであります。香川縣等の例を申しますと、勤勉であつて何年よりも勤めた者で、さうして品行も方正で、能く勉勵したといふやうなものに就て、表彰式を擧げて居ります。表彰式の日には、各商店からも色々な寄贈物があつたり、或は表彰された人に芝居を唯で見せてやるといふやうなことをして、世間の人が擧げて此人を表彰するやうになつて居ります。是れまでは香川縣と海一つ此方になつておる岡山縣では、紡績會社がありまして、職工の誘惑が多かつたのでありますが、表彰制度をやつてからは、其誘惑も無くなつて、非常に眞面目に働いて居るといふことであります。

それでありまして、先刻來も申した賭博とか、或は酒の害とか、單にさういふやうなもの、甚しい弊害と消極的に防ぐといふことはかりでなしに、積極的にも矢張り、此獎善制度といふやうなものに依らなければなりません。けれども獎善制度の外にも、また種々な方法があるのであります。ちよつと外國の例で申しますと、カーネギーが千九百四年にカーネギーの工場があります。ピッツバーグ市に「ヒ

職工の表
彰の意を
造る防

義勇賞
金
市に於ける
義勇賞
基金

一千萬圓
の義勇賞
基金

「ローファンド」(義勇賞金又は義勇基金とでも譯しませうか)といふものを寄附したといふ事であり、是には一千萬圓の寄附をしたのであるが、其寄附したのは、どういふ爲めかといふのに、人命を救助するが爲めに、却つて生命を失つたといふ人に對しまして、其寡婦や、子供や、養族などに扶助料をやるのであります。寡婦には再婚をするまで、子供には獨立して自營するまで、扶助料を出してやるといふのであります。それから死亡するまでには至らなくとも、負傷をした人などに對しては、本業に復へるまでの間、従前よりも多くの収入をやつて、心配なく療治をさしてやるといふのであります。此等の目的を達しやうといふ爲めに、一千萬圓の記念基金を寄附したのであります。そこで二十一名の委員を指名しまして、其人々が審査をした上で、表彰や、扶助をさせるといふのであります。此カーネギーといふ人は、何事をするに就ても、餘程念の入つた人であります。それであるから、此寄附金をする時にも、自分の考へを述べた手紙を附けてあるのであります。其文面に據りますと、只今申したやうな目的に使つて呉れ、殊に子供に就ては、獨立自營はなし得らるゝまでといふことにしてあるが、若しも特別見込のあるやうな子供があつたならば、それ等に對して特別の教育を授けてやるが爲めに、特別の方法で、金を使つて呉れといふ注文をして居るのであります。それから此基金の中から、斯んなやうにして金を出してやるといふ外に、『メダル』を二百附けて、それを銅と銀と金の

義勇賞
金
市に於ける
義勇賞
基金

義勇賞
金
市に於ける
義勇賞
基金

三種に分け、さうして、それをやることにして居ります。此『メダル』は所謂身を殺して仁を爲すといふやうに、自分の身を抛つても構はずに、人の命を救助したやうな人によつて、其美はしい勇ましい行爲を表彰しやうといふ爲めであり、さうしてそんな人の中には、扶助料などを貰ふことを迷惑に思ふやうな人もあるので、そんな人には迷惑を掛けぬやうにして、扶助料を出してやるやうにして居るのであります。是等の事は、向ふでも餘程珍しい事であり、日本では表彰條例を見ると、人命を救助した者には紅綬褒章を賜はるといふことになつて居ります。それでありますから、斯ういふやうな人に對しても、其人に迷惑を懸けぬやうに、扶助料を出してやるといふことをやつたならば、宜い事ではなからうかと思ふのであります。此カーネギーは獨りピッツバーグ市に、義勇表彰基金といふものを寄附したばかりでない。自分の生れ故郷である蘇格蘭のダムファアリン市にも、同様の義勇奨励基金を寄附したのであります。それも矢張り同じやうな條件であります。ピッツバーグといふ所では、どんなことをして居るかといふのに、それも矢張り矯風の事に關係がありますから、一言申して置きたいと思ひます。カーネギーといふ人は澤山金のある人ですが、公共事業の爲めには、金を惜まらずして寄附をする。それから寄附するに就いても、餘程進んだ考を附け、念の入つた工夫をして、それを

カーネギーの
土地の總意
の及人
上達心

香川縣の
書畫會
展覧會

た趣意といふものは、地方における人々の趣向を高める爲めであるといふことであります。地方における人々の美術心を高めるといふことは、餘程風紀の問題に、重大な關係のある事で、さういふ方面から導いて行かないと、宜くない。此工藝、美術といふ事は、爰でも非常に重きを置いて居るのであります。是は井上さんからも御話がありましたらうと思ひます。兎に角地方の人をして、其趣味を高めしめるといふことに就きましては、美術心を高めて行くといふことが、大變有益で又必要な事であると思ふのであります。それでありまして、私は常に地方の人に對して、此事を注文するのであります。殊に香川縣の如きには、展覽會を開いておるのでありますが、書畫骨董などに就ては、實に立派なものがあります。さういふやうな事は、地方の趣味を高めるといふ上に就ても、大變に結構の事であります。其書畫骨董といふものも、單に道楽といふ事になると、餘り面白くないのであります。地方の富豪などが、書畫骨董を買ひ集めるのを、決して悪いとは思はぬが、唯之を倉の中に仕舞つて置くやうな事にして貰ひたくないであります。其地方に建物でもありますならば、さういふ所に入れて陳列して、自分の持つて居るものをば、成るべく地方の人々に見せて貰ふといふことにしたら、道楽もそれが爲めに活きて來ることであらうと思ひます。京都の圖書館などは、さういふ方にも意を用ゐております。あすこの土地柄としても、古物や、古文書や、それから大事な書物などが、御寺に行くと

澤山あります。そこでさういふものを預つて、それを保存してやる。さうしてそれを世間の人にも見せてやるのであります。是は一舉兩得でありますから、地方などでも始終出して置くやうな場所があれば、或機會の何等が適當な方法で、さういふものを展覽に出して、地方の人々に見せてやることの出來るやうにして貰ひたい。さうすると一般に地方の人の趣味を高めることでありますから、さういふことを成るべく御勧めを願ひたい。

森格閣の
五萬圓の
金を寄附
したカー
ネギーの
最善の事
業

此カーネギーがピッツバーグにやつたものよりも、一方から見ると、規模が小さいやうで、一方から見ると又甚だ大きいのは、自分が生れ故郷のダムフアーリンに五百萬圓の金を寄附しまして、カーネギー財團といふものを組織し、さうして自分が生れ故郷の改良をやつて居るといふ事であります。展覽室へ御出でになると、『泰西資料』の中に、カーネギーの寫真と、カーネギーの生れた家とがあります。是は織物職工の家に生れたやうであります。其家の寫真があります。其後ダムフアーリンに關する種々の寫真等もありますから、御覽を願ひたい。此ダムフアーリンといふのは、『リンネ』の生産地であります。カーネギーはこの町に對して、五百萬圓の金を寄附したばかりでなく、ピッツブリンといふて有名な舊跡になつて居る城跡が、自分の所有地となつて居つたのを、この町に寄附したのであります。此等の事に就きましては、『英國に於ける最善都市』といふ冊子の中にも詳しく書いてあり

ヒフチン
クリーフ
公園と日
本の葛清
植付

習財のステ簡
事團ゲテ速
業とーシド
講へ市レ

短風焚香の事象

暇といふやうなこともありますから、其間學生の多くは故郷へ歸るのでありますが、故郷に歸つてか
ら、其人が再び留學地に出て来る。曩に故郷へ還へた際に、どんな土産を持つて來たかといふと、
大抵は餘り良い土産を持つて來ないやうであります。是は其人の爲めのみならず、地方の人の爲めに
も、利益ならぬ事と思ふのであります。更に高等の學校所在地へ行つて居るやうな人であるならば、
地方の人なども其人達を利用して、町村の爲めに、或は講習會などをやつても宜しからうし、或は青
年會等で話を聴くといふやうにしても宜しいといふのであります。さうすると其等の人達でも東京な
り又はどこかの遊學地に居る時からして、面白いことを調べ、さうして國に歸つてそれを話さうとい
ふ氣にもなるので、餘程有益な事であらうと考へるのであります。此等は暑中休暇の利用としても、
餘程面白からうと思ふのであります。

色々の話が混雜して來ましたが、要するに地方の煙風に就きましては、節儉とか或は時間を守ると
かいふやうな事をば、規約を設けて勵行するといふ事が必要である。それから此等消極の遣方以外、
更に進んでは各種の施設に依つて、單に悪い事をしないといふばかりでなく、益々良い方に向けて行
くといふことに心を用ゐなければならぬ。其一つとしては、獎善の事なども必要であります。此獎善
の事に就いて、今一つ御話をして置きたい事があります。近頃地方に於ても、大分表彰するといふ事

千葉縣源
村の表彰
基金

表彰と調
査の必要

が行はれて來たのであります。町村でも、今では大分行はれて來るやうになつた。千葉縣の源村では、
今の山本村長の兄さんが、先年小學校の基本財産に、一千圓を寄附して、其本を造つたのでありますが、
近頃は更に一千圓を寄附しまして、村での表彰基金にするといふことであります。是等の基金までが
出來るやうになつたのは、大に祝すべき事でありました。しかしながら此表彰をするといふに就ても、
餘程其人なり行爲なりを取調べてやらなければならぬと思ふのであります。内務省では今度地方獎勵
費を取りまして、地方の團體なり、或は町村吏等の獎勵をするといふ筈であります。愈々さういふ
事になりますと、餘程調査を嚴重にせぬと、いかぬのであります。誤つて表彰するやうなことがある
と表彰の價值が減するワケでありますから、餘程注意を要するのであります。近來は一般の地方で、
縣なり或は郡なり、其他町村等でも、表彰の事が大分行はれて來たのも宜しい。又場所によつては、
町村の役場や吏員の爲めに、慰勞の意味を以て表彰をやるといふやうな事もあるのであります。是も
固より結構な事ではありますが、そこには殊に注意を願ひたい事があるのであります。各地方で町村長や
或は町村を表彰したやうな事があると、其報告が始終内務省に參るのであります。内務省でまた
觀察をして居らぬやうな所では、其れ等の報告に基づきまして、人を出しそれ等を見ることもありま
すが、行つて見ると、成程或點まではなか／＼やつて居るが、納税簿をちよつと披いて見ると、村長

町村表彰
正の勲章

とか、村會議員とかいふ人々までが、意納をやつて居る。そんなやうな具合で、納税の方が、意外にも不始末であつたなど、いふやうなことが、往々あるといふことであります。勸業の方は宜しいが、教育の方は届かぬとかいふやうな事で、完全なものはとてもないでせうが、何とかして總てが揃つた村などを作りたいものであります。殊に私が常に希望を持つて居るのは、其不完全な點を先づ矯正して貰ひたいといふ事であります。意納ならば意納といふことが、缺點になつて居るのであるから、縣や郡などで其町村や町村長の表彰をする前に、なせそれを督勵して意納ならば意納の矯正といふことをやらないのであるか、どうも其れが分らぬのであります。お前の所は、總てが能く行つて居るけれども、唯意納といふことが、惜むらくは多いから、此點さへ宜ければ、實に立派なものであるといふやうにして、其缺點をなくするやうに督勵したならば、屹度それを機會として、意納といふことに矯正は勿論出來やうと思ふのであります。さうしてそれが直らぬまでは、表彰をせぬといふことにしても、決して遅くは無からうと思ふのであります。どうも私はかりではない。局員が出張して見ましても、さういふやうな遺憾な話を聴くことが、餘程多いのであります。それは皆さんも直接に知つて居らるゝことでありますから、此點には餘程御注意を願ひたいのであります。しかしながら此表彰といふ事が、非常な有益な事であつて、堀風上には最も缺くべからざる事でありますから、それが段々行

はれるやうになつたのは、誠に結構な事であります。それに就けても、益々慎重の調査を要する次第であります。さうして單に表彰の事のみならず、總て訓育上の施設に依つて、地方の人々を教へ導ひ、いて行くといふことには、殊に意を用ゐて戴きたいと思ふのであります。

四 特殊部落の改善

特殊部落
の改善

此堀風の中でも特殊部落の改善といふことが、一つの題目にあります。是は内務省でも各府縣に交渉をして、調べたものがありますが、一番盛に改善を試みて、成績もよく擧つて居るのは、三重縣であります。三重縣の方に、特殊部落の改善に就いて、結果の擧つたことを、一つ御話を願ひたい。

三重縣屬 鈴木虎雄君

只今講師より、特殊部落の事に就て話をせよといふ仰せがございました。實は私の縣では、殊に此事業に就きまして、殆ど獻身的にそれをやつて居る同僚があります。さうして此特殊部落の事業といふ事が、全部其人の專業に屬して居るやうな次第でございます。それでありますから、私が此所に上壇しつゝまして、御話を申しまして、或は書いてあるものゝ取次をするといふに過ぎないかも知れないでございますから、それは豫じめ御承知を願ひたいのです。それから或場合に於きま

しては、自分共も町村に出張いたしました、直接に其特殊部落に往つたこともあります。さうして彼等が如何なる状況の地位に在るか、又は如何なる生活状態であるとか、又は職業の關係がどうであるかといふことを調べたこともあります。しかしそれ等の事は唯時々町村で以て實際を目撃したといふ位なことで、詳細な事は、總て竹葉（寅一郎）君の受持になつて居るので、始終同君の調査をした日誌を読むとか、又は話を聴くとかいふやうなことに過ぎぬのであります。それでありまして、別段諸君に對して、趣味あり且有益な御話を申し上げることが出来ないでございまして、けれども此三重縣で、特殊部落の改善といふことは、随分重要な事柄でありまして、竹葉君が殊に熱心にも殆ど自ら獻身的に其事に従事をして居るのでございしますが、今日では多少成績も擧つて居るやうなことで、前段に紹介をされて居るやうな次第でございまして、御承知の通り、此部落の人間といふものは、其性質といひ又生活の状態といひ、總ての點が、普通人と全然違つて居るのであります。それは風紀の取締をするとかいふやうなことは、到底行はれぬのであります。殊に三重縣に於きましては、特殊部落の狀態が、其部落／＼で違つて居るのでございまして。或は甲の部落に於ては、多少成績がよいし、又生活の工合も良好であるといふこともあります。隨て普通人との交際なども、そん

な人達だけは、餘り劣等でないといふやうな所もあります。さうかと思ふと、中には殆ど言語に盡すことの出来ないやうな、亂暴な氣風であつて、且又生活狀態もひどく劣つて居るといふやうな所もございます。それですから總て全縣下を通じまして、同一の方法で、彼等の改善を圖るといふことは、到底豫期することが出来ないであります。そこで三重縣に於きまして、改善の方針と致しましては、先づ最初に其村へ往きまして、さうして其村の重立つた者を集め、生活の狀態であるとか又は言語の改良であるとかいふやうなことを、懇々と話を致しました。さうしてそこで先づ改善の規約を結ぶのであります。其規約といふものは、誠に簡單なもので、別段むづかしいものは作りませぬが、先づ第一には言葉を改める。それは父子、兄弟、或は朋友の間に於ても、兎に角言葉遣ひを改める。それから第二には家の内外を問はず、掃除を良くする。詰り朝夕の掃除を勵行する。第三には、日夜の生活状態と致しまして、自分の身装を能く調へる。是は私の縣に限りませぬ。何處の特殊部落でも、殆ど身装といふことが、彼等の眼中に無い。殊に夏などになりますといふと、男でも女でも皆裸體で居るといふやうな状態でございます。それでございまして先づ以て身装を一つ改める。それから第四には、學校に行くといふこと即ち、教育に就て相當の約定を極める。それから第五には、租税を納めるといふやうなことに就ても、約定を極めるといふやうな工合にして、

改善の規約といふものを最初に拵へる。さうして其改善の規約に依つて、實行を計るといふことが先づ三重縣に於ける特殊部落改善の第一着手まであるのでございます。

そこで其改善の規約を勵行しまするに就ては、如何なる方法でやるかと申すならば、其村で重立つたる所の者、或は中には區長といふやうなものもございますが、區長のみならず、兎に角其村に於て多少財産もあり、又は人望もあるといふやうな有力な人を、其の世話役に擧げて、さうして其者に規約の勵行を圖らせるといふのが、一つの方法でございます。併しながら彼等部落人民といふものには、一向道義といふやうな觀念もなければ、又衛生思想もありません。殊に教育、社交といふやうな關係に就ても、何等の知識も經驗も無いものでございますから、其改善の規約といふことも、容易には行はれない。中にはさういふやうなものを拵へても、我々は祖先傳來の穢多といふことを以て、世人に目されて居るから、今改善の規約を設けて、普通の人と交際するなどといふことが、我々の社會に必要な無い事であるので、是は絶対に御斷りをしたいといふやうなことを申しまして、改善の規約に反抗をする者が、殆ど十中の八九といつて宜しいやうな有様でございます。併しながら、こちらにも、指導者と致しましては、先づ世の中の進歩に伴つて、總て人間の知識を高めるが爲めに、教育などをもして行かねばなりません。それには特殊部落であるから必要が無い

とか、普通の者であるから、必要があるといふやうな、譯はないのであるから、兎に角お前方も今日では、日本帝國の臣民として、同一の取扱を受けて居るのであるのに、祖先傳來の穢多であるから、普通の人と交際をする必要がないといふことを以て、自ら排斥を受けるといふのは、最も同情に堪えないのであるから自分に於ては、お前方の言ふ事も聞いて、出來得る限りの方法で、保護指導をしてやるから、どうか改善の規約に依つて、一つ是れまでの方針を改め、さうして普通人と互に伍することが出来るやうにして貰ひたいといふことを、竹葉君が彼等部落の重立つた者に對して、常に言つてゐてでございます。さういふやうな至誠からして、漸次に彼等を誘導いたしますから、随分頑固で譯の分らぬ者でも、それを二度なり或は三度なり致しますといふと、それならば先づ一つやつて見やうといふやうな考を起しますので、やつとの事規約も行はれるといふことになつた。そこでそれを監督して居ります所の區長であるとか、又は世話役であるとかいふものが、其勵行を圖ります。所で改善の規約といふものは、歸する所が共同制裁をして實行を期するといふやうなことになつて居ります。これに反しまして、若し改善の規約が、唯公の力を以てそれを壓迫するとか、又は一つの法令に依つて、それを強制するといふやうなことでございしましたならば、到底それは實行が出来ないのでございます。それでありまして、三重縣に於ける改善の方針といふものは、

外に何もありませぬ。唯自分の至誠を以て、彼等の境遇が氣の毒であるといふことを憐み、さうして人道の上から彼等を救済しなければならぬといふ、竹葉君の熱誠主義があるだけでござります。斯ういふやうにして竟には彼等の心を動かし、至誠の進る所が、詰り改善規約の履行といふことに相成るのでございます。現今では此規約も立派に實行され参つて、それが爲めに或は縣の方から或貨品を與ふとか、又は相當の保護をして、事業の奨励をするといふやうな事柄も、段々現はれるといふ次第になりました。かうやつて改善規約を履行した結果、一番著しいのが、先づ衣食の工合が改まつた事と、それから怠惰の弊が無くなるといふやうな事柄とであります。それから今一つが、犯罪の減少であります。是は改善規約の効果として、最も主要なものでございます。次に三重縣に於きます阿部郡と申して、伊賀の國でござりますが、其所に杉田といふ一つの特設部落がござります。是は三重縣下に於ても、随分大きな特設部落でありまして、殊に此部落の人民が、其附近に害毒を及ぼすといふことは、殆ど筆紙に盡すことが出来ないといふ状況でありました。詰り伊賀の上野町に接近して居る所でござりますから、上野の町の者が、杉田の人間といへば、それを蛇蝎視するといふやうな有様で、道を通つても杉田の人が來ると、避けて通るといふのでござりますから、段々と自暴自棄の心が増長しまして、自分の生活上から、そこら附近の農作物を取つて來るとか、

或は他人の物を盗んで來るといふやうなことを、普通の事のやうに考へるやうになつて居つたのであります。それであるから、若し杉田の者が盜賊をしたといふので、それを警察にでも訴へたといふやうなことが分りましたならば、其警察に訴へた者には、屹度非常なる復讐をするのであります。其人を脅迫するとか、其家に害を加へるとかいふことで、警察の力でも、殆んど何とも仕方がなかつた。一體そんな惡い所の部落でありましたが、それでさへ四五年前から、改善の規約を履行しまして、昨年でございましたが、留岡先生も其處に御出でになりました、實況の御覽を願ひましたやうな次第であります。所が其初は却々困難であつて、どうも皆く改善の規約を履行することが出来なかつたのです。或場合に於きましては、それを履行するが爲めに、其部落に於ける數軒の高利貸が、忽ち營業することの出来ないやうになるといふ考から、非常に反抗を試みました。或時にはそれ等の者に使はれた者等が、改善規約を履行する組合の事務所へ、抜刀を以て斬込んで來るといふやうな事もあつて、随分殺伐な事もありましたが、併ながら其内にも、改善規約を履行して、漸やく善良に赴いた部民といふものは、百難を排して、それ等の者を撃退したので、とう／＼改善の規約を實行するやうになりました、今日では杉田の部落といふものも、全く一變して参つたので上野町あたりの人も、非常にそれを喜んで居ります。それ等の結果、杉田の部落に於きましては、

或る一二の者が、傘の骨を削るといふ作業をやつて居ります。もと傘は、伊賀の國から物産として、或る多少諸國に出るのであると云ふ所から、傘の骨を削るといふ作業を、或一部の者に授けました。それには資本が無いといふやうなこともありましたが、上野町の人々も是までのやうに亂暴な事が無くなつたといつて喜んで居るといふ所から、或篤志家が其傘の事業をやるべき、傳習生を養成せんが爲めに、二十圓ばかりの金を寄附したのであります。さうして『どうか之を基礎として、お前方はまでやつて居つた、下駄の直しであるとか、羅字のすげ換へであるとかいふやうな、賤業をやるやうにして貰ひたい。絶対に無くすることは困るであらうが、段々正業に就いて、普通のひと伍することの出来るやうに、仕事を勉強して貰ひたい』といつて、金を寄附するやうな状況になつて居るのでございます。又一つは當世村といふ、此部落も随分大きい部落でありますが、殊に規約實行の點に就きましては三重縣でも顯著なもの、一であつて、優良な模範村となつて居ります。此村には規約勵行の結果として、英寅會といふ一つの會があります。なせ英寅會といふ名を附けたかといふのに、英は知事さんたる有松英義の（今の警保局長）の英の字を取つたので、寅の字は竹葉寅一郎君の寅といふ字を取つたのであります。三重縣に於ける順番からいひましたならば、此村などは殆ど第一等に位して居るほど、成績の良い所でございます。抑々竹葉君が三重縣で以て、特殊部

落の改善事業に着手する時に、始めて此英寅會がある所の當世村に這入り込んだのであります。其當時は當世村に宿泊をして、親しく彼等と起居を同じうしつ、彼等の生活狀態を仔細に觀察して居つたのであります。随分汚い村でございまして、其居廻りなどは、實に不潔極つたもので、臭氣鼻を衝くといふ所でございました。其所へ竹葉君が這入り込んで、彼等日常の生活狀態を見て、斯ういふ點を、斯ういふ風に改良しなければならぬといふやうな安排に、やつたのであります。それであるから兎に角改善の方針を極めるに就ても、總ての點に實驗を致したのでございます。それが竟には成績も非常に良いといふやうになつたので、今度は其改良組合といふものが、化して英寅會といふ、立派な團體を成したのでございます。此英寅會の組織などに就きましては、多少印刷にしたものもございしますが、多分縣の方へも、それ／＼御廻しをして居るやうに思ひます。兎に角此英寅會といふものが、特殊部落の改善といふ事に就きまして、一番顯著な成績を擧げて居るのでございます。此村に就てちよつと面白い話がございます。村に添ひまして、一つの川がございます。其こちらが、又市街になつて居る。茲に一つの橋が架つて居る。假橋ではあるが、津市に通ふ本道の橋であります。此假橋の事を津市の人が、俗に穢多橋といつて居ります。そこで竹葉君が最初彼等の改善に對して、如何なる主義を取つた方が宜からうかといつて、色々と考えて居りました。先づ此

穢多橋といふものに氣が付いた。津市あたりでも、立派な公職に在る人でさへ、これを穢多橋と稱へて居る。是は實に氣の毒なものである。橋にまで世人からして、侮辱を加へられて居るといふのは餘りの事であるといふので、此橋の名を櫻橋と改名した。斯んな命名を致したことなどが、特殊部落の改善を實行するに就ても、大なる効果を與へて居る。今日でも中には穢多橋といふ人もございますが、兎に角之を櫻橋と稱へて居るのであります。總て改善の方法といふものは、理窟で言く行いますが、兎に角之を櫻橋と稱へて居るのであります。彼等に能く分るやうに、改善の方法を取つて居りくものではない。それであるから實地に就いて、彼等に能く分るやうに、改善の方法を取つて居ります。其外に於ても、まだ御話を致したいこともございますが、今日はそれ等に就て、何も材料を待つて居りませぬし、空漠なことを申し上げても、失禮にも當りますから、私は是で御免を蒙りますが、要するに今日に於きましては、特殊部落の改善といふ事が、餘程一般の注意を惹いておるのであります。是はなにも三重縣に限りませぬ。私の郷里は高知縣であります。社會改良の事業として、特殊部落の改良などにも非常な盡力をして居るやうでございます。けれども三重縣が始めて特殊部落の改善といふ事に手を染めました其結果が各縣にも及んだのであるかも知れませぬ。私は社會政策の上にも此種の事業は、大に喜ぶべきであると云ふ次第でございますが、尚ほ私の縣の事業で、御參考となるべき事業がございますならば、それだけの調は勿論差上げますし、又外の縣で之に實際

御從事なすつて居る方の中で、多少我々の縣でやつて居る方針以外に、改善の方法に就て、善良なりと認めたやうな事柄がございましたならば、どうか腹藏なく御教示を願ひたいのであります。

三重縣事務官 稻葉健造君

尚ほ私から三重縣に於ける特殊部落が、竹葉君一人の爲めに成功したのではないといふことを申し上げたいのでございます。それには其他様々の人の力が加つて、さうして改善が出来たのであります。即ち警察官や小學校の教員などが、即ち其れであります。警察官が特殊部落の改善に就て骨を折るやうになつたのは、前有松知事が各警察署を廻られた時分に、犯罪件数が特殊部落のある警察署に多くて、特殊部落の少い所には犯罪件数が少なかつたといふ事から始まつたのであります。

詰り特殊部落と犯罪との關係が極めて密接であつたのでございます。もう一つは特殊部落の衛生状態が、最も良くない。それで有松知事も、特殊部落の改善といふことが、最も急務であるといふことになり、御氣附きになりました。それで一面には竹葉君を招聘したり、又一面には警察官に骨を折らせるやうになつたのであります。警察官が骨を折りました細かい事は知りませぬが、兎に角警察官が餘程骨を折つたといふことであります。もう一つは小學教員が骨を折つたのであります。就學歩合なども、特殊部落では良くないといふのであります。就學歩合を良くするには、先づ特殊部落民を

督勵しまして、これを學校に出させるといふことが、肝腎であるといふことに氣が附きまして、それから一面に町村民を督勵すると同時に、一面には小學校の教員をして、特殊部落に對する從來の態度を改めさせたのであります。けれども小學校の教員が、普通人民の子供と特殊部落の子供とを一樣にして、同じやうに取扱ふといふことが、最初の中は餘程困難であつた。けれども漸次督勵をした結果、現今に於きましては、小學校の教員といふものも、特殊部落民に對して、さほど嫌惡の念をも起さず、矢張り普通人民の子供と同じやうに、取扱ふといふやうになりました。併し總てがさうであるといふことが出來ないのであります。時には勿論例外のあることを、御承知置きを願ひたいのであります。それから小學校の教員が、特殊部落民の子供を、普通の子供と同じやうに取扱ふといふばかりでなく、苟も特殊小學校の教員は、特殊部落民の家庭に就きまして、一々視察を致し、さうして若し學校に出ない者があつたならば、それに對して督勵を加ふるといふやうにしたのであります。今日三重縣で郡視學をして居る男に、篤志の人があります。此人が特殊部落の改善をしましたといふ一例に、斯ういふ事がありました。或時特殊部落民の子供に、總て學校に出るといふことを申しましたけれども、どうしても子供を學校に出さぬのであります。そこで無理やりに、それを引張つて來るといふ風にして、随分強制までもしたのでございます。所が部落民が非常に反對をし

して夜中に大勢で學校教員の宅を襲はうとしたのであります。それを聽付けました小學校の教員はそれこそ容易ならぬ事で、若し特殊部落民がやつて來たならば、どんなことが出來るか分らぬといつて、家内の者を總て避難をさするやうにし、さうして自分一人が家に居つて、部落民の來るのを待つて居りました。さうすると繼がて特殊部落民の二三の者が、代表者になつて教員の宅を夜中に起しました。『今日は是非先生に會つて、聴くことがあるから、起きて呉れ』といふので、夜中に起したのであります。それこそやつて來たといふので、自分で戸を開けて、それを内に入れた。さうして『一體お前達は何だ。特殊部落民でも、今日の世の中になつては、多少禮儀を知つて居さうなものである、夜中に人の家を敲き起すなどは、怪しからぬではないか。何の用があつて來たか。マア上つて酒でも一杯飲め』といつて、自分で手づから酒を持つて來て、酒を飲みながら、どういふ譯だといつて聞くと、『どうもアナタが如何にも亂暴に、人の子供を學校に引張り込むといふことは困る』といつて、それから随分亂暴な事を申したさうです。さうして『アナタの言ひやうに依つては、私の方にも考がある』といつて、脅迫したのであります。『それで尙ほ部落民が、大舉して來る所であるけれども、取敢えずアナタの考を聞きに來た』と言つたさうであります。そこで『それならば、皆が來た上で、大勢の者に、私が話をしやう』といつて、大勢の所へ、單身出掛けて行きまして、どう

だ昔の者、子供は可愛いであらう。其可愛い子供から、サント／＼頭を擲られて、いつまでも可愛いと思ふか。お前達の事を、オレはまるで子供のやうに思つて居る。子供のやうに思つて居るお前達ではあるが、もしお前達から打たれたり擲られたりしたならば、何で可愛い事があらう。此道理が分るならば、オレの言ふ事を聞け」といつて、大膽にも一と芝居をやつた。所が其一言で部落民が參つたので、とう／＼其教員の言ふ事を聞くやうになつた。これが爲め其教員の居りました部落が、それから漸次に改善されまして、學校にも出すやうになりましたし、非常に成績が擧つたのでございます。是は小學教員が骨折しました一例でございますが、兎に角特殊部落民の改善をするといふ事は、唯一人の力では、到底出来ぬのであります。それであるから最も多く特殊部落民に密接する所の學校教員とか、駐在所の巡査であるとかいふやうな人々に、改善を骨折つて貰つたならば、非常に効果があらうと思ふので、ちよつと一言附加へて置きます。

尙ほ三重縣に於きましては、單に警察官や、小學校教員に骨を折らせるばかりでなく、郡役所に於きまして、特殊部落の改善に就ての主任を定め、さうして町村長とか、其他町村の議員などに、骨を折らせることを講じて居ります。現に此町村長とか、町村吏員とかいふ人の中で、特殊部落の改善に骨を折りました者もいますが、是は多數といふ譯には行きませぬ。又此例を今申上

げる譯にも行きませぬ。けれども町村吏員などに、骨を折らせるといふことも、亦一の良法であらうと思ふのでございます。

特殊部落改良實驗談

岡山縣久米郡書記 今 井 齊君

岡山縣久米郡福岡村大字八出に、柳彌助なるものあり。地方風俗改良に努め、延て青年子弟の教化訓育を施したり。目下創業は尙淺くして、其規模の如きも未だ著大ならざれど、一部の地方改善には著しき効果を與へたり。今此の實驗談をなすに當て、參考の爲め少しく同部落の來歴を述べん。さて福岡村は七大字より成る一村にして、戸數四百有餘戸の村方なり。大字八出、大字横山には、もと穢多非人と稱する新平民、約百五十有戸、七百人の人口あり。此の新平民は、半ば農を營み、半ば藁細工、販肉、屋物修理等をなして、其附近の村落に行商する稻々上等のものと、明治維新前は住むに家なく着るに衣なく、河川の邊、橋梁の下に起臥して、晝は其附近に流れたる吉井川に漁業を營み、婦女は其魚或は花を市に賣り、夜は窃盜賭博を業とせる山家、『ホヒトウ』と稱する、無籍者の就籍したる多數のものとの二様あり。八出山部落と稱する戸數四十七戸の部落は、即ち是なり。人の人たる道をも辨へず、禮儀の何たるを知らず、窃盜賭博は、彼等の本業にして、殆んど毎戸として犯罪の爲めに入獄したる者を見ざるなく、又其の接近なる津山監獄の囚徒にして、親戚故舊

等の頼るべきものなきの徒は、入獄中密かに幾分の報酬をなすの契約をなして、出獄の際に之か引受人ならしめ、此部落に止まりて悪事を働くを常とし、全く人間界に於ける無頼漢の巢窟なりとも云ふべし。されば苟くも一つの犯罪事件あるや、警察官は先づ以て八出山部落を搜索し、斯くの如くにして犯罪の端緒を得るを例とす。會々明治廿八年、再起熱と稱する一種の傳染病が此の部落を襲ひたるに際して、全部落悉く之に冒さるゝが如き、悲惨の状況を呈するや、當時の村長日下利七なるもの、直ちに其實地を視察して、衛生の道を説きたりしも、無智蒙昧の徒のみにして、固より衛生の何たるを知らず、加ふるに赤貧洗ふが如きが故に、豫防消毒上、亦奈何ともなし難し。恰かも在郷軍人に柳彌助なるものあり、徴兵として入隊中、軍隊教育を受けたるものなるが故に、多少の事理を辨へたるものならんと認め、先づ同人をして萬事の斡旋盡力をなさしむるに如かずとなし、乃ち先づ同人をして衛生の道を説き、傳染病の豫防並に消毒の必要なることを訓諭せしめたるに、其結果何れも起つて、専心各自の豫防消毒に従事し、暫くにして再起熱は鎮靜したり。此の時よりして彌助は深く感ずる所あり、謂らく『新平民の世人より賤まるゝは、自ら其地位を低きに置くが爲め、其行爲も甚だ下賤にして、常に正業に従事せず、悪事を働くが故なり。殊に八出山部落は、新平民より成ると雖も、中には性來の新平民ならざるものも住み居れど、目下は一類中に於ても最下

位にあるは寔に歎すべき事なり、寧ろ此の部落を去て、他に轉籍せんか、若かず、更に留つて其風俗を改良し、之を教化して良民たらしめざるべからず。萬一自己の誘導に依りて、幾多の惡徒中、二三人にても善道に導くことを得ば、社會に貢獻するの利益や鮮少なからざるべし』と。爾來一面には休日、其他部落民の集合に便利なる日を選び、部落民を自宅に集め、風俗の改良、正業の奨励に就きて自ら懇ろに之を諭し、時に或は附近なる寺院の僧侶を招きて説教を請ひ、一面には津山監獄より放免せらるゝ囚徒をば、一切引受けざるゝこととなしたるに改善も稍々其の緒に就きたり。乃ち明治卅九年に至りて一の公會堂を部落の中央に新築し、爾來毎月二回、青年の男子、並に一家の主宰者及婦女子を區別し、常に午後一時を以て残らず公會堂に會合せしめ、彌助は毎會必らず之に出席して講話をなし、又附近寺院の僧侶、村長、小學校長、駐在所巡査にも依頼して、講話をなす等専ら風教の矯正に勉めたり。

彌助は素と目に一丁字なき無學の徒にして、徴兵入隊中に軍隊教育を受けたる結果、僅かに自己の姓名を書し得るに至りたる位なれば、固より素養とてもなければ、能く事理を辨へて、言動往々先哲の諒識に適ふ。けれども其始めて視察に行きたるときに述べたる言の如き、惡徒の群を脱して他に轉籍するを止め、自ら風教の改善に勉めんと志したるか如きは、彼の二宮尊徳翁夜話の第卅九に『里

は仁をよしとす、治用して居村を仁にするを教ゆ」とある言に適ひたるものと謂ふべし。最も公其心に富み、公益の事業に向ては、自ら他に率先して盡力す。彌助には資産なきも、地方民の信用頗る厚くして、彌助の名義なるときは、或る程度までは直ちに信用借をなすことを得るが故に、部落民の貧困者にして衣食の差支あるものには、金銭米麥を貸與して一時の急を救ひ、部落内に死亡、出産等あれば、之れが爲めにも又懇切に斡旋す。されば村役場に提出する諸願届の如きも、一として彌助の手を経ざるものなしと云ふ。彌助は固より自書することを得ざれば、其代書料を自辨し、之を調製して與ふるを常とせり。斯の如くにして萬事に盡力したるが故に、部落民一同の敬服信頼する所となれり。されば部落内の青年輩なども、時々業務を怠る等の事ありとせんか、其實父母に目撃せらるゝよりも、彌助の目に觸れんことを恐るゝに至れり。此の一事を以てするも、其如何に尊敬せらるゝかを推するに足らん。殊に風俗改良の事業にも、何等か一つ中心點となすべきものを作くるの必要を感じ、部落民に誇りて公會堂を建築したるとき、経費の大部分を、寄附に仰ぎたれども、其不足額は、實に彌助の寄附せし所に係れり。其寄附金を募集するや、各戸に毎日一握の米麥を貯蓄せしめ、兒童をして之を一所に集めしめ、簡單に之を支辨し得るの方法を取りたるが爲め忽ちにして集金することを得たりと云ふ。此の如くにして今や四十七戸、貳百貳拾八の人口中、一

人の犯罪者を出すことなきに至れり。殊に常業たりし娯盜賭博罪の如きは、近年全く其跡を絶つに至れり。數年の前よりして、長期の犯罪者一人の在監者あるのみに過ぎず、風俗も大に改まりて各自其業務に勉勵し、學齡兒童の如きも、皆就學の盛況を呈し、納税の如きも每期皆納ならざるなく、清潔法の勵行、害蟲の驅除、稻田の正條植なども、皆能く地方廳の命令に服従せざるなし。拾年以前には、同村の新平民中、最も下等なりし此の部落が、反つて他の部落に秀づる上等の位置を占め、今や却て他の部落と伍するを忌むに至れり。目下勤儉貯蓄を行ひ、秋の彼岸より春の彼岸までは、毎夜夜學會を起し居れり。此の教化は忽ちにして他の部落にも及び、残り百有餘戸の部落にも、昨年十二月を以て公會堂を建築し、風俗改良の事を行ひつゝあり。其の此に至りたるは、彌助の熱心も固より與かつて力あるべく、同村長日下喜三郎氏、駐在所巡査松田愛之氏、並に小學校長の誘掖指導も亦其の宜ろしきを得たるに由れり。公會堂へは村長、巡査、小學校長は勿論、時に或は郡長、郡書記、警察署長の出席口演をも請ひ、且村に於ても村費を支出して、此會に補助金を與へ、百方

之が奨勵を加へつゝあり。(本項は遠郡の都合に依り特に講演の原稿を掲載せり)

自治と青年會

内務事務官 潮 惠之輔 君 講演

先日以來知名の方々からいろいろ有益なお話がありまして私の附け加へまする事柄も殆んどないの
てありますが暫くの間清聴を汚さうと思ひます。尙ほ豫めお願致して置くのは私の話は極く浅い極く
狭い見聞に就て其の二三をお話するのでありますから、他にもこれに類したこと又それ以上のことも
各地方にございますし、又此青年會の利用とか善導とかに就ては直接間接に御經驗ある諸君の御意
見もありませんから、それは是非私か一應お話を申上げた後で皆さんからお話を願ひたいと思ひます。
さて私か茲に御話申上げますのは、自治と青年會となつて居りまして、つまり青年團體かどうかといふ風
に活動して居るか、又青年團體に對してどういふ風に御指導を願つたらば、よからうといふ考へを申
上げて見たいと思ふのであります。

元來地方の改善とか、自治の發展とかいふことに就ては其の方法は決して一つや二つではない、澤
山あることは今更申すまでもないことであります。例へば積極的に經驗上から地方の發展を企劃する
こともよからうと思ふ、或は感化救済事業とか慈善事業とかによりまして不健全な分子を排除するこ

とも亦一つの消極的改善の方法と考へます。其他いろいろの方法がありませうけれども、要するに私は民政の根本といふものは、どうしても民育にあると考へるのてあります。勿論また日本では民育なる文字の定義が決まつて居りませぬので私のこゝで民育と申すのは學校の教育は勿論其の他各種の組織を以て人民を訓育して行くことを名づけて斯く申すのであります。而して此民育といふことは日本でも近頃やかましくなつて來て内務省でも非常に熱心に研究して居ります。すか外國では以前から非常にやましい問題になつて居ります。例へば獨逸あたりでは小學校を終つたものに對して補習的教育を授ける、其補習的教育は餘程學者なり爲政家なりの研究を積まれて居る所であつて、今日に於きましては補習教育は寧ろ義務教育にしようといふ説が學者の間に立つやうになつて來、又實際家の方に於ても各所に此義務制度を取つて居る所が段々に殖へ來るといふことであります。又英吉利佛蘭西邊にも各所に補習教育は獨逸よりは幾分遅れては居りますが、労働者の教育などに就ても、特別に大學まで組織して居るのであります。例へば英吉利にはオックスフォードにラズキン大學といふのがあります。これは職工大學であります。職工に必要な知識を授けるのであります。又巴里にも矢張り職工大學がありまして同じく労働者の訓育を目的として居ります。又亞米利加に渡つて見ますればこゝは最も公開演説の盛な所であつて、ボストンの公開演説の如きに至つては其聴講者が二萬人に近い數になる

のであります。其他大學移住事業が近年始まりましていろいろ大學の知名の先生が各地方に出られて深遠なる學理を極く通俗的に話して一般人民の啓蒙に努めて居る、元と此の事業は英吉利に起つたのであります。現に英吉利では五十幾個所の移住事業地があり、亞米利加では三十餘個所あります。其獨逸にしてもこれ等の事業には非常に熱中して居るやうであります。尙ほ民育の問題としては圖書館も盛んである。或は労働者職工の多い所では其幼兒を預けて行く幼兒保育所或は孤兒院もありますし、其他青年團體によつていろいろ活動をして居ることも澤山あるのであります。で今日私が申上けるのは即ち此の青年團體のことでありまして、先づ初めに外國に於ける青年團體はといふものがあるかを一應申上げて置きたいと思ひます。

御承知の通り外國の青年團體は矢張り基督教の宗教本位になつて居るのであります。丁度唯今から六十六年計り前てございますが、倫敦で初めて開けたものでありまして、ジョージ、ウイリヤムといふ人か當時或吳服屋の手代をして居つたのであります。ところが其當時に於ける商家の子弟若くは番頭手代の風儀が非常に悪いので其店員の一人であるウキリヤムはとうかして此等の者の風儀を改善したいといふ考へからして、自分の同僚の二三の者と謀りまして、初めて茲に青年團體を組織したのであります。其當初に於きましては會員が僅かに十二名であつてウキリヤムの二十三歳の時でありまし

た此の六十年前に出来ました青年會なるものか基となつて、今日ては各國に擴かつて居ります。現に日本なとても基督教の學生青年會が組織されて居りまして昨年東京で萬國大會を開くといふ程になつて居りますか唯今では三十二個國に互つて居るのであります。其同盟をして居る會の數は七千餘會員は八十二萬人計りになつて居るのであります。斯くの如く外國の青年會といふものも今では非常な勢力を以て萬國に擴かつて居る。さうして種類から申しますれば先づ學生青年會といふものと、市民青年會とも云つて宜しうございませうか、つまり學生以外の者との二つに分つことか出来やうと思ひます。殊に學生青年會の方では亞米利加が、最も盛でありまして、亞米利加の大學生の青年會の數は約四百にも近いのであります。市民青年會といふ方を分けて見ますれば、軍人には軍人の青年會があり、商人には商人の青年會があり、或は鐵道の方に従事するものには鐵道員に限る青年會もある。其他いろいろ職業の種類によりまして各合同して青年團體を組織して居るのであります。

然らば日本の青年會はとうてあるかといふに、これは幕府時代に於ても勿論青年團體なるものはあつたと思ひます。例へば武士の子弟には社であるとか、或は組であるとか、諸藩に出来て居つた。農商家の方々に於きましては若衆とか若連中とか又は若者連とか名こそ違つて居りますけれども、矢張り同じく青年の團體を組織して居つたのであります。けれども此日本の青年團體が其當時に於てと

ういふ働をして居つたかを尋ねますと、なる程中には何の社である或は何の組であるといつて文武を練つた所もあり、又公共の事業に關つたこともあるのであります。多くのものを見ますれば私は遺憾ながら、日本の其當時に於ける青年團體には餘り立派なものは無かつたやうに考へます。田舎に參りまして昔の青年團體の話を聞いて見ましても其當時には一定の共同宿泊所のやうなものかあつて、或は若者の宿とか寢部屋とか申して居りまして、そこで唯だ集つてコロ／＼共同宿泊をして居る、從つて酒を飲んで騒ぐ婦女に戯れる、博奕もやることになる、偶々公共の事業にても關るといへば、御祭の時に出て行つて御輿を擔ぎ廻る。堤防か損すれば偶に出て助をする位か關の山であつた、それでありますから先づ大體に於て其當時の青年團體は餘り振つたものではなかつたやうに思ひます。ところが幕府が倒れて御維新といふことになつて舊藩時代の制度はすつかり壊れてしまつた。それと同時に青年團體の如きも一時は殆んど總て破壊されたのであります。唯だ昔の悪い方の團體が少しづつ其處此處に残つていたので何等有益の事業は無かつたのであります。ところか外國の何れもさうであり、又日本の發達から考へましても民育の問題が考究されて來るに就きまして各地方に於る先覺者かとうしても健全な青年の團體を組織して、これを中心として地方の改良進歩を圖らなければ、根本的の策でないといふことを發見して追々近年に至りまして青年團體が今日の形體を以て顯はるゝことになつて參

もまた。然らば今日の青年團體の活動かとてあるか又其効果かどうあるかといふことは、
全國に至つて例を申上げる迄ありませんが、私が見聞した二三の例を茲に申上げて見たいと思ひま
す。

先づ長野縣西筑摩郡山口村の青年會でありますか、これは我々の間に於きましても最も村治上に貢
献した青年會の一つに數へられて居ります。此青年會では學事に關して會務會を折つたのであります。
こゝには二つの建物が建つてあつてこれを俱樂部と稱して居ります。其集會所には文庫なども設けて
ありまして書物は既に二千部以上集つて居ります。其俱樂部を學生は多く使はぬのでありますから、こ
れを小學校教員の住宅に無代で貸附けて居る、さうして時々そこに集つて来て、算術なり讀本なりとい
ふ先生からも數へて貰ひ、或は運動の機械を備へて置いて娛樂をもして居る、殊に學校の建築などの
際には、青年會が進んで人夫に出ましたり或は會の持つて居る基本金から寄附金を出す、或は就學の費
助なども青年會が進んでやる、或は學校の新築に就ても進んで會を折る、さういふ風に學事の方面に
貢獻したことが頗る多いのであります。尙ほ農事の改良などに就きましても其會が持つて居る桑園の
如きは、郡農會からして既に模範桑園と指定されて居る程の立派なものであります。又た耕地整理のこ
とでありますか、長野縣はまた他に比へて耕地整理が進んで居らぬ。ところが此山口村は既に村とし

て、立派に耕地整理をやつて居るのであります。これなども青年會が盡力して村の者を説き付けて、初
めて此事業か、出来たのであります。其他消防のことにしても山の中のことでありまして、少く不完全極ま
る消防組があつた、これではならぬといふので青年會員が消防組を組織し、器械も備へ付けて居る。

又神社の合併なども盡力して居ります。此の村の人も迷信に驅られて合併をすることはむづかしい
なものであります。青年會員が普請方を廻つて迷信の打破に努めた結果、立派に一村一社の實が上つた
といふことであります。此青年會は唯今では山口村の青年會といつて居りますか、元來此村は細長い村
で自然の形勢から上區と下區の二つに分れて居つたのであります。さうして青年會も相前後して西方
に抵抗して起つたのであります。それが三十八年になつてから合同して今日一つの立派なものになつ
て居ります。要するに初期組織で二つの青年會が兩方に起つたといふことは兎に角其當時の部落盛情
が相對立して居つた證據であります。今日に於ては山口村青年會其物が村の中心となりて活動する
爲に郡部の當務局に於て山口村には部落盛情はないといふて居られて頗る結構のことと考へます。

次に最近に見て参りましたもので既に二三年來名高い青年會の一つであります。それは兵庫縣御前
郡米田村の一部落に年津村といふのであります。この青年會は明治會と申して居ります。先づ其組
織を申上げて見たいと思ひます。こゝでは事業の方の組織は四部に分れて居て、第一が修養部、第二が

りました。然らば今日の青年團體の活動かとうであるか又其効果かとうであるかといふことは、況く全國に亘つて例を申上げる邊かありませぬが、私が見聞した二三の例を茲に申上げて見たいと思ひます。

先づ長野縣西筑摩郡山口村の青年會でありますか、これは我々の間に於きましても最も村治上に貢獻した青年會の一つに數へられて居ります、此青年會では學事に關して餘程骨を折つたのであります。こゝには二つの建物か建つてあつてこれを俱樂部と稱して居ります。其俱樂部所には文庫なども設けてありまして書物は既に二千部以上集つて居ります。其俱樂部を平生は多く使はぬのでありますから、これを小學校教員の住宅に無代で貸附けて居る、さうして時々そこに集つて來て、算術なり讀本なりいろいろ先生からも教へて貰ひ、或は運動の機械を備へて置いて娛樂をもして居る、殊に學校の建築などの實際には、青年會は進んで人夫に出まじたり或は會の持つて居る基本金から寄附金を出す、或は就學の督勵なども青年會か進んでやる、或は學校の經營に就ても進んで骨を折る、さういふ風に學事の方面に貢獻したことが頗る多いのであります。尙ほ農事の改良などに就きましても其會か持つて居る桑園の如きは、郡農會からして既に模範桑園と指定されて居る程の立派なものであります。又た耕地整理のことでもありますか、長野縣はまた他に比へて耕地整理か進んで居らぬ。ところが此山口村は既に村とし

て、立派に耕地整理をやつて居るのであります。これなども青年會か盡力して村の者を説き付けて、初めて此事業か出来たのであります、其他消防のことにしても山の中のことでもありますから不完全極まる消防組があつた、これではならぬといふので青年會員か消防組を組織し、器械も備へ付けて居る。又神社の合併などにも盡力して居ます、此の村の人も迷信に驅られて合併をすることはむづかしかつたてでありましたか、青年會員か皆諸方を廻つて迷信の打破に努めた結果、立派に一村一社の實か上つたといふことであります。此青年會は唯今では山口村の青年會といつて居りますか、元來此村は細長い村で自然の形勢から上區と下區の二つに分れて居つたのであります。さうして青年會も相前後して兩方に拮抗して起つたのであります。それが三十八年になつてから合同して今日一つの立派なものになつて居ります。要するに初め相繼で二つの青年會か兩方に起つたといふことは兎に角當時の部落感情か相對立して居つた證據でありますか、今日に於ては山口村青年會其物か村の中心となりて活動する爲に縣郡の當者局に於て山口村には部落感情はないといふて居られて頗る結構のことと考へます。

次は最近に見て參りましたもので既に二三年來名高い青年會の一つであります。それは兵庫縣印南郡米田村の一部落に平津村といふのがあります。こゝの青年會は明治會と申して居ります。先づ其組織を申上げて見たいと思ひます、こゝでは事業の方の組織は四部に分れて居て、第一か修養部、第二か

農業部、第三か貯金部、第四か公共部、さういふ風に仕事を分けて居ります。修養部ではとういふことをして居るかも知れません、これはこの會でもやつて居る通り矢張り毎年十月から四月頃まで農閑の時を利用して夜學をやつて居るのであります其の會員の一人であつて嘗て小學校に出たことも何もない青年か、此夜學で習つた爲に陸軍に這入りまして伍長まで進んで居る人がある、現に此人は今青年會で事務に當つて居ります。兎に角學校にも出なかつた者が軍隊に這入つて僅か三年の間に伍長に進むのは立派な成績と考へます。こゝに一つ附屬して少年部といふものがあります。少年部は其部から小學校に通つて居る小供の爲に設けたものであつて、重に學校の復習をやつてやる。學校から歸つて來て夜青年が集る時に子供も皆集つて復習をして貰ふ又運動場が設けてあつて偶には皆揃つてそこへ出て體操などをやつたり、相撲を取らせたり面白く子供を監督しながら導いて行く、それが爲に偶々少年の間に卑猥の歌か流行り或は悪い行動があつた時は青年會の方から一言それはいけないと云へばひたと止まつてしまふ。それは餘程結構のことと認めて居るといふことであります。けれども子供のことであるから又やゝ出す。さういふ時は又云はなければならぬか、青年會員か口を利ければ直に慎むので、これは面白い方法ではあるまいかと思ひます。この少年部のこととは別に此青年會に限つたこともありません。兵庫縣下では其他尚ほ一二個所見ましたか根保部の譽田村であります。こゝの内

山といふ部落の青年會でも矢張りこの少年會といふものを設けて居ります、此少年會のことをチヨツト御參考に申し上げますか、日本の青年會でやつて居る少年部は必ずしも少年が悪いことをするから矯めるといふ趣意で出來たものでないやうに思ひますか、其と動機は少し違ひますか紐育などに盛に見當俱樂部が行はれて居ます、あちらの町では子供が始終往來に澤山出て來て、通行人の妨害をする。或は人の家に石を投げることもあつて、非常に困つて居る。頻りに耶穌の教會堂の前にやつて來て大きな聲をして妨害をしたり窓を壊したりする。それで度々警察官に頼んで取締つて貰つたこともあるか、警察官が來れば蜘蛛の子を散らしたやうに逃げるか、警察官が行くと直く又やつて來る。毎晩惡戯をしてたまらぬ。ところか或る牧師の妻君か工夫を廻らして、或る晩例の通り多數やつて來た時に窓を開いて皆這入つて御出で菓子御馳走をするからといふて招いた、ところかさういふ根性の悪い子供であるので、這入つて行つたらうかつかりすると警察官でも居つて捕へられるかも知れぬ、或は擲られやせぬかと思つて這入つて來ない、ところか頻りに夫人か招いたので其中の二三の大きい奴か偵察に行つて來やうといふので這入つた、小さい奴は様子如何と外から覗いて居る、ところが捕へられるやうな様子もない、それから段々己れも這入らうといふので皆這入つた、そこで菓子を出し珈琲を出して御馳走をした、ところが其御馳走に馴れこんでしまつて、それから毎晩やつて來るが今度は別に惡戯もせ

や、教會の内に這入つて御馳走を食べる、其中に段々牧師の方でも考へて唯だ御馳走を食はせる計りでも面白くないからこれに訓育を施こしてやらうといふので昔話をするとか學校の話をするとか又善行者には褒美をやりして段々導いて行つた處が今では立派な俱樂部になつて居つて本も讀み話も聴くといふとであります。さういふのが紐育には澤山あるために幸ひ今日では子供の惡戯は極く減つたさうであります。他の洲他の國でも此制度は眞似て居る所が多くなつて來るやうであります、少年訓育と云ふ點から見ると、日本の青年會でやつて居る附屬の少年會も亦同様なものであらうと思ひます。尙ほ此の青年會で農業上のことに就きましても餘程骨を折つた、此地方は共同苗代の評判が餘程悪い、どうしても部落に行はれなかつたといふことであります。これ又青年會が自ら共同苗代をやつて見せ或は勸誘した爲め今日では部落全體に共同苗代の利益を認めて來ました、此の部落に四十町餘の田地があります、それに要する共同苗代が一町餘である、それはすつかり青年會で引受けて總ての收支計算までもやつて居ります。尙ほ唯今は此所に共同購買組合が立つて居りますが、其の肥料や農具の共同購買も矢張り青年會が始めたのであります。初めは極く評判が悪くかつたのでありますが、實際或る農具を買つて來た所が僅か五圓計りの買物で四五十錢の相違があつた、それで村の者が驚いて、かういふ利益のあることならばどうしてもやらなければならぬといふので此共同購買のことが盛になつた

といふことであります又堆積肥料の小屋などもどうしても行はれなかつたのを、矢張り青年會が説き付けて此頃ではボツ／＼推肥舎を造るやうになつたのであります。それから貯金部の仕事でありますか青年團體の貯金はとも大抵やつて居りますか、こゝでは會員の貯金のみならず、一般の部落民の貯金を青年會が取扱つて居るのであります。こゝの部落の貯金も三十七八年頃にはやつて居つたさうでありますかとういふ事情が戦争後になつてこれか中絶してしまつた、ところがこれは非常に残念なことでありますので、青年會でどうしても復興しなければならぬ。併し復興するに就ても實際貯金をする力の無いものは其實行が難いのであるから、どうかしてこれに貯金の出來る様に元資金を先つ提供してやつて貯蓄させなければならぬといふので、青年會の持つて居る廿五圓の國庫債券があつたので、それを一枚賣拂つて之を貧困な者に壹圓つゝ無利息で貸してやつた。そしてこれ先つ鳥を飼はして其雛が大きくなつたら一齊に貯金をさせやうといふことで愈々貯金を始めたのか三十八年の十月たさうであります、唯今では青年會の扱ふ貯金も八百圓計り溜つて居ります。それから集つた金で貸付をやつて居るのが別に千六百圓あります。尙ほ一つ貯金部の附屬として今年の春から販賣部といふものを設けたのであります。販賣部は村の日用品を販賣するのであります豆もあれば麥もある。魚の干物もあればランブのホヤもあるといふやうに日用品の全部を集めて居りまして、一割の利を取

つて部落民に販賣して居る。さういふことにしたので殆んど今では部落内には他に菓子屋も何もなく
なつて僅に汽車乗降客の小憩なる腰掛茶屋が一軒あるのみで部落内には飲食店もありませぬ、菓子に
しても子供が駄菓子を買ふ癖があつたのが、販賣部で賣ることになつたので餘り多く賣らない、餘り
多く買ひに來れば云ふて聞かすといふので餘程子供の風もよくなつて來たといふことであります。こ
れ等は他の青年團體でも普通やることが出来ることではないかと思ひます。最後の公共部であります
が、御承知の通り此の部落は加古川に沿ふた部落でありましてあの川は毎年二三回水が出る、其爲に
始終水を被る、それで此青年會の公共事業としては重に水防の事業であります。年々二三回位づゝは駆
け付けて水防の材料を船へ載せて行つて水害の豫防をするさうであります。殊に明治三十年の大洪水
があつた時などは非常な水害であるので到底防ぎ切れぬ。堤が切れて水が一バイになつた其の時など
は若し此水が引いた曉に部落の者が財産を流され且つ一時生業を失ふて困る者も出來るといふので堤
防の修築工事の請負は青年會にさして呉れと縣の當局者に願ふて之を引受て、それを部落の者の勞力
を使ふて修築をしたのであります。此時に青年會は多少の利益があつたのでそれを用ひて小船を一艘
作りました、其船が現に残つて居つて毎年の水防の役に立つて居るのであります。斯様な次第で今日
では其青年會が部落の中心になつて何も彼も部落の仕事は青年會が先に立ち他の者も皆それに従つて

やるので部落の爲めに及ぼした影響効果は偉大なるものであらうと考へます。

斯く申しますればいろ／＼一般の地方の行政上なり民力充實の上に、青年會が貢獻した例はまだ他
にも勿論多くあるのでありますので一々申上げる迄ありませんから略すことにしましてこれから二
三青年會でやつて居る事業に就て申上げて御參考に供したいと思ひます。

最初に申上るのは補習的の教育のことです。これは夜學であるとか、圖書館を建てるとか、或
は講演會を開くといふことであります。宮崎縣の西諸縣郡小林村の堤共志會なる青年團體でやつて居
る夜學は既に廿年から繼續して居るのであります。初めは部落民はさつぱり字も書けなければ新聞
も讀めないものであつたが、其夜學の結果として今日に於ては村に無筆のものが無いといふ、陸軍など
に這入つても始終此部落のものは成績がよいといふお褒めに預つて居るといふことであります。又夜
學も男子のみならず、女子部を設けて女子の夜學をやつて居る所があります。それは島根縣の邑智郡
日和村の櫻井校友會であります。その夜學會では男子には勿論修身國語算術、其他農事に關する簡
單なる智識を教授して居ります。女子に就ては其の外に家事の大要を授けて居つて、男女共晝間働い
て夜になると喜んで此會場を集つて來るといふことであります。圖書館を作りました例も諸所にあり
ますが、石川縣の石川郡に松戸といふ町があります、この圖書館などは青年團體員は勿論、一般に

向つて餘程貢獻したことが大なるものと思ひます。書物の数はまだ三百位でありますが毎月三日の日と八の日に圖書館を開きまして會員は勿論、町村民一般に閲覧を許して居るのであります。尚ほ同縣羽咋郡羽咋町の青年會であります。その圖書館は書物の部数がいつても既に三千冊を越へて居る。さうして此圖書館の起りが面白い、町で戦役記念の山林を造營する際に其人夫を青年會ですつかり引受けて、其人夫賃と有志の寄附金とで今日の圖書館を建て、現にそれだけの書籍が集つて居るのであります。

風紀の改善とか矯正に就ては勿論青年會の重要な目的であります、これをやるに就てはいろいろ變つた方法を執つた所もあります。奈良縣宇多郡三本松村に大野といふ部落があります。そこは極く山の中の小さい所ではあります、何分大和の方から伊賀に通ふ伊賀街道の要衝に當つて居るので諸國から商賈人労働者が切りに這入り込む、従つて其地方の者も化せられて酒を飲み博奕を打つことが流行して青年も之に感染し賭博飲酒に耽ける、ところがこゝに青年會が出来てから青年會の重なるものが部落内を巡回して、青年で博奕を打ち酒にでも酔つて居るものがありはしないかと監督視察して居る、其外尚ほ密告箱を置いて誰れでもよいから若し青年で此等の行為のあつたものは密告すること出来る。さういふ手段を執つたが爲に今日では若者で酒を飲み過ぎたり或は博奕を打つものは皆無

と云つてもよい、従つて部落全般の風儀もこれが爲に改まつたといふことであります。又京都府加佐郡に二俣といふ所があります。附近は何んでも伊勢の大廟の元であるといふ傳説があつて元伊勢といふ所があり内宮外宮のお宮がある。二俣は其中間に挟まつて居つて其邊の俗謡にもうたはれて居る程博奕が流行つた。ところがこゝの二三の青年の者が率先して先づ第一に博奕を禁じなければならぬ、それが爲には突然大勢の青年を集めて規約を結んでも駄目だからまづ同志を始めやうといふので十六人の者が堅い規約を結んで青年會を組織しました、そして他の青年が集つて來やうとしても充分調査して少しでもいけないと、今少し修業を積んで來いといふ風で充分に撲むことにしてやつたので今では二俣の青年は全部這入つて居るか組織の根底から堅めて行つたのですから非常に堅固なものであります。これなどは風儀の改善のみならず、青年會を組織するに就て餘程參考になる方ではないか、と思ひます、則ち僅かの人間から段々積み上げて堅いものを作ることは有利の方法の一つと思ひます。尚ほ武術を講じて青年の氣風を直したといふ所もいくつもありますが、福岡縣八女郡の邊春村の擊劍會のことを申すならば、此地方は矢張り青年の間に女に戯れ酒を飲む風が盛であるのみならず、昔から擊劍の大勢流行つた所で淫風に加ふるに蠻風が盛であつた、ところが此弊風を矯正したいと云ふので村長が發起して擊劍會を起した、擊劍を教へ武道の本旨に従つて改めて行かうといふのでありました、初

めはさうでなくとも随分亂暴計りやつて居るのに、擧銀會を組織してやつたらどうであらうと危ぶんだ者も多かつたのですが、此會では若し武道の本旨に違ふものがあつたら矢張り武道の法に従つて破門するといふ嚴重な制裁を行つて行くことになつて居ります、さういふことから段々風儀が良い方に傾いて來まして或る晩若者が擧銀會員を試してやらうといふので間に乘じて喧嘩を吹き掛けた所が一向應じない、こいつはいかぬといふので又一度やつたがどうしても相手にしない、其事が村に聴へた所が非常な美談となつて、これならば擧銀會も確であるといふ信用を一層高めまして、今日では父兄が皆自分の子弟を其會に入れて貰ふことを以て光榮として居るまでに進んで來たのであります。

尙ほ青年會の事業として勤儉貯蓄のことがあります。これに就ては最も複雑の方法を用ひては居るが而かもよく行つて居るのは静岡縣榛原郡吉田村の片岡青年會であります。勿論會員が隨意に貯蓄するの分は制限はありませんが、隨意貯蓄に對して義務貯蓄の方法を設けて毎月一人に付て五錢以上又五錢持つて來られない者は五錢に相當するだけの繩を持つて來いといふことになつて居る。それに加ふるに毎月一回矢張り役員と其他の青年と別々ではありますが茶話會を一回づゝ兩方でやる、其茶話會の時には五錢持寄て貯金をする。又禁煙部といふものを拵へて其方では役員と會員が別に毎月五錢つゝ積んで居る。其外子供の普通教育を終へさせる爲に子女教育獎勵部といふので矢張り貯金をして

居る。又資産を作らねばならぬといふので資産講といふものを作つて居る、其は一口三十八で十一個年で六十圓の落札になつて居る、偶々籤に當つたものも田地を買ふとか家を買ふとか苟も資産に代るものでなければ其六十圓の金は渡さないで、會で保管して利殖して居るのであります。今日ではそれ等の金を集めると四千圓以上になつて居ります。貯金をする方法に就て面白い所は奈良縣の磯城郡阿部村の青年會でありますが其方法としまして一反歩計りの田地を青年會で借入れましてこれを七つの部に分けまして各員の増當にして就作させて居ります。そして其田地にはこゝはどれだけ收穫があるべきものであるといふ標準額を決めて置きまして、毎年二回つゝ作物の審査をする。其際に標準額以上に取れた分はそこを受持つて居つた青年の積立の資として與へるのであります。又貯金額の巨額に上つて居る熊本縣菊地郡の隈府町の貯蓄會は明治廿八年頃からやつて居るのでありますが、一日五厘を積立て、これを五日毎に取立員が纏めて理事の手に渡す而して理事が確實に保管の責に任じて居る、三四年前の調で既に一萬二千圓程に達して居りました。

展覽會を御覽になつた方は定めて御目に止まつたでありませうが埼玉縣児玉郡の松久村に攻玉會といふのがあります。其會の旗と笠が出て居りました、これは秩序ある力行の美風を養ふといふ精神から會員が共同作業に當る時は旗を立て一定の笠を被つて秩序整然としてやつて居るのであります。又力

行といふことに就ては見玉郡は餘程熱心で秋平村に勞働組合といふものがあります。そこでは矢張り道路の修繕、井堰の改修其他公共の事業は勿論一個人の事業でも勞力を要することは青年がすつかり引受けて一致共同でやります。どここの村に行つても百姓の子はよく塊つて働きますが、金のある家の子は兎角勞働を厭ふ。それではいけぬから此の勞働組合では貧富に係はらず皆組合員にして共同作業に従事する。從て勞働神聖の思想を養ふに餘程効力あるようであります。

青年會が進んで産業上の研究をしたり又其の改良に盡力して効果の現はれて居る所もあります。千葉縣長生郡の一の宮町の青年會は、舊藩主たる加納子爵官唱して作られたもので、僅か昨年二月頃から出來て居るのであります。そこには桃、葡萄の類を始めとし柑橘もありますし蔬菜、苺等もある。ては立派な畑が一町歩計りある。そこには桃、葡萄の類を始めとし柑橘もありますし蔬菜、苺等もある。其他苗圃まで設けてある、又花壇があつて花も造つて居る。其外試作場の一隅では養鶏もやつて居り兎も飼ひ豚も飼つて、居る此等總てか秩序整然として試作地を飾つて居ります。又山林は二十丁歩計りの町有林を借受けてこれに既に六萬本計りの松と杉の植付が終つて四五十年の先には立派な森林になる計畫になつて居ります。又溜池がありましてそこで鯉鰻を放つて養魚を試みて居ます現に鯉の如きも昨年八萬疋も放つて大きくなつて居る。兎に角共同の財産を作つて皆共に樂まなければならぬといふの

て、殖林とか農園等に苦心されて居るやうであります。又一宮青年自助會なるものもあつて貯蓄をして居りますが、他日町の信用組合員となる基礎たり又其素養を與ふる組織になつて居ります。又地方の産業改良に實際効果があつたといふのは宮城縣宮城郡多賀城村では二毛作のことも正條植のことも短冊苗代のことも一向評判が悪い、ところがこれ又青年會が盡力した結果として今日では殆んど皆其制度を採ることになつたのであります。而して此等の例はなほ多々あるのであります。

尙ほ其外に特殊の仕事として或は水防の事業に従事するとか、或は火防の事業に従事するとか時には善行者の表彰をもしたり又戦役の際には各種の後援事業に盡力した青年會の仕事は連もこゝに挙げ切れない。此等は内務省の印刷物で御覽を願ひたいと存じますが大體に於て此頃の青年會の景況を見ますに段々系統的になつて來る様な傾向が見られるのであります。つまり或る部落の青年會の上に村の青年會が出來、又町の青年會も出來る而して町村青年會の上には更に郡の青年會が出來ると云ふやうに段々と組織立つて來るやうであると思ひます。例へば山形縣の西置賜郡の農事協會と云のは各町村の青年團體を統轄して居るのであります。例へば山形縣の西置賜郡の農事協會で議決をした後であるから地方の農事非常に統一的行はれるのであります。又兵庫縣などは餘程青年會の發達した所で郡には郡青年會が出來て居つて郡長或は郡視學が會長になつて各團體の連絡を圖つて居りま

す殊に沖繩縣にもさういふ組織が出来て居ります。其島尻郡には戦役紀念として青年團體が起りましたが、則ち村青年會間切青年會其上に郡青年會があつて間切の方には村の青年會から代表員を出して協力をさせ又郡の青年會には間切の代表者が出て来る外には尙ほ會長たる人が指定した郡に特別の關係を有つて居る人を會員として居る、さういふ風に段々系統がついて来る傾があつて益々地方に於ける大勢力とならうと思ひます。併ながら今日皆さんから御注意を願ひたいのは、なる程今日の青年會は活動もして居る又組織も大變立派になりつゝあるが、今日世話をして居る郡町村の當局者若くは篤志の會も少なからぬやうに見へる。又戦時などには大變活動したが今日に於ては殆んどあるかないか分らぬといふ青年會も大分見受けるのであります。御承知の通り青年會を組織するに就ても青年の自發に出たものもあり又他動的に出たのも多いのであります。又此等の内にも少數の青年から固めて行つて大きくなつたのと或はいきなり規約を設けて此部落の青年は全部入會する義務があるとやつた青年會といろ／＼ありますが、少數より始まつて漸次大規模になつたものは比較的鞏固なものが多くやうでありますが、いさなり包括的に始めたものは特に將來注意しないと往々にして不結果を生じやまいとかいふ心配もあるのであります。これに付ては直接間接に指導をなさる諸君に於かれまして充分に御注

意を願ひたいと存じます。兎に角何れの青年團體に對してもまだ十分の注意を拂はねばならぬ時だと考へて居ります。尙ほ私が諸處廻りまして考へることは青年の娛樂といふことであります。何處の青年團體も夜學とか圖書館とか或は勤儉貯蓄産業の改良等に就てはやかましく云つて居りますが、娛樂といふことに就てはまだ研究が足りないではなからうかと思ひます。水戸烈公の偕樂園記にもある通り馬に一思なくんば則ち必ず羣る弓に一弛なくんば則ち必ず挽むで殊に血氣盛んな青年でありますから全く堅くるしきこと計り言つてはいけない、なる程青年に向つて勤儉貯蓄をしる學問の勉強をしろと言ふそれ計りで泳らへ得る青年もないではありますまいが、それは一般を率ふる道ではなからうと思ひます。どうしても時に息を抜かさなければならぬ。獨逸などでも娛樂問題が非常にやかましくなつて居りましてドレスデンで福利協會といふものが初めて起りて或は時代劇をやつて見せる或は談話を開く、或は雑誌を見せるといろ／＼の娛樂の方法を研究して居ります。これが爲に現に普魯西の内務大臣は其娛樂が地方の人民に非常に効果あることを悟りまして地方官に訓令を發して其報告を求めて居ります。我が内務省に於きましても近頃此問題に就ては切りに研究して居らるゝのであります。要するに私は娛樂問題と云ふ事は青年會のみならず町村にしても都市にしても餘程研究の價值ある問題と思つて居りまして諸君に於かれども此の點に關しては充分御研究を願ひたいと考へて居るのであ

ります。尙ほ一の心付いて居りますことは青年團體の仕事も都市農村各其地の状況に依つて其趣を異にします。尙ほ一の心付いて居りますことは青年團體の仕事も都市農村各其地の状況に依つて其趣を異にするは當然の事であつて、決して各地劃一を期するの必要はなく各自適切なものを選んで行ふ方が宜しいと考へるのでありますが往々にして自分の方で他所の青年會のやうに農業の試作も出來ず、木を植ふる譯にも行かぬといふて非常に落膽して居られる方もあるやうであります。例へくには當らぬ譯で村は村で相應の仕事をするばよい、町は町で相應の仕事があらうと思ひます。例へば青森縣の八の戸町の青年會などは別に農事の研究をやる譯でもありませんが、皆青年會員が學校の歸りに本部へ寄つてそこで復習をして歸つて行く、或は多少商業上の知識を得るやうに組織して居る、それで其地方に於ける青年の修養として一つの効果は立派にあると思ふ。強て町と村と都市と一緒にならうといふ必要はないと考へます。

最後に青年團體の關係者に關する注意が最も必要ではありますまいか、なる程其御世話の結果として立派な青年會が出來た所で其本職の方はどうである。例へば學校の先生にすれば其先生の預つて居る學校の子供の訓育はどうであるか或は視學が従事して居る郡の教育事務が擧つて居るかを見ます。に幸にして青年會の方は非常に働くが學校の方は暫く御留守だといふのが残念ながら所々にあるやうに見受けまゝ、これは青年會のことは是非世話をして戴かなければならぬが本職をそつち除けては其

の方面に缺陷が出来るから大に困ると思ひます。

以上述べました事は私が二三の府縣に就て見聞した事に就て申上た次第であります。此の上どうか有志のお方から青年團體に就ては實驗談なり又御意見なりを拜聴致したいと思ひまして私は壇を降ることゝ致します。

農事改良の要項

農務局長 下 岡 忠 治 君 講 演

第一 緒 言

私の御話をする事項は、大分廣汎に亘つて居りまして、従つて二時間や三時間では大要のことを申盡すことが到底出来ませぬ。極く大體の事だけを軀足的にお話致します故其御積りで御聞取りを願ひます。従つて筆記をなさるといふこともやり難いだらうと思ひます。

先づ農事改良要項といふことに就てお話をする前提として日本の現在の農業の状態及び將來の豫想といふことに就て大體のことを申して置きます。

御承知の通り日本の農業といふものは二千五百年前から自然に發達して來て居るものでございます。餘程總ての事に於て比較的進んで來て居るのでございます。現在の日本の農産物が日本の經濟上に於てどの位の位置を占めて居るかといふに略ぼ諸君の御推察の通り大體からいひますれば日本の總生産物の三分の二を占めて居るといふことの推定は誤りないかと思ひます。統計が甚だ精密でないものでございますから日本の農産物の總收入がどの位あるかといふことは随分苦心して調べて居ります。

けれどもそれは分り難い。各種の材料から綜合した所では約十四億圓位の収入が一年に在るといふことと誤りに近いだらうとの見込が付いて居ります。其十四億圓といふのは日本の總生産の約三分の二位に當るだらうといふことを推定し得るのでございます。随分日本の農業といふものは世界の各國に於ける農事狀態に比べると集約になつて居るのは事實でございます。日本位農業の集約になつて居る國は世界に少いのでございます。随つて日本は土地が狭いから將來農事上餘り發達する餘地がないかといふ掛念を多く抱く人もありますけれどもまだ／＼之から先に隨分進歩發達する餘地が多いのであります。勿論小さな國でございますからいつまでも島國に居るといふ譯けには參りますまいから海外に發展するといふこと即ち商業なり工業なり移民拓殖の事業なりに力を盡すといふは必要であるに違いないけれども、農業の發達上餘地少なからずといふ以上は此方面に於ても大に進んで行かなければならぬといふことは私の大に望む所でございます。それで其發達の餘地即ち將來の見込といふものをカイ摘んで申します、之は見込でありますから果して見込通り行くや否やは分りませぬけれども少くとも日本の農業が先づどの位まで行くかといふ一つの的でございます。

第一に米でありますが、御承知の通り日本の農業產物の中で重なるものは米である、其米が現在水田二百八十二萬町歩ある。それが統計面に現はれて居る數である。收穫の割合は一反平均一石九斗七

升しかありません。これは統計上に現はれて居る收穫歩合でありますが、チヨット之より一割多く一石五斗七升の一割増を實收額と推定せば一石七斗三升七合といふものが平均としての收穫である、今各般の事情其他いろ／＼の點から推定を下して一反で平均二石取ることが出来ることとして——勿論三石も四石も五石も取る處もありますが——これを綜合して二石を取るといふことは間違なからう。各種の栽培の方法なり各種の獎勵方法を行つたならば、それ位までに上せることの出来ることはいふことは斷定して誤らない所であります。其の外陸田八萬町歩ありますが、此陸田の方は現在平均九斗位取つて居りますが、これは一石位取れぬことではないだらうと思ひます。右收穫歩合増加の外耕地整理に依る増歩田とか地目變換をすとか又は各種の開墾事業をやるといふことにしましたならば之から先廿年なり三十年なりの間に於ては現在統計上四千五百萬石であるが、實收額を其一割増と見るも四千九百五十萬石に過ぎない。將來は之れを六千五百萬石位にする分はむづかしいことがない。勉強すれば確かにそれ以上にすることが出来ると思ひます。詳しいことは追て精密なる者を拵へて世間に發表することが出来ると思ひますから大ザツバを申せば斯様でございます。

第二は麥でございます。麥は現在耕して居る大麥小麥裸麥等をよせれば百八十八萬町歩ある割合にな

つて居る。而してこれによつて約二千萬石毎年平均に取れて居る。麥といふものは肥料のやり方耕作の

如何によつてモツ少し手を入れたならば現在の收穫の二割の増收を得るといふことは難くはない。これはモツト得られる見込はあるけれども先づ二割の増收を得るといふことは技術上からも普通の目から見ても間違ないだらうと思ひます。其外二毛作をやつて居らぬ所が非常に多い。二毛作をやるやうにしたらば更に五十萬町歩を得らるゝと思ひます。其他開墾によつて出来る畑地の麥作を見込んで將來一三十年後に於ては一千三百萬石位は増收の見込がある現在の二千萬石に對して一千三百萬石の増收です。から三千三百萬石の收入を得るといふことは出来るに相違ないと信ずる、勿論推定であります。

第三は蠶絲業、御承知の通り日本の蠶絲は世界市場に於ける生糸の約三割を供給して居ります。日本に於ける蠶絲を成し得る處の餘地はまだ非常に多い、これは多々益々辨ずる方で桑園を改良し蠶業の現在の遣り方を改良したならば、まだいくらでも發達する見込があると思ひます。併し海外に於ける需要供給を考へなければ唯だやたらに蠶絲々々といつた所が仕方がない。買手がなければいくら拵へた所が仕方がない、隨つて日本の將來の蠶絲業に就ては世界の大勢を考へなければならぬ。世界市場に於ける生糸の需要供給如何といふことであります。此點に於ては日本の貿易の最も大なる位置を占めて居るものでありますから政府に於ても大に注意して居りますが、段々世の中が進むに隨ひ人間が奢侈に趣き従つて生糸に對する世界の需要は非常なる勢によつて進む。其増加率が年々益々高くな

つて行く状況であります。世界の人が益々文明の域に進んで來るに隨つて贅澤になつて來るから總てよい物を好む。生糸の如きものに於ても益々よい物を好むやうになるといふことは、當然のことである。併し人造絹糸が大分盛んになつて來る又一方から考へますれば、支那の生糸も恐るべきものである。此等は何れも日本生糸の需要率の増嵩を抑制するものなればさういふ各般に就て綜合を下して見ますれば大體既往に於ける増加率と同じく増加して行くと思つて世界の生糸市場に生産過剰に陥るといふことの心配はないと斷言して差支なからうと思ひます。現時の蠶絲收蒔高は統計面では三百四十萬石となつて居る、先づ此一割増を以て實收高と見れば三百七十四萬石でありますが、前述の増加率を以て進むものとせば、十ヶ年先きには五百五十萬石の收蒔がある割合となる、即ち一年平均十七萬五千石位づゝは殖へて行つても差支ないだらう。實際は尙一層供給高を増しても差支なからうと云ふ考もありますけれども、最も内輪に見積つて見て前申した増收と見れば間違なからうと思ひます。兎に角桑園改良蠶絲の奨励といふことに就ては各地方に於ては大に之れが普及に務めて居りますが、これは今日の程度に於て進んで行つたならば多少の波瀾があるかも知りませぬけれども大體需要供給の關係に於て先づ心配がないといふことの斷定を下して居ります。

第四は畜産であります。

馬の事は馬政局の方でやることで主管外でありますから申さぬ方がよいと

思ひます。これは控へて牛の事を重に申しますが、我國の畜産はまだ幼稚であることは申すまでもない。それは各種の原因があるかも知れませぬが、先づ數だけ申せば馬は現在百五十萬頭、牛が百二十萬頭しか在りませぬ。どうしても日本の將來の畜産業を發達さすに就ては牛の數を殖やすといふことは最も必要のことである。人口千人に對して日本は廿五頭の割合である。外國では多きは七百頭少きも三百頭内外の割合である。外國の例に照して見ても、土地が狭いから發達せぬといふことはない。牛馬の頭數を殖すといふことは出來ぬことはない、土地の廣い程よいやうではありますが、やりよふに依つては土地が狭くても畜産業は漸時發達の出來ぬことはない。瑞西や丁抹は極く小さい國であるが非常に畜産の數が多い畜産業を發達させる上に就ては單純の乳用又は食肉といふだけではいかぬ。農業と關係ある所の乳、肉、耕の三目的を以て發達させなければならぬ。此畜産に就て將來どの位に進めるかといふやうなことは各種の經濟上から考へなければならませぬから略はこれ位といふ見當が付難いのであります。それで今どの位まで進め得るといふ事は豫想しにくい。多少調べたものもありますけれどもそれは申上る譯に參りませぬ。唯だ日本の畜産上牛といふ物に就て將來優良なる牛を生せしめると同時に一方には頭數を殖し千人廿五頭の平均では仕方ないから大に頭數を殖やすといふことが必要であらうと思ひます。又盡せば大に増加する見込みもあると思ひます。之に就き一番關係の深いのは

牛耕の普及獎勵といふ問題である。近頃牛馬耕といふことは廣がつて來ましたけれども全國で牛馬耕をやつて居るのは尙一部分に過ぎない。これから先又開墾の出來る場所も澤山ありますから此開墾豫定地やら現に牛馬耕を行はざる土地を合せて計算して見ると將來に於ては大約三百五十萬町歩の人力耕地を有つて居る、地方に依つては農業經營上種々の關係に依り牛馬耕を行ひ難き場所も多いでありませうが、此三百五十萬町歩の三分の一丈牛馬耕をやるとしても假りに一町歩一頭と見た所が百萬頭の牛が必要といふことになる。これは單純に牛耕を普及せしむるといふ考から打算したのであるが、其他いろいろに經濟上からも割出さなければならず従つて農業に使ふ牛といふものはモット殖して行く必要ありといふことになると思ひます。一方からいひますれば畜産を發達せしむれば肥も従つて餘計に出來る。肥料問題といふことは農業經營上大切な事です、牛馬の上から生ずる所の肥料といふことにしますれば牛の經濟も取れるやうになる。又農家の副業として乳及其他の製造品を拵へるといふことにしますれば牛の經濟も取れるやうになる。従つて牛の頭數を殖やすといふことは畜産上最も必要なることであります。乳產物製造に就ては後に申します。

第五は豆類、これは一年に五千萬圓づゝ出來て居る。これは二毛作の爲にも勢力分配の上に於ても日本では豆類の栽培といふことは非常に有利にして且つ餘地の多き作物である。其他地方々々で違ひ

ますが重要農産物中で茶がある、茶といふものはナカ／＼侮ることが出来ぬものである。日本の茶といふものは大變先の見込のないやうに申すものもありますけれども農産物で一千萬圓を輸出するといふものは外に少ない。故に茶の耕作といふことは敢て悲觀すべきものでないと思ひます。砂糖の如きは臺灣に關係したことで内地にては大島沖繩等の外餘り關係が有りませぬからこれは省略します。又園藝作物は近頃流行つて來ましたが、これ等も三百五十萬圓も海外に輸出するといふことは非常の優勢である。園藝家は將來日本の園藝作物といふものの輸出に就て力を盡すといふことは非常によいことである、これはどの位といふ見込は付きませぬが、やりやう次第ではいくらにても擴張し得ることが出来ます。其他特殊作物茶、畜業といふやうな各種のものを拾ひ上げますれば農業上の將來の餘地といふものは或人が悲觀する如きものに非ずして前途非常に有望である。勉強次第ではいくらでも金を儲けることが出来るといふことを先づ諸君の頭の上に置いて貰ひたい。

第二 普通農事

これから愈々本論に移りまして農事改良の要項といふことの極く大ザツバのことを申します。先づ普通農事のこと就て申します。普通農事の中で改良事項といふものは非常に多いのでございます。

一々申す譯には行きませぬから自分の考へて居る大切な事と思ふことについて數項目を上げて御參考に供します。

(イ) 耕地整理

耕地整理といへば唯だ畦畔を真直にしたり、道路を布き直したりするのを耕地整理のやうに考へて居るけれども事實はさうでない。耕地整理といふ文字には成つて居りますけれども土地改良といふ意味であります。耕地整理に依つて畦畔其の他捨てゝ居る土地の増歩田百分の三を儲けるといふだけならば大した儲けでない。唯だそれだけの爲に耕地整理をやるといふならば余り大したことがない。これは矢張り水利組合の如く耕地整理と雖も灌溉なり排水なり其他區劃を改良して勞力を節減する方法、共同に依つて諸種の作業をなし得る方法にするといふのが耕地整理の眼目である。唯だ區劃形狀の變更、道路畦畔の變更とかいふことをするだけならば大した事が無い、政府は明治三十二年に耕地整理法を出して以來最早十年も経て居りますが、現在出來て居るのは十萬町歩、出來つゝあるのは二萬五千町歩合せて十二萬五千町歩といふものは昨年十二月の調べてあります。豫定はどの位あるかといふ事は精密に調べなければならぬことで慥かに言ふことは出来ませぬが、先づ府縣から調べ出した處によると北海道を除いて百六十萬町歩が現在日本の耕地整理の豫定面積になつて居る。十二萬五千

町歩は出来つゝ、ありますから残る百五十萬町歩に近い物はこれから先やつて行かなければならぬ豫定になつて居ります。先づ農商務省の考へて居る所では之れを一年平均五萬町歩やつて行くと三十ヶ年に出来る、三十ヶ年にそれ位のものをやつて然るべきことと思ひます。これも各種の關係もありますから其通り出来るかどうか分りませぬが大體の見込は斯の通りである。其外開墾といふことも改正耕地整理法でやることになつて居ります。さて開墾といふものはどういふ豫定が付いて居るかといへば極内輪に見積り内地及北海道を合せて將來百萬町歩位の開墾といふものが出来る豫定であります、其中で四分の一、廿五萬町歩は田、七十五萬町歩は畑といふ見込です。此推定は決して誇大なる推定でないと思ひます。惟ふに開墾といふ事は水害のことやら山林の盜伐の害堤防破壊といふやうなことが多から無暗に傾斜地を開墾するといふことは考へ物だ。群馬縣、山梨縣の如きは傾斜地を開墾し過ぎてそれが爲に下流の側の耕地といふものは随分迷惑を蒙るといふことの訴へもあります。要するに極度の開墾といふことは全般の上から注意を要することであるけれども日本の各地に存在して居る荒蕪地を開墾する。又北海道の開墾の出来て居らぬ所を開墾するとして、開墾見込地百萬町歩の中水田廿五萬町歩、畑地七十五萬町歩を得る位のこの見込が立つだらう。これを一年に三萬三千町歩づゝやるとすれば三十年かゝることになる。これも各種の狀況から割出さなければならませぬから豫定地

り行くかどうか分りませぬが、凡その見込を付ければ先づそんなものであります。即ち普通の耕地整理を行ひ得る土地百五十萬町歩、開墾の豫定地百萬町歩といふ位のことは出来ることと思ひます。耕地整理事業就中灌漑排水工事といふことは非常に成績のよい事である。多少失敗したものもござい

ますけれども、技術上當を得て居ることです。先づ好結果を得て居るのである。殊に水の足らぬやうな處又は濕田等に就ては一日も早く耕地整理の應用によつて之から力を盡して戴きたい、水利組合法によつてやつてもよろしいが、耕地整理法によつてやつてもよろしい、耕地整理法によつてやる方が利益の點もありますから、それらの點は地方に於て段々耕地整理の應用に力を盡されんことを望みます。

廿五議會に於て現行耕地整理法は改正になりましたが改正の要項を極くカイ摘んで茲に申し上げます。第一に改正の要點といふのは耕地整理事業の範圍を廣めたことであります。前申しました通り地目の變換、田畑の開墾等は耕地整理法の上よりは出来なかつた。それを今度法律を變へまして既耕地を整理するのも一目的であるけれども何もない荒蕪地を開墾するのも生産を殖す上に於て必要であるから整理の特典を與へる。即ち開墾といふことのみを目的として耕地整理法に依れることとした。又地目變換の如き畑を田地にするといふことも良いことである。これも一つの目的としてやられるがよい。即ち灌漑排水其他新たに開墾をし、地目變換をするといふことも耕地整理法の範圍に入れ尙整

理後の工作物の維持管理をも整理事業と看做し、整理事業といふことの意義を廣めたから地方に取りては此改正は全程利益を與へることと思ひます。第二は權利義務の主體を明にするため耕地整理組合を設けしめ之に法人格を與へたのである、それから第三は手續きを簡易にするためにやつたので、中央政府に於ては餘り認可とかイロ／＼の手續を面倒にせず地方に任すといふことで地方廳でやつて貰ふ。隨つて地方廳の責任があると同時に手續が簡易になりました。従つて耕地整理をするには非常に便宜を得ることと思ひます。耕地整理法の大體の改正の要點は此の三つである。其他各種の點に於ての細かなことは申しませぬが、要するに耕地整理といふことは單に畦畔道路等を整理する計りでない。他の農事改良と同じやうに耕地整理の應用といふことは地方に關係の最も密なるものでありますから、農事改良の意味から着々やられんことを望みます。農事改良といふことの土臺は地面を改良するといふことにあるので其邊は餘程力を盡して貰ひたい。

耕地整理法を實行される上に於て尙注意して貰ひたいことを二・申しますが、第一は開墾の奨励である。既耕地の整理よりより多く荒蕪地を開墾してそれを相當に利用して行くことに就て大に力を盡して欲しい。即ち水害とか灌漑の關係とかいふ影響の少ない見込の付く土地に就て大に開墾を奨励して貰ひたい。第二は耕地整理法は固と政府の出しました改正案の中には從來の通り整理區域内に於て三

分の二の同意あつた後に整理するといふのであつたが、それを衆議院では二分の一といふことに修正した二分の一に同意するものが多くて遂に成立することになりましたが元々政府の三分の二といふのは整理事業は一般農民に直接影響することが多いから押し付がましくてはいかぬ。少くとも三分の二の同意を得なければ後で苦情が起つては困る。整理事業は始め起す際は充分同意を得ることが必要であらうといふことから三分の二として出しましたが御存じの通り衆議院に於て二分の一にして貰ひたいといふ修正案が出まして政府もこれに同意を致すことになりました、所が既往の例によつて見ましても兎角不同意者を強制して耕地整理を行ひたるときには事業が滑かに行かぬ、一體かといふ事業をやるには二分一以上の同意があるならばよいと書いてあつても之を實行するに就てはなるべく多數の同意をさせることが必要である。なるべく一致してやるといふことでなければ後で苦情が起きて困る。苦情が起れば各般の事に故障が起つて仕事が行かず費用計り餘計かゝるといふことになりますから二分の一以上の同意といふ事に法律が認めて居りますけれどもなるべく多數の者が認めた上でやるといふことにして戴きたい。全く押付けてやるといふことになれば遂には失敗に終りますからなるべく一致でやるといふことにしたい。第三には兎角耕地整理をやると費用が入つて仕方がない。事業の費用に使ふのでなくして事務上に使ふ費用が多くて困る。これは最も耕地整理事業に關する人或は之を監

督する人が充分に注意をしてなるべく節約せしむるやうにしたい。能く委員などが寄り合つて實に詰るらぬ雜費が要つて困るといふ弊がありますからどうか雜費省略といふことを講じて戴きたい。第四は大區域の耕地整理といふことも考へ物だ、水利の關係排水の關係とか各種の事情によつては二千町歩も三千町歩も必要でありませうが、併しながらさういふ關係を離れては脈絡上どうしても離るべからざる關係を有つて居らぬ以上は大區域の耕地整理といふことは先づ考物であります、悉く小區域になさうといふ意味ではありませぬが大區域の者は動もすれば政治問題の餌となつて甲地方と乙地方との争が起つて來ますから餘り大區域に重きを置かずしてやつて貰ひたい。第五は技術上の點であります。これは諸君の直接の責めでありませぬが耕地整理で失敗した耕地整理はいかぬといふことは往々あります。一端を以て全豹を推し、やり損つて居る例を以て耕地整理はいかぬといふことを言ひますがそれは大なる間違であります。それは失敗して居る例は大抵技術上の誤りから來るのであります。惡い土を表面に置いて良き土を下にやるから二三年は一向何も上らぬといふやうなことがある、其他各般のことに於て技術上缺けることがあれば失敗のあるといふことは申すまでもない。耕地整理といふことに就て注意を拂はなければならぬのは、技術者を選ぶといふことであります、唯素人の監督の眼を以て見るといふ譯には參りませぬから技術上の間違のないことに行くといい事に地方の諸君は注

意をしなければならぬことであらうと思ひます。第六としてモウ一つ特に注意を望む處のものは整理後の後始末である、折角整理はしたが、打ちやつて整理した甲斐がないといふ所が澤山ある。それのみならず耕地整理事業をやる以上は牛馬耕の普及は勿論其後は充分共同の作業が出来るやうにして蟲害の除却をやるとか、撰種の共同とか稲苗代の共同をやるとか耕地整理をやつた以上は成るべく農事改良事項をやるといふことにしなければ耕地整理事業の本來の目的に背反せるものといはねばならぬ。整理をやつても後はお構ひなしで今までの通りにやつて居ると言ふことでは目的の大半は無駄にすることになります。整理後の利用の方法といふことは大に注意をしなければなりません。甚しきは折角整理しても新溝渠を浚渫せずに置く、惡水も元の儘にして置き、殆んど何の爲に整理したのか分らぬといふ所があります。それは整理其物の悪いのではなく管理方法が悪いからでございます。耕地整理をやつて農事改良をするといふことは耕地整理後の利用といふことに存するので此點は大に氣を付けて貰ひたいのであります。

(ロ) 肥料

次に改良事項中重要なものは肥料のことであり、肥料の分量、及び土質に適合して居る所の肥料をやるといふことが出来ると否とは日本の農産上に大關係があるから肥料といふことには農事改良

上最も着眼して研究しなければならぬこととございます。現在日本の販賣肥料の大體の計數で七千萬圓に爲つて居る。實際は統計以上のものと思ひますが、統計の上で七千萬圓ある。其中で油糟類、大豆糟は二千五百萬圓、種糟は六百萬圓合計約三千萬圓といふものになつて居るから約四割三步を占めて居るものは油糟類であります。近頃人造肥料は大に流行し約二千萬圓ある。古來よりの肥料たる魚肥——鰾は一千二百萬圓米糠は五百萬圓其他各種の肥料は三百萬圓即ち販賣肥料合計七千萬圓である。元は此鰾といふものが肥料の最も重要な位置を占めて居つたものでございますが、今日にては農家肥料の種類は右の通り變つて來たのである。此外に人糞肥料なり堆肥なり綠肥なりを合せますれば農業上に使ふ肥料は随分大きなものでございます。計數は明でありませぬけれども専門家の計算によると二億圓近くは使つて居るだらう、十四億の農産物を得るには二億圓は其肥料に使つて居るだらうと申しします。一反平均三圓要るものと計算をして日本の田畑に乘けて見れば一億五千餘萬圓になります。北海道の中には無肥料の所もございますけれども之を除けば日本帝國の耕作地は無肥料といふ所は極めて少ない。大抵肥料をやる、澤山の金を掛けて居る所が多いのでございます。従つて今申す通り約二億圓近くの肥料が要つて居るといふことを専門家が云ふのは餘り大きな計算といふことも出来ませぬ。若し肥料を經濟的に省く使つて呉れて假りに一億五千萬圓の百分の五を約し得るものとし

ても七百五十萬圓儲かる理窟である。故に肥料の如何といふことは非常に大きな問題となります。専門家に非ずとも肥料行政といふことから諸君は餘程注意して貰はなければならぬ所のものと思ひます。肥料を經濟的に使ふといふことは最も大切でございます。技術上からいひますれば試験研究をやらなければなりません。近頃土質と肥料の關係といふ事に就て餘程調べをして居る。中央の農事試験場は勿論、各地方の農事試験場の間に連絡を取りて土質の關係で如何なる肥料を使つたらよいかといふことは餘程學術的研究が進んで來た。これを應用すれば日本の肥料界の前途には非常な影響があらうと思ひます。専門のこととございますけれどもチョット私の聞きかちつたことを申します。何んでも土質には酸性と中性とそれから鹽基性といふものと三つあるさうでございます。此三つが日本の土質の地方々々に依りて違ふ、従つて酸性の土地ならば或る程度までは石灰を入れるのも必要であるけれども鹽基性の土壌ならばさういふ物を入れてはいかぬ、或は中性であればどういふ物を入れるがよいといふ如く土質の化學的性分如何によりて肥料のやり方の違ひがある。それで此土性を調べて各種の肥料を調合してやるといふことを考究するは餘程大事なものである。これは試験場の仕事であります。これから大に此等の方法に就て力を盡すといふことに成つて居りますが、此研究が積んで行きますれば肥料のやり工合も分り經濟的に使ふことが出来やうと思ひます。それから近頃石灰窒素

即ち石灰に空氣中の窒素を吸収さして肥料にするといふことに就ての研究が歐羅巴諸國でも盛んであるが日本でも多くの研究が行届いて來て居ります。果してこれが旨く行くならば無盡蔵なる空氣中の遊離窒素を吸収して肥料に供給することが出來ます。これ等は肥料經濟の下に大關係があることと思ひます。専門技術の事でありますから私は詳しく知りませぬ。諸君に於ても詳しく知つて置かれる必要もなからうと思ひますが兎に角。肥料の將來といふことに就ては農事改良上の影響が慥に多いと云ふことを記憶して置いて下さい。

それから堆肥と綠肥の事でございます。此事は私は申しませぬでも御承知の事と思ひますから簡単に申します。一方では人造肥料豆粕とかいふ便利の肥料が出来るに從つて堆肥綠肥は使はぬ。爲に農家は不性になる。堆肥を拵へるより豆粕なり人造肥料なりを買つて來てやるのがよいといふ傾向が多い老人が能くいひますが近頃の若い者は堆肥を拵へることをやらすして肥料に金を出して買つて來るといふことであつては農業經濟上非常な心配であると誠に其の通りである。御承知の通り農家の經濟は勞力といふ物を比較的に勘定の中に入れてすしてやつて居るといつてよろしい。入れぬ譯には參りませぬけれども先づ普通農期でない時は何をして居るかといへば賃仕事の多き地方又は副業の盛なる地方等を除きては肥を拵へる爲めに勞働するとか又は農業上各種の準備の爲に働くといふことにして農家

の經濟が取れて行きますから勞力を省いて其省いた時間で外の勞力に使ふならばよろしいけれども何も働からずしてノロノロして暮すといふことでは農家の經濟に大變影響します。堆肥を拵へるといふことに就ては從來からやつて來たことであるから一層勤めてやるといふことにしなければならませぬ。殊に人造肥料といふものは餘程の注意を拂つて之を施さなければ地質を減耗して後の爲に悪いといふことがございますから有機物の肥料を一方に補ふやうにするといふことは、どうしてもやらなければならませぬ。唯だ新しい肥料があるからといつて農家がそれを偏用するといふやり方になると、將來非常に臍を噛むの憂がありますから、堆肥或は之と同性質の有機物肥料たる綠肥等の普及に努力し一方の進歩した肥料を使ふも宜しいけれど能く將來のことに注意してやらなければならぬことと思ひます。細目のことは略しまして、肥料取締法のことに就て一言申します。御承知の通り肥料取締法といふものは昨年改正になつて目下此取締法を厲行しつゝありますが、随分此の肥料といふものに就ては悪いことをしたことは諸君も御承知の通りであります。農民の智識がモウ一步進むだならば外國の制度の如く保證成分の表示のみにて肥料の販賣を取締つて行くことが出來ますけれども日本農家は尙智識が低いから保證成分として書いてある標記のみにては騙される恐れがある。絶対に悪いといふことを決めたものでなければ困る。絶対に混砂を禁ずることとした理由は此譯合からである。改正肥

料取締法に就ては人造肥料會社では苦情もございすけれども政府は規定した通りの方針で進んで行くつもりでありますから肥料取締といふことは日本の經濟の上に大きな影響があるといふことを考へ、どこまでもこれを厲行するといふことに御盡力を願ひます。

次は肥料の共同購入。これは説明せずとも皆さん御承知でありませうが、それ位肥料は農業經濟に關係の深い以上はどうしても良い肥料を安く買はすといふことに就て當局は勿論農會なり産業組合なり各種のものが注意に注意を加へて共同的に購入をするといふことに就て大に力を用ひなければならぬ。これも詳しく説明せずとも皆さん分つて居ると思ひます。願くば農家をしてなるべく安く有効なる肥料を使つて行くといふことに大に力を盡して下さりましたならば農産物の收入を増すことも出來ます。肥料をやりますへすれば各種の農作物就中麥などはいくらでも取れる、無暗に一方に偏した肥料をやりますからいけません。調合宜しきを得てよい鹽梅をした肥料をやりましたならば即ち地味に適した肥料をやりましたならば非常な收穫を増すことが出來ますから其點はよく御注意を願ひます。從來肥料行政といふことに就ては地方廳で餘り重きをなして居らなかつたやうに聽いて居りますが、將來農事改良の發達を圖るには肥料問題といふことに就て常に重きを置いて研究して貰はなければならぬ。

(ハ) 種 苗

第三には種苗の選擇、これも技術上に亘ることが多いのでございすから極く簡單に申します收穫を殖やすには種の良いのをやらなければならぬといふことは論のないこととございす。従つてよい種苗を得るといふことは大切のことである。これは試験場の結果なり、各般の技術上の力によつていろいろの「ハイブリッド」をやつて交換的にあちらに植へこちらに植へるといふやうにしてよい種苗を拵へるといふことは技術上力を盡すべきこととございす。試験成績によつて得た良種苗を各方面に配附するといふ事に就きましては地方當局の諸君として最も注意して貰はなければならぬ一つであります。中央の農事試験場に於きましては此良種苗の配附を圖るといふつもりで目下計畫を立て、居ります。米にしても麥にしても其他各種の普通農作物でも良い所の種を拵へる。人工的に世間の知らぬ豫想外に良いものがあるといふこともございす。又往々ヒョットした機會で良種苗を得るといふことがあるさうでございす。さういふ點に就て餘程研究をした結果現に試験事業の一つの重なるものとして追々良種苗を拵へて費用は官費で支辨をして配附をして行くといふ計畫を立て、居ります。將來良い種苗を配附するといふことが出來ますれば農事改良の上に非常な影響を與へるだらうと思ひます。其外興津の園藝試験場に於ては昨年からして蔬菜なり或は菓實なりの良い種を拵へてそれを各府

縣に配附するといふことの計畫になつて居ります。多分今年度は餘計の物は配附することが出来ませぬが、來年度から充分のことが出来るといふことであります。どこまでも試験の上良い種苗を得て一般に配附するといふことにしたい積りであります。それから地方でも農會の事業なり試験場の仕事として種苗の配附といふことに力を盡されて随分好成绩を上げられて居る所があります。農會の事業としてではかういふことは大分良い成績があるといふことを聞いて居ります。願くは農事改良といふことに就ては良い種を適所に播くといふことも亦大事でございますから各種の農事試験場を利用してなるべく良い種を選択するといふことに御注意を願ひたい、其他種苗の統一をやるとか、鹽水澆をやるとか、其他各般の事柄に就ては地方々々で各やつて居られることでありますからさういふ點に就ては從來の通り力を盡して良種を使はるゝことに御注意を願ひます。兎角目前の所に目を着けて例之桑苗にしても一本五錢の桑苗を買へば良いといふことが分りつゝ、唯だ目先の上に暗んで五厘とか一錢の苗を買いたがるといふのは農家一般の状態でございますから、さういふ點はよく注意をしてよい苗を買へばよい結果が得られるといふことを頭に注ぎ込んで行くやうに御注意をされるやうにしたい。

(二) 苗 代

それから第四は苗代のことにと就てチャット簡單に申します。苗代といふものは俗にいふ所の苗代半

作とす程收穫上に影響を有するものであるから、之か經營に就ては多大の注意を拂はねばなりませぬ。此苗代には短冊形とかいろ／＼ありますが、共同苗代といふことは皆さんも御承知の通り稻の種類を統一する上に勢力を減する上に、害虫を驅除する上にも其他農事改良といふ各般の事柄からいつても理想上よいといふことは殆んど論がない、随つて共同苗代といふことは漸次に當業者も望む所であるから各地方に於ては勧めて貰いたいのであります。唯だ注意すべきは共同苗代をやるにしても農家の經濟は單純の理想通りに行くものではない、自分で勞働をするならば一日かゝつても何んともないけれども人に働かせて金を拂はなければならぬといふことは農家の苦痛でありますから共同苗代といふことも唯だ理想の上から見て良いといふ譯に計りは参りませぬ。山間僻地の小さい場所であつてもどこまでも共同苗代でやらなければならぬといふことは却つて損なことがある。農家の真相を穿つて見ればさういふこともある。理論上より考へれば共同苗代といふことは經濟からいつても其他各般とは大切のことであらうと思ふ。廣島縣で大問題の起つたことがある。他の縣でやつて居るのは比較的に成績もよし立派な効果を上げて居るのであります。然るに廣島縣の如きは却つてこれが問題を惹起したのであります。故にこれ等は唯だ無暗に押し付けるといふことになりますると却つて經濟の上

からいつても損になるのでございますから、それらは事情を參酌して各地方の状態に應じてやつて行くといふことにしなければならぬ。共同苗代、共同作業がよいからといつても、算盤の上に合はないといふことがあります。故に一方では共同苗代といふことは何處までも普及するといふことに力を盡して貰いたいけれども一方には又それと同時に地方の状態を察して飽くまでも押し付けがましくやるといふことのないやうに注意を乞ひたいのであります。

(ホ) 勞力の節減

第五は勞力の節減に關すること、これは餘り説明をせずとも皆さん御承知でありませうから極くザツツツします。勞力節減の上に於て『牛馬耕の奨励』が如何に必要なかは論ずるまでもない。又勞力節減の一要項たる農具改良に就ては中央政府でも從來これを等閑にして居つた、農具改良といふことは實はやり難いので日本のやうな小農組織に就ては具體的に餘り價の高くない而かも勞力を制限し得る農具を創作するといふことはやり難い、従つて農具改良といふことの注意を拂はれなかつた理由であります。併しどうしても農家經濟といふ上から考へますれば農具改良といふことには大に力を盡して貰はなければなりません。此勞力減少の方法に就ては専門技術者をして各種の方面を研究せしむることに政府でも注意する積であります、農具改良といふ事は比較的閑却せられて居つた事業でもあ

り將來は特に注意する積でありますから地方に於ても試験場を初めとして各方面の人に力を盡してやらせて貰いたいといふ希望であります。

(ニ) 害虫驅除

説明は省略して置きます。諸君は大抵御承知の事と思います。これは各地方に於ても力を盡されて比較的成績が上つて居るやうでございますから説明を略します。

(ト) 米麥の乾燥貯藏

次は米麥の乾燥貯藏法に就き簡単に申して置きます。日本の産米改良といふことに就きては輸出来の検査産米の検査など各方面で行はれて居る。而して其成績がよろしい。併し産米改良といふことに力を盡す以上は乾燥貯藏といふことにも力を盡して貰はなければならぬ。どこの米を見ても乾燥が悪い、品質が悪くなくても乾燥が悪い、之を倉庫に入れて見ても貯藏に堪へぬものもございます。モウ梅雨を過ぎると虫が付く腐るといふことは各方面何處にも多い。日本といふ國は天候の然らしむる所か割合に乾燥せしめ難い點もございます。併し此點に付き一般の人が注意することになりますれば産米の改良といふことは面目を一新することが出来ると思ひます。米穀取引所の人に聞きますれば乾燥が悪い爲めに損をする事が實に莫大なものである。同屋の倉に容れて置く。梅雨を越すと一割位は減

つてしまふといふことをよくいひます。それは市場に出した米だけでありますけれども、市場に出さぬ米で自分の食つて居る米でも同じことである。餅に量つてやつて居らぬから能く分らぬが、倉に入れて居る米も減つて居るに相違ない。農家が銘々の食べて居る米も不知不識の間に減つて居る。それゝを気が付かずに居るといふのは莫大の損失であらうと思ひます。國の經濟の上から考へて折角骨を折つて取上げた米が乾燥等が悪い虫に喰はれたり腐らしめたりするといふのは残念である。個人の經濟の上からいつても國全體の上から考へても斯様な次第であるから米の改良問題は第一に乾燥にあるといふことを専門の人が言つて居るが成程其通りであると思ふ、米穀の乾燥貯蔵といふことに力を用ふるといふことは日本の産米改良といふ上に關係の深い事でございますから最も注意を拂はれるやうにしたい。米の乾燥貯蔵に就てはモット詳しく述べたいが、時間が許しませぬからこれだけに止めて置きます。

第三 蠶絲業

次に蠶絲業のことに就て少しく述べたい、極くザツト申します前申した通り、日本の養蠶業はまだまだ大に發達した所が世界に於ける需要供給の關係上、心配なからうといふ論定し得たのでございま

す。それでは日本が將來の桑園等に就てはどういふ方法を執つたらよいかといふのに、これは一昨年でございますが各府縣に就て調査して貰ひましたが、それに依て見れば日本の桑園は現時の反別三十六萬町歩ある。尙ほ獎勵すれば三十萬町歩開拓し得るといふ推定になつて居る。三十萬町歩皆やらぬでも現在の桑園を改良して行つてもまた一收桑地が非常に殖へる見込があります。近來は一反平均の收桑量貳百貫足らずでございますが、既設桑園の改良といふことに力を入れるならば收桑量三割や五割増すといふことは決して出来ないうことでない、肥料をやる手入をするといふことにしたならば大に桑園の改良が出来ることと思ふ。場所を擴張するよりも現在の桑園を整理して收桑を多くするといふことに力を用ゐることが先づ急務だらうと思ひます。政府では年々八萬圓の金を出して桑園増植といふことに對して補助をして居ります。これから先は増植といふことも計らなければなりません。けれどもこれまでの桑園を改良してモット收量を多くする、といふことに注意をすることにして見たいこれ等は養蠶業を獎勵なさるに就て餘程注意をして戴きたい。次は共同組織の擴張であります、養蠶は細い事を集めて大をなしますから共同でやらなければならぬ、一方世界で求めて居るのはなるべく品物の揃ふことを要求して居る。日本の養蠶の如きは農家の副業として極く細いものが集まるものでございますが、需要する方の口は大きな方面でありますから、そこに大變考へを持たなければならぬ、こ

ちらは細い物を集めてやるといふのでございますが、一方は世界の要求に志するのであるから共同經營といふことに力を盡して進めて行かなければならぬと思います。現に海外市場の要求する處のものは例へば「デニール」も揃つて居らなければならず品質も揃つて居らなければならぬといふ、なるべく總ての物が揃つたものでなければ大きな工場で澤山の物を取扱ふ上にまづ／＼の物をやられては連も仕事と思ふ様に出来ませぬ品質の揃つたものでなければ染織業を大仕掛けにやるといふことに付て算盤か執れぬのでございます。右の要求を達するが爲には蠶種の供給、雅蠶の飼育は勿論場返しにしても荷造にしても生糸の販賣にしても各般の點に於て共同經營といふことに就き餘程注意しなければならぬ。段々地方に於て此點に氣が付いて共同的事业の見ゆるのは喜ばしいことでございますから此點は尙一層御注意を希ひます。蠶種の統一といふ事柄も大切な問題でございます。これも前申した品質を一定するといふ事に關係の深いものでございます、中央政府でも考慮を廻らして居りますのが何れ時機を見て善い方法を世間に發表するだらうと思いますが、地方に於いて一縣なり一郡なり又はめい／＼の組合に於て此目的を達するが爲め考慮をめぐらして貰いたい。次は蠶病豫防でございます、これは技術上に亘る問題であります。地方經濟に大關係を有する事柄故目下政府に於て研究を重ねつゝ、あります。他日調査の結果を發表するの機會あるべき故、先づ今日は省略して置きます、次は夏秋蠶飼

育のことです、これは追々盛になつて來た、夏秋蠶の試験事業は長野で以て應用して居る。夏秋蠶飼育のことは農業勞力の分配上利益多いから之に就ては各地方に於て益々進んでやることに御盡力を願ひたい、養蠶の發達の上に必ず好結果を奏するだらうと思います。尙は養蠶のことに就て申したいこともありますが畜産の事に就て少しく申したいから之で止めて置きます。

第四 畜産業

畜産のことに就ては前申した通り外國の牛即ち優良なる種を得るといふことの必要となると同時に一方に於ては頭数を殖やすといふことに就て力を入れて貰いたい、品質のよいのを撰ぶのもよろしいが數を殖やすといふことに最も力を盡して貰いたい。つまり必ずしも外國の牛ばかり買ふ必要はありません。地方にある和牛なり雜種牛なりを種牛にして數をモット殖やすといふ點から言へば勿躰ない、どうしてならぬと思います。日本の牝牛は澤山遊んで居る數を殖やすといふことは必要であらう、それに就てはいろ／＼陳も割に合はぬ、遊んで居る牝牛から子牛を取るといふことは必要であらう、それに就てはいろ／＼陳述したき事もあります。時間がありませんから唯それだけのことを申して置きます。畜牛の奨励に關し尙外に話したき處は澤山ありますが之を省略して唯一つ畜産業の副業たる乳産製造就中煉乳業の事

に就き一言して置きます。將來煉乳(「コンデンスミルク」)をやるといふことにしたならば日本の畜産界には著しく面目を改めるに相違ない、煉乳といふことはナカ／＼一種の技術を要するのでチヨット旨く行かぬ、日本に於ては年々二百五十萬圓位亞米利加、瑞西、英國等から輸入して居る。どこの田舎に行つて見ても「コンデンスミルク」を使つて居ない所がない、若し此日本で消費して居る所の煉乳を自國で作ることが出来ましたならば一方では外に出すそれだけの金を節約することが出来る上に本邦の畜産界は大活氣を帯びて来るに違いない。御承知の通りに現行輸入關稅は國定稅率四割といふことになつて居る、所が協定稅率といふものがありまして其協定稅率の結果五分でよいことになつて居ります、そこで外國から輸入するのは廉賣に輸入することになつて居ります。西洋の方は技術が発達して居る、日本の不熟練のものを以て五分の稅率に競争することが出来ませぬから今日では此事業が発達して居らぬ。どうしても四十四年の關稅改正の際には五分といふ稅を國定稅率に戻して内地の煉乳業を保護するといふことにしたならば必ず發達するに相違ないと思ひます、政府も是に力を用いて相當なる煉乳を拵へて外國から輸入するものに敗けないやうなことにするといふことに力を盡したいと思ひます、果してそれが出来るとすれば二百五十萬圓の輸入を防ぎ農業の副産として出来ますから非常に好影響があるだらうと思ひます、どうしても政府がやりたい考でありますからこれをやつた暁に

は日本の畜牛に就ては大變に影響があらうと思ひます。此點に於ては諸君に一つ御承知を願つて置きたい。

第五 結 論

終りに臨んで結論として申します。農事改良の要項は各般に亘つて居るのでそれを實行する上に就きましては普及獎勵を圖るといふことが必要である、どうも今日の全體の有様からいへば普及獎勵といふことに就ては諸君の御骨折によりて比較的進んで来る狀況であります、普及獎勵の進んで来るに従つて、農業の技術の上に就て、研究調査をするといふことが最も必要である。例へば養蠶のことに就て言つて見ても小ばけな虫一つのことでごさいますけれども研究の如何によりて日本の經濟に影響を及ぼすことは大なるものであります、故に普及獎勵の必要となると同時に研究調査といふことにも亦力を盡されんことを望みます。中央に於て最もこれに力を盡すべきことは無論であります、之と同時に地方に於ても試験場の仕事といふやうなことは大切であるから唯だ試験場は學者の遊び事をして居るやうに考へられずに、どうか試験場を利用することに頭を向けて欲しい、現時の狀態から考へて一方は普及獎勵即ち講習とか講話等をやるといふこともよろしいが、一方から考へますれば地方は地

方なりに研究調査といふことをやつてそれ相應にいろ／＼の利益を圖るといふことが必要である。いはゞ試験場なり縣廳なり或は郡役所なりといふものが一つの策劃計畫をする參謀本部であるといふやうに考へて參謀本部の研究を等閑にせぬやうに又調査も杜撰なことのないやうにして欲しい。嘗に獎勵々々といふだけでは困るから將來根本的の調査をやつて根底を固めてそれに依つて普及獎勵を圖るやうにしなければならぬ。本を忘れて末に走るといふことは地方によりどころは申しませぬが、往々其弊があり得るのでございますから農事改良以外でも矢張り同じ事でございませうがこれ等の根本的に注意を拂つて農事改良の點に就て大いに面目を擧げることの出来るやうに御盡力を願ひます。切れ／＼に甚だ不統一のことを申しまして相済みませぬが、時間がありませんから遺憾ながらザツト申しました次第であります。

地主と小作人

農商務省參事官 三 松 武 夫 君 講演

私のお話は茲にございます通り『地主と小作人』といふのでございますが、さてどんなことを喋つて宜いのであるか、どの位の程度で喋つてどんなことを申し上げればお參考になるのかといふことはちよつと自分にも分りませぬ、それに農業の必要であるとか、農業といふものはどういふ事柄であるかといふ様なことに就ては既に大分各學者の方々が御話になつたといふことでございますから、それ等の事柄は全部スキにします、又中川書記官が『農村に於ける改良事業』といふことを御話になつたやうでございます、其事を考へて見ますと地主と小作人の關係といふやうなものは其中に大部分のことが在るのだないかと思ふ。さうすると私はどれだけの範圍を喋つて宜いのであるか、中川君の言ふのと重複しないであらうか、それ等のことに就ては範圍が甚だ不明でございます、唯斯んなことでも申上げたれば或はお參考になりはしないかといふ點だけを申上げて見ます。

第一に地主といふことを御話し申たいと思ひます、地主といふ文字だけで殆ど人の頭に何か知らぬ斯んなものでないかといふ觀念が起るのでございます、所が能く之を仔細に調べて見るといふと、地

主といふ言葉自身では私共には實は能く分らないので、土地の所有權の歸する所が地主であらうと思ふ、さうしたならば地主と小作人といふものは、土地を有つて居る人と土地を有つて居ない人との區別であらうかとも思ふ、さうしますといふと地主といふ言葉は單純に土地を有つて居る人のことだけである、私は地主といふことの定義に就ては是では少し不完全でないかと思ふ、現今でも自作農家と小作農家といふものゝ區別といふものは、多くの場合に於て自ら土地を有つて居つて耕す所の者と他の人間の土地を借りて耕す者との差のやうに思ふのであります、それ等の者の割合は御承知の通りまだ自作農の方が日本に於ては多いのでございます、五割以上といふものは自作農であつて、五割以下が小作農である、そこで此の自作農といふことゝ地主といふことが果して同じであるか、どうも普通の考として多少しく自作農といふものと地主といふものとを違ふやうに思ひます、是に於てか私は地主といふことは自ら耕すことの出来る田畑以上に田畑を有つて居る其者を地主と云ふ方が本當ではなからうかといふ觀念が起つた、唯自ら食ひ自己の家族を養ふに足るだけの田畑を持つて居つた所の人間は、成程法律上に所謂所有權の關係から云へば地主に相違なからうかと思ひますけれども、地主と小作人として何か關係のことを話せと言はれた其地主といふことは多少しく違ふのではないかといふ觀念を私は起した、茲で地主といふことを申上げるのは今言ふやうに自から食ひ、自己の家族を養つ

て往くだけの田畑を有つて居る以上に、或田畑を有つて居る其人間を地主と稱して御話申上げる積りであります。

田畑の所有に依ります所の農家の戸數の割合は、二十一年頃に農商務省に於て調べました所の統計と此頃各府縣に於て集めました所の統計とが出来ました、其割合を申し上げますといふと、二十一年頃のはどういふ標準に據つて調べたのであるか、ちよつと明瞭でありませぬ爲めに、現今の地方廳に照會して調べました所のものと其標準が少し異つて居りますけれども、大體に於て其變遷を見ることが出来るだらうと思ふのでございます、則ち百分率で申しますと明治二十一年頃には二丁歩以下の土地を有つて居るものは八割七分二丁歩以上を有つて居る者は一割一分餘、十丁歩以上を有つて居る者は一分の割合である、所が此頃の調に據りますといふと標準が少し違ひますが、明治三十二年には三丁歩以下の地面を有つて居る者が九割三分、三丁歩以上十丁歩以下を持つて居る者が百分の五、九即ち五分九厘十丁歩以上を有つて居る者は千分の六則ち六厘といふ割合である、それから四十四年には三丁歩以下の地面を有つて居る者が九割三分、三丁歩以上を有つて居る者が百分の五、九、十丁歩以上を有つて居る者が千分の七、二、則ち七厘二毛といふ割合になつて居ります、ちよつと二十一年と、三十一年と、四十一年の十箇年の變遷を見ますといふと、どうも二十一年の統計が頗る不安心の爲めでありま

すか丁度うまい工台の計数は出ませぬが、三十二年から四十一年の此十箇年に於ける有様を見ますと三丁歩以下のものが少し減つて、三丁歩以上十丁歩以下の者も少し減つて、所謂十丁歩以上の者が大變殖えて來たといふ状態が見えるのであります、此三丁歩以下十丁歩以上といふことを擧げましたのは、私は三丁歩以下の者は茲に地主として數へない積りであるからであります、成程考へて見ますと三丁歩以上の田畑を所有する所の者は大きい百姓であるから、自分一人では耕すことが出來ないのが普通である、三丁歩以下には自分一人で耕すことの出來ぬものもあるが大體自ら耕すことが出来るから先づ自ら耕すものとして茲に所謂地主で無い所のものとして數へますと、所謂私が地主といふ所のものは漸く全國の農家の中で以て六分少し位にしか當つて居ないのであります、斯の如く漸く百分の中の六に當る所の此少い所のものは果して農業上に於てはそんならどんな位地に立つて居る者かといふことを考へて見ますといふと、數字から云へば漸く百分の六であります、恐くその持つて居る所の田地の廣さから云へば餘程大きなものであるかと思ひます、是等の人は自ら耕す所の部分は極めて少なく他の人間をして耕さしめる所の部分は極めて多いだらうと思ふ、是れは所有權の側より見たる農家の部分であるから、所謂自作小作などと云ふ關係から云ふ農家の數々は全然一致して居るものではないのでございます、所謂借地をして居る所の農家の數といふものは此土地の所有關係の

外に立つて居るものでございますから、それ等の者を除けての勘定でございます、言葉を換へて言へば所謂自作農自作兼小作農、小作農といふものの、中の一部分の割合でございます、更に言葉を換へて言へば土地を所有して耕作し又は土地を借りて耕作し又は一部は土地を所有して耕作し一部は土地を借りて耕作する各農家の日本全國の戸數の内三割餘に當る土地所有者の中の是は割合である、それであるから全體の農家の總てのものに比例しますと、此地主といふものゝ戸數の割合は極めて少くなる、則ち自作農と稱せらるゝ所のものは全農家戸數の三割餘で其の三割餘の百分の六に當るものが私の所謂地主であるから全體の農家の戸數の割合から云ふと約百分の二弱である。其やうな少い所の割合になるのでありますけれども其者の持つて居る土地は必ず多いものであらうと思ふ、今參考の爲自作農、小作農の右戸數の變遷の割合を御目に懸けませう。

自作農と小作農との割合

明治三十二年

明治三十六年

明治四十一年

自作農

三七

三七

三三

小作農

二五

二六

二七

自作兼
小作農

三八

三七

四一

地主と小作人

合計

100

100

100

備考

一、右は全國二十三縣の調査を平均したる大略の数なり

二、右に依れば自作農は稍減して小作農は増加し來れるを見る

それから此の三丁歩以上の土地を有つて居る地主といふものの中を分けて見ますと、まるつきり自ら農業をしない所の人間と自ら農業をして一部分を他の人間に耕さしむる所の人間と此二つの種類がある、まるつきり自ら農業をやらぬ所の人は私に言はすれば是は農家と云ふことが出来ない部類に属するものである、所謂資本家である、金を貸して其利子を取る所の人である、其外の則ち自ら一部分は耕すが、尙ほ或部分を他の人をして耕さしむる者の中で更に自己の傭人をして耕さしむる所のものと自己の傭人ではなくしてまるで獨立して居る他の人間に土地を貸して、それから報酬を取つてやらせる所のものと此二つの種類がある、是が即ち茲に所謂地主と小作人との關係の起る、又最も私が爰で述べやうと思ふ所の範圍に属するものであります。

以上の内資本家に属する所の農業者と雖も總て金を卸してこれから利子を取る所の所謂金貸的の有様でやつて往くことが出来るものであらうかといふことに就きましては、私は農業といふものはどうしても普通の金錢を利殖すると、同じやうな考ではうまく改良進歩の行はれるものではなから

う、又そんな考では其土地を所有する者も其の利益を全ふすることは出来なからうと思ふのであります、そこで主として茲に申上げたいと思ふのは、地主といふものは土地の一部分は自ら農業をやつて其趣味が分つて、其の他の一部分を他の者にやらして居る者に就て申上げるのであるが、又全然自ら農業はやらぬ所の所謂資本家といふやうな者でも同じやうな事柄を爲して往くに非ざれば到底農業の改良といふものは充分出来ない又自分の利益も十分收め得ないものであらうと思ひます、それであるから私は爰で自ら土地の一部分を耕して、農業に興味を有つて居つて、さうして其の他の部分を他の人にやらせる地主に就て話す所の事柄は、それと全然資本家といふやうな地位に立つ地主にも當座めて之を實行するやうにして欲しいのでございます。

次に三丁歩以上の田地を有つて居る所の人の收支の状態を考へて見ますといふと、現今日本に於て田地一反歩からは米は統計表に據ると粳米平均一石五斗六升餘ばかり取れる、是は所謂統計者の平均数でございますから實際の所は三石或は二石五斗、或は二石とかいふ多數を取つて居る場所が多いであらうと思ひます、それで例へば三丁歩持つて居る人間が最も自分で能く働いて一丁歩を耕作し、アト二丁歩を他の人間に貸して居つて、自分に一反歩から一石五斗六升の平均を取るとしますといふと、一丁歩で十五石六斗、それから二丁歩を他の人間に作らせるといふと、日本の小作糧の割合といふもの

は全國を平均しますと、地主が五割八分で小作人は四割二分といふ有様になつて居ります、それであるから一石五斗六升の平均とすると二丁步で三十一石餘取れる、其中の五割八分即ち十八石弱が地主の手に来る、さうすると地主は合せて三十三石ばかりが自己の三丁步の田地から得らるゝのでござい、此三十三石の値段を例へば一石を假に十二圓（最近の市場値段は十三圓程にして地元値段は二割弱安と見れば最適當なり此には假に十二圓とす）とすると三百九十六圓、其中から租税其他のもの全を引去つて残る所約其十分の六即ち二百三十八圓弱程のものである、此二百三十八圓弱程のもの其の利潤である、其の中から自己の生計費等を拂つて行くのである、若し家族が五人あるとすると其生計の費用だけでも樂と云ふ譯にもゆかね、子弟の教育費でも随分重い負擔と感ぜられる、まして臨時に冠婚葬祭でもあると三町步位の土地所有者では借金でもせねば追いつけないのであります、中等農家が減るとか農民の借金が殖えるとか云ふのも無理はない事であらうと思はれます、然し三町步よりも大部餘計な土地を所有する者ならば兎に角多少の金が残つて往くことゝはなりをるだらうと思ひます。

所が日本の農民の耕して居る所の田畑を平均しますと、一戸あたり漸く八反にしか當らぬ、其八反に當る所の人間の收支状態を見ますと、八反が全部田地で自分で所有して居るものとするも其の純益

は百四圓程しかない、まして八反が田地のみでなく又前述の如く土地を所有せぬ人が可なり多いのであるから、其等の人は其の純益は尙少いのであるからなか／＼生活の困難なることが分るのでござい、今參考の爲地主自作農小作農の收支状態を左に御目に懸けませう。

地主の田一反歩の收支状態

収入(米一石十二圓とす)

(平均一反の收穫統計に依り一石五斗六升六合小作料は地主五割八歩とす)

小作料(九斗八合)

一〇、八九六

支出

地租其他の公課

三、八七一

水利費土地修繕管理費等

〇、八〇〇

差引純益

六、二二五

小作農の田一反歩の收支状態(地主の部参照)

収入(小作料支拂殘)

米六斗五升八合

七、八九六

地主と小作人

穀一、二〇貫
 屑米穀殼等 〇、五〇〇

支出(小作料を除く)

種子四升五合(石代七圓) 〇、三、一五

肥料 三、八〇〇

農屋農具及雜費 一、〇〇〇

差引純益 五、三三二

收入

自作農の田一反歩の收支状態(單位等總て地主に同じ)

米一石五斗六升六合 一八、七九二

麥一二〇貫 二、四〇〇

屑米穀殼等 〇、五〇〇

支出

種子肥料農具農屋費及雜費 五、一一五

租税其他の公課

三、六二〇

水利費土地修繕管理費等

〇、五〇〇

差引純益

一二、四五七

(裏作あるものは大麥益金が此外に)

一、二七八あり

右述ふる如く農業者の多くの有様は極めてみじめなものでありますから多少にても餘裕のある所の人間で總ての者を率いて往くといふことにしなければ農事の改良發達は思ひもよりませぬ、則ち日本全國の平均八反歩とか一丁歩とかいふやうな少いものを耕して居る人間だけでは、漸く自己の收支を償つて往つて幾らも餘裕の無い狀態でございますから、是等の人間に農事改良を奨めて往かうとしても金の無い所に持つて行つて金のいる農事改良をやつて往くことであるから其の實行はなか／＼むづかしいのでございます、それであるから多少にしても餘裕のある地主といふものが自ら其餘裕のある所の金を以て人を率いて行く覺悟で以て立つて往かなければ、日本の農事の改良發達はなか／＼むづかしからうと思ふのでございます。

此の如き有様でございますから、收支の關係から見ても地主といふものは自ら帥表となつて往かね

ばならぬ有様に在るものだらうと思ひます、殊に大地主のやうな者は猶更のこと、是等の者に向つては非常なる援助を與へ、自ら先に立つて事をすると云ふ所の地位に立つべき筈のものであります、何となれば田地が多ければ多いただけ其收得は多くなり餘裕を生ずることも多いからであります。

一體世の中の進歩の有様は御承知の通り知識を弘めてさうして其知識の結果を應用して往くといふことであります、それであるから現に總ての方面に於て此點に付ては十分力を致して居る様であります、唯之を爲すに就ては随分經費を要することありますから、一町歩以下位の土地を持つて居るものにては到底出来ませぬ、此等の事は十分なる實力を有する大地主の如きものが率先して之を企て、さうして一般小さな農業者を救へて行く様にしなければなりません、又實に農事の發達して居る所ではさう云ふ風になつて居る様です、殊に獨逸に於きましては最も古き頃から則ちナポレオン戦争の頃から農業といふことに非常に力を盡して居つた、其農業の獎勵の爲めには英吉利の農業の状態を能く知り、英吉利は如何にして農業の獎勵のことに付て力を盡して居るかといふやうなことを調べて、さうしてそれを至る處に教授をして農業の知識の普及を圖つた、御承知の通り英吉利は現今に於ては自由貿易主義を取つて農業は比較的衰頹をして居る、併ながら英吉利の農業は昔は可なり進んで居つた、殊に農用器具機械などは最も進歩したるものがあつた、それであるから獨逸は是等の進歩した農用器

具機械といふものを研究して、さうしてその利用を非常に計つた、斯ういふ器具は斯ういふ所に用ふれば非常に利益がある、斯ういふ機械は斯ういふ耕作に宜しいものであるとかいふやうなことを知らしめたのである、それと同時に英吉利に於て作られた品物を普及するだけに止めずして、例へば英吉利の農具なら農具の極く粹なものを持つて來て、更に之を工夫を加へて改良し、さうして一般農業者に其の普及を計つたのである、而してそれ等の事業は獨逸政府が爲したのであるかといふとさうではない、政府は勿論農業の獎勵保護を爲したには相違ないけれども、是等のことを主として爲したのは獨逸の農會である。

日本に於ける所の農會は御承知の通り、總ての農民及總て土地を持つて居る者から成立つて居ります、所が獨逸の農會は矢張り日本見たやうに系統的にはなつて居りますが、或は畜牛者の組合といふもの、或は牧草ばかりを買ふ所の人間が集つて居る所の組合、さういふものも這入つて居る、それで日本の農會は一體獨逸の農會を手本にして拵へたものであるが大に趣を異にして居る、獨逸のは寧ろ地主の會と云つた方が宜いのではないかと思ふのである、獨逸は御承知の通り元は大きな農業者があつたのを、丁度前世紀の初頃に土地分割と、それから所謂奴隸解放といふか、それ等の法律を出しまして、大きい土地は政府で買上げて、さうしてそれを細かく割つて人民に呉れてやつた、それで小農

を拵へるといふ主義を取つた、それから又元の貴族といふやうな者が多くは土地を持つて居つて、それ
に隷屬して居つた人民は全く自己の自由を失つて、自分の所謂殿様に向つては絶対的奴隸の有様であ
つた、それ等を解放して自由の人間にすることにしたのであります、政府はさういふ主義を取つた爲め
に小農が割合に殖る、中農も殖る然し元來が大地主の多かつた所であるから、中小農は殖るたには相
違ないが、大地主もまた多いのである、然し幸ひな事には政府が中小農保護の政策を執つて居るので自
己の土地維持を小作人等に對しては是等の地主は相當の良措置をして居る有様である。獨逸に於ける
農會はそれ故それ等の大地主、中小農たる地主より成立して居るのであると云ふて宜しいのである、そ
こで獨逸の農會が英吉利の最も發達した所の農業上の知識を輸入して、さうして各所に之を弘めたとい
ふことは實はそれ等の地主連中が先んじて一般農業の改良進歩といふやうな事柄を企てたのであ
る、それであるから獨逸は現今に於ても非常に所謂農民黨といふものが勢力を有つて居る、關稅の政策
に就ても常に農業關稅といふものが非常な力を有つて居る、御覽になれば御分りになります、獨逸の
關稅といふものは總て非常に重い、勿論昔てビスマルク公が關稅主義を以て獨逸の國富を圖り、農業、
工業の進歩を圖るといふことをやつて、間もなくそれが止められて、その關稅が減せられた所から、
其結果獨逸に於ける主たる食料のライ麥並に小麥斯ういふ作物も少し作附が減つた、それと同時に丁

度關稅改正の時機に迫つたから、即ち千八百九十年の終から千九百年の初頃には農業關稅といふこと
に就て非常に聳しかつた、千九百三年の關稅の改正の時に於ては又ビスマルク公が會て定めた所の農
業關稅と同じか、若くはそれより高い農業關稅をやるやうになつた、是等に依つても獨逸に於ける農
民黨の勢力があるといふことを知り得らるゝのであります、農民黨の盛なるのが良いのか悪いのかそ
れは知りませぬが、兎に角獨逸の農業は發達して居る、それ等のものは矢張り實際を言へば農家即ち
地主といふやうなものが働いて居るのである、所が之に反して伊太利は御承知の通り前世紀の中頃以
後に建設されたやうな有様であつて、亂世に次いで亂世、それから漸く統一されたやうな有様である
から、各地に大地主が多い、日本に於きましても亂れた所の地方に於ては必ず大地主が多い、それは
皆人民が皆に安んじない間に少し金を持つて居る人間がそれを兼併するのが普通だらうと思ふ、伊太
利のそれ等の地主など、いふものは殆ど貴族みたやうな生活をして居る、自分では決して農業をやつ
て居らない、總て土地は一種の請負人に一任して、小作人は汚ない家屋に寢起して居つて、請負人は即
ち地主に對して請負をして居るから、成るだけ自分が小作料を取つて地主に對する所の一定の分だけ
拂つてアトは懷ろさへ肥せば宜いといふのであるから、成るだけ小作人を苦め、窘め抜くといふことを
するのである、終には極端にも小作人から小作料を取る爲めに請負人は途中で已むを得ず憲兵に訴へ

て憲兵から助けを得て自己の収入をしたといふ實例も少なくないやうな有様である、從て小作人も常に之に反對するやうな事柄も起つて來る、伊太利の一部分のコロレンスに於ても同じやうな状態であるが、間々さうでない所の地主もあつた、御承知の通りコロレンスはどつちかと云へば風光がよい所であるからそれ等の地方の大地主である者は自分は田舎の方に別荘を有つて居つて夏季に避暑に行くとか、冬季に避寒に行くとかいふことをして、總て自己の請負人に任して居るのであるから、中には宜しい所の請負人があつて肥料を貸したり、小作人を集めて談話會を開いて居るやうな場所もある、兎に角伊太利では地主が餘り自ら働くことをしないのであるから、中間に立つ請負人の良否に依つて、小作人は浮沈するのである、概して言へば小作人が請負人の爲めに窘められて居るのである、それ故諸君も御承知でありませうが伊太利位も移民の多い所はない、北米に出たり南米に出たりする移民は實に毎年夥しいものである、是等は何かといふと全くそれ等の關係から起つたのである、それであるから伊太利地方を廻つて來た人の話に依ると、伊太利の田舎に行けば良い土地で放棄されて居るものが多いといふことであります、殊に今の獨逸の地主連中の有様に較べて見ると、私は餘り其差の甚しきに驚く位である、それから曾て中川書記官が『斯民』に御書きになつた通り、佛蘭西に於きまして彼處の農會といふものは殆ど地主會である、佛蘭西は矢張り農業の發達した所である、而して佛蘭

西の農會が働いて居ることも誰も異存の無いことであらうと思ふ、それは言葉を変へて言へば地主が働いて居るのである、どうも地主といふものは先刻申上げた通り多少の餘裕のあるものであるから。其人間が率先して自分で働くといふことをしなければ農業は發達しないものだらうと思ふ、地主が自分で働かずして請負人に任し切りにして置いて、請負人が勝手にするといふやうなことがあると伊太利のやうなことになるらうと思ふ、之に反して地主が團體を拵へてやつて居る所の獨逸とか佛蘭西などに於ては農業が割合に發達して居る。

私は不幸にして此講義をする前に外國の農會などをして居る事柄又は地主がして居る所の事柄を少し研究して諸君の御參考に供しやうと思つた所が、農商務省に於ては此頃來年の關稅の騒ぎがありませぬのに、元來怠け者でありますから遂にそれ等の運びになりませぬでしたのは甚だ残念でござりますが、それは他日に譲ることにします、本邦に於ける地主のやつて居る事柄は府縣に照會して取調べたものが澤山集つて居る、それは何とかして諸君に御覧に入れることにしたいと思ふ、此處には此等の實例とを綜合して地主は實例として多くどういふことをやつて居るか又どういふことをしたら宜いかといふことをザット申上げやうと思ひます。序に參考として獨逸の地主連中かどういふことをしたかといふことをザット申上げると先づ灌溉基本を制定するといふやうなことをした、それから農業

に關する貧民學校を設立したり、國民教育の中に農業教育を入れたりした、又農事に關する所の資金の調達を農會でやる、農事實金の制度を設ける、農事に付て何か發明をするとかいふやうなことがあると金をやる、其實金の制度を設けた、それから農事に關する所の博覽會をやつたり、共進會をやつたり、品評會をやつたりする、又各村落で簡易なる肥料の講習を無料でやつて居る、それから農業の借人に對する制度を調査して之を實施して、即ち借人を保護したり、それに向つては瘵疾の時に金を呉れてやるとかいふことをしてやる、それから保安林を如何に利用して往けば農業上利益であるかといふことを研究する、農業上の貸銀、労働の有様などを調べて居る、又獨逸に於ては非常に甜菜砂糖が各地に行はれて居る、其甜菜砂糖といふものを農家の副業として奨励することをやつて居る、それから農業銀行及び信用組合などの制度を普及して居る、是は獨逸に於きましては農業銀行及び信用組合の發達は最も著しいのであります、これ等のことに付ては農會の地主連中などが殊に力を盡してやつて居る、それから先刻ちよつと御話申したやうな土地の分割を爲して往き貴族に隸屬して居つた所の農民を回復して往き、それに付ての手續を簡易にするやうに非常に骨を折つた、又英國から色々な新しい所の農具を入れて來るに付ては、一般農民に向つて之を利用せしめやうと云つた所がなかなか出來るものでない、それ故地主が自ら其農具を輸入してそれを一般農民の買へない所の者に無料で

使用せしむるといふことを盛にやつた、それ等の農具を輸入して其農具の改良を爲してそれから改良された所のものを拵へる場所に補助してやるといふやうなことをやつた、それから農業を經營するには如何なる方法を以てすれば、最も利益であるかといふことを懸賞で募つて之を一般人民に知らせた、又總ての植物に付て其時代々々に大抵其物の收穫の限度がある、其收穫の限度を極めて置いて、例へば米なら米は三石取れることが普通であるといふことを極めて置いて、三石以上の收穫があつたならばそれに褒美をやるといふ方法を取つて居る、併ながら其方法は收穫を増すといふことに就ては收支相償ふことを條件として居る、又地方の農民は自分で農作物を拵へることは出來るけれどもそれを賣ることが極めて下手である、それであるからそれ等の者の爲めに態々市場を設ける、又は販賣する場所を設けるといふやうなこともして居る、是等の仕事を獨逸農會でやつて居るが、翻つて日本に就て考へて見ると、日本の農會でも是等の事柄は或部分でやつて居る、又現に地主でやつて居るものもございいます。

サテ日本に於ける地主が小作人に對して爲して居る事柄は、先づ資金の融通を爲して居る者が多い、之を更に細かく分けて見ると、第一に肥料を買ふ所の金を貸してやる、さうしてそれを低利にして居る、一々之に就きまして證明的に實例を擧げることが致しませぬ、それから小作人が積金を爲して往

く爲めの組合を設立して居る、所謂貯蓄組合此組合の中には金を積んで往く所のものと物品を積んで往くものと二通りある、金を積むのは地主が自分で其金を扱つて、さうして金を積んで往く所のものと地主が自分で預つて更にそれを外のものに預けて往くものとある、物品を預かる所のものは是は因と地主の爲めに具へて置く所のものである、即ち因作の時の要心に毎年極く僅かの米を積んで往く、地主は其米をどうするかといふと、其米を賣つて金にして置くものと、其の儘積んで置くものと二通りある、福島縣の或地主はそれに似寄つた所の方法を取つて居る、即ち小作米の或部分を貯蓄せしめて、それに對して相當の利子を附けて、それを地主の保護預りにして居る、第二に信用組合を設立して、さうして組合の貯金を奨励し故に金融の便を計つて居る、近頃は信用組合ばかりではなくして信用組合に購買組合を兼ねてやつて居るものと、信用組合に販賣組合を兼ねてやつて居るものが、少し宛見えたやうである、さういふ組合をやつて居る者は伊藤長次郎君とか、青森縣の森田君とか、愛知縣の蟹江君とか、渡邊平内次君とか、福井縣の山田君とか、鳥取縣にもありますし各所にありますから一申上げる必要は無いと思ふ、第三には地主が小作人の萬一の場合に具へる爲めに積金して往く養老貯金といふ性質に當るものである、第四には肥料を共同して購入する、又は肥料の共同購入を斡旋してやる、或は場合に依つては農具の共同購入をやる所のものもある、第五には是等の共同購入をして

やり、又共同購入の斡旋をするに付て資金を貸してやる、肥料などに就きましては實物を融通してやる所の方法を取つて居るものもある、第六には共同購入といふやうなことは止して自分で買つて其れで自分の小作人に現物の儘融通してやる、それに就ては多少の利子を取つて居るものと、まるで無利子でやつて居るものと二通りある、是と同じやうに稻掛などを矢張り現物を貸してやるものもある、是等の肥料の現物を融通したり稻掛を融通する場合には、利子を取るのと取らぬのと二つがある、又その返却を收穫後直ちに爲さしむるものと、或は期限を切つて爲さしむるものと二通りある、第七には牛馬耕を爲すやうな場合に、牛馬を買つたり農具を買つたりするやうな時に、其牛馬を買ひ故に農具を買ふに付ての資金を貸してやる、之に付ても矢張り利子を附ける所のものと利子を附けない所のものとある、第八には牛馬を買ふに付ては其中の或部分だけは補助として呉れてやるものがある、例へば三十圓の馬なら馬を買ふとすると、其中の五圓だけは地主が補助してやり、本人に二十五圓だけ拂はせる。さうして所有權は其小作人に屬して居るといふやうな方法を取つて居るものもある、先づ資金の融通といふと大凡是等のものであらうかと思ふ。

それから耕種法を改良して往く、是は最も多く行はれて居る、第一に小作米品評會の如きもそれである、此小作米の品評會に就ては今は米穀検査をやつて居る場所に於ては此小作米品評會をやつて居

ない所は無いと云ふて宜しい、米穀検査を行ふと同時に小作米品評會は必ず起つて来る附き物のやうになつて居る、此小作米品評會に就ては少しく注意を促したいことがあるのでございます。普通小作米の品評會に就ては大抵は特等には米を焼らやる、一等にはそれより少し少いものをやる、二等にはどの位やる、不合格米は小作米として受取らぬといふやうなのが普通の事だらうと思ふ、此小作米品評會で賞與として一番米を餘計出して居る所は岡山縣である、岡山縣の中には特等又は一等といふものに對しては一石に付き九升、即ち約一割の賞品を與へて居る、之が一番多いやうでございます、大抵の所に於ては百分の一又は二位のものが一番多いやうで、一割までやつて居る所は外には無いやうであります、此小作米品評會の事に就てなせ注意を私が願ふかといふに、御承知の通り米穀検査をやれば米が良くなる、併ながら米が良くなるに就ては農民の之に要する所の勞力其他の費用も可なり掛つて居るのである、況してや米穀検査をやる所に限つてそこに出すやうなものに付ては俵裝がやかましくなるので、農民は今までより俵裝に金がいる、地主の方は小作米として收得するものは品質は能くする俵裝は良くなる升目はかつきりとなると云ふ様に色々な利益があるから品評會をやつてそれに対する賞金位を出しても引合つて行くのである、否寧ろ利益の方が多いのである、酷言すれば品評會をやつて賞品を與ふるに依つて其處の小作人に對する言譯をして居るやうな有様である、是は最も名

前が良くして事實に於ては或は此爲めに弊害が起り易いことがあると思ふのである。それは小作人は賞與にありついても僅少の減小作料に當るのみで入賞しなければ在來の通り小作料に取られて入費だけ自分の損と爲るのであるなら其賞與でふ美名に眩惑せられんとしたることを憤り動もすれば破裂を來すことがあるやうであります、餘は申上げませぬが或場所に於きましては小作米品評會をやつたに拘らず、農民の方がそればかりの賞品で以て自分共を誤魔化すのは間違ひである、自分共は非常な經費を使つて居るから小作米をどの位減じて呉れろ、賞品などはいらないと云ふて其爲めに争がおこつて、さうして遂には或部分に於ては田地を返して自己等は移民をしたといふ場所もある、勿論是は僅の部分分ではあります、是等は農民の方が計算に明るいものであつたからさういふ結果を起したのであります、若しもそれほど計算に明るくない所の農民であつたなら泣寝入になつて居るかも知れぬ、併ながら是は小作人を保護する所の方法としては決して悪い所の方法ではない、唯ホンの言譯的に賞品を出せばそれで宜しいといふ觀念は、私は是は面白くなくかうと思ふ、之を餘程良く利用すれば是でも随分農民の保護になり、米穀の改良といふことの爲めには随分役に立つ方法であらうと思ふ。第二には立毛の品評會をやる、さうしてそれに依つて甲乙を附けて賞品をやる、是等の事柄は品物の良いのを拵へさすのであるから、之を植ゑ又耕すに就て人が注意する結果になるのである、第三には講習講

話に依つて其知識を増して往くといふ方法を取つて居るものもある、試験場の技師とか技手とかいふ人等を態々呼び集めて、小作人に講義して貰ふといふ方法を取つて居る所もある、或は中には自ら農業の技術に長じた所の人を傭聘して置いて、其人をして常に廻らしめる方法を取つて居る所がある、山の形縣の本間家とか新潟縣の岩崎農場なども其方法を取つて居るやうであります、第四には耕作田の改良並に深耕を奨励して、それが爲めに経費の五分乃至七分を地主から出して行く方法を取つて居る所もある、即ち耕種の方法を實地的に教ふるのである、是は京都の愛宕郡に其例がある、第五には地主が自ら農事改良上の指導者となつて、常に自分の耕作田を見廻つて色々注意をして居るやうな所もある、第六には自分で試験場を設けて色々な試験をして其結果を小作人に教えて居る者もある、第七には小作人の中の極く農事に長けたる者又は特志の者に委託耕作をしてそれを一般の者に見せしめて奨励的にやらして居る所のものもあり、第八には自ら模範田を設けて居る者もある、第九には地主自ら種類を選択して其種類を一般小作人にやらしむるやうに力めて居る所もある、第十には自ら試験場を設けてそれに依つて採種田を拵へて、其元の種は農事試験場あたりから貰つてそれを自分で拵へて更に小作人に無料で以て分けてやる方法を取つて居る所もある。

其次に小作人奨励並に保護の方法として随分色々な方法がある、先づ小作人を奨励する方法として

は第一に農事に力める人間を表彰してやる、或は賞願連中の來れた時を利用して其前に於て賞與と與へたりする、或は特に小作米品評會みたやうなことをしてその時を利用してそれに賞與と與ふるやうな方法を取つて居るものもある、第二には怠けて悪い所の小作人を處分して居る例もある、第三には小作人に精勵をして宜しき行ひを爲す所の者には其地主の定紋附の羽織をやつて、新年宴會其他の場所に於ては上席に据えてやるといふ方法を取つて居るものもある、第二の處分の方法に就ては罰金を取つて居る實例を見たことがあります、それから小作人の保護としては第一最も貧窮なる所の者を救護してやる、第二に初に小作をした時分に於ては生活に困るかも知れぬといふので食料米を貸してやる二箇年の間とか一箇年半とかいふ期間で米、醬油類を貸してやる、或はそれを安い利子で貸してやるか、半分以上は呉れてやるといふ方法もある、是等の方法は北海道其他開墾をするやうな場所に多い、第三には害蟲驅除の爲めに驅蟲劑を配付するやうな所がある、第四には自ら果樹園を設けて、模範的に自分の小作人に示すと同時に、それを又小作人の娛樂に供する方法を取つて居る所がある、伊殿長次郎君の果樹園とか、愛知の志賀さんなどのなされて居ることもさういふ方法であります、第五には地主が自分で農會を拵へて農事改良を爲して行く方法を取つて居るものもある、或は又自ら率先して耕地整理をやつて農事改良を奨励して行く所もある、第六には小作者それ自身に講習、講話をやるばか

りでなく、小作者の妻とか子供とかいふものを集めてそれに農事上の教育を與へる方法を取つて居る者もある、第七には副業を擇んで其副業で得た物品の販賣の途までも採りてやつて副業を奨励して居るものもある、第八には地主が自分で倉庫を拵へて、小作人の餘り米を倉庫の中に預けて宜しいといふ方法を取つて居る者もある、之に對して僅な倉敷料を取つて居る者ともるきり取らぬでやつて居る者がある、期間は何箇月といふ規定がないが、それ等の米をさう長く置くものでなく、時期を見て賣換ふものであるから、それで期間は定めないのであらうと私は想像して居る、第九には溜池を自分で浚渫したり若くは増築したりして、それで小作人に便ならしむるやうな方法を取つて居るものもある、第十には牛の組合を設けて、牛を飼ふてそれを組合人即ち小作人に分けて、牛馬耕の用に供し、且つ畜産の用に供して居るものもある、中には種牛を飼ふてそれで以て生産の方法を其上尙ほ計つて居る者もある、第十一には年取つた人間は保證しなければならぬといふので、それを最も良く待遇し何かの時には相當の金を呉れるとかいふ方法を取つて居る所もある、第十二には青年の夜學會を設けて、青年に農事の教育を怠りなくやらして居る所もある、第十三には小作人に任して置いてはどうしてもうまいかぬといふので、自ら奮つて排水機を拵へて、其排水機の管理だけを小作人に任して、さうして農事の改良を進めて行く者もある、これから尙ほ愛知の渡邊平内治さんの御話であるが自分

の近邊の地主連中は小作米を上げたに拘らず自分は上げべきのを上げずして、其部分を寄附して産業組合を拵へたといふやうな篤志の者もある、それから中には青年會に田地五畝歩乃至一反歩貸して、それを試作に充てるといふ方法を取つて居るものもある、それから年中行事と云ふやうなことの書いたものを拵へて、それを極平易に分るやうにして、各自農業をやるに就て據る所を知らしむる方法を取つて居るものもある、中には貧乏なる小作人に對して家屋を拵へてやつて、さうして年賦償還の方法で之を賣渡すやうにして居る者もある、此の方法は英吉利若くは其他の外國に於ける市内では能くある方法である。

斯の如く小作人に對する地主の措置の方法は種々難多でありますけれども、如何なるものが善いので、如何なるものが悪いと云ふことは出来ませぬ要は其各地の事情に應じて適當と思ふものを採用すべきであります。尙ほ申述べたいと思ひますが、時間が來ましたから是で御免を蒙ります。(終)

農村と篤志家

家庭學校長 留岡幸助君講演

私の今日御話申上げる題は、農村と篤志家といふのでありますが、モウ講習會も大分進みまして、井上中川御兩君よりして都市改良、農村改良に關する専門上の御話を御聴きになつたであらうと思ひますから、私は多分最早や話す餘地がなからうと思つて參つたのでありますが、併し時間が割當てゝありますから申上げなければならぬことと思ひます。茲に農村とありますが特に農村に限るといふ譯ではありません、市及町村と篤志家といふても差支はない。特に篤志家を出しましたのは何であるかといふと公の事業の發達に向つて盡力をするといふことはチヨット普通の人には出來難いことでもあります。どうしても人間は一身一家といふことに重きを置き易いのでありますからさういふ考へがなかつて起り難い。そこで市及町村に於ける篤志家といふものは實力があるからないからといふ問題ではない。實力があつてもなくても志が其所にございませぬならば、決して出來るものではない。篤志家といふのは實力を以てやるやらぬに係はらずして、志があつて公共事業の發達を冀ふといふことであれば、仕事の大小如何は問ふべきであるまいと思ふ。其實例を少しく御話申上げたのであります。

す。

一體どういふ風にして今日までの世界の文明が進んで来たかといふと、これは皆篤志家の寄附である。篤志家といふものがあつて、其人が各その方面の専門に任じてやつたことが、今日の二十世紀の文明を産み出したのである。これを小さくして農村の發達といふことに致しても、市及町村の發達といふことに致しても、今日此篤志人物がない以上は決して町村を維持し公益の事業を起すことは出来ぬと思ひます。殊に今日のやうな法律が完全して来て何んでも彼でも法律でやるやうな世の中になつて来ては、特に篤志人物の費力がなかつたならば、法律の目的を達することは出来ないと思ふ。今日は却つて完全なる法律がある爲に公共のことが進まないやうな點を澤山見るのである。去年私が横濱から歸りの汽車の中で十七八の田舎娘を運れた役人でもなし、又町のものでもない平服を着た人が始終何か其娘と話をして居る。それから私が目を附けて居ると汽車が川崎邊まで来る間に尋ねた所が、其娘が十四の時に東京の芝巴町邊で惡漢無賴の徒に攫はれて藤澤近傍へ連れて行かれて鐵道工事の土方に弄ばれ、それから段々流れ流れて北海道の集治監から出た非常なる惡漢に手なづけられた。さうして遂に子供が出来たが其子供を崖から下へ投げて殺したのである。ところが其無賴漢が捕へられて他の犯罪事件から其事が發覺して遂にこの娘のことが分つた。そこで其の娘を藤澤の警察署で取り調

べた所によると東京の芝巴町邊には多分親が居るだらうといふので芝警察へ向けて送つて来る其途中であります。段々聞て見ると誠に可哀想である。ところが川崎が神奈川縣と東京府の境であるので其所までは藤澤の警察官が送つて来たが、そこからは管轄外であるから法律の範圍の達せぬ所と見えて、其娘に送り狀のやうな物を渡してお前これを持って品川で降りてそこに居る巡查に見せて芝警察まで送つて貰へ、かういふて居るのを私が聞きしたのである、こゝが法律です、神奈川縣と東京府の境までは法律の力が届く、併し法律の目的は何かといふと其少女を保護するといふことである。さうしたらそれを芝警察まで連れて行つて渡して芝の警察が其親を探してやつたらよいのであるが、ところが今日の法律は川崎からこちらへは一尺も力が達せぬ。さうしたらどうでせう若し其汽車に惡漢無賴の徒が乗つて居つて其話を聽いて又何處へか其娘を攫つて行つたならば藤澤警察署から川崎まで送つて来た勞は水泡に歸する。併し今日の警察は其通りをやつて居る。ところが私が見て居ると、其列車中に私か芝警察まで連れて行かうといふ篤志家が二人出た、さうしてこれを芝警察に送つて芝警察から又篤志家の盡力により救世軍に頼んで救世軍の探偵部で親の在所を探して遂に此娘は親の許へ歸つたと云ふことである。私は其状況を見て居つてどうも法律といふものは妙なことをやるものであると思つた。法律に魂がない、かういふことは町村の事業にしても郡の事業にしても縣の事業に

しても澤山ある例である。今の法律面丈ではさうは思ふてもやることの出来ない所がある、そこで私の思ふのに今日の『自治制度』は法律で出来て居るのである。所が法律は或る範圍まで前述した娘の保護見たやうなことをして居る。そこで茲に篤志家といふものが出来ぬ以上は法律を活して其目的を達せしめることは出来ない。私には法律といふものは實に奇妙なことをやるものだといふ考へが常にある。



そこで今茲に農村と篤志家に付てお話をする前に大體完全なる農村を作り、完全なる市及町村を作るにはどういふ風にしたらよからうか、と云ふことに付ては多年私が町村を研究したことについての論がある。

私は市に於ても町に於ても將又村に於ても四角の同盟で完全なる自治制度を見ることが出来るといふ結論に到着したのである。そこで私の考を圖に示せば上の如くである。

先づ第一に自治體の主體たる市町村長に其人を得ぬ限りは町村はどうしても能く行かない。それから我國の今日の模範村とかいふものは多くどういふもので出来て居るかと研究して見ると、村長と學校長の二つの同盟によつて出来て居る。其例を舉げて見れば千葉縣山武郡の源村の如き或は宮城縣名取郡生田村の如き、細かいことを云へばいくつもの其町村の成立する要素はありますが、私の調べた所で生田村ならば長尾村長と茂庭校長で出来て居る。源村ならば山本村長と井口校長によつて出来て居る。それから村長のみが非常に活動して良村が出来て居るのは三重縣阿山郡玉瀧村の如く、木津村長が非常に活動して居るのである。今日の我國町村の活動は重に町村長と學校長との同盟によつて模範村が出来て居るのである。私は模範村の模範の二字は使はないで寧ろ良村といふ字に代へたいと思ふ。模範村といふと萬事に模範になるやうであるが、比較的良い村といふのであるから模範などといふ大袈裟な文字を使はない方が宜しからうと思ふのである。今日の良村は多くは村長と學校長で出来て居ると思ふ。ところが西洋に多くあつて日本に甚だ少いのは市町村内に活動する宗教家である。此宗教家が西洋では市及町村の一角に強大なる力を有つて居る。歐米各國でいふと舊敎の僧侶、新敎の牧師、かういふ基督教の宣教師が其村其町に於て大に働いて居る。これは西洋では至る所に多くあるが日本では神官僧侶が市及町村に關係して同盟の一角を占め、村長及び學校長も力を合せて或は風俗

の矯正、或は教育の補習などに力を盡くすものは甚だ少ないのである。廣島縣加茂郡廣村の如きは大洲順道といふ眞宗の坊さんがあつて盡力されて居ることは諸君の御承知のことでありますが、さういふ人は甚だ少い兎に角此一角を占めて名を現はすに足るだけの働きをして居る宗教家は甚だ少ない、そこで私の考ふるに神社の合併とか、神官僧侶を集めて講習するとかいふ問題が近來内務省などに起つて居るのも其が爲めであると思ふ。神官僧侶が市及町村の上に如何なる關係を有するかを見る必要があるである。我國の神官僧侶牧師傳道師は自治的事業に餘り後援を與へて居ない。この宗教家の大には今日お話申し上げんとする篤志家であります。此四角同盟によつて市及町村は健全なる發達をするのである。此四隅の人が心を合せて公益の發達、自治の完成を期することになりますれば、無論町村民は自然に感化されることになつて來ると思ひます。そこで此宗教家なり篤志家なり學校長なりは法律を提げて活動することは出來ない。法律の關係が強からうが將又弱からうが、それに關係なくして町村を發達せしむる人々である。其上に法律が完全して來て宗教家なり教育家なり篤志家なりが自分の公共心を奮ひ起す丈の餘地があれば勿論よいけれども、かういふ人々は法律如何によつて仕事をする人でなくして、其志によつて仕事をする人々である。それから學校長が公共の爲に盡力すれば、あの人々は小學校の校長であるから、さういふことをするのが本分だ、宗教家も又勿論名譽と利

達を捨て、しまつてさういふことをするのが、當然である。取るに足らないが、世間にはかういふ考へを以て居るものがある。ところが篤志家となると同じことをしても其盡力如何は町村を發展せしむる上に於て非常に力がある。私の所謂篤志家なるものを調べて見ると其中には大地主もあれば、或は又資産はさう無くても比較的學問のある人であるとか、或は門閥家であるとかいふやうな人々である。併しこれを又反對に考へて見ると門閥家とか資産家とか豪農とかいふ人の中に篤志家は甚だ少い、却て此等の人々が反對の行ひをする時は青年の模範たらざるのみならず大に自治體の安固を保つ上に於て害を來たすのである。それでありませうから此篤志家か幾人あるか、或はどういふ働きをして居るかといふことは農村の發展の上に於て重大なる問題である。我國では模範農村といふものは比較的にあります。又出來易いのでありますが、良い模範町又は模範市といふものに至つては殆んどない、市になると大きい市程腐敗を極めて居る。ところが歐米各國は違つたもので、大きな都市には世界に誇るべき模範的のものがある。これは井上參事官なり中川書記官なりから話されたことと思ひますが、御承知の通り例へば獨逸の柏林市の如き、或は英吉利ならばグラスゴウの如き、若くはバーミンハムの如き何れも歐米各國には非常なる模範市がある。それで國の進歩如何を判斷するにいろいろの標準がある。監獄の改良をやつて居る人は監獄が改良せられて居ればこれが文明國の證據であると

いふ論を立てる。又道路建築に熱心して居る人は道路が良くなつたり建築が進歩して居れば文明國であるといふ。又慈善事業に熱心なる人は慈善事業を盛にやつて居る國は文明國なりといふ論を立てる。けれども私の考へでは國の文野を判別して行くには、模範市があるかないか、模範町村が多いか少ないかといふことが、最も宜しい標準であると思ふ。なぜかと云ふと模範市とか模範町村とかいふ所の多い國で監獄の改良されぬはない。又慈善事業の行はぬ所もない。それであるから模範都市と模範町村が多いか少いかを以て國の文野を分つことは當然であると思ふ。其模範都市、模範町村なるものが日本には實に少ない。かういふ方面から比較を取つて外國は進んで居るが、日本は進んで居ないと云ふことを論ずる時に於て初て日本の遙に歐米各國に遅れて居ることが分る。唯だ今日はお互に日露戦争に勝つたが爲めに虚榮に酔うて日本は世界に於ける第一等國であるといふか如きは適々以て實に思慮の足らないことを示すのである。抑々文明國なるものは模範町村、模範都市によつて出來て居るのであるからそれが少なかつたならば矢張り其國が後れて居ると論決されても仕方がない、我儕は其標準で國を進歩させて行くことに付ては大に盡力しなくてはならぬ。そこで模範都市、模範町村を作るに付ては黨志家が大切な位置を占めることになつて來るのであります。先づ大體町村を形造つて行くに就きまして私の常に感じて居るのは、どういふ精神を以て農村の發達をさせて行くかといふ

ふと、どうしても公共の發達を希ふ至誠の精神で行かなければなるまいと思ふ。黨派を擴張するとか、銘々の利益を獲得せん爲であるとかいふことではいかない、此至誠といふ大精神の中に公共心といふものが必要である。だから圖に示す如く共同心も至誠の圈中に這入つて居る。故に町村長も學校長も宗教家も黨志家も自分の住んで居る市及町村全體の自治を能くやつて行かうといふに就ては精神上から割出して見るとかうなると思ふ。國を盛んにする。さうして多くの同胞の幸福を増進するといふ、この至誠の精神から割出し其町村の事業に關係する。さうして其精神の補助機關として公共心と共同心が發達して來なければならぬと思ふ。至誠といふことは我國では昔から言ふたことで、「至誠無息」とか「誠者天之道也誠之者人之道也」とかいふやうなことが教へられて居るが、公共とか共同とかいふ考は比較的新しい思想である。文明が餘程進まないとか公共とか共同とかいふことが大に起つて來ない。世界が益々進歩發達するに従つて私の範圍を放れて一般の福利を増進するといふ考へが進んで來なければならぬ。それから文明の進歩に連れて機關が複雑になつて來る。假令は自治制度に致しまして町村長を選び、或は町村吏員を選挙する、或は教育又は勸業のことをやる、又土木の事であるとか、衛生のことであるとか、總て世の中が文明になつて法律が完備して來ると機關が愈々複雑になつて來る。機關が複雑になるに従つて共同の精神が殷盛になつて來ないと一般の福利を増進する

ことは出来ない。今日能く行かない町村を調らべて見ると、其處には黨派心が盛んで、町村長を選挙するのにも自分が屬する黨派の人を挙げやうとする。又競争が激烈になつて來ると投票を賣つたり買ふたりする。さうすると收賄といふやうな問題が起る。何故自己の黨派から村長を挙げねばならぬかといふと自分の黨派から村長を舉げて置けば今度自分等の運動する時に言ふことを聽いて呉れる、さういふことになつて來たら町村の自治機關は決して圓滿に運轉するものではない。或は又自利を起すに強き觀念を以て居る人は己れが村長になれば水力電氣を起すにも、開墾をするにも、その他萬事について便利であると云ふので村長になりたがる。個人の利益の爲に一般の福利を滅却してしまふやうなことをすることは我國の到る所にあるではないか。それであるから選むものも選まれるものも至誠實ことを考へ、一般の福利を思ふてのことでないから困る。西洋の市及町村にあつて困るものは宗派心である。之は比較的に我國には少ない。歐米ではナカ／＼新教、舊教及其他區々たる宗派心が政治の中に入つて困る。であるから町村の發達を期せんとらば、どうしても此四角同盟が行はれなくてはならぬ。思ふに公共心と云ひ共同心と云ひその精神の根本になると同じ所に落合ふやうに思はれます。一方の共同心は互に力を併せて仕事をするので、他方の公共心は私利を捨て、公利を起すのである。であるから勤儉に關して米國のグラウンなる社會學者は『勤儉の發達』といふ書物を著しましたが、

其中に信用組合の一章がある。その章の中に共同心を解して左の如く云つて居る。『共同といふことは小なる利益を捨て、大なる利益に合併するのである』と言つて居る。つまり農村なら農村といふ一つの自治體を發達せしめて行く上に於て小なる利益を大なる利益の爲に犠牲にする考へがなくては、公共事業は起らないといふのである。それは餘程面白く解釋であると思ふ。なる程他人と共同して行く時に自分計り利益を收めやうとしたらば、どうしても共同の出來る筈がない、私利を捨て、公の利益を目的にすればこそ一般が進むのである。故に小なる利益を捨て、大なる利益を起すのが共同心の根本的精神である。こう論じて見ると共に力を合せると云ふことと、公の爲に私を捨つると云ふことはその精神の根柢に至つては同じことで、當其の活動の方面が違ふのみである。公共心の方から云ふと公の利益を起す爲に己の利益を捨てるので、例へば三井家が慈善病院を建てたのは公益の爲に百萬圓を犠牲にしたのである。これは東京市の衛生問題には非常に利益を與へるので同時に一般細民が利益を受けるからこれが即ち公共心である。共同心なるものは例へば宗教家と教育家が一緒に仕事をす。若くは宗教家と宗教家が一緒に仕事をす。これに就て一つの美はしい例がある。私は一昨年福井縣へ行きました、あの縣では敦賀郡の松原村が模範村と云ふことになつて居る。故に私は態々視察に參りました。この村には信用組合もありますし、農會も活動して居るし、教育も誠によく行はれ

て居る。其松原村の一字に常宮といふ所がある。常宮の神社には神功皇后を祀つて居る所でありま
す。其常宮字には谷がいくつもあつて一つ所に大字の児童を集めて、教育することが出来ない、とこ
ろが常宮に分教場がある其小學校長は常宮社の神主である。それに又小字があつて一ヶ所に教場をま
とめることは出来ない。故に二つの小字に支校を置いて其方は僧侶が教師をやつて居る。段々話を聴
いて見ると小字の學校では坊さんはなるべく盆と正月とに大抵の佛事を取り片付けて専ら教育のこと
に身を委ねるのである。此僧侶であつて教育家であるから一身で即ち宗教と教育とを兼ねて居るので
ある。その上に常宮の宮司たる神官が先達して教育事業に神官と僧侶が協同してやつて居るのである。
これは實に美はしい一例であると思ふ。佛も神も其目的は人間を善くすることにあるから、それが共
同して仕事をすると云ふことは實に近來の美談である。

それから戻りがけに滋賀縣の長濱町の孤兒院を視察した。現今はそれが大津に移轉致しましたが、私
が視察した時には長濱に設立されて孤兒は十五六名であつた。此地の警察署長は熱心なるクリスチア
ンで、それから朝日新聞の通信員で長濱に住居して居る田中晋次といふ人も同じく熱心なるクリスチ
ヤンであつたが其二人が神宗の坊さんである西尾關仲師のやつて居る孤兒院を賛成して種々なる援助
をして居つたのである。此田中といふ人が坊さんに勤めるのには貴方は大學校を卒業してから獨身で

お居であるが、孤兒院は獨身では出来ない、若し妻君を取ることが佛の精神に背くといふならば孤兒
院をおやめなさい、若し孤兒がお可愛ければ妻君を取つて孤兒院を世話しなければならぬと説き、
而して隣村の所得税を納め得るやうな農家から妻君を選んで來て媒酌をなし、爾來共同し數十人の子
供を教育して居る、今はその孤兒院が大津に移されて河島知事を始め篤志家が助力して大に發達しつ
つある。由來耶蘇教と佛教とは仲の能くないものであるが、今申述べた孤兒院援助者の如きは誠に美
談であると思ふ。兎も角も共同といふことは慈善事業に限つたことではない。總ての事業を發達させ
るにはこのことが能く行はれなくてはいかないと思ふ。かういふ風にして町村の仕事は至誠を本とし
て公其心と共同心が相補翼して自治體を發達させて行く、かういふ風になつて参りますと茲に自治
全體の機關を連轉して行く上に於てどうしても篤志家といふものが大切になる。篤志家は宗教事業に
も關係せず亦直接行政事務にも關係せずして町村の發達を助くるに於ては多大の力を有つて居るもの
である。今日は此所に新潟縣の高橋九郎君なり、静岡縣の高林維兵衛君なり來て居られますが、此御
二人の方が此所にお居でにならぬならば町村の事業を振興することに就て此二人を篤志家として引例
するのであるが、其人の前で其善事を吹聴することはその方々に對して禮を缺ぐことであるから例證
を變更して他の人々に付てお話を致しませう。

どうしても篤志家が出て来ぬ以上は自治體なる町村は發展を遂げることが六ヶ敷い。これは一つの變つた例であります。美濃の大垣に河村長四郎といふ銀行の頭取が居ります。此人は篤志人物として岐阜縣ではナカ／＼名高い人であります。私は數年前から此人と心易くなつてよく其人の家へ行つて泊り先方も私の家へ来て泊つて呉れて極く臺所のことまでも知つて居る仲である。此人は不動明王の凝り固りで美濃の養老の瀧へ寒暑を通して月に一回は必ず參詣をし而して瀧の水に打たれるやうな信心家であります。それから又非常な二宮主義の人で營業は銀業であるが、その店に這入つて見ると圖書館ではないかと思はれる位いろいろの金言を書いた額なり掛物なりを壁上に掛けて居ります。

又貧民救助に熱心なる人で、能く調査したる後春ならば貧民を集めて觀櫻會を開らく。夏ならば貧民に蚊帳を貸すとか、冬ならば薪木や炭や炭團をやる、又どうしても餅を掲ぐことの出来ないものがあれば餅を掲いでやる。こう云ふことは寧ろ救貧事業としては消極的の一時凌ぎのやうな遣り方であるが、そうであるかと思ふと又一方に積極的の貧民救助を施設しつゝある。夫れは何であるかと云ふと貧民の爲に植林をして居ることである。何十年後には莫大の金になる山林が出来てあらう。といふ貧民の將來を思つて植林をして居るのは多分日本では此人だけであらう。私が此人と心易くなつたのは何であるかといふと曾て此河村君が私に言はれるのには澤山も金がないが多少は持つて居る此の金

を如何に使用すれば公共の爲になるであらふか教へて呉れとのことであつた。夫れで私は此人は餘程面白い人であると思ひました。それで此人が町村の事業に直接どれ程の關係があるかないかはよく知らないが、兎も角も貧民を救済したり、貧民の子弟を教育したり、或は又低利の資金を供給して貧民を助けたりすることは自治體なる町村の上に少なからぬ關係があるであらうと思ふ。のみならず、此人は財産から云つても信用があり。人物からいつても篤志の人である。

それから同じ岐阜縣に公共の爲に盡力する老人がある。此間井上參事官と一緒に參つたのでありますが、恵那郡中津町に間奎右衛門といふ素封家があります。此人は中津町の豪商で日露戦争及び自分の六十一の華の祝に女子教育の振はざることを嘆いて二萬三千圓計りを投じて、町の外れにある旭岡といふ天然の景色に富んで居る小高い所へ高等女學校を建て、毎年之が維持費として三千圓づゝを寄附し其を創立費と共に中津町へ寄附したのである。この學校を間高等女學校と言はすして町へ寄附してしまつたことは實に其の人の高潔なる心事を現はして居る。私の視察した時この學校には百二十人の生徒が居りました、其人の篤志に感じて井上參事官と私は態々中津町に行つたのであります。岐阜縣には此他にも篤志家が幾人も居りますが、奇抜で面白い特志家は今一人の老人であります。此老人は二宮尊德翁が印幡沼開墾の檢分に行かれたことを聽いて土地を開墾することが國の爲になるのであ

ると感じて當時江戸から惠那郡に歸つて一生懸命に報徳主義の鼓吹と土地の開墾との爲に盡力しようとした。それは豫ねて聽いて居ました鈴木三藏といふ老人であります。それはナカ／＼元氣な老人であつた。それは豫ねて聽いて居ましたが、儉約主義から之を越中祿に代へその半分の祿代を元治元年頃よりその昔六尺の祿を占めて居たが、儉約主義から之を越中祿に代へその半分の祿代を元治元年頃より貯蓄して遂に自分の居住して居る近くにある木曾川に橋がない爲に往來の人々が難儀をするといふのでその貯めた金で橋を架けました、祿を儉約して架けた橋であるから世人之を名けて「祿橋」と云ひました。其橋の側へ二階立の家を建て、老夫婦が橋番をして居るが、家の入口に、廢物利用茲に爺と婆といふ額を掛けてある。此人は岐阜縣で一番初めに報徳のことを鼓吹した人であります。先般中津町の劇場で千二百名も集つた時の講演會には此老人も私の講演の側へ來てジツト聽いて居られたが、その時の話に自分が今より數十年以前此郡で報徳講演會を開いた時は聴衆が僅かに二人しかなかつたが今日は千二百人も集つて居る。私の耳の近かつた時は惠那郡の人間の耳が遠かつた。私は今七十八歳で耳が遠くなつて聞えませぬが其の代りに郡民の耳は甚だ近くなりました。と云つたが此人は自分の胸に「つんば」といふ札をかけて其は多分人々が此老人を當り前の人と思ふて話しかけるとは自分から用を辨せぬことがあるから、人に迷惑を掛けぬ爲に「つんば」と云ふ札を胸に下げて居るものと見える。

其外篤志家の例を挙げれば滋賀縣神崎郡の南五箇庄大字川並といふ所に近江商人で塚本定右衛門といふ人がある。そこは近江商人の巢窟であるから道路といひ家並と云ひ、神社佛閣といひ立派で、恐らく三百年経つても日本全體の農村はあんな立派な村にはなりません。私は今度日英博覽會があるからこの村の寫眞を出して日本『田園都市』の模範として紹介したらよからうと言つたので。又西洋人が來た時にはあそこへ連れて行つて見せたらよからうといふ考へを有つて居るのであります。そこから素封家たる塚本定右衛門氏に日露戦争の時拾五萬圓の軍事故債に應じなさいと勧誘すると塚本氏は拾五萬圓應じたいと謂つたので郡長も大に感心したと云ふことである。凡て塚本家は世の中の善事には斯の通りである。又同じ滋賀縣の甲賀郡は盗伐の結果、禿山が澤山出來た、江州は盗伐の結果川が荒れて居る。其爲に櫻を植えて砂防工事を施し、而して後に植林をするのである。さういふ時にも塚本氏は少なからぬ金を出す。それから河島知事が赴任されてから湖水に魚類が減少したといふので十年計畫で養魚事業をやらうといふので計畫された所が之にも塚本氏は寄附をしたと云ふことである。或は貧乏人があつて困窮の末家を賣拂はうといふものがあれば相當の價を以て買ひ取り石だけは神社の境内に積んで置き道路普請でもある時は之を差出して加勢をする。縣の方針もよいからであるが滋賀縣の道路は到る所立派である。道路のよき譯は縣の方針もよいのであるが又一方にはさういふ篤志

家があつて公共の爲に力を盡くすからである。然るに南五箇庄の塚本家では一人で公園を寄附して居る。一人で村の爲に公園を寄附して居る人は他にないと思ふ。それは小山を以て公園とするのである。其小山の麓に神社を建て名けて翁遊園と云ふのである。それから其村に這入ると神社佛閣の屋根替がよく出来て居て掃除が行き届いて居る。私は何時も農村を観察するに先づ初めに墓場を見ます。三日や五日其所に居て調べた所で其村のことがよく分るものでない、そこで私はいつも役場に行く前に必ず墓場に行く。墓場を粗末にする所假令ば石燈が倒れて居つたり、石燈や墓碑の頭に犬が糞を放りかけたりするやうなことで其村は決して立派な村でない、これは畢竟先祖を粗末にするから起るのである。其次に村民が神社佛閣を如何に扱つて居るか云ふのである。神社の鳥居が倒れて居つたり、石垣が崩れて居つたりする所に良い村はない。そこに行くに南五家庄は實に模範的である。こんなによく手の届いて居る村は日本にあるまい、かういふことは一人二人の力では出来ないが、兎に角塚本氏とかそれに類するやうな人があつて斯る特種の事業が行はれるのである。

そこで篤志家といふものは、町村の自治及農村の發達の上に於て法律の力の及ばぬ所、府縣廳の力の及ばぬ所に力を盡くすのである。職務的でないから其働いたのは皆が得心をする。あの人は名譽を目的に仕事をする人でない、利益の如何によつて働く人でない、全く篤志である、感心の至りである

といつて、それが本となりて一村が感化されて来る。例へば各府縣に行はれる報徳大會杯に行つて見ると縣官ばかりでやる所は會其物が活動しないが、農會長とか地主とかいふやうな人々が中心となつて縣は援護の地位に立つてやればいつも活動する。何故かといふと縣の役人計りで仕事をすると、役人のやうな會が出来る。然るに縣民、郡民、篤志家が中心となりて之を施設經營すると其仕事が活動して来る。縣がやるから悪い、郡がやるから悪いといふのではないが、何事でも御役目の仕事になると死んでしまふのである。であるから町村自治を發達せしむることにしても法律は大切であるが、その法律を以て人を縛るやうになつたならば人は死んでしまふのである。兎に角法律があつても無いと同様に活動させるには篤志家の如き人々が大に骨を折らなくては出来ないものである。そこで官民共に同じに行く所に於て報徳會の如き特志の事業は發達するのである。我國は憲政々治を布いた結果官民を分離せしめた、であるから町村に於て起さねばならぬ仕事就容易に出来ない、ところが此頃の報徳會は二宮尊徳といふ一つの人格を捉らへ廣き意味の道德經濟自治民政及農業社會等の諸問題を解決するのである。従つて實地に解決せらるべき面白い事業が接踵現はるゝのである。かゝる機運が二三十年此儘に續いたならば公共的社會的事業は實際の上に於て餘程目口がつくのである。之は官民共同して力を致さねばならぬ。町村自治の上に於てさうなつて來なければ本統のことは出来まいと思ふ。

農村と寫家

私はかういふ問題に付ては大分調べて居りますから諸君の御参考までに申述べて教へを受け度いと思ふのでありますが、私の時間には限りがありますからこれで御免を蒙りたい。

地方改良事業講演集上巻終

明治四十二年十二月二十日印刷
明治四十二年十二月廿五日發行

(非賣品)

内務省地方局編纂

印刷者

水谷景長

東京市小石川區久堅町百八番地

印刷所

博文館印刷所

東京市小石川區久堅町百八番地